



Groupware
ユーザ ガイド



Groupware: ユーザ ガイド

発行日 月曜日, 25. 11 月 2019 バージョン 7.10.3

製作著作 © 2016-2019 OX Software GmbH , このドキュメントは OX Software GmbH の知的所有物です。

このドキュメントの全部または一部をコピーする場合、各コピーにこの著作権情報を明記する必要があります。このドキュメントの内容は細心の注意を払って編集されていますが、情報の誤りを完全に排除することはできません。OX Software GmbH、著者、および翻訳者は、記述の誤りとそれによって生じる結果について、いかなる責任も負うものではありません。このドキュメントで使用されるソフトウェアの名称およびハードウェアの名称は登録商標である可能性があり、無償での使用が保証されているものではありません。OX Software GmbH は原則的に、製造元によるつづりの表記に従います。このドキュメントでは（注釈を付記せずとも）ブランド名、商標、ロゴなどを使用していますが、（商標とブランド名に関する法律により、）これらのブランド名等を無償で使用できることを示すものではありません。

目次

1	このドキュメントについて	11
1.1	対象読者、内容	12
1.2	用語	13
2	はじめに	17
2.1	グループウェアで提供されるアプリケーション	18
2.2	サイン イン、サイン アウト	20
2.3	パスワードの変更	21
2.4	ユーザ インターフェース	22
2.4.1	メニュー バー	23
2.4.2	アプリケーションランチャー	24
2.4.3	検索バー	25
2.4.4	ツールバー	26
2.4.5	フォルダビュー	27
2.4.6	表示エリア	28
2.4.7	ポップアップ	29
2.4.8	通知エリア	30
2.4.9	編集ウィンドウ	31
2.5	キーボード入力	32
2.5.1	キーおよびキーの組み合わせ	33
2.5.2	キーボードでユーザインターフェースを操作	34
2.5.3	大文字を使用	35
3	基本設定	37
3.1	基本設定のカスタマイズ	38
3.2	地域設定の変更	39
3.3	個人用の連絡先データの変更	40
3.4	通知を受け取る	41
3.5	ローカルアプリケーションの手動インストール	43
3.6	ローカルアプリケーションをウィザードを使用して設定する	44
4	ポータル	45
4.1	ポータル構成	46
4.1.1	サインインユーザ:	47
4.1.2	このページをカスタマイズボタン	47
4.1.3	ウィジェットを追加ボタン	47
4.1.4	予定ウィジェット	47
4.1.5	受信トレイウィジェット	47
4.1.6	仕事ウィジェット	47
4.1.7	最近変更されたファイルウィジェット	47
4.1.8	ユーザデータウィジェット	48
4.1.9	割当量ウィジェット	48
4.1.10	ニュースウィジェット	48

4.1.11	ソーシャルネットワークのニュースを表示するウィジェット	48
4.1.12	Driveアプリケーションに関する情報を表示するウィジェット	48
4.2	ポータルをカスタムする	49
4.2.1	ウィジェットの順序の変更	50
4.2.2	ポータルウィジェットの削除	50
4.2.3	ポータルウィジェットの追加	50
4.2.4	ソーシャルネットワークのポータルウィジェットの追加	51
4.2.5	Xingアカウントの作成	51
4.3	ポータルの設定	52
5	メール	53
5.1	メール構成	54
5.1.1	メール検索バー	55
5.1.2	メールツールバー	56
5.1.3	メールフォルダービュー	57
5.1.4	メールカテゴリバー	58
5.1.5	メール表示エリア	58
5.1.6	メール一覧	59
5.1.7	メール詳細ビュー	60
5.1.8	メールポップアップ	61
5.1.9	メール編集ウィンドウ	62
5.2	メールの表示	63
5.3	添付ファイルの表示、保存	64
5.4	メールの送信	65
5.4.1	新規メールの送信	66
5.4.2	アドレス帳から連絡先を選択する	67
5.4.3	差出人のメールアドレスを選択する	68
5.4.4	添付ファイルの追加	69
5.4.5	リンクとして添付ファイルを送信する	70
5.4.6	署名を使用	71
5.4.7	メールの返信	72
5.4.8	メールの転送	72
5.4.9	メールの自動転送	73
5.4.10	参加者へのメールの送信	73
5.4.11	休暇通知の自動送信	74
5.5	メールフォルダを追加	75
5.6	メールの管理	76
5.6.1	タブの使い方	77
5.6.2	メールの移動またはコピー	78
5.6.3	メールを既読、未読にする	79
5.6.4	アドレスの収集	80
5.6.5	メールの分類	80
5.6.6	メールのソースの表示	81
5.6.7	メールの下書きの使用	81
5.6.8	メールアラームを作成する	82
5.6.9	ポータルへのメールの追加	82
5.6.10	メールの保存	82
5.6.11	メールのインポート	83
5.6.12	メールの印刷	83

5.6.13	メールのアーカイブ	84
5.6.14	メールの削除	85
5.6.15	メールフォルダのクリーンアップ	86
5.6.16	統合メールの使用	87
5.7	メールフィルタの使用	88
5.7.1	新規のルールを作成	89
5.7.2	条件を追加	90
5.7.3	アクションを追加	91
5.7.4	移動中に新規のルールを作成	91
5.7.5	ルールの変更	91
5.7.6	ルールを既存のメールに適用する	92
5.8	メールの検索	93
5.9	メールアカウントを追加	94
5.10	メール設定	95
5.10.1	メールの受信設定	96
5.10.2	メールの作成設定	98
6	アドレス帳	99
6.1	アドレス帳構成	100
6.1.1	アドレス帳検索バー	101
6.1.2	アドレス帳ツールバー	102
6.1.3	アドレス帳フォルダビュー	103
6.1.4	アドレス帳ナビゲーションバー	103
6.1.5	アドレス帳表示エリア	103
6.1.6	アドレス帳一覧	104
6.1.7	アドレス帳詳細ビュー	104
6.1.8	連絡先編集ウィンドウ	105
6.1.9	連絡先グループ編集ウィンドウ	106
6.2	連絡先の表示	107
6.3	連絡先の添付ファイルの表示、保存	108
6.4	ハロー ビューで連絡先を表示	109
6.5	連絡先の追加	110
6.5.1	新規連絡先の作成	110
6.5.2	添付ファイルの追加	111
6.5.3	vCard添付ファイルからの連絡先の追加	111
6.6	連絡先グループの追加	112
6.6.1	新規連絡グループの作成	113
6.6.2	メールの宛先を連絡先グループとして保存	114
6.6.3	参加者リストから配布リストを作成	114
6.7	アドレス帳の追加	115
6.7.1	アドレス帳の追加	116
6.7.2	外部アドレス帳の登録	116
6.7.3	登録アドレス帳の更新および管理	117
6.8	連絡先の管理	118
6.8.1	アドレス帳からのメールの送信	118
6.8.2	予定への出席を連絡先に依頼	118
6.8.3	連絡先の編集	119
6.8.4	連絡先の移動またはコピー	119

6.8.5 vCard での連絡先の送信	120
6.8.6 Xing 連絡先としての連絡先の追加	120
6.8.7 Xing への出席を連絡先に依頼	121
6.8.8 連絡先のインポート	121
6.8.9 連絡先をエクスポートする	122
6.8.10 連絡先の印刷	122
6.8.11 連絡先の削除	123
6.9 連絡先の検索	124
6.10 アドレス帳の設定	125
7 カレンダー	127
7.1 カレンダー構成	128
7.1.1 カレンダー検索バー	129
7.1.2 カレンダーツールバー	130
7.1.3 ミニ予定表	131
7.1.4 カレンダーフォルダービュー	132
7.1.5 カレンダー表示エリア	132
7.1.6 日、稼働日、週、月、年 の予定表ビュー	133
7.1.7 日付ピッカー	134
7.1.8 カレンダーポップアップ	135
7.1.9 カレンダー一覧	135
7.1.10 カレンダー詳細ビュー	136
7.1.11 スケジューリングビュー	137
7.1.12 予定編集ウィンドウ	138
7.2 予定の表示	139
7.2.1 予定表ビューでの予定の表示	140
7.2.2 複数のタイムゾーンを表示	141
7.2.3 予定は予定表ビューにどのように表示されますか?	142
7.2.4 リスト ビューでの予定の表示	143
7.3 予定の添付ファイルの表示、保存	144
7.4 予定の作成	145
7.4.1 新規予定の作成	146
7.4.2 日付ピッカーを使用	147
7.4.3 定期的な予定の設定	148
7.4.4 予定の表示の設定	149
7.4.5 予定のアラームを使用する	149
7.4.6 参加者またはリソースをを追加する	150
7.4.7 添付ファイルの追加	150
7.4.8 スケジューリングビューの使用	151
7.4.9 フォロー予定の作成	152
7.4.10 参加者に対する新規予定への出席の依頼	152
7.4.11 メールすべての受取人に予定への招待	153
7.4.12 iCal ファイルからの予定の作成	153
7.4.13 予定の競合の解決	154
7.5 予定への招待の回答	155
7.6 予定表を追加する	156
7.6.1 個人の予定表を追加する	157
7.6.2 予定表の登録	158
7.6.3 ファイルから予定表をインポートする	159

7.6.4	共有カレンダーの表示および同期	159
7.7	予定の管理	160
7.7.1	予定の編集	161
7.7.2	予定確認またはステータスの変更	162
7.7.3	開催者を変更	163
7.7.4	お気に入りのタイムゾーンの管理	163
7.7.5	予定表の色を使用する	164
7.7.6	別の予定表への予定の移動	164
7.7.7	予定をインポート	165
7.7.8	予定をエクスポートする	165
7.7.9	予定の印刷	166
7.7.10	予定の削除	167
7.8	予定の検索	168
7.9	グループの管理	170
7.10	リソースの管理	171
7.11	予定表の設定	172
8	タスク	175
8.1	タスク構成	176
8.1.1	タスク検索バー	177
8.1.2	タスクツールバー	177
8.1.3	タスクフォルダービュー	178
8.1.4	タスク表示エリア	178
8.1.5	タスク一覧	179
8.1.6	タスク詳細ビュー	180
8.1.7	仕事編集ウィンドウ	181
8.2	仕事の表示	182
8.3	仕事の添付ファイルの表示、保存	183
8.4	仕事の作成	184
8.4.1	仕事の作成	184
8.4.2	定期的な予定の作成	185
8.4.3	参加者を仕事に追加する	185
8.4.4	添付ファイルの追加	185
8.5	仕事への招待の回答	186
8.6	仕事フォルダを追加する	187
8.7	仕事の管理	188
8.7.1	仕事の編集	189
8.7.2	仕事に完了の印を付ける	189
8.7.3	仕事の終了日時の変更	190
8.7.4	別のフォルダへの仕事の移動	190
8.7.5	仕事のステータスの変更	191
8.7.6	仕事をインポート	191
8.7.7	仕事のエクスポート	191
8.7.8	仕事の印刷	193
8.7.9	仕事の削除	193
8.8	仕事の検索	194
8.9	仕事の設定	196

9	ドライブ	197
9.1	ドライブ構成	198
9.1.1	ドライブ検索バー	199
9.1.2	ドライブツールバー	200
9.1.3	ドライブフォルダービュー	201
9.1.4	ドライブナビゲーションバー	202
9.1.5	ドライブ表示エリア	203
9.1.6	ファイルの詳細	204
9.1.7	ビューア	205
9.2	ファイルの表示	206
9.2.1	ビューアでファイルを表示します。	207
9.2.2	ドライブで添付ファイルを表示	209
9.2.3	プレゼンテーションを行う	209
9.3	ファイルまたはフォルダの内容をダウンロード	211
9.4	ファイルまたはドライブフォルダーを作成	212
9.5	テキストファイルの作成または編集	213
9.6	ファイルおよびドライブフォルダーの整理	214
9.6.1	メールの添付ファイルとしてファイルを送信	215
9.6.2	ファイル名の編集	215
9.6.3	説明を作成または編集	216
9.6.4	ファイルまたはドライブフォルダーの移動	216
9.6.5	ファイルのコピー	217
9.6.6	PDFとしてファイルを保存	217
9.6.7	ポータルへのファイルの追加	218
9.6.8	ファイルまたはドライブフォルダーをお気に入りに追加	218
9.6.9	ドライブフォルダーを削除	219
9.6.10	ファイルのロックおよびロックの解除	220
9.6.11	バージョンの操作	221
9.7	ファイルの検索	222
9.8	WebDAV によるファイルへのアクセス	224
9.8.1	Linux 環境での WebDAV のセットアップ	224
9.8.2	Windows環境での WebDAV のセットアップ	224
9.9	ストレージアカウントを追加する	225
9.10	ドライブ設定	226
10	データの整理と共有	227
10.1	フォルダーでデータを管理	228
10.1.1	フォルダータイプ	229
10.1.2	権限の用途	230
10.1.3	フォルダ間の移動	231
10.1.4	フォルダを非表示にする	232
10.1.5	お気に入りへのフォルダの追加	233
10.1.6	フォルダ名の変更	233
10.1.7	フォルダの移動	234
10.1.8	フォルダの削除	234
10.2	共有データ	235
10.2.1	パブリックリンクを使った共有	236

10.2.2	共有アイテムへの招待	238
10.2.3	共有ファイルを編集する	240
10.2.4	招待を再送する	241
10.2.5	共有の削除	242
10.2.6	ドライブアプリケーションで共有ファイルを表示したり、編集したりする	243
10.2.7	メールフォルダの登録	245
10.2.8	他のユーザの共有にアクセスする	245
10.2.9	利用できる権限について	246
10.2.10	権限に大文字を使用	248
10.3	アカウントの管理	250
10.3.1	主なメールアカウントの編集	251
10.3.2	アカウントの表示、編集、削除	252
10.4	すべてのデータをダウンロード	253
11	データセキュリティ	255
11.1	自動サインアウト	256
11.2	メールに外部リンク先の画像	257
11.3	メールの認証を表示する	258
11.4	ホワイトリストを使う	259
11.5	セッションを表示または終了する	260
11.6	多要素認証	261
11.6.1	検証方法を設定	262
11.6.2	認証アプリを使用してログインを検証する	264
11.6.3	セキュリティキーでログインを検証する	264
11.6.4	SMSコードでログインを検証する	265
11.6.5	検証を復元する	266
11.6.6	検証方法を管理する	267
12	Guardを使ってデータの暗号化	269
12.1	Guardのセットアップ	270
12.2	メールのやり取りを暗号化する	271
12.2.1	暗号化されたメールの閲覧	271
12.2.2	暗号化されたメールの送信	272
12.2.3	外部の受取人はどのように暗号化されたメールを閲覧するのか？	273
12.3	ファイルの暗号化または復号化	274
12.3.1	ファイルの暗号化	274
12.3.2	新しい暗号化ファイルの作成	275
12.3.3	暗号化ファイルを開く	275
12.3.4	暗号化ファイルのダウンロード	276
12.3.5	ファイルの復号	276
12.4	Office ドキュメントを暗号化	277
12.4.1	新しい暗号化ドキュメントの作成	278
12.4.2	選択したドキュメントを暗号化形式に保存します。	278
12.4.3	暗号化されたドキュメントを表示	279
12.5	Guardからのサイン アウト	280

12.6 Guard設定	281
12.6.1 パスワード管理	283
12.6.2 自分の鍵を管理する	285
12.6.3 公開鍵を管理する	287
索引	289

1 このドキュメントについて

このドキュメントを活用するために理解しておくべき情報を次のトピックごとに説明します。

- 対象読者、内容 (p. 12)
- 用語 (p. 13)

1.1 対象読者、内容

このドキュメントは、エンド ユーザのお客様を対象にしています。

このドキュメントでは、グループウェアの一般的なインストール方法と構成方法について説明します。ご利用のグループウェアのインストール バージョンならびに構成によって、記載の方法と異なる場合があります。

このドキュメントで説明している機能がご利用の製品にない場合は、管理者またはホスティング事業者にお問い合わせください。このグループウェアはアプリケーションと呼ばれるモジュールで構成されているため、アップグレードを購入することでいつでもアプリケーションや機能を追加できます。

このドキュメントの内容は、でも閲覧できます。オンラインヘルプでは、として表示されます。

1.2 用語

Groupware	このドキュメントで説明しているソフトウェアです。
アカウント	<p>アカウントまたはユーザアカウントとは、コンピューターへのアクセス権限のことです。アカウントの例</p> <ul style="list-style-type: none">▪ グループウェアアカウント▪ GMail アカウント▪ DropBox アカウント▪ Facebook アカウント <p>アクセスするために、ユーザはユーザー名とパスワードを使用してログインしなければなりません。アカウントに基づき、コンピューターシステムは単一ユーザを識別します。これにより、アクセス権限やのような特定のプロパティをユーザに割り当てることができます。</p> <p>関連トピックアカウントの管理 (p. 250)</p>
アプリケーション	<p>アプリケーションは特定の機能を提供するグループウェア構成要素です。例：メールアプリケーションで、メールの送受信や整理ができます。</p>
オブジェクト	<p>ユーザが作成、構成できる実体です。例：メール、連絡先、予定、仕事、ドキュメント、ファイル、フォルダ、アドレス帳、予定表</p>
グループ	<p>グループはグループ名と内部ユーザの数で構成されます。グループは次のように使用できます：</p> <ul style="list-style-type: none">▪ 予定または仕事へ追加▪ 共有へ招待することでの権限の付与 <p>構成によって、特定のグループが既定されます。グループウェア構成によって、ユーザは追加グループの作成権限を得ることができます。</p> <p>関連トピックグループの管理 (p. 170)</p>
グローバルアドレス帳	<p>すべての内部ユーザが利用できる連絡先データが保存されたアドレス帳です。各ユーザは、グローバル アドレス帳にある自身の個人データを編集できます。</p>
ゲスト	<p>別のユーザから共有ファイルへの招待を受けた人、あるいは外部参加者として予定または仕事に追加された人。各ゲストユーザはゲストグループに割り当てられます。このグループは変更または削除できません。</p>
セッション	<p>セッションとは、ブラウザのようなクライアント、メールクライアント、あるいはスマートフォンアプリケーションとグループウェアサーバのようなサーバ間の接続のことです。セッションはログインで開始され、ログアウトで終了します。</p> <p>関連トピックセッションを表示または終了する (p. 260)</p>
タブ	<p>タブによって受信トレイフォルダを簡単に、そしてシンプルに整理することができます。タブを使って受信メールを受信トレイフォルダの差出人ごとに保存できます。構成によって、特定のタブが既定されます。必要に応じて追加のタブを設定できます。</p> <p>タブは受信トレイフォルダでのみ使用できます。追加のストレージオプションが必要な場合は、フォルダビューを使用してメールフォルダを作成してください。</p> <p>関連トピックタブの使い方 (p. 77)</p>

ドメイン	ドメインは、インターネットのページを表示するために使用するアドレスです。例： www.example.com 。ドメインはウェブアドレスまたはインターネットアドレスとも呼ばれます。 関連トピック ホワイトリストを使う (p. 259)
フォルダ	フォルダにはアプリケーション固有のオブジェクトがあります。アプリケーションによっては、フォルダにはサブフォルダも含まれます。既定のフォルダもあれば、ユーザーが設定できるフォルダもあります。フォルダ例：メールフォルダ、アドレス帳、カレンダー、タスクフォルダ、ドライブフォルダ 関連トピック フォルダでデータを管理 (p. 228)
ホワイトリスト	ホワイトリストは信頼するドメイン名またはメールアドレスのリストです。 関連トピック ホワイトリストを使う (p. 259)
メール スレッド	メールスレッドはメールの会話です。メールスレッドには元のメールと返信全てが含まれます。メール スレッドにあるすべてのメールは同じ件名になります。最新のメールは、最後に送信された返信メールになります。 関連トピック メール一覧 (p. 59)
ユーザ	グループウェアを使用して作業を行う人です。各ユーザには、ユーザー名とパスワードが割り当てられます。各グループウェアユーザは既定グループに割り当てられます。このユーザは、内部ユーザとも呼ばれます。
ユーザ インターフェース	グループウェアのユーザ インターフェースです。ユーザ インターフェースは、個別の要素から構成されています。 関連トピック ユーザ インターフェース (p. 22)
リソース	リソースはリソース名、メールアドレス、定義オプションから構成されます。リソースは、次のように使用できます： <ul style="list-style-type: none"> ▪ 予定へ追加リソースを追加できるのは、他の予定に使用されていないリソースのみです。 ▪ リソースの例：会議室、プロジェクト、車 構成によって、特定のリソースが既定されます。グループウェア構成によって、ユーザは追加リソースの作成権限を得ることができます。 関連トピック リソースの管理 (p. 171)
内部メール アカウント	グループウェアのメール アカウントです。このアカウントは自動的にユーザに作成されます。削除することはできません。
参加者	予定や仕事への招待を受けたユーザです。
外部参加者	予定や仕事への内部ユーザ以外の参加者です。
要素	ユーザ インターフェースの要素です。例：ウィンドウ、ラベル、ボタン。 関連トピック ユーザ インターフェース (p. 22)
配布リスト	連絡先グループは連絡先グループ名と内部ユーザまたは外部パートナーのメールアドレス数で構成されます。お使いの連絡先グループを作成、編集できます。他のユーザはお使いの連絡先グループを参照できません。連絡先グループは次のように使用できます： <ul style="list-style-type: none"> ▪ 複数の連絡先へのメールの送信 ▪ 内部または外部参加者を予定または仕事へ追加 ▪ 共有に複数のユーザまたはゲストを招待して権限を付与

構成によって、特定の連絡先グループがすべてのユーザーに既定されます。

関連トピック [連絡先グループの追加](#) (p. 112)

2 はじめに

グループウェアで作業する前にこちらのトピックをご覧ください：

- グループウェアで提供されるアプリケーション (p. 18)
- サイン イン、サイン アウト (p. 20)
- パスワードの変更 (p. 21)
- ユーザ インターフェース (p. 22)

こちらのトピックもご覧いただけます。

- キーボード入力 (p. 32)

2.1 グループウェアで提供されるアプリケーション

グループウェアを構成するアプリケーションについて説明します。はじめに、それらのアプリケーションを使用してできることについて説明します。

ポータル

このアプリケーションでは、新規の予定やメール、メッセージをまとめて表示できます。

- 最新の予定や新規メールの概要を取得。
- お気に入りのメッセージング ソースから配信される最新のメッセージの表示
- ソーシャル ネットワークのニュースのフォロー

詳細は、こちらをご覧ください [ポータル \(p. 45\)](#)

メール

このアプリケーションでは、メールを送受信したり、整理できます。他に次のことができます。

- 内部メール アカウントや他のプロバイダでセットアップした外部メール アカウントの使用
- 複数の検索条件によるメール検索やメールスレッドのフォロー。
- メール フォルダを利用したメールの整理、選択したメール フォルダを共有してチームと共同作業
- メール アドレスからの新規連絡先の作成や、添付の iCal ファイルからの新規予定の作成など、他のアプリケーションとの連携

詳細は、こちらをご覧ください [メール \(p. 53\)](#)

アドレス帳

このアプリケーションでは、プライベート用の連絡先とビジネス用の連絡先を整理、管理できます。他に次のことができます。

- グローバル アドレス帳を利用した内部参加者との連絡のやり取り作成済みの個人用アドレス帳への連絡先の保存
- アドレス帳を利用した連絡先の整理特定のアドレス帳を共有してチームと共同作業
- ソーシャル ネットワークの連絡先の使用グループウェアを連絡先の集約先として利用
- vCard 形式での連絡先データの送信、またはアドレス帳を共有し外部パートナーと共同作業

詳細は、こちらをご覧ください [アドレス帳 \(p. 99\)](#)

カレンダー

このアプリケーションでは、プライベート用の予定とビジネス用の予定の概要を表示できます。他に次のことができます。

- 単一の予定や定期的な予定を設定して会議や各種活動をスケジューリング
- 予定表を使用した他予定の整理特定の予定表にアクセスできるチーム メンバの指定
- チーム ビュー機能を使用して参加者の空き時間を検索したり部屋や機材などのリソースの空き状況を確認
- 外部参加者との予定の作成時に iCal 機能を使用した招待の自動管理

詳細は、こちらをご覧ください [カレンダー \(p. 127\)](#)

タスク

このアプリケーションでは、自身の活動をスケジュールリング、整理できます。他に次のことができます。

- 終了日時を設定して仕事を整理、アラームを使用して期限になった仕事を通知
- 他のユーザへの仕事の割り振りを通じたチーム管理
- 仕事フォルダを使用した仕事の整理、特定の仕事にアクセスできるチーム メンバの指定
- 定期的な仕事の機能を使用して、定期的に発生する仕事を設定

詳細は、こちらをご覧ください[タスク \(p. 175\)](#)

ドライブ

このアプリケーションでは、ファイル ストアを使用して、情報の一元管理や他のユーザと共有ができます。他に次のことができます。

- ファイル、ノート、インターネット リンクの保存特定のドキュメント フォルダへの読み取りアクセスや書き込みアクセスを行う権限をチームに付与
- この機能では、単純なテキスト ファイルの作成と編集ができます。他に次のことができます。
- 個別のファイルを添付ファイルやリンクとして送信
- ドキュメント フォルダを共有することで外部のパートナーに情報を提供

詳細は、こちらをご覧ください[ドライブ \(p. 197\)](#)

フォルダと権限

フォルダとアクセス権限の設定は、他のユーザと情報をやりとりする上で重要な役割を果たします。グループウェアの各オブジェクトは個別のフォルダに保存されるため、次のようなフォルダや権限の管理をフォルダビュー上で容易にできます。

- 個人用フォルダを使用して、メール、連絡先、予定、仕事、インフォストア アイテムを分類
- 読み取りアクセス権限や書き込みアクセス権限で特定のフォルダを共有し、チームをサポート
- パブリック フォルダや共有フォルダでオブジェクトを共有し、他のユーザの情報を自身の仕事に利用

詳細は、こちらをご覧ください[データの整理と共有 \(p. 227\)](#)

2.2 サイン イン、サイン アウト

サイン インするには、サーバのアドレスと自身のユーザー名およびパスワードが必要です。これらの情報は、管理者やホスティング事業者から提供されます。

サーバにサイン インする

1. Web ブラウザを起動します。
2. アドレス バーにサーバのアドレスを入力します。ログイン ウィンドウが表示されます。
3. ユーザー名とパスワードを入力します。大文字と小文字は区別されるので注意してください。
4. ローカルに認証情報を保存するには、**サイン イン状態を保存** を有効にします。
警告: このオプションは、対象のマシンを使用するユーザがご自身以外にいない場合のみ使用してください。共有マシンにサイン インする場合は、このオプションを使用しないでください。
5. **サイン イン** をクリックします。
注: 誤ったユーザー名やパスワードを入力すると、エラー メッセージが表示されます。その場合、正しい情報を入力してください。
二要素認証を設定すると、追加ページが表示されます。このページに認証データを入力します。

サイン アウトする

1. メニューバーの右側の**サポート**アイコンをクリックします。**サインアウト**をクリックします。ログイン ウィンドウが表示されます。
構成によって、メニューバーの右側上に **サインアウト** アイコン があります。
2. 他のユーザに対象マシンへのアクセス権限が割り当てられている場合は、ブラウザを終了します。
警告: サイン アウトせずに Web ブラウザのタブを閉じると、サーバにサイン インしたままになります。この状態で他のユーザがサーバのアドレスを入力すると、お客様のユーザー名で自動的にサイン インが実行され、お客様のすべてのデータにアクセスが可能になります。
作業が終わったら、必ずサーバからサイン アウトしてください。
警告: ブラウザの起動中は、認証情報がシステム メモリに保存されたままになる場合があります。このような状態はセキュリティ上のリスクになる恐れがあるため、ブラウザを終了してシステム メモリから認証情報を消去してください。

2.3 パスワードの変更

注：構成によって、パスワードを変更する手順がここでの手順と異なる場合があります。この場合、管理者またはホスティング事業者にお問い合わせください。

パスワードを変更する：

1. メニューバーのアプリケーションランチャーアイコンをクリックします。アプリケーションランチャーのポータルをクリックします。
2. ユーザーデータウィジェットが表示されない場合、右側上のウィジェットを追加をクリックします。ユーザーデータをクリックします。
マイ パスワード をクリックします。これは、ユーザーデータ ウィジェットにあります。
3. パスワードの変更

ユーザ インターフェース

[ユーザーデータウィジェット \(p. 48\)](#)

2.4 ユーザ インターフェース

次の写真はユーザーインターフェースの簡易描写です。写真はユーザーインターフェースの1つの構成の場所を表示するためのものです。

ユーザーインターフェースは、次のアイテムから構成されます。

- メニュー バー (p. 23)
- アプリケーションランチャー (p. 24)
- 検索バー (p. 25)
- フォルダビュー (p. 27)
- ツールバー (p. 26)
- 表示エリア (p. 28)
- ポップアップ (p. 29)
- 通知エリア (p. 30)
- 編集ウィンドウ (p. 31)

2.4.1 メニュー バー



コンテンツ

- 構成によって、よく使われるアプリケーションの起動用クイック起動アイコンコンテキストメニューでクイック起動アイコンを表示するアプリケーションを指定できます。
- **アプリケーションランチャー** アイコン 。アプリケーションの起動アイコンでメニューが表示されます。
- **通知** アイコン 。新規の通知を受け取ると、アイコンが表示されます。新規の予定への招待など、新規通知の数をアイコンで通知します。アイコンをクリックすると、通知エリアが表示されます。
- **最新の状態に更新** アイコン 。サーバからオブジェクトを再読み込みします。このアイコンをクリックしない場合でも、オブジェクトは定期的に更新されます。
- **ヘルプ** アイコン 。ヘルプページに関するコンテキストが表示されます。現在のアプリケーションによって、オンラインヘルプのそれぞれのヘルプページが表示されます。サポートメニューからオンラインヘルプを表示することもできます。
ヒント: ウィンドウにもヘルプアイコンがある場合があります。アイコンをクリックすると、ウィンドウの各ヘルプが表示されます。
- **設定** アイコン 。設定をカスタマイズできるページが表示されます。
- **サポート** アイコン 。プロフィール写真をアイコンに使用します。クリックすると、複数の機能付きのメニューが表示されます。
 - **マイ連絡先データ** グローバル アドレス帳にある自身の連絡先データを編集できるウィンドウを開きます。
 - **ヘルプ** オンラインヘルプが表示されます。
 - **サインアウト** グループウェアからサインアウトします。

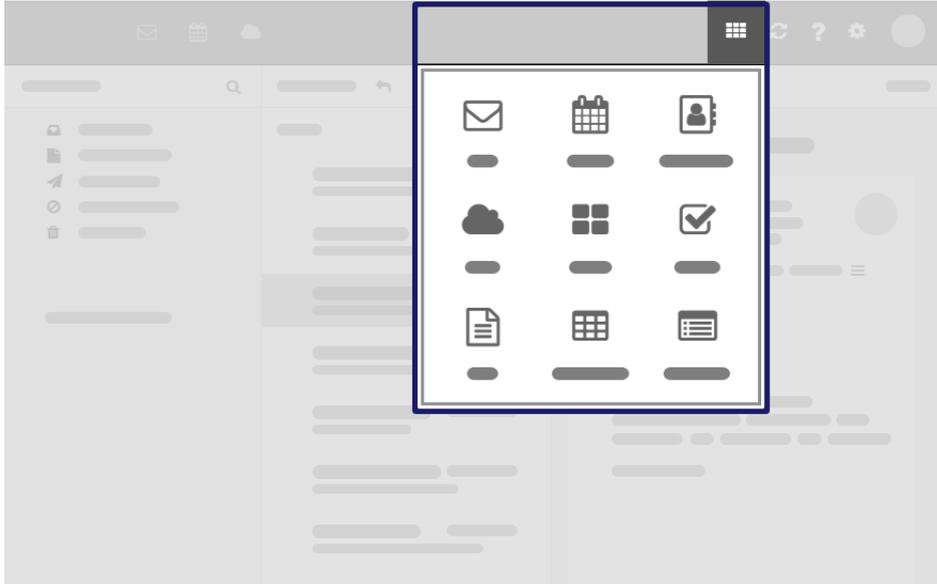
構成によって、さらに項目がメニューに表示されます。

関連トピック

[アプリケーションランチャー \(p. 24\)](#)

[通知エリア \(p. 30\)](#)

2.4.2 アプリケーションランチャー

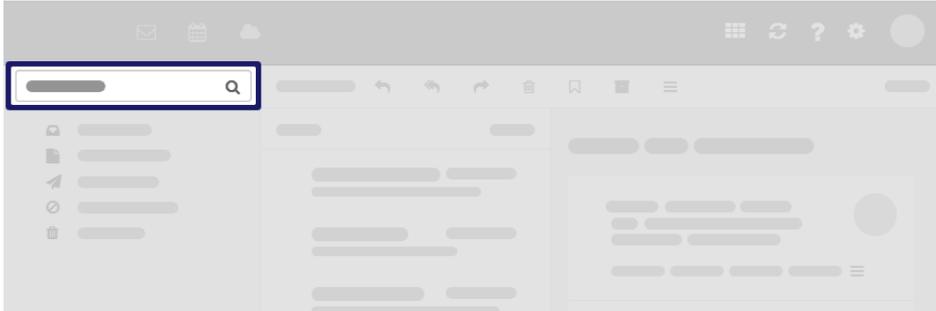


アプリケーションを起動するためのタイルがあります。構成によって、タイルの数が異なります。

関連トピック

[メニュー バー \(p. 23\)](#)

2.4.3 検索バー



検索バーを表示するには、ツールバーで**ビュー**をクリックします。**フォルダビュー** を有効にします。

コンテンツ

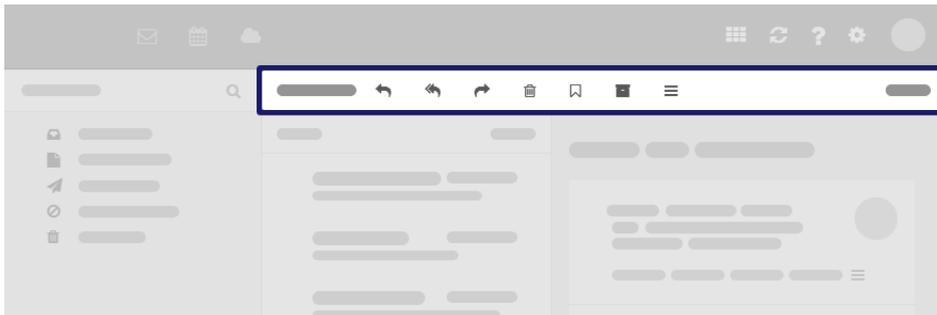
- 検索用語の入力フィールド
入力フィールドをクリックするとすぐに、追加アイコンが表示されます。
- **オプションアイコン** ▼。検索を変更するアプリケーションの特定パラメータのついたメニューが表示されます。
アプリケーションによっては、検索を変更する追加のドロップダウンメニューが使用できます。
- **閉じるアイコン** ✕。検索を終了します。
- **オンラインヘルプアイコン** ⓘ。コンテキスト依存のヘルプが表示されます。

検索結果は表示エリアに表示されます。

関連トピック

- メール検索バー (p. 55)
- アドレス帳検索バー (p. 101)
- カレンダー検索バー (p. 129)
- タスク検索バー (p. 177)
- ドライブ検索バー (p. 199)

2.4.4 ツールバー



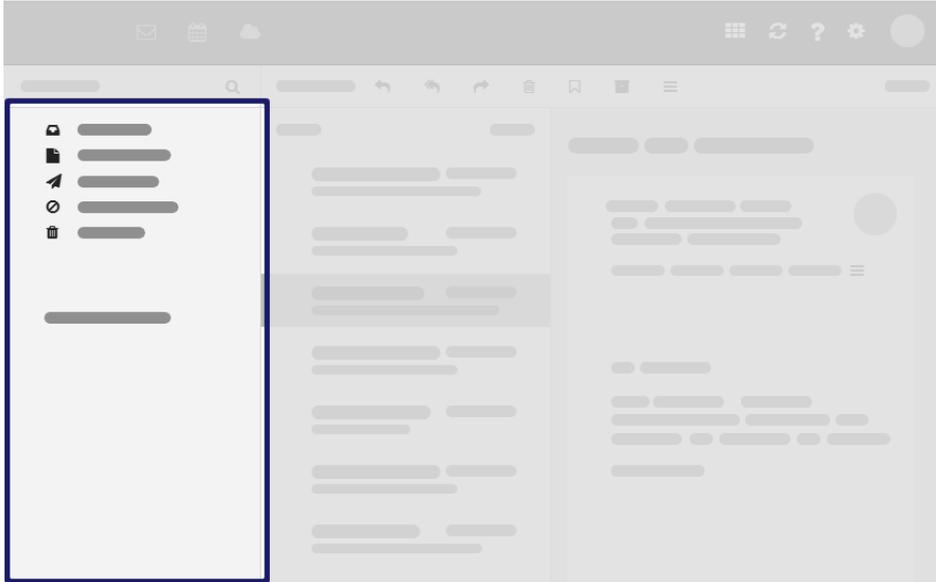
コンテンツ

- 新規のメールや連絡先など、新規オブジェクトを作成するためのボタン。
- オブジェクトを編集するためのボタンまたはアイコン。
- アプリケーションによっては、そのアプリケーション固有のボタンまたはアイコンが使用できます。
- **アクションアイコン** ≡ オブジェクトを整理するためのアプリケーション固有の機能が表示されます。
- **ビュー** ボタンビュー ボタンには、表示エリア のレイアウトを変更するための機能とフォルダビューを表示したり、非表示にするための機能があります。

関連トピック

- メールツールバー (p. 56)
- アドレス帳ツールバー (p. 102)
- カレンダーツールバー (p. 130)
- タスクツールバー (p. 177)
- ドライブツールバー (p. 200)

2.4.5 フォルダビュー



フォルダビューを開いたり、閉じたりするには、次のいずれかの方法を使用してください：

- ツールバーで、**ビュー**をクリックします。**フォルダビュー**を有効にするか無効にします。
- 左下にある**フォルダビューを開くアイコン**》または**フォルダビューを閉じるアイコン**《をクリックします。

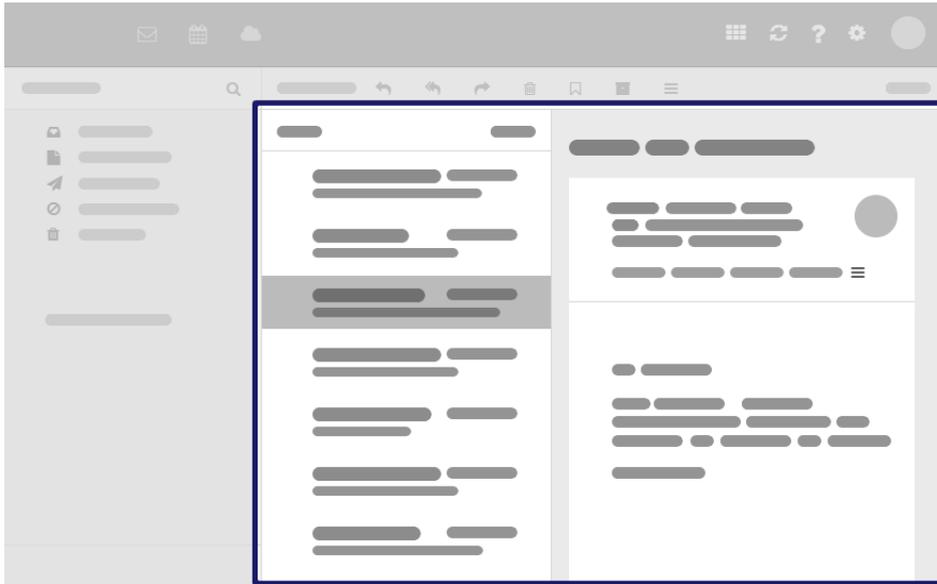
コンテンツ

- アプリケーションに固有のフォルダ
フォルダは次のアプリケーションでは異なる名前と呼ばれます。
 - アドレス帳 アプリケーションではフォルダはアドレス帳と呼ばれます。
 - カレンダーアプリケーションではフォルダは予定表と呼ばれます。
- アプリケーションに応じて表示される個人用フォルダ、パブリック フォルダ、共有フォルダ
注：構成によって、パブリックフォルダや共有フォルダがない場合はこれらのセクションが表示されないことがあります。
- 選択したフォルダの隣にある**フォルダ固有アクション** アイコン。フォルダの管理 を行うための機能を提供します。フォルダに応じて、さらに機能を使用できる場合があります。**コンテキストメニュー**も使用できます。
- アプリケーションに応じて、さらに詳細な機能を使用できます。

関連トピック

- メールフォルダビュー (p. 57)
- アドレス帳フォルダビュー (p. 103)
- カレンダーフォルダビュー (p. 132)
- タスクフォルダビュー (p. 178)
- ドライブフォルダビュー (p. 201)

2.4.6 表示エリア



コンテンツ

- オブジェクトの一覧一覧の上には、オブジェクトの選択やソートを行うためのコントロールが表示されます。一覧で選択したオブジェクトの詳細は、詳細ビューで表示されます。
- アプリケーションによっては、オブジェクトはアイコンとして表示される場合があります。オブジェクトをクリックすると、ポップアップウィンドウが開きます。オブジェクトの詳細がポップアップで表示されます。

表示エリアのビューを変更するには、ツールバーの**ビュー**をクリックします。

関連トピック

- メール表示エリア (p. 58)
- アドレス帳表示エリア (p. 103)
- カレンダー表示エリア (p. 132)
- タスク表示エリア (p. 178)
- ドライブ表示エリア (p. 203)

2.4.7 ポップアップ



オブジェクトの詳細を表示します。ポップアップを表示するには、表示エリアに表示された、グループウェアのオブジェクトをクリックします。表示エリアに表示されているメールの差出人名をクリックすると、次の要素がポップアップで表示されます。

- 差出人の連絡先データをフォルダへコピーするなど、特定の操作に関するボタン
- 差出人の連絡先データ
- 関連情報（例：この差出人とやりとりした共有予定やメールのスレッド）
- ソーシャルネットワークのこの人からの情報この差出人のプロファイルを開くボタンが表示されます。

これらのユーザ関連データは、ハロー ビュー と呼ばれます。ポップアップの特定のオブジェクトをクリックすると、さらにポップアップが表示されます。ポップアップを閉じるには、画面右上部にある **閉じる** をクリックします **X**。

関連トピック

[メールポップアップ \(p. 61\)](#)

[ハロー ビューで連絡先を表示 \(p. 109\)](#)

[カレンダーポップアップ \(p. 135\)](#)

2.4.8 通知エリア



次のイベントに関する通知が表示されます：

- 新規予定への招待
- 予定された予定または仕事のアラーム

次のアクションで通知エリアが表示されます。

- メニューバーで、**通知 アイコン 1** をクリックします。新規の通知を受け取ると、アイコンが表示されます。
- 設定によっては、新規通知がある場合、通知エリアが自動で開きます。

コンテンツ

- **閉じるアイコン X**。通知エリアが再度開くと、通知が再度表示されます。
- **後で再通知**通知が後で再表示されます。
- 予定または仕事の招待には、次の要素が含まれます。
 - **削除アイコン X**。招待を削除します。
 - **予定の招待**：**予定表で表示**ボタンで予定の提案を表示します。
 - **承諾/辞退**ボタンで予定または仕事の承諾または辞退のための**確認ステータスの変更**ウィンドウを表示します。
 - **承諾**ボタンで予定または仕事を承諾します。
- 予定または仕事のアラームには次の要素が含まれます。
 - **削除アイコン X**、**OK**ボタンアラームを削除します。
 - アラームをクリックするとポップアップに詳細が表示されます。
 - **再通知**予定または仕事の**新規アラーム**設定用のメニューを表示します。
 - 期限の過ぎた仕事のアラーム：**完了**ボタンをクリックすると、仕事が完了に変わります。
- 複数のアラームがある場合：**すべてのアラームを削除**ボタンをクリックすると、すべてのアラームが削除され、通知エリアが閉じます。

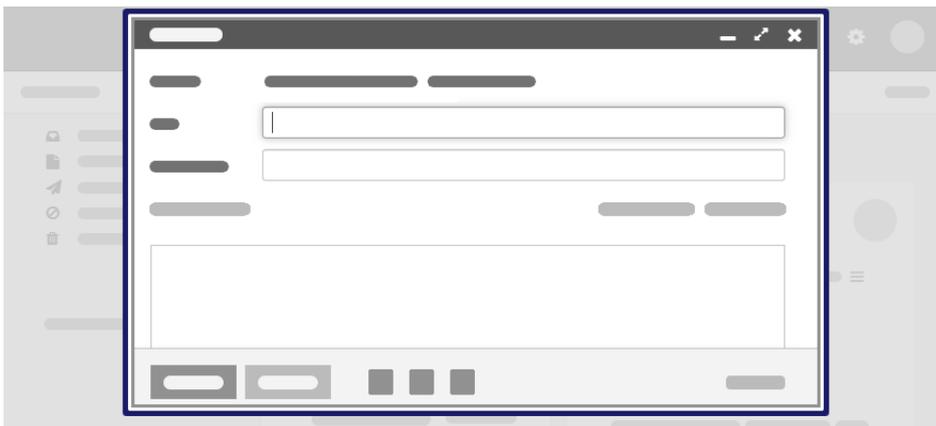
アクション

- [通知を受け取る \(p. 41\)](#)
- [予定への招待の回答 \(p. 155\)](#)
- [仕事への招待の回答 \(p. 186\)](#)

関連トピック

- [メニュー バー \(p. 23\)](#)
- [基本設定のカスタマイズ \(p. 38\)](#)

2.4.9 編集ウィンドウ



次のアクションで編集ウィンドウが表示されます。

- オブジェクトを作成および編集
- 個人用の連絡先データを編集
- 単純なテキスト ファイルの作成と編集

コンテンツ

- タイトルバーには、次の要素が表示されます。
 - ウィンドウタイトル
 - ウィンドウ位置の設定アイコン
 - 最小化アイコン 。編集ウィンドウを下部にアイコンとして表示します。
 - 最大化アイコン 。最大サイズで編集ウィンドウが表示されます。アイコンをクリックすると、元のサイズに復元されます。タイトルバーを再度ダブルクリックしてもウィンドウサイズを切り替えることができます。
 - 閉じるアイコン 。現在のアクションをキャンセルします。書式ウィンドウを閉じます。
- アプリケーションまたは機能によって、さまざまなボタン、アイコン、あるいは入力フィールドが利用できます。
- 構成によって、閉じるボタン、またはキャンセルボタンがある機能バーが画面の上または下に表示されます。アプリケーションまたは機能によっては、機能バーに追加のボタンまたはアイコンが表示されます。

プロパティ

- 編集ウィンドウのタイトルバーをクリックして、移動させたい位置に編集ウィンドウをドラッグして移動することができます。
- 編集ウィンドウが表示している間に追加の機能を有効にできます。
- 複数の編集ウィンドウを開くことができます。
- 最小化された編集ウィンドウが下部にアイコンとして表示されます。編集ウィンドウを復元するには、アイコンをクリックしてください。

関連トピック

- メール編集ウィンドウ (p. 62)
- 連絡先編集ウィンドウ (p. 105)
- 連絡先グループ編集ウィンドウ (p. 106)
- 予定編集ウィンドウ (p. 138)
- 仕事編集ウィンドウ (p. 181)
- 個人用の連絡先データの変更 (p. 40)
- テキストファイルの作成または編集 (p. 213)

2.5 キーボード入力

キーショートカットを使用してどのようにグループウェアを動作するかを学ぶ

- 指定済キーおよびキーの組み合わせリスト
- グループウェアの操作にキーボードを使用
- キーボード入力の例

2.5.1 キーおよびキーの組み合わせ

次のキーの組み合わせは指定されています。システムによって、もう少しキーの組み合わせが前以て設定されていることがあります。そういったキーの組み合わせは正式にサポートされていません。

Windows および Linuxシステム
では[Ctrl]+[F6]、macOS シス
テムでは[F6] メニューバー、フォルダビュー、サイドバー、表示エリア間のスイッ
チ

[a]	選択したメールを アーカイブ フォルダに移動します。
[Ctrl]+[a]	リストの全てのオブジェクトを選択します。
[Del]、[Backspace]	選択したオブジェクトを削除します。
[End]	カーソルを入力フィールドの行の最後に移動します。
[Enter]	選択した機能を実行します。
[Esc]	ポップアップを閉じます。ウィンドウをキャンセルします。
[Home]	カーソルを入力フィールドの行の最初に移動します。
[Page up]、[page down]	フォルダビューまたはサイドバーを検索します。 予定表ビューまたは日付ピッカーを検索します。
[Space]	選択したチェックボックスを有効または無効にします。
[Tab]、[Shift]+[Tab]	機能、入力フィールド、またはチェックボックスを選択します。
上下矢印	アプリケーションランチャーでアプリケーションを選択します。 フォルダビュー、サイドバー、または表示エリアの項目を選択します。 予定表ビューまたは日付ピッカー内でカーソルを移動します。 フォルダビューのフォルダを開く、または閉じます。 メニュー項目を選択します。
下向き矢印	メニューを表示します。
左右矢印	カーソルを入力フィールド内で移動します。 予定表ビューまたは日付ピッカー内でカーソルを移動します。 フォルダビューのフォルダを開く、または閉じます。 ツールバーの機能を選択します。

2.5.2 キーボードでユーザインターフェースを操作

マウスの代わりにキーボードのキーを使用できます。例えば、次のキーを使用しても操作できます。

- フォルダビュー、サイドバー、表示エリアを切り替えるには、Windows および Linuxシステムでは [Ctrl] + [F6] キーを使用します。macOSシステムでは [F6] キーを使用します。
- アプリケーションランチャーでアプリケーションを選択するには、[Down arrow]または[Up Arrow]を使用します。
- 特定の機能、入力フィールド、チェックボックスを選択するには、[Tab] を使用します。この場合、選択した要素は強調表示されます。
要素を逆から選択するには、[Shift] + [Tab] を使用します。
- 選択した機能を実行するには、[Enter] を使用します。
- 選択したチェックボックスをオンまたはオフするには、[Space bar]を使用します。
- チェックボックスを切り替えるには、カーソル キーを使用します。
- 入力フィールド内でカーソルを移動するには、カーソル キー、[Home]、[End] を使用します。
- フォルダビューやサイドバーを参照するには、[Page up] や [page down] を使用します。
- フォルダビューで、フォルダを開いたり、閉じたりするには、左方向キーまたは右方向キーを使用します。
- フォルダビュー、ツールバー、サイドバー、表示エリアの要素を選択するには、カーソルキーを使用します。
- ポップアップを閉じる、またはウィンドウをキャンセルするには、[Esc]を押します。
- 選択したメール、フォルダやファイルを削除するには、[Del] または [Backspace] を押します。
- メールをアーカイブフォルダに移動するには、[a]を使用します。
- リストの全てのオブジェクトを選択するには、[ctrl]+[a]を押します。

2.5.3 大文字を使用

キーボードを使用して操作するには、次のリンクを参照してください。

- キーボードを使用して新規メールを送信する：
- キーボードを使用してメールに返信する：

キーボードを使用して新規メールを送信する：

1. メール アプリケーションが起動していない場合、次の手順に従います。
 - サポートアイコンがメニューバー右側に強調表示されるまで、Mac OSシステムの[Ctrl]+[F6]または[F6]を繰り返し押します。
 - [Left arrow] キーを使用してアプリケーションランチャーアイコンに移動します。[Enter]を押して、アプリケーションランチャーを開きます。
 - [Down arrow]キーを使用してメールアイコンに移動します。[Enter]を押します。メールアプリケーションを起動します。
2. ツールバーの作成 ボタンが強調表示されるまで [Tab] キーを繰り返し押します。[Enter] キーを押します。作成ウィンドウを表示します。入力フィールドで受取人を有効にします。
3. 受取人のメール アドレスを入力し、[Enter] キーを押します。
4. 件名入力フィールドが強調表示されるまで [Tab] を繰り返し押します。件名を入力します。[Enter] キーを押します。メール本文の入力フィールドを有効にします。
5. メールの本文を入力します。
6. メールを送信するには、[Tab] キーを押します。送信ボタンを強調表示します。[Enter] キーを押します。メールが送信されます。
7. ファイルを添付するには、添付ファイルボタンが強調表示されるまで [Tab] または [Shift]+[Tab] を繰り返し押します。[Enter] キーを押します。ローカルファイルを追加を選択します。
ファイルを選択するためのダイアログ フィールドが表示されます。システムによっては、ファイルの選択やシステム ダイアログを閉じるのに [Tab]、[Enter]、カーソル キーを使用します。
送信ボタンが強調表示されるまで [Tab] を繰り返し押します。[Enter] キーを押します。メールが送信されます。

キーボードを使用してメールに返信する：

1. メール アプリケーションが起動していない場合、次の手順に従います。
 - サポートアイコンがメニューバー右側に強調表示されるまで、Mac OSシステムの[Ctrl]+[F6]または[F6]を繰り返し押します。
 - [Left arrow] キーを使用してアプリケーションランチャーアイコンに移動します。[Enter]を押して、アプリケーションランチャーを開きます。
 - [Down arrow]キーを使用してメールアイコンに移動します。[Enter]を押します。メールアプリケーションを起動します。
2. フォルダービューのフォルダーが強調表示されるまで、Mac OSシステムの[Tab]、または[Ctrl]+[F6]、または [F6]を繰り返し押します。カーソル キーで、目的のフォルダを選択します。サブフォルダを表示または非表示にするには、[Right arrow]または[Left arrow]を使用します。
3. 使用したいフォルダを強調表示にするには、[Enter]を押します。一覧でフォルダの最初のメールが強調表示されます。
4. カーソル キーで、目的のメールを選択します。
5. メールに返信するには、返信または全員に返信機能が強調表示されるまで、[Tab] または [Shift]+[Tab] を繰り返し押します。[Enter] を押し、この機能を実行します。
ツールバーの作成 ボタンが強調表示されるまで[Shift]+[Tab] キーを繰り返し押します。カーソルキーを使って差出人に返信アイコンまたは全員に返信アイコンを参照します。[Enter] キーを押します。

3 基本設定

次のようなオプションの機能があります。

- 基本設定のカスタマイズ (p. 38)
- 地域設定の変更 (p. 39)
- 個人用の連絡先データの変更 (p. 40)
- 通知を受け取る (p. 41)
- ローカルアプリケーションの手動インストール (p. 43)
- ローカルアプリケーションをウィザードを使用して設定する (p. 44)

3.1 基本設定のカスタマイズ

基本設定をカスタマイズする：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーで、**基本設定** をクリックします。

次の設定が利用できます。

- **言語**
このプルダウン メニューを使用すると、ユーザ インターフェースの言語を指定できます。
- **地域**
既定の地域設定は、選択された言語によって異なります。必要に応じて地域設定を調整できます。
- **タイムゾーン**
このプルダウン メニューを使用すると、時間に関するすべての項目が参照するタイム ゾーンを指定できます。
- **デザイン**
このプルダウン メニューを使用すると、ユーザ インターフェースの配色を指定できます。
- **更新間隔**
このプルダウン メニューを使用すると、サーバから新規オブジェクトを取得する間隔を指定できます。
- **サインイン後に表示する既定のアプリケーション**
このプルダウン メニューを使用すると、ログイン後に表示するアプリケーションを指定できます。
- **自動サインアウト**
このプルダウン メニューを使用すると、グループウェアを一定時間使用しない場合に強制的にサインアウトするかどうかを指定できます。
- **通知エリアを自動的に表示**
新規通知やメールを受け取ると、自動的に通知エリアを表示するかどうかを指定できます。
- **デスクトップ通知を表示**
新規メールのデスクトップ通知があるかどうかを指定します。ブラウザの設定によって、**今ブラウザの権限を管理する**ボタンが表示されます。ボタンをクリックすると、通知を可能にするブラウザに固有のダイアログが表示されます。
- **クイック起動を構成**
メニューバーでクイック起動アイコンを表示するアプリケーションを指定できるウィンドウを開きます。構成によって、異なるクイック起動アイコン数を設定できます。クイック起動アイコンのコンテキストメニューからウィンドウを開くこともできます。
- **マイ連絡先データ**
グローバル アドレス帳にある自身の個人データを変更するには、このボタンをクリックしてください。
- **パスワードを変更**
このボタンを使用すると、ご利用のパスワードを変更できます。

同等アクション

- [地域設定の変更 \(p. 39\)](#)
- [個人用の連絡先データの変更 \(p. 40\)](#)
- [通知を受け取る \(p. 41\)](#)
- [ローカルアプリケーションの手動インストール \(p. 43\)](#)
- [ローカルアプリケーションをウィザードを使用して設定する \(p. 44\)](#)

関連トピック

- [通知エリア \(p. 30\)](#)

3.2 地域設定の変更

地域設定で、言語設定、データフォーマット設定、基本カレンダー設定を設定します。

- 時間フォーマット
- 日付フォーマット:
- 表示形式
- 週の最初の日
- 年の最初の週

次のようなオプションの機能があります。

- 地域設定の選択
- 地域設定のカスタマイズ

地域設定の変更方法：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーで、**基本設定** をクリックします。
表示エリアの**詳細地域設定**をクリックします。*地域設定*ウィンドウが開きます。
3. 設定を変更します。
変更を取り消すには、**リセット**をクリックします。

同等アクション

- [基本設定のカスタマイズ \(p. 38\)](#)
- [個人用の連絡先データの変更 \(p. 40\)](#)

3.3 個人用の連絡先データの変更

次のようなオプションの機能があります。

- 個人用の連絡先データを変更する
- 既存の写真をアップロードするか、デバイスカメラで新規写真を撮影して、連絡先の写真を作成する

個人用の連絡先データを変更する：

1. メニューバーの右側のサポートアイコンをクリックします。マイ連絡先データをクリックしてください。

基本設定またはアドレス帳設定のMy連絡先データをクリックすることもできます。

2. データを変更します。保存をクリックします。

ヒント: ユーザデータウィジェットを使用しても、個人用の連絡先データを変更できます。このウィジェットは、ポータルアプリケーションにあります。

連絡先の写真を作成する：

1. メニューバーの右側のサポートアイコンをクリックします。マイ連絡先データをクリックしてください。

基本設定またはアドレス帳設定のMy連絡先データをクリックすることもできます。

2. 空の連絡先の写真をクリックします。画像を編集ウィンドウが開きます。
 - 既存の画像をアップロードするか、デバイスカメラで新規写真を撮影することができます。
 - ズームで画像セクションを調整したり、写真を移動したり、回転したりできます。

OKをクリックします。

3. 保存をクリックします。写真が挿入されます。
クリックして、写真を編集します。

ユーザ インターフェース

[編集ウィンドウ \(p. 31\)](#)

[アドレス帳フォルダービュー \(p. 103\)](#)

[ユーザデータウィジェット \(p. 48\)](#)

同等アクション

[基本設定のカスタマイズ \(p. 38\)](#)

[地域設定の変更 \(p. 39\)](#)

3.4 通知を受け取る

グループウェアを構成して、次のイベントに関する通知を受け取ることができます。

- 新規メール
- 新規予定への招待
- 予定のアラーム
- 締め切り前の仕事
- 終了日時を過ぎた仕事

通知によって、さまざまなアクションがあります。

- 新規メール受信時にデスクトップ通知を受け取ります。
- 他のすべてのイベントでは、通知エリアに通知があります。

新規メールの受信に関してデスクトップ通知を有効にする：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーで、**基本設定** をクリックします。
3. 通知エリアの**デスクトップ通知**を表示を有効にします。

ブラウザの設定によって、**今ブラウザの権限を管理する**ボタンが表示されます。ボタンをクリックします。ブラウザが通知を受信するかどうかを聞きます。この権限を付与します。

注：ブラウザによっては、上記の設定を有効にするためにブラウザ設定で通知を受け取れるようにしなければならない可能性があります。これに関する情報については、ブラウザのヘルプページを参照ください。

新規イベントについての通知について通知エリアを使用する：

1. 通知を受信するとすぐに、**通知アイコン**が新規の通知数を表示します。通知エリアを開くには、アイコンをクリックしてください。
新規通知の受信時に自動で通知エリアが表示されるようにするには、次をご覧ください。
 - a. メニューバーの右側の**設定アイコン**をクリックします。
 - b. サイドバーで、**基本設定** をクリックします。
表示エリアの**通知エリアを自動的に表示**を有効にします。
2. ここでは、次の機能が利用できます。
 - 通知エリアを閉じるには、**閉じるアイコン**をクリックします。通知は非表示になります。通知を再度表示するには、メニューバーの**通知アイコン**をクリックします。
 - もう一度通知を受信するには、**後で再通知**をクリックします。通知エリアが閉じています。
 - 通知の詳細を表示するには、**通知タイトル**をクリックします。
 - 予定表に予定への招待を表示するには、**予定用に表示**をクリックします。
 - 招待を承諾、または拒否するには、それぞれのボタンをクリックします。
 - 特定のアラームが必要な場合は、**後で再通知**で値を選択します。**OK** をクリックします。通知エリアが閉じています。
 - 期限を過ぎた仕事を完了として印をつけるには、それぞれのボタンをクリックします。
 - アラームを削除するには、アラームの隣の**OK**をクリックします。アラームの隣にある**削除アイコン**をクリックすることもできます。
 - 複数のアラームがある間合い：すべてのアラームを削除するには、下にある**すべてのアラームを削除**ボタンをクリックします。

ユーザ インターフェース

[通知エリア \(p. 30\)](#)

同等アクション

[基本設定のカスタマイズ \(p. 38\)](#)

関連トピック

[メールの受信設定 \(p. 96\)](#)

3.5 ローカルアプリケーションの手動インストール

MS Windows、macOS、iOS、Android 用のドライブの各ローカルアプリケーションを手動でインストールすることができます。ローカルドライブクライアントは、ドライブアプリケーション データとローカルのワークステーションまたはモバイル デバイスを同期します。

注：構成によって、これらの機能が使用できない場合があります。この場合、ウィザードを使用して設定アプリケーションを使用できます。

ワークステーションまたはモバイル デバイスにドライブアプリケーションをインストールする：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーで、**ダウンロード** をクリックします。
表示エリアでそれぞれのアイコンをクリックします。指示に従って、アプリケーションをインストールしてください。

同等アクション

- ローカルアプリケーションをウィザードを使用して設定する (p. 44)
- 基本設定のカスタマイズ (p. 38)

3.6 ローカルアプリケーションをウィザードを使用して設定する

モバイル デバイスおよびワークステーションの適切なアプリケーションおよびクライアントを使用して、メールまたはグループウェアにアクセスすることもできます。グループウェアのウィザードを使用して、そのアプリケーションおよびクライアントをインストールおよび設定できます。ウィザードには次の機能があります。

- PCやタブレット、スマートフォンなどのデバイスにアプリケーションおよびクライアントをインストールおよび設定対象デバイスはWindows, AppleおよびAndroidです。
- Windowsシステムにメールクライアントをインストールするクライアントはメール、予定、仕事および連絡先をローカルで利用できます。
- デスクトップおよびモバイル デバイス用ローカルDriveアプリケーションをインストールするこのアプリケーションはデバイスの各アプリケーションストアからダウンロードおよびインストールします。ローカルドライブクライアントは、ドライブアプリケーション データとローカルのワークステーションまたはモバイル デバイスを同期します。
- デバイスによって、メールまたはSMSで設定が可能な場合があります。上級ユーザは手動設定で構成データを表示できます。

注：構成によって、ウィザードが利用できないことがあります。この場合、クライアントおよびアプリケーションを手動でインストールできます。

ウィザードの使用方法：

1. メニューバーの右側のサポートアイコンをクリックします。ご利用のデバイスを接続をクリックします。ウィザードが起動します。
2. ご利用のシステムと必要なデバイスを選択します。画面の指示に従います。

同等アクション

[ローカルアプリケーションの手動インストール \(p. 43\)](#)

[基本設定のカスタマイズ \(p. 38\)](#)

4 ポータル

ポータルアプリケーションの使用方法を学びます。

- ポータル構成 (p. 46)
- ポータルをカスタムする (p. 49)
- ポータルの設定 (p. 52)

ポータルアプリケーションを起動する

メニューバーのアプリケーションランチャーアイコンをクリックします。アプリケーションランチャーの **ポータル** をクリックします。

4.1 ポータル構成

ポータルには次の構成があります。

- サインインユーザ: (p. 47)
- このページをカスタマイズボタン (p. 47)
- ウィジェットを追加ボタン (p. 47)
- 予定ウィジェット (p. 47)
- 受信トレイウィジェット (p. 47)
- 仕事ウィジェット (p. 47)
- 最近変更されたファイルウィジェット (p. 47)
- ユーザデータウィジェット (p. 48)
- 割当量ウィジェット (p. 48)
- ニュースウィジェット (p. 48)
- ソーシャルネットワークのニュースを表示するウィジェット (p. 48)
- Driveアプリケーションに関する情報を表示するウィジェット (p. 48)

構成によって、ポータルの画面構成は本ガイドで説明されているものと異なる場合があります。

4.1.1 サインインユーザ:

サインインしたユーザー名が表示されます。

4.1.2 このページをカスタマイズボタン

ポータルをカスタマイズするためのページが表示されます。

アクション

[ポータルをカスタムする \(p. 49\)](#)

4.1.3 ウィジェットを追加ボタン

このボタンをクリックすると、メニューが開き、新規のウィジェットを追加できます。

アクション

[ポータルウィジェットの追加 \(p. 50\)](#)

4.1.4 予定ウィジェット

このウィジェットには、ユーザの直近の予定が表示されます。ここでは、次の機能が利用できます。

- 予定をクリックすると、ポップアップが開きます。ポップアップに予定のデータが表示されます。
- 参加者をクリックして、詳細情報をポップアップで表示
- ポップアップを閉じるには、画面右上部にある **閉じる** をクリックします。

4.1.5 受信トレイウィジェット

新規メールが表示されます。ここでは、次の機能が利用できます。

- メールをクリックすると、ポップアップが開きます。ポップアップにメールの内容が表示されます。
- ポップアップ内にあるボタンをクリックして、メールを削除、返信、転送
- 右上部にある**閉じる**をクリックして、ポップアップを閉じる

4.1.6 仕事ウィジェット

このウィジェットには、未完了の仕事が表示されます。ここでは、次の機能が利用できます。

- 仕事をクリックすると、ポップアップが開きます。ポップアップに予定のデータが表示されます。
- ポップアップを閉じるには、画面右上部にある **閉じる** をクリックします。

4.1.7 最近変更されたファイルウィジェット

新規または変更ファイルが表示されます。

4.1.8 ユーザデータウィジェット

このウィジェットには、次の機能へのリンクが表示されます。

- 個人用の連絡先データの変更
- パスワードの変更

アクション

[個人用の連絡先データの変更 \(p. 40\)](#)

[パスワードの変更 \(p. 21\)](#)

4.1.9 割当量ウィジェット

ご利用のアカウントで使用している、サーバ上の現在の割当量が表示されます。

4.1.10 ニュースウィジェット

このウィジェットには、次のようなさまざまなメッセージソースから配信された最新のメッセージが表示されます。

- RSS フィードのメッセージ
- Flickr や Tumblr などの Web ページの写真

メッセージ ソースや RSS フィードを登録するには、新規ウィジェットを ポータルに追加します。RSS フィードの設定やメッセージ ソースは後で 変更 できます。

4.1.11 ソーシャルネットワークのニュースを表示するウィジェット

ソーシャルネットワークからの現在の情報を表示します。

- ソーシャルネットワークからの最新のメッセージがウィジェットで表示されます。
- 内容をクリックすると、詳細と連絡先のプロフィールへのリンクがポップアップで表示されます。
- ソーシャルネットワークの種類によって、メッセージの投稿や作成などの固有の機能が表示される場合があります。

ソーシャル ネットワークのニュースを表示するには、新規ウィジェットを ポータルに追加します。後で、設定を 変更 することもできます。

4.1.12 Driveアプリケーションに関する情報を表示するウィジェット

構成によって、ローカルDriveアプリケーションのインストールに関する情報をウィジェットに表示できません。詳細は、ドライブアプリケーションユーザガイドを参照してください。

4.2 ポータルをカスタムする

次のようなオプションの機能があります。

- [ウィジェットの順序の変更 \(p. 50\)](#)
- [ポータルウィジェットの削除 \(p. 50\)](#)
- [ポータルウィジェットの追加 \(p. 50\)](#)
- [ソーシャルネットワークのポータルウィジェットの追加 \(p. 51\)](#)
- [Xingアカウントの作成 \(p. 51\)](#)

注: 構成によって、一部のウィジェットが変更できない場合があります。

ユーザ インターフェース [このページをカスタマイズボタン \(p. 47\)](#)

4.2.1 ウィジェットの順序の変更

ウィジェットの順序を変更できます。

ウィジェットの順序を変更する：

1. ウィジェットを別の場所までドラッグします。
2. ウィジェットを新しい場所にドロップします。

同等アクション

- ポータルウィジェットの削除 (p. 50)
- ポータルウィジェットの追加 (p. 50)
- ソーシャルネットワークのポータルウィジェットの追加 (p. 51)
- Xingアカウントの作成 (p. 51)
- ポータルの設定 (p. 52)

4.2.2 ポータルウィジェットの削除

ウィジェットを閉じると、ポータルからウィジェットを削除できます。

ウィジェットを削除する：

ウィジェットで、閉じるアイコン✕をクリックします。

同等アクション

- ポータルウィジェットの追加 (p. 50)
- ウィジェットの順序の変更 (p. 50)
- ソーシャルネットワークのポータルウィジェットの追加 (p. 51)
- Xingアカウントの作成 (p. 51)
- ポータルの設定 (p. 52)

4.2.3 ポータルウィジェットの追加

新規のウィジェットを追加して、既存のウィジェットを拡張できます。

新規のポータルウィジェットを追加する：

1. 次のいずれかの方法を使用します。
 - メニューバーの右側の設定アイコン⚙️をクリックします。サイドバーで、ポータルをクリックします。ウィジェットを追加 をクリックします。目的の値を選択します。
 - ポータル アプリケーションの右上側にあるウィジェットを追加をクリックします。目的の値を選択します。
2. データの入力が別途必要になるウィジェットもあります。この場合、必要な値を入力し、保存をクリックします。

ユーザ インターフェース

[ウィジェットを追加ボタン](#) (p. 47)

同等アクション

- ポータルウィジェットの削除 (p. 50)
- ウィジェットの順序の変更 (p. 50)
- ソーシャルネットワークのポータルウィジェットの追加 (p. 51)
- Xingアカウントの作成 (p. 51)
- ポータルの設定 (p. 52)

[ポータルへのメールの追加 \(p. 82\)](#)
[ポータルへのファイルの追加 \(p. 218\)](#)

4.2.4 ソーシャルネットワークのポータルウィジェットの追加

ご利用のソーシャル ネットワークの情報や機能にアクセスするには、ソーシャル ネットワークのウィ
ジェットの追加を行います。

ソーシャルネットワークにアクセスするためのウィジェットを追加する：

1. ポータル アプリケーションの右上側にある**ウィジェットを追加**をクリックします。項目のいずれか1つ
を選択しますウィジェットが追加されます。
2. アクセスを有効にするには、ウィジェット内にある対応するボタンをクリックして、ソーシャルネット
ワークアカウントを追加します。
アカウント設定でアカウントの変更または削除が行えます。

同等アクション

[ウィジェットの順序の変更 \(p. 50\)](#)
[ポータルウィジェットの削除 \(p. 50\)](#)
[ポータルウィジェットの追加 \(p. 50\)](#)
[Xingアカウントの作成 \(p. 51\)](#)
[ポータルの設定 \(p. 52\)](#)

関連トピック

[アカウントの表示、編集、削除 \(p. 252\)](#)

4.2.5 Xingアカウントの作成

Xing アカウントをまだ持っていない場合、ウィジェットを使用して、新規 Xing アカウントの作成を行
います。

グループウェアのデータを使用して Xing アカウントを作成する：

1. ポータル アプリケーションの右上側にある**ウィジェットを追加**をクリックします。Xingを選択します。
ウィジェットが追加されます。
2. ウィジェットで、**ここに保存されたデータを使用して XING アカウントを作成**をクリックします。
3. Xing アカウントを作成するためのヒントをチェックしてください。アカウントを作成するには、**確認**
をクリックします。

同等アクション

[ウィジェットの順序の変更 \(p. 50\)](#)
[ポータルウィジェットの削除 \(p. 50\)](#)
[ポータルウィジェットの追加 \(p. 50\)](#)
[ソーシャルネットワークのポータルウィジェットの追加 \(p. 51\)](#)
[ポータルの設定 \(p. 52\)](#)

関連トピック

[アカウントの表示、編集、削除 \(p. 252\)](#)

4.3 ポータルの設定

ポータル設定を使用する：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーで、ポータルをクリックします。
3. 設定を変更します。

ヒント：ポータル アプリケーションにあるこのページをカスタマイズ をクリックしてもポータル ウィジェットの設定ページを表示できます。

次の設定が利用できます：

ウィジェットを追加

ウィジェットの追加用メニューが表示されます。

ウィジェット編集機能

- **移動アイコン** 
ウィジェットの順序を変更します。
- **編集**
このボタンを使用すると、URL や説明など、ウィジェットの設定を編集できます。
注：このボタンは特定のウィジェットにのみ表示されます。
- **色**
このボタンを使用すると、ポータルウィジェットの名前の表示に使用する色を指定します。
- **無効**
このボタンを使用すると、ポータルからウィジェットを削除できます。ウィジェットを再表示するには、有効ボタンをクリックします。
- **削除アイコン** 
このアイコンを使用すると、設定ページにあるウィジェットの一覧とポータルの両方からウィジェットが削除されます。
警告:ウィジェットを削除すると、このウィジェットの設定はすべて失われます。

ウィジェットの概要へ縮小

このチェックボックスを使用すると、ウィジェットのすべての内容をモバイルデバイスで表示するか、概要のみを表示するかを指定できます。このチェックボックスは、最近変更されたファイル、予定、受信トレイなどのウィジェットに有効です。ウィジェットのすべての内容を表示するには、概要の本文をタップします。

注：新しい設定を適用するには再ログインが必要になります。

関連トピック

- ウィジェットの順序の変更 (p. 50)
- ポータルウィジェットの削除 (p. 50)
- ポータルウィジェットの追加 (p. 50)
- ソーシャルネットワークのポータルウィジェットの追加 (p. 51)

5 メール

メール アプリケーションの使用方法を説明します。

- メール構成 (p. 54)
- メールの表示 (p. 63)
- 添付ファイルの表示、保存 (p. 64)
- メールの送信 (p. 65)
- メールフォルダを追加 (p. 75)
- メールの管理 (p. 76)
- メールフィルタの使用 (p. 88)
- メールの検索 (p. 93)
- メールアカウントを追加 (p. 94)
- メール設定 (p. 95)

How to start the メールアプリケーションに起動方法

メニューバーのアプリケーションランチャーアイコンをクリックします。アプリケーションランチャーのメールをクリックします。

構成によって、メニューバーのクイックスタートアイコンをクリックして、メールアプリケーションを起動することもできます。

5.1 メール構成

メールアプリケーションには次の構成が含まれます。

- メール検索バー (p. 55)
- メールツールバー (p. 56)
- メールフォルダービュー (p. 57)
- メールカテゴリバー (p. 58)
- メール表示エリア (p. 58)
 - メール一覧 (p. 59)
 - メール詳細ビュー (p. 60)
 - メールポップアップ (p. 61)
- メール編集ウィンドウ (p. 62)

5.1.1 メール検索バー

メールの検索ができます。

フォルダビューが表示される時検索バーも表示されます。フォルダビューを表示するには、ツールバーで、**ビュー**をクリックします。**フォルダビュー** を有効にします。

説明：

[メールの検索 \(p. 93\)](#)

関連トピック

[検索バー \(p. 25\)](#)

5.1.2 メールツールバー

メールを送信、編集、整理するための機能を提供します。

コンテンツ

- 作成新規メールを作成します。
- 選択したメールに返信およびメールの転送用アイコン   
- 削除アイコン 。選択したメールを削除します。
- カテゴリを設定アイコン 。メニューを表示し、メールをカテゴリに移動できます。このアイコンは、種類バーが表示されている場合にのみ利用可能です。
- メールフラグ用アイコン
 - 色を設定アイコン 。表示されるメニューからメールに色付きラベルを割り当てます。
 - フラグアイコン 。メールにフラグをたてる
注：構成によって、フラグ用のすべてのオプションが利用できないことがあります。
- アーカイブアイコン 。選択したメールをアーカイブします。
- 追加アクションアイコン 。追加機能のあるメニューが表示されます。
- 表示ビューを変更するチェックボックスのついたメニューが表示されます。
 - リストビューおよび詳細ビューのレイアウトを定義：縦、コンパクト、横
 - リストメールの一覧が表示されます。詳細ビューを表示するには、メールをクリックします。詳細ビューの上には、ナビゲーションバーが表示されます。
 - カテゴリを使用カテゴリバーを表示したり、非表示にします。
 - 設定カテゴリバーを設定するためのウィンドウを表示します。
 - フォルダビューフォルダビューを表示したり、非表示にします。
 - チェックボックスオブジェクト作成のためにリストにチェックボックスを表示します。
 - テキストプレビュー一覧のそれぞれのメールについてメールの内容のプレビューが表示されます。
 - 連絡先の写真一覧のそれぞれのメールの隣に差出人の写真が表示されます。ただし、差出人がアドレス帳に写真を保存している必要があります。
 - 日時メールを受信した日時を表示します。
 - メッセージサイズメールサイズを表示します。
 - 休暇通知 休暇通知ウィンドウを表示します。
 - すべての添付ファイル送信または受信したメールの添付ファイルをすべてドライブアプリケーションに表示します。

説明：

- メールの送信 (p. 65)
- メールの管理 (p. 76)

関連トピック

- ツールバー (p. 26)

5.1.3 メールフォルダービュー

メールフォルダを表示します。

フォルダビューを表示するには、ツールバーで、**ビュー**をクリックします。**フォルダビュー**を有効にします。

コンテンツ

- 受信トレイ既定では、全ての受信メールはこのフォルダで受信されます。
- 未読メッセージこのフォルダに全ての未読メッセージが表示されます。
- 下書き下書きとして保存されたメールが表示されます。
- 送信済みオブジェクト送信したメールが表示されます。
- ゴミ箱削除したメールが表示されます。
- アーカイブアーカイブしたメールが表示されます。
- 自分のフォルダ作成したメールフォルダが表示されます。

構成によって、内容はこの情報と異なる場合があります。

関数

- フォルダ内のメールの数を表示するには、フォルダ名にマウスのポインタを置きます。メール数がヒントとして表示されます。
- フォルダをクリックして、そのフォルダにあるメールを表示
- 選択したフォルダの隣にある**アクションアイコン** を使用して、データの整理やアプリケーションに固有のフォルダ機能を実行できます。**コンテキストメニュー**も使用できます。
- ドライブアプリケーションでは、フォルダー下の**全添付ファイル表示**ボタンで送信または受信した全添付ファイルが表示されます。
- フォルダの下にメールアカウントを追加する**メールアカウントを追加**ボタンがあります。
- フォルダの幅を調整するには、フォルダビューと表示エリアの間にある境界線にマウスのポインタを置きます。境界線を左または右にドラッグします

説明：

- メールの表示 (p. 63)
- メールフォルダを追加 (p. 75)
- メールアカウントを追加 (p. 94)
- フォルダーでデータを管理 (p. 228)
- 共有データ (p. 235)
- ドライブで添付ファイルを表示 (p. 209)

関連トピック

- フォルダビュー (p. 27)

5.1.4 メールカテゴリバー

受信トレイフォルダー内のメールに対する既定カテゴリを表示します。これにより、受信メールを差出人で分類されたカテゴリに割り当てることができます。

注意：

- 構成によって、カテゴリが利用できないことがあります。カテゴリが利用可能であれば、**ツールバーの表示メニュー**のカテゴリバーを表示または非表示にすることができます。
- カテゴリの数、名前、順番は既定です。サーバ構成によって、カテゴリの名前を変更したり、無効にすることができます。

関数

- 種類をクリックするとその種類に割り当てられたメールしか表示エリアに表示されません。
- カテゴリをダブルクリックする、または右クリックすると、ウィンドウが開き、カテゴリの名前を変更したり、無効にしたりできます。

説明：

[タブの使い方 \(p. 77\)](#)

関連トピック

[ツールバー \(p. 26\)](#)

5.1.5 メール表示エリア

メールの一覧と詳細ビューが表示されます。

レイアウトを選択するには、**ツールバーのビュー**をクリックします。

関連トピック

[表示エリア \(p. 28\)](#)

5.1.6 メール一覧

現在のフォルダにあるメールの一覧が表示されます。

コンテンツ

- 各メールの次の詳細情報が表示されます：差出人、件名、受信日時、サイズ。未読のメールは未読アイコン●で表示されます。
- ツールバーの表示メニューで次の追加情報が表示できます：テキストプレビュー、連絡先写真、受信日時、メッセージサイズ。
- 添付ファイルのアイコン、色付きラベル、フラグ、スレッド内のメール数、優先度などの追加情報も表示されます。
- 暗号化されたメールは暗号化アイコン🔒表示されます。
- 休暇通知が有効な場合、通知が一覧の上に表示されます。通知を閉じて、休暇通知は有効のままです。

関数

- 複数のメールを選択するには、ツールバーのビュードロップダウンメニューのチェックボックスオプションを有効にします。
このとき、ご利用のシステムの複数選択機能を使用することもできます。
- 一覧の上のすべてボタンをクリックすると、ドロップダウンメニューが表示されます。現在のメールフォルダのすべてのメールについて次の機能を実行することができます：既読として印をつける、移動、アーカイブ、削除
- 一番の上にあるソート条件ボタンをクリックすると、メールをソートする項目がメニューに表示されます。
すべてのメールスレッドを一つのアイテムにするには、スレッドチェックボックスを有効にします。これは、ソート条件にあります。
選択されているメールフォルダにソート設定が適用されます。フォルダごとに異なる設定を使用できます。
- 差出人名の代わりに差出人のメールアドレスを表示するには、差出人名にマウスポインタを置きます。元のメールアドレスがヒントに表示されます。
- メールをクリックすると、その内容が 表示エリア に表示されます。
一覧のメールをダブルクリックすると、内容がウィンドウに表示されます。
- よく使用する機能を有効にするには、1つのメールまたは複数のメール用のコンテキストメニューを使用できます。
- 一覧の幅を調整するには、一覧と詳細ビューの間にある境界線にマウスのポインタを置きます。境界線を左または右にドラッグします

説明：

- メールの表示 (p. 63)
- メールの送信 (p. 65)
- メールの管理 (p. 76)

関連トピック

- メール詳細ビュー (p. 60)

5.1.7 メール詳細ビュー

一覧で選択したメール内容が表示されます。一覧のメールをダブルクリックすると、データがウィンドウに表示されます。

詳細ビューを表示するには、ツールバーで、**ビュー**をクリックします。次の設定のいずれかが有効にします：
縦、コンパクト、横

コンテンツ

- **件名**
メールが会話ごとにソートされている場合は、**すべてのメッセージを開く／閉じるアイコン**が会話の件名の隣に表示されます。差出人と受信日の間の空いている領域をクリックすると、メールを開いたり、閉じたりできます。
- **既読アイコン**。ステータスが既読から未読、またはその逆に変更されます。
- **差出人の名前またはメールアドレス、受取人の名前**
名前をクリックすると、ポップアップが表示されます。連絡先に関する情報が表示されます。
- **構成によって、不審なメールの差出人の横にアイコンが表示されます。**メッセージのテキストを表示するには、**警告アイコン**にマウスポインタを置きます。
強調表示されたメッセージテキストは、**機能バー**下で表示されます。
- **受信日時**
- **メールのフラグ用アイコン：**
 - **フラグアイコン**。メールにフラグをたてる
 - **色を設定アイコン**。表示されるメニューからメールに色付きラベルを割り当てます。
注：構成によって、フラグ用のすべてのオプションが利用できないことがあります。
- **差出人の写真**（利用可能な場合）
- **よく使われる機能：返信、全員に返信、転送、削除**
- **追加アクションアイコン**。クリックすると、メールの送信または維持に関する詳細情報のメニューが表示されます。
- **メールにファイルが添付されている場合、次の要素が表示されます。**
 - **添付ファイルアイコン**。このボタンをクリックすると、添付ファイルがアイコンまたはリストで表示されます。
 - **すべての添付ファイルに一度に機能を適用するためのボタン。**
 - **タイル**、**リストアイコン**。添付ファイルがタイルまたはリストで表示されます。特定の添付ファイルに機能を適用するには、リストビューの目的の添付ファイルの名前をクリックします。
- **送信済みアイテムフォルダー内のリンクとしての添付ファイル付きのメールを選択すると、添付ファイルについての情報はメール本文の上に表示されます。**
- **メールの本文過去のメールの引用には、行の最初に印がつけられます。**

説明：

- メールの表示 (p. 63)
- 添付ファイルの表示、保存 (p. 64)
- メールの送信 (p. 65)
- メールの管理 (p. 76)
- メールの認証を表示する (p. 258)

関連トピック

- メール一覧 (p. 59)
- メールポップアップ (p. 61)

5.1.8 メールポップアップ

詳細ビューから選択した差出人または受取人の連絡先データを表示します。

コンテンツ

- よく使われる機能のボタン
 - この連絡先がアドレス帳にまだない場合、**アドレス帳に追加**が表示されます。ボタンをクリックすると、新規連絡先作成用のウィンドウが開きます。
 - **メールを送信**新規メールを特定のユーザに送信するためのウィンドウが表示されます。
 - **予定への出席を依頼**この人との予定を作成するためのウィンドウが表示されます。
 - 連絡先が個人用アドレス帳に保存されると、**編集**が表示されます。ボタンをクリックすると、連絡先を編集するウィンドウが表示されます。
 - **削除**アイコン 。名前をつけて保存に表示される連絡先をアドレス帳から削除します。
- **追加アクション**アイコン 。アイコンをクリックすると、連絡先を整理するためによく使われる機能のメニューが表示されます。
- ユーザの連絡先データ
 - このユーザの連絡先データが保存されると、連絡先データの入ったアドレス帳へのパスが表示されます。
 - ソーシャルネットワークのこの人からの情報この差出人のプロファイルを開くボタンが表示されます。
 - この人と予定を共有している場合、共有予定の下に予定が表示されます。
 - 相手とメールをやり取りしたことがある場合は、そのメールが最近のスレッドの下に表示されます。

説明：

[メールの表示 \(p. 63\)](#)

関連トピック

[メール詳細ビュー \(p. 60\)](#)

[ポップアップ \(p. 29\)](#)

5.1.9 メール編集ウィンドウ

このウィンドウはメールの作成または編集時に使用します。

ウィンドウを表示するには、次のいずれかを行います。

- ツールバーで、**作成**をクリックします。
- メールを選択します。ツールバーの**返信**アイコンまたは**転送**アイコンをクリックします。
- フォルダのメールの下書きを選択します。ツールバーの**編集**または**コピーの編集**をクリックします。

コンテンツ

- アドレス
 - **差出人**差出人アドレスを表示します。クリックすると、複数の機能付きのメニューが表示されます。
 - 別の差出人のメールアドレスを選択
 - **名前を表示する**実名を表示するかどうかを指定します。
 - **名前を編集する**実名の編集ウィンドウを表示します。
 - **受取人**入力フィールド受取人を入力しているときに、受取人の候補が表示されます。候補を選択するには、その候補をクリックしてください。**連絡先の選択**アイコン  アドレス帳から連絡先を選択するウィンドウを開きます。
 - 他の受取人にコピーを送るには、入力フィールド右側の**CC**または**BCC**をクリックします。
 - 受取人または**CC**、**BCC**のいずれかをクリックすると、連絡先を選択できるリストが表示されます。
- メールの内容
 - **件名**入力フィールド。このフィールドにメールの件名を入力します。
 - **添付ファイル**ローカルファイルまたはドライブアプリケーションに保存されたファイルを追加します。
 - **署名**メール本文に署名を追加するかを指定できます。
 - **オプション**次のオプションが表示されます：メールのテキスト形式の指定、優先度の設定、vCardの添付、開封確認の要求。
 - 構成によって、暗号化形式でメールを送信する機能があります。
 - **暗号化を有効**アイコン 
 - **セキュリティ**ボタン
 - メール本文の入力フィールド**オプション**でHTML形式を選択した場合、テキストの初期化または画像の追加が可能です。

説明：

[新規メールの送信 \(p. 66\)](#)

[暗号化されたメールの送信 \(p. 272\)](#)

関連トピック

[編集ウィンドウ \(p. 31\)](#)

5.2 メールを表示

既定では、受信トレイの内容が表示されます。フォルダビューを使用して、他のメールフォルダを表示することができます。メール設定において、メール受信時に通知サウンドを鳴らすかどうかを指定できます。

メールを表示する：

1. フォルダビューで、メールフォルダを開きます。
種類を使う場合は**受信トレイ**フォルダを選択してから種類を選択できます。
2. 一覧で、メールをクリックします。詳細エリアにメールの内容が表示されます。
 - メールがスレッドの一部である場合、スレッドのすべてのメールが順番に表示されます。スレッドのメールを開いたり閉じるには、差出人と受信日の間をクリックします。スレッド内にあるすべてのメールを表示したり、非表示にするには、詳細ビューの右上にある**すべてのメッセージを開く/閉じるアイコン**ををクリックします。
 - 前のメールの引用がそのメールに含まれている場合、**引用テキストを表示アイコン**をクリックすればその引用を表示できます。

オプション：

- メールの一覧をソートするには、一覧の上にある**ソート条件**をクリックします。
注：指定された上限をメール数が超えた場合は、メールの一覧を読み込む待ち時間を短縮するため、フォルダ内の一部のメールのみがサーバで読み込まれます。一覧の下部をクリックすると、以降のメールが読み込まれます。
- レイアウトを選択するには、ツールバーの**ビュー**をクリックします。
- **リストビュー**を選択している場合、表示エリアにフォルダのすべてのメールリストが表示されます。メールをクリックするとそのメールの詳細ビューが表示されます。リストビューを再表示したり、メールを検索するには、詳細ビュー上のアイコンを使用します。
- 一覧のメールをダブルクリックすると、メールを別のウィンドウで開くことができます。

注：構成によって、非常に大容量のメール内容が完全に表示しないこともあります。この場合、リンク付きのメールを受信します。メールを全て表示するには、リンクをクリックしてください。

ユーザ インターフェース

- メールフォルダビュー (p. 57)
- メール詳細ビュー (p. 60)
- メール一覧 (p. 59)
- メールポップアップ (p. 61)

同等アクション

- タブの使い方 (p. 77)
- 添付ファイルの表示、保存 (p. 64)
- メールのソースの表示 (p. 81)
- メールを既読、未読にする (p. 79)
- メールの分類 (p. 80)

関連トピック

- フォルダ間の移動 (p. 231)
- メールの検索 (p. 93)
- 統合メールの使用 (p. 87)
- ホワイトリストを使う (p. 259)

5.3 添付ファイルの表示、保存

添付ファイルのファイル名は詳細エリアに表示されます。次の機能が利用できます。

- ドライブに添付ファイルをダウンロード、または保存する
- 添付ファイルドキュメントを編集、添付のプレゼンテーションを開始
- 構成によって、ドライブアプリケーションで送信メールまたは受信メールのすべて添付ファイルを表示することができます。

添付ファイルの機能を使用する：

1. 一つまたは複数のファイルが添付されたメールを選択します。
プレビューを表示するには、詳細ビューの**展開アイコン**▶をクリックします。添付ファイルのプレビューは、タイルまたはリストとして表示されます。
ビューを切り替えるには、右側の**タイルアイコン**■、または**リストアイコン**≡をクリックします。
2. 全添付ファイルに機能を適用するには、添付ファイル📎の横にある**表示**、**ダウンロード**、**ドライブに保存**のボタンの一つをクリックします。
3. 特定の添付ファイルに機能を適用するには、詳細ビューで、目的の添付ファイルをクリックします。
添付ファイルをビューアに表示するには、タイルビューで添付ファイルを選択します。

注：構成によって、ダウンロードする前に添付ファイルのウィルスを確認します。

- ウィルスが見つからない場合は、それ以上の通知はなく、添付ファイルがダウンロードされます。
- ウィルススキャンができない、またはウィルスが見つかった場合、対応する警告のウィンドウが表示されます。
この場合、ダウンロードをキャンセルできます。

ドライブアプリケーションで、すべてのメールの添付ファイルを表示：

注：構成によって、この機能は利用できない可能性があります。

1. 次のいずれかの方法を使用します。
 - ツールバーで、**ビュー**をクリックします。**全添付ファイル**をクリックします。
 - フォルダビューの**全添付ファイル表示**をクリックします。ドライブ アプリケーションが表示されます。添付ファイルフォルダーには、送信または受信したメールすべての添付ファイルが表示されます。
2. ドライブ機能を使用できます。

ユーザ インターフェース

メール詳細ビュー (p. 60)

同等アクション

メールの表示 (p. 63)

5.4 メールを送信

次のようなオプションの機能があります。

- 新規メールの送信 (p. 66)
- アドレス帳から連絡先を選択する (p. 67)
- 差出人のメールアドレスを選択する (p. 68)
- 添付ファイルの追加 (p. 69)
- リンクとして添付ファイルを送信する (p. 70)
- 署名を使用 (p. 71)
- メール返信 (p. 72)
- メール転送 (p. 72)
- メール自動転送 (p. 73)
- 参加者へのメール送信 (p. 73)
- 休暇通知の自動送信 (p. 74)

ユーザ インターフェース

メールツールバー (p. 56)

メール一覧 (p. 59)

メール詳細ビュー (p. 60)

関連トピック

メールの下書きの使用 (p. 81)

5.4.1 新規メールの送信

新規メールを送信する：

1. ツールバーで、作成をクリックします。
2. 受取人のメールアドレスを受取人フィールドに入力します。
 - メールアドレスの入力中に受取人の候補が表示されます。
 - アドレス帳から連絡先を選ぶには、入力フィールドの右側にある**連絡先の選択アイコン**  をクリックしてください。
3. 他の受取人にコピーを送るには、**To** 入力フィールド右側の**CC**または**BCC**をクリックします。
 - メールを受取人を他の受取人に通知する場合、受取人を**CC**フィールドに入力してください。
 - メールを受取人を他の受取人に通知しない場合、受取人を**BCC**フィールドに入力してください。
4. 件名を入力します。メールの本文を入力します。
5. **送信**をクリックします。

オプション：

- ドラッグアンドドロップで受取人を**受取人**、**CC**、**BCC**フィールドに選択できます。すべての送信メールをブラインドコピーとして固有のメールアドレスに送信するのは**メール設定**で決定できます。
- メール本文の書式設定をする、または画像を入力するには、**html**形式を使用します。使用するには、**オプション**をクリックします。そして、**HTML**を選択します。この場合、書式バーが表示されます。
 - メール本文の書式設定をするには、書式バーを使用します。メール設定のフォントスタイル、サイズ、色の既定値を指定できます。
 - 現在のカーソル位置に画像を入力するには、ファイルブラウザまたはデスクトップから1枚または複数の画像をメールテキスト入力フィールドにドラッグします。画像を削除するには、コンテキストメニューを使用します。
- **オプション**ドロップダウンメニューには次のオプションがあります：重要度の設定、vCardの添付、開封通知の要求。
- 構成によって、暗号化形式でメールを送信する機能があります。
 - **暗号化を有効アイコン** 
 - **セキュリティボタン**

ユーザ インターフェース

メール編集ウィンドウ (p. 62)

従属アクション：

アドレス帳から連絡先を選択する (p. 67)
差出人のメールアドレスを選択する (p. 68)
添付ファイルの追加 (p. 69)
リンクとして添付ファイルを送信する (p. 70)
署名を使用 (p. 71)

同等アクション

メールの返信 (p. 72)
メールの転送 (p. 72)
メールの自動転送 (p. 73)
休暇通知の自動送信 (p. 74)
暗号化されたメールの送信 (p. 272)
メールの下書きの使用 (p. 81)
アドレス帳からのメールの送信 (p. 118)

5.4.2 アドレス帳から連絡先を選択する

連絡先を選択するウィンドウのアドレス帳から連絡先を選択できます。以下をしている間にアドレス帳アイコンをクリックするとウィンドウが表示されます。

- メール送信時に受取人を選択
- 予定または仕事に参加者を追加
- 共有アイテムに招待

連絡先を選択するウィンドウのアドレス帳から連絡先を選択する：

1. 固有の連絡先を検索するために次の可能性があります。
 - **検索**の名前を入力します。
 - 固有のアドレス帳の連絡先を表示するには、**すべてのフォルダ**をクリックします。一覧からアドレス帳を選択します。構成によって、一覧から部署を選択できます。
2. 1以上の連絡先を選択します。選択された連絡先はリスト下に表示されます。選択を取り消すには、**選択を解除**をクリックします。
このとき、ご利用のシステムの複数選択機能を使用することもできます。
3. 選択された連絡先の選択を確認するには、**選択**をクリックします。

従属アクション：

- 新規メールの送信 (p. 66)
- 新規連絡グループの作成 (p. 113)
- 参加者またはリソースを追加する (p. 150)
- スケジューリングビューの使用 (p. 151)
- 参加者を仕事に追加する (p. 185)
- パブリックリンクを使った共有 (p. 236)
- 共有アイテムへの招待 (p. 238)

5.4.3 差出人のメールアドレスを選択する

メールを送信する場合、メール編集ウィンドウで受取人に表示される差出人アドレスを設定できます。

差出人アドレスを選択する：

1. メール編集ウィンドウの**From:**の隣の差出人アドレスをクリックします。メニューを表示します。
2. 外部メール アカウント をセットアップしている場合、これらのアカウントのアドレスを差出人アドレスとして使用することもできます。使用するメールアドレスをリストから選択します。
注：選択したフォルダごとに、既定の差出人のメールアドレスが表示されます。
3. メールアドレスに表示させる名前を指定できます。次の手順で行います。
 - a. **名前を編集**をクリックします。実名を編集ウィンドウが表示されます。アカウント設定で既定の名前が表示されます。
 - b. 編集したい名前のチェックボックスを有効にします。名前を編集します。**保存**をクリックします。名前のない差出人アドレスを表示するには、**名前を表示**を無効にします。

従属アクション：

[新規メールの送信 \(p. 66\)](#)

関連トピック

[メールアカウントを追加 \(p. 94\)](#)

5.4.4 添付ファイルの追加

メール編集ウィンドウでメールに添付ファイルを追加する：

1. 添付ファイルとして使うファイルを選択します。
 - 添付ファイルとしてローカルファイルを送信するには、**添付ファイル**をクリックします。**ローカルファイルを追加**をクリックします。1つまたは複数のファイルを選択します。ファイルブラウザやデスクトップから1つまたは複数のファイルをファイルブラウザまたは、デスクトップからメールウィンドウにドラッグし、**添付ファイル**下にドロップしてもファイルを添付できます。
 - ドライブアプリケーションからのファイルの最新版を添付ファイルとして使用するには、**添付ファイル**をクリックします。**ドライブから追加**をクリックします。**添付ファイル追加**ウィンドウでフォルダを開けます。1つまたは複数のファイルを選択します。**追加**をクリックします。
2. ここでは、次の機能が利用できます。
 - 添付ファイルを削除するには、**添付ファイル削除アイコン**  をクリックします。
 - 添付ファイルを表示または非表示にするには、左側の**展開アイコン**  をクリックします。

注：メール添付ファイルはローカルに保存されたファイルより25%以上のストレージを消費する可能性があります。

オプション：

- 構成によって、添付画像が指定ピクセル数または指定ファイルサイズを超えている場合に添付画像を最小化できます。最小化するには、添付ファイルの右下にある**画像サイズ**の横の項目を選択します。
注：画像はアップロード後のみしか最小化できません。メールの下書きを開く、またはメールの編集ウィンドウを再読み込みする場合は、添付ファイルを最小化できません。
- 構成によって、サイズの上限に達すると添付ファイルが送信されないことがあります。この場合は添付ファイルはドライブアプリケーション内のメール添付ファイルフォルダーに保存されます。メールには、この添付ファイルへのリンクが挿入されます。

従属アクション：

[新規メールの送信 \(p. 66\)](#)

同等アクション

[リンクとして添付ファイルを送信する \(p. 70\)](#)

5.4.5 リンクとして添付ファイルを送信する

この機能によって大きな添付ファイルをメールで送信できます。こういう風に使います：

- 添付ファイルはドライブアプリケーション内の**ドライブメール**下の新規フォルダーにアップロードされます。そのフォルダ名はメールの件名になります。そのフォルダをパブリックリンクを使って共有されます。
- メールを受取人にはダウンロードするためのリンクが届きます。

メール編集ウィンドウで添付ファイルをリンクとして送信する：

1. 添付ファイルとして使うファイルを選択します。
 - リンクとしてローカルファイルを送信するには、**添付ファイル**をクリックします。**ローカルファイルを追加**をクリックします。1つまたは複数のファイルを選択します。
ファイルブラウザやデスクトップから1つまたは複数のファイルをファイルブラウザまたは、デスクトップからメールウィンドウにドラッグし、**添付ファイル**下にドロップしてもファイルを添付できます。
 - ドライブアプリケーションからのファイルの最新版を添付ファイルとして使用するには、**添付ファイル**をクリックします。**ドライブから追加**をクリックします。
添付ファイル追加ウィンドウでフォルダを開けます。1つまたは複数のファイルを選択します。**追加**をクリックします。
2. ここでは、次の機能が利用できます。
 - 添付ファイルを削除するには、**添付ファイル削除アイコン**  をクリックします。
 - 添付ファイルを表示または非表示にするには、**展開アイコン**をクリックします。 ▼
3. **Drive Mailメールを使用** をクリックします。**オプションボタン**が表示されます。
オプションをクリックします。**ドライブメールオプション**ウィンドウが開きます。
 - パブリックリンクの利用期限を設定するには、**利用期限**の下の項目をクリックします。
利用期限を選択すると、利用期限後に添付ファイルを削除することができます。これを行うには、**利用期限を過ぎると削除を有効**にします。
注：グループウェアの構成によって、これらの機能はオプションまたは必須です。
 - パスワードで添付ファイルのパブリックリンクを保護する場合は、**パスワードを使用**を有効にします。パスワードを入力します。入力するときにパスワードを表示するには、入力フィールドの右側のアイコンをクリックします。
 - 特定のアクションについての通知を受け取るには、**メール通知**の下の項目の1つまたは複数を選択にします。
注：構成によって、この機能は利用できない可能性があります。

注意：

- 構成によって、リンクとして送信できる添付ファイルの最大ファイルサイズがある場合があります。
- 送信済みオブジェクトフォルダーでは、メールにはアイコン  で印がつけられます。メールを表示するとき、次の情報はメール本文の上に表示されます。
 - 添付ファイルの入っているフォルダへのリンク
 - 利用期限とパスワードについての情報
 - 添付ファイル名のリスト

従属アクション：

[新規メールの送信 \(p. 66\)](#)

同等アクション

[添付ファイルの追加 \(p. 69\)](#)

5.4.6 署名を使用

メールの署名とは、メールの作成時にメールに自動的に挿入されるテキストです。通常は、名前、会社名、連絡先アドレスをメールの本文の下に挿入する場合に署名を使用します。署名はテキストまたは HTML 形式で作成できます。次の機能が利用できます。

- 新規署名を作成、既存の署名を編集、既定の署名を設定
- メールテキストに署名を追加する：

署名を作成または編集する：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーでメールをクリックします。署名をクリックします。
既存の署名は表示エリアに表示されます。
3. 新規署名の追加は、次の手順で行います。
 - a. 表示エリアで、**新規署名を追加**をクリックします。署名の追加ウィンドウが開きます。
 - b. 署名の名前を入力します。署名の本文を入力します。
署名はメール本文の上、もしくは下に入れることを設定します。
保存をクリックします。
4. 既存の署名を編集には、次のオプションがあります。
 - 署名の本文を編集するには、署名の隣にある**編集**をクリックしてください。
 - 署名を削除するには、署名の隣にある**削除アイコン**をクリックします。**新規メッセージ用の既定署名および返信または転送用既定署名で、既定として使用する署名を指定**できます。

メール編集ウィンドウでメール本文に署名を追加する：

1. 署名をクリックします。
2. リストから署名を選択します。

従属アクション：

[新規メールの送信 \(p. 66\)](#)

5.4.7 メール返信

メールに返信する際、メールの一部の入力フィールドに次の処理が実行されます。

- メール差出人とそれ以外の受取人を返信メールの受取人フィールドに自動的に設定
- 返信メールの件名フィールドに元のメールの件名を設定して、先頭に「Re:」の文字を付加します。
- 転送メールに元のメールの本文を入力します。引用された各行の最初には印が付き、

メールに返信する：

1. メールを選択します。
2. ツールバーの差出人に返信アイコンをクリックします。他のすべての受取人にも返信する場合は、すべての受取人に返信アイコンをクリックします。

次のいずれかの方法を使用できます。

- 詳細ビューで全員に返信ボタンをクリックします。
- メール一覧で、コンテキストメニューを使用します。

新規メールを差出人および他の受取人に送信するには、詳細ビューで、追加アクションアイコンをクリックします。新規メールを送信をクリックします。

3. メール送信に必要な詳細情報を入力します。

同等アクション

[新規メールの送信 \(p. 66\)](#)

[メールの転送 \(p. 72\)](#)

5.4.8 メール転送

メールを転送する際、メールの一部の入力フィールドに次の処理が実行されます。

- 転送メールの件名フィールドに元のメールの件名を設定して、先頭に「Fwd:」の文字を付加します。
- 転送メールに元のメールの本文を入力します。本文の先頭に次のテキストを付加
 - 「元のメッセージ」ヘッダ
 - 元のメッセージの差出人、受取人、日付、件名

複数のメールを転送する際、選択したメールは、eml形式で添付ファイルとして送信されます。

メールを転送する：

1. 1つまたは複数のメールを選択します。
2. ツールバーで、転送アイコンをクリックします。
次のいずれかの方法を使用できます。
 - 詳細ビューで転送ボタンをクリックします。
 - メール一覧で、コンテキストメニューを使用します。
3. 受取人を1つ以上選択します。詳細は、[新規メールの送信 \(page 66\)](#)を参照してください。
4. メール送信に必要な詳細情報を入力します。

同等アクション

[新規メールの送信 \(p. 66\)](#)

[メールの自動転送 \(p. 73\)](#)

5.4.9 メールの自動転送

他のユーザのアドレスにメールを自動転送できます。

メールを自動転送する：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーでメールをクリックします。
表示エリアで自動転送をクリックします。自動転送ウィンドウが表示されます。
3. 自動転送を有効にするには、左側上部のアイコンをクリックします。
メッセージの転送先のメールアドレスを入力します。
メールのコピーを保存するには、メッセージのコピーを保存を有効にします。
自動転送はメールフィルタとして設定されています。追加フィルタルールを自動転送の後に適用する場合は、以降のルールを実行を有効にします。メールフィルタ設定で自動転送を編集することもできます。
4. 変更を適用をクリックします。

同等アクション

- [新規メールの送信 \(p. 66\)](#)
- [メールの返信 \(p. 72\)](#)
- [メールの転送 \(p. 72\)](#)
- [休暇通知の自動送信 \(p. 74\)](#)

関連トピック

- [メールフィルタの使用 \(p. 88\)](#)
- [メールの受信設定 \(p. 96\)](#)

5.4.10 参加者へのメールの送信

メールは、予定のすべての参加者に送信できます。

予定のすべての参加者にメールを送信する：

1. 選択されたビューによって、カレンダーで次のオプションがあります：
 - 予定表ビューでは、複数の参加者のいる予定をクリックします。ポップアップで、追加アクションアイコンをクリックします。すべての参加者にメールを送信をクリックします。
 - リストビューでは、複数の参加者のいる予定をクリックします。予定はウィンドウに表示されます。追加アクションアイコンをクリックします。すべての参加者にメールを送信をクリックします。
2. メールを送信に必要な詳細情報を入力します。

同等アクション

- [新規メールの送信 \(p. 66\)](#)

5.4.11 休暇通知の自動送信

休暇通知を使用すると、ある特定の期間は受信メールにアクセスできないことをメールの差出人に通知できます。ここでは、次の設定ができます。

- 休暇通知の件名と本文
- 休暇通知が有効な期間
- 休暇通知が有効なメールアドレス

休暇通知を作成して有効にする：

1. ツールバーで、**ビュー**をクリックします。下部の**休暇通知**をクリックします。
メール設定の**休暇通知**ボタンを使用することもできます。メールフィルタ設定からでも休暇通知を編集できます。
休暇通知ウィンドウが表示されます。
2. 左上側のチェックボックスを有効にします。
3. 休暇通知を送信する期間を指定するには、**級買う通知をこの期間のみ送信**を有効にします。開始日時と終了日時を設定します。
注：構成によって、この設定が利用できないことがあります。
4. 休暇通知の件名と本文を入力します。
5. すべてのオプションを表示するには、**詳細オプションを表示**をクリックします。
 - 同一の差出人から何件もメールが送信されてくる場合には、休暇通知の送信間隔を指定できます。
 - 休暇通知送信に使用する差出人アドレスを指定できます。
 - メッセージが主なメールアドレスに受信されると、休暇通知が送信されます。メッセージが他のメールアドレスに届く場合も休暇通知を有効にできます。
6. **変更を適用**をクリックします。

休暇通知が有効な場合、以下が表示されます。

- メール設定ページに**休暇通知**ボタンが追加アイコンで表示されます。
- メールアプリケーションでは、通知はメール一覧の上に表示されます。通知をクリックすると、**休暇通知**ウィンドウが開きます。

ヒント：休暇通知は **メールフィルタ** に設定されていますメールフィルタ設定からでも休暇通知を編集できます。

同等アクション

- 新規メールの送信 (p. 66)
- メールの返信 (p. 72)
- メールの転送 (p. 72)
- メールの自動転送 (p. 73)

関連トピック

- メールフィルタの使用 (p. 88)
- メールの受信設定 (p. 96)

5.5 メールフォルダを追加

主なメールアカウントの下に追加のメールフォルダを作成できます。

新規メールフォルダを作成する：

1. フォルダビューで、新規のサブフォルダを作成する先のフォルダを **選択** します。
2. フォルダ名の隣のアクションアイコンをクリックします。**新規フォルダを追加**をクリックします。ウィンドウが表示されます。
3. 名前を入力します。**追加** をクリックします。

ユーザ インターフェース

[メールフォルダービュー \(p. 57\)](#)

関連トピック

[メールの管理 \(p. 76\)](#)

[フォルダーでデータを管理 \(p. 228\)](#)

5.6 メール管理

次のようなオプションの機能があります。

- タブの使い方 (p. 77)
- メールの移動またはコピー (p. 78)
- メールを既読、未読にする (p. 79)
- アドレスの収集 (p. 80)
- メールの分類 (p. 80)
- メールのソースの表示 (p. 81)
- メールの下書きの使用 (p. 81)
- メールアラームを作成する (p. 82)
- ポータルへのメールの追加 (p. 82)
- メールの保存 (p. 82)
- メールのインポート (p. 83)
- メールの印刷 (p. 83)
- メールのアーカイブ (p. 84)
- メールの削除 (p. 85)
- メールフォルダのクリーンアップ (p. 86)
- 統合メールの使用 (p. 87)

ユーザ インターフェース

- メールツールバー (p. 56)
- メール一覧 (p. 59)
- メール詳細ビュー (p. 60)

関連トピック

- メールフォルダを追加 (p. 75)

5.6.1 タブの使い方

タブを使うと、差出人ごとに受信トレイフォルダーに受信メールを保存できます。次のようなオプションの機能があります。

- タブを有効化または無効化
- 受信メールをタブに割り当て
- タブ表示を編集

タブを無効化または有効化する：

1. ツールバーで、**ビュー**をクリックします。
2. 受信トレイ下の**カテゴリ**を使用チェックボックスを有効または無効にします。

受信トレイ内の受信メールをカテゴリに割り当てる：

1. フォルダビューで、**受信トレイフォルダ**を選択します。
カテゴリバーからカテゴリを選択します。カテゴリにまだ割り当てられていないメールが**一般**のカテゴリに表示されます。
2. リストからメールをカテゴリバーのカテゴリにドラッグして、ドロップします。
メールを選択することもできます。ツールバーで**カテゴリを設定アイコン**  をクリックします。メニューからカテゴリを選択します。
ポップアップウィンドウによって、メールがカテゴリに移動されたことが通知されます。
3. 処理を終了するには、次のいずれかを行ってください。
 - 選択したメールのみをカテゴリに移動するには、ポップアップウィンドウを閉じてください。
 - 差出人からの既存メールおよびこれから受信するメール全てを移動するには、**全てのメッセージを移動**をクリックします。

タブ表示を編集する：

1. ツールバーで、**ビュー**をクリックします。受信トレイ下の**構成**をクリックします。
カテゴリバーのカテゴリをダブルクリック、または右クリックもできます。
カテゴリを構成ウィンドウが開きます。
2. タブを有効化または無効化するには、そのチェックボックスを有効化または無効化します。
タブ名を変更するには、そのテキストを編集します。
注：タブの編集ができない場合があります。
カテゴリバーを非表示にするには、**カテゴリを無効**をクリックします。
3. **保存**をクリックします。

ユーザ インターフェース

メールカテゴリバー (p. 58)

関連トピック

メールの表示 (p. 63)

フォルダ間の移動 (p. 231)

5.6.2 メール移動またはコピー

個々のメールを別のメールフォルダに移動またはコピーできます。次のようなオプションの機能があります。

- 個々のメールやメール スレッド全体を別のフォルダに移動またはコピー
- メールフォルダのすべてのメールを移動

前提条件：目的のフォルダにオブジェクトを作成する権限が必要です。

メールを移動またはコピーする：

1. 1つまたは複数のメールを選択します。
2. ツールバー、または詳細ビューで、**追加アクションアイコン**  をクリックします。移動またはコピーをクリックします。
メール一覧でコンテキストメニューを使用することもできます。
ウィンドウが表示されます。
3. フォルダを選択します。新しいフォルダの作成もできます。

ヒント：

- 特定の差出人からのメールを移動するには**メール移動時に新規ルールを作成**できます。
- フォルダビューからオブジェクトをフォルダにドラッグして、**選択オブジェクトを移動**することもできます。
- すべてのメールをフォルダに移動するには、リスト上の**すべて**をクリックします。**すべてのメッセージを移動する**を選択します。

関連トピック

[メールフォルダを追加 \(p. 75\)](#)

5.6.3 メールを既読、未読にする

未読のメールは未読アイコン●で表示されます。次のようなオプションの機能があります。

- 単一のメールを既読または未読にします。
- メールフォルダのすべてのメールを既読として印をつけます。

メールに未読または既読の印をつける方法：

1. 1つまたは複数のメールを選択します。
2. ツールバー、または詳細ビューで、追加アクションアイコン☰をクリックします。未読にするを選択します。
または：
 - 一覧または詳細ビューで既読アイコン○をクリックします。
 - メール一覧で、コンテキストメニューを使用します。

ヒント：フォルダのすべてのメールを既読にするには、リスト上のすべてをクリックします。すべてのメールを既読にするを選択します。

関連トピック

[メールの表示 \(p. 63\)](#)

5.6.4 アドレスの収集

アドレス帳にメールアドレスを追加すると、そのメールアドレスを収集することができます。次のようなオプションの機能があります。

- メール設定でこの機能を有効にすると、メールの送信時またはメールの表示時に自動的に新規メールアドレスを収集します。
- アドレス帳にメールアドレスを手動で追加

メールアドレスをアドレス帳に手動で追加する：

1. メールを選択します。
2. 詳細ビューで差出人の名前または受取人の名前をクリックします。
ポップアップで、**アドレス帳に追加**をクリックします。

注：この機能は新規連絡先に対してのみ利用できます。

関連トピック

[新規連絡先の作成 \(p. 110\)](#)

5.6.5 メールの分類

構成によって、メールの分類方法に複数のオプションがあります。いずれの方法でも可能です。

- 色付きラベル
- フラグ

メールの分類方法：

1. 1つまたは複数のメールを選択します。
2. 色付きラベルを追加するには、ツールバー、または詳細ビューで**色を設定**アイコンをクリックします。色を選択します。
ラベルを削除するには、ツールバー、または詳細ビューのアイコンをクリックしてください。**なし**を選択します。
3. フラグを追加するには、ツールバー、または詳細ビューで**フラグ**アイコンをクリックします。
メール一覧でコンテキストメニューを使用することもできます。
フラグを削除するには、次の方法のいずれかを使用します。
 - ツールバーまたは詳細ビューのアイコンを再度クリックします。
 - メール一覧で、コンテキストメニューを使用します。

ヒント：メールをフラグごとに分類するには、リスト上の**ソート条件**をクリックします。

関連トピック

[メールの表示 \(p. 63\)](#)

5.6.6 メールソースの表示

メールのソースには、すべてのメールヘッダ情報が含まれています。

メールのソースを表示する：

1. メールを選択します。
2. ツールバー、または詳細ビューで、追加アクションアイコンをクリックします。ソースを表示を選択します。
メール一覧でコンテキストメニューを使用することもできます。

関連トピック

[メールの表示 \(p. 63\)](#)

[新規のルール作成 \(p. 89\)](#)

5.6.7 メールの下書きの使用

メール作成中、メールは定期的にメールの下書きとして自動で保存されます。次のようなオプションの機能があります。

- メールの下書きを編集、または送信します。
- メールの下書きのコピーを編集、または送信します。

送信後、メールの下書きは削除されます。メールの下書きを保存する場合は、コピーを送信してください。

メールの下書きを使用する：

1. 下書きフォルダのメールを選択します。
2. ツールバーで下書きの編集またはコピーの編集をクリックします。
内容を編集します。
3. 編集を終了するには、キャンセルまたは閉じるアイコンをクリックします。次のウィンドウで下書きを保存をクリックします。
下書き、または下書きのコピーを送信するには、送信をクリックします。

同等アクション

[メールの送信 \(p. 65\)](#)

5.6.8 メールアラームを作成する

メールにアラームを設定できます。この機能を使用すると、指定した終了日時にアラームを通知するタスクを作成できます。

メールアラームを作成する：

1. メールを選択します。
2. ツールバー、または詳細ビューで、**追加アクションアイコン**  をクリックします。**アラーム**を選択します。
注：メールのやり取りを選択すると、この機能は詳細ビューのみで利用でき、ツールバーで利用できません。
3. **追加**ウィンドウで、詳細情報を入力します。

結果：新規仕事が作成されます。仕事のテキストの下にボタンが表示されます。そのボタンをクリックして、元のメールを表示します。

関連トピック

[仕事の作成 \(p. 184\)](#)

5.6.9 ポータルへのメールの追加

ウィジェットとして、メールをポータルに追加できます。

ポータルにメールを追加する：

1. メールを選択します。
2. ツールバー、または詳細ビューで、**追加アクションアイコン**  をクリックします。**ポータルに追加**を選択します。
注：メールのやり取りを選択すると、この機能は詳細ビューのみで利用でき、ツールバーで利用できません。

関連トピック

[ポータルウィジェットの追加 \(p. 50\)](#)

5.6.10 メール保存

メールは、テキストファイルとして保存できます。このテキストファイルの拡張子は **eml** になります。複数のメールを選択すると、メールごとに **eml** ファイルが作成されます。**eml** ファイルは **zip** アーカイブで保存されます。

メールを保存する：

1. 1つまたは複数のメールを選択します。
2. ツールバー、または詳細ビューで、**追加アクションアイコン**  をクリックします。**名前を付けて保存**を選択します。
3. 詳細を記入して、ファイルを保存します。

同等アクション

[メールのインポート \(p. 83\)](#)

関連トピック

[ソーシャルネットワークのポータルウィジェットの追加 \(p. 51\)](#)

[メールアカウントを追加 \(p. 94\)](#)

[統合メールの使用 \(p. 87\)](#)

差出人のメールアドレスを選択する (p. 68)
ストレージアカウントを追加する (p. 225)
すべてのデータをダウンロード (p. 253)

5.6.11 メールのインポート

EML フォーマットのメールはインポートできます。

メールをインポートする：

1. メールをインポート先のメールフォルダを開きます。
2. ファイルブラウザまたはデスクトップからメール一覧にEMLファイルをドラッグします。

同等アクション

[メールの保存 \(p. 82\)](#)

5.6.12 メール印刷

一通のメールまたは複数のメールの内容を印刷できます。

使用：

- ツールバー > **追加アクションアイコン** ≡ > 印刷

または：

- ツールバー > **追加アクションアイコン** ≡ > 印刷

同等アクション

[メールのアーカイブ \(p. 84\)](#)

5.6.13 メールของアーカイブ

メールをアーカイブするときに、アーカイブフォルダーにメールが移動されます。アーカイブ フォルダーには、年毎にサブフォルダーが作成されます。アーカイブされたメールは、受信した年ごとにサブフォルダーへ保存されます。アーカイブ フォルダーは、この機能を初めて使用した際に作成されます。次のようなオプションの機能があります。

- 90日を経過したフォルダ内のメールをアーカイブする
- 単一のメールをアーカイブする

メールフォルダの内容をアーカイブする：

1. フォルダビューで、メールフォルダを選択します。
2. 次のようなオプションの機能があります。
 - 一覧の上のすべてをクリックします。すべてのメッセージをアーカイブを選択します。
 - フォルダ名の隣のアクションアイコンをクリックします。すべてのメッセージをアーカイブをクリックします。
3. メッセージをアーカイブウィンドウで、アーカイブをクリックします。

単一のメールをアーカイブする：

1. 1つまたは複数のメールを選択します。
2. ツールバーで、アーカイブアイコンをクリックします。
次のいずれかの方法を使用できます。
 - キーボードの [a] キーを押してください。
 - メール一覧で、コンテキストメニューを使用します。

同等アクション

[メールの印刷 \(p. 83\)](#)

5.6.14 メール削除

次のようなオプションの機能があります。

- 個々のメールまたはメールスレッド全体を削除(既定では、メールはごみ箱フォルダに移動されます)
- メールフォルダのすべてのメールを削除(既定では、メールはごみ箱フォルダに移動されます)
- 削除したメールをごみ箱から復元
- ごみ箱からメールを完全に削除 ごみ箱を空にすることでごみ箱からメールを完全に削除することもできます。

警告:メール設定オプション**削除済みのメールを完全に削除**を有効にすると、削除したメールメッセージを復元できなくなります。この設定は無効にしておくことをお勧めします。

メールを削除する：

1. 1つまたは複数のメールを選択します。
2. ツールバーで、**削除アイコン**  をクリックします。
次のいずれかの方法を使用できます。
 - キーボードの [Del] または [Backspace] キーを押してください。
 - 詳細ビューで**削除ボタン**を使用します。
 - メール一覧で、コンテキストメニューを使用します。

結果：ごみ箱フォルダーにメールが移動されます。

フォルダのすべてのメールを削除する：

1. フォルダビューで、削除するメールが保存されているフォルダを **選択** します。
2. 次のようなオプションの機能があります。
 - 一覧の上の**すべて**をクリックします。**すべてのメッセージを削除する**を選択します。
 - フォルダ名の隣の**アクションアイコン**  をクリックします。**全てのメッセージを削除する**ボタンをクリックします。

結果：ごみ箱フォルダーにメールが移動されます。

削除したメールを復元する：

1. フォルダビューで、ごみ箱フォルダーを選択します。
2. 1つまたは複数のメールを選択します。
3. ツールバーの**追加アクションアイコン**  をクリックします。**移動**をクリックします。
4. **移動**ウィンドウで、フォルダを選択します。**移動**ボタンをクリックします。

メールを完全に削除する：

警告:完全に削除したメールを元に戻すことは**できません**。メールを完全に削除する前にそのメールが不要であるか必ず確認してください。

1. フォルダビューで、ごみ箱フォルダーを選択します。
2. 1つまたは複数のメールを選択します。
3. ツールバーで、**削除アイコン**  をクリックします。

結果：メールが完全に削除されます。

ゴミ箱フォルダのファイルを完全に削除する：

警告:完全に削除したメールを元に戻すことはできません。メールを完全に削除する前にそのメールが不要であるか必ず確認してください。

1. フォルダービューで、ゴミ箱フォルダーを選択します。
2. フォルダ名の隣のアクションアイコンをクリックします。フォルダを空にするをクリックします。
3. フォルダを空にすることを確認します。

結果：ごみ箱内のオブジェクトが完全に削除されます。

同等アクション

- メールのアーカイブ (p. 84)
- メールフォルダのクリーンアップ (p. 86)

5.6.15 メールフォルダのクリーンアップ

設定によっては、Apple メール、MS Outlook、Mozilla Thunderbird などのメールクライアントから削除したメールは、それらのクライアントからサインアウトした後でないと、削除されない場合があります。それまでは、グループウェアにはメールにバツが表示されます。これらのメールを削除するには、メールフォルダのクリーンアップを行います。

注：構成によって、メールを表示しないように、この機能が利用できません。

メールフォルダをクリーンアップする：

1. フォルダビューで、クリーンアップするフォルダを 選択 します。
2. フォルダ名の隣のアクションアイコンをクリックします。クリーンアップをクリックします。

同等アクション

- メールの削除 (p. 85)

5.6.16 統合メールの使用

統合メールを使用すると、複数のメールアカウントのメールを1つのフォルダに集約して表示できます。この機能を利用すると、複数のメールアカウントの受信トレイを素早く確認できます。統合メールには、次のような特徴があります。

- メールアカウントの受信トレイに加えて、統合メールフォルダにもアカウントのメールビューが表示されます。ただし、実際のメールは1つだけになります。
- 受信トレイのサブフォルダのメールは、統合メール フォルダには表示されません。
- 統合メールフォルダのメールは、サイドバーにアカウント名で印がつけられます。

次の機能が利用できます。

- 統合メールの使用のために、一つまたは複数のメール アカウントの機能を有効にします。
- 統合メール フォルダにメールを表示できます。

メールアカウントに統合メールの機能を有効にする：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーでアカウントをクリックします。
3. 表示エリアで、外部メールアカウントの隣にある編集をクリックします。設定がポップアップに表示されます。
4. このアカウントに統合メールを使用を有効にします。
ポップアップの下にある保存をクリックします。

統合メールフォルダにメールを表示する：

1. フォルダビューで、統合メールフォルダを開きます。
2. 統合メールフォルダのサブフォルダもクリックできます。

ヒント：サイドバーで、メールの件名の横にアカウントとラベルが表示されます。

関連トピック

[メールの表示 \(p. 63\)](#)

[メールアカウントを追加 \(p. 94\)](#)

[アカウントの表示、編集、削除 \(p. 252\)](#)

5.7 メールフィルタの使用

メールフィルタを使用すると、受信したメールメッセージを容易に整理できます。メールフィルタには、一つまたは複数のルールを設定できます。ルールを設定することで、次のようなアクションを起動できます。

- 特定のメールフォルダにメールを移動
- 他のメールアドレスにメールを転送
- メールが既読になります。

メールフィルタを使用するには、次の手順に従います。

- メールフォルダを作成します。
- 一つまたは複数のルールを作成します。
- ルールの順序を指定します。
- 特定のルールに一致したときに次のルールを処理するかどうかを設定します。

次のようなオプションの機能があります。

- 新規のルールの作成 (p. 89)
- 条件を追加 (p. 90)
- アクションを追加 (p. 91)
- 移動中に新規のルールを作成 (p. 91)
- ルールの変更 (p. 91)
- ルールを既存のメールに適用する (p. 92)

注：次の指示および例については、メールフィルタ機能のすべてが利用可能です。構成によって、一部の機能が利用できないことがあります。

関連トピック

- [メールの自動転送 \(p. 73\)](#)
- [休暇通知の自動送信 \(p. 74\)](#)

5.7.1 新規のルールを作成

ルールには、次の項目が含まれます。

- 名前
- 一つまたは複数の条件
- 1つまたは複数のアクション(一つの条件を満たすだけでアクションを実行できるようにするのか、すべての条件を満たさなければアクションを実行できないのかを指定できます)

新規のルールを作成する：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーでメールをクリックします。フィルタルールをクリックします。
3. 表示エリアで、新規のルールを追加をクリックします。新規のルールを作成ウィンドウが表示されます。
 - ルール名を入力します。
 - 条件を追加 をクリックします。ドロップダウンメニューから目的の条件を選択します。条件詳細を入力します。
 - アクションを追加 をクリックします。メニューで、アクションを選択します。アクション詳細を入力します。
4. 特定のルールを満たす場合にその次のルールを処理するかどうかを設定します。これには、以降のルールを実行をオンまたはオフにします。
5. 次のように作成を終了できます。
 - これから受信するメールにルールを適用するには、保存をクリックします。
 - これから受信するメールおよび既存のメールに新規ルールを適用するには、保存して適用をクリックします。ルールが適用されるメールを含むフォルダを選択します。
注：ルールを既存のメールに適用する場合、操作によっては実行できないことがあります。

従属アクション：

- 条件を追加 (p. 90)
- アクションを追加 (p. 91)

同等アクション

- 移動中に新規のルールを作成 (p. 91)
- ルールの変更 (p. 91)
- ルールを既存のメールに適用する (p. 92)

5.7.2 条件を追加

条件によって操作が適用されるメールを指定できます。1つまたは複数の条件を設定できます。

新規ルールを作成ウィンドウで条件を追加する：

1. **条件を追加** をクリックします。ドロップダウンメニューから目的の条件を選択します。次のことに注意してください。
 - リストにないメール要素を使用するには、**ヘッダ**を選択します。名前 入力フィールドにヘッダのエントリを入力します。ソース データの表示 で、メールのヘッダを確認することもできます。
 - **BCC**を考慮する場合は、**エンベロープ - To**を選択します。エンベロープには、**To**、**CC**または**BCC**フィールドに入力したメールの受取人を含みます。
 - 条件のメールの内容の一部を使用するには、**内容**を選択します。
 - 条件の受信日を使用するには、**現在の日付**を選択します。
2. メール部分の横のドロップダウンメニューから基準を選択してください。入力フィールドに値を入力します。
3. 新しい条件をさらに追加することもできます。一つの条件を満たすだけでアクションを実行できるようにするのか、すべての条件を満たさなければアクションを実行できないのかを指定できます。これを行うには、**すべての条件を満たす場合にルールを適用**をオンまたはオフにします。

条件があれば、ネスト条件が作成できます。作成するには、**条件を追加**をクリックします。**ネスト条件**を選択します。

条件を削除するには、条件の隣にある**削除アイコン**  をクリックします。

例：次の詳細が条件に使用されます。

- メール部分：「件名」
- 基準は「次の文字列と完全に一致」
- 引数は「議事録」

上記の場合、メールの件名が引数の「議事録」に完全に一致するかどうかを検証されます。件名でメールにフィルタをかける例：

- 判定基準：「含む」

引数の文字が件名に含まれる場合、条件を満たします。

例：引数を「minutes」とします。

 - 件名が「minutes」の場合、条件を満たします。
 - 件名が「meeting minutes」の場合も、条件を満たします。
- 判定基準：”一致”

件名が引数の文字に完全に一致する場合、条件を満たします。この文字列には、ワイルドカードを含めることができます。

例：引数を「minutes」とします。「*」の文字は、任意の文字を示すワイルドカードです。

 - 件名が「minutes」の場合、条件を満たします。
 - 件名が「meeting minutes」の場合、条件を満たしません。
- 判定基準：「次の文字列と一致（正規表現）」

正規表現の形で引数に入力した文字が件名に含まれる場合、条件を満たします。正規表現を使用すれば、複雑な絞込みも可能になります。詳細は、インターネットの関連サイトを参照してください。正規表現の非常に簡単な例を次に示します。

例：引数に「organi(z|s)ation」を設定します。「(z|s)」の表現は、「z」または「s」のいずれかの文字を表します。

 - 件名が「minutes」の場合、条件を満たします。
 - 件名が「organisation」の場合も条件を満たします。
 - 件名が「Organic」の場合、条件は満たしません。

従属アクション：

[新規のルールの作成 \(p. 89\)](#)

同等アクション

[アクションを追加 \(p. 91\)](#)

5.7.3 アクションを追加

アクションを使用して条件に一致するメールがどうなるかを指定します。1つまたは複数のアクションを設定できます。

新規ルールを作成ウィンドウでアクションを追加する：

1. **アクションを追加** をクリックします。メニューで、アクションを選択します。
2. アクションによっては、他のボタンや入力フィールドが表示されます。そのようなボタンを使用してアクションを完了します。
3. 新しいアクションをさらに追加することもできます。
アクションを削除するには、アクションの隣にある **削除 アイコン**  をクリックします。

従属アクション：

[新規のルールの作成 \(p. 89\)](#)

同等アクション

[条件を追加 \(p. 90\)](#)

5.7.4 移動中に新規のルールを作成

別のフォルダにメールを移動中に新規のルールを作成できます。このルールが適用される受信メールは、自動でこのフォルダに移動されます。

メールを移動して新規のルールを作成する：

1. メールを選択します。
2. ツールバーの**追加アクションアイコン**  をクリックします。**移動** をクリックします。
詳細ビューでも**追加アクションアイコン**  を使用できます。
移動 ウィンドウで、フォルダを選択します。**移動** ボタンをクリックします。
3. **フィルタールールを作成を有効** にします。フィルターについての詳細情報が表示されます。
移動 ボタンをクリックします。**新規のルールを作成** ウィンドウが表示されます。
4. ルール名を入力します。条件やアクションを調整することもできます。**保存** をクリックします。
メールが移動されます。新規ルールが作成されます。

同等アクション

[新規のルールの作成 \(p. 89\)](#)

[ルールの変更 \(p. 91\)](#)

[ルールを既存のメールに適用する \(p. 92\)](#)

5.7.5 ルールの変更

次のようなオプションの機能があります。

- ルール設定の編集：名前、条件、アクション
- ルールの無効化、有効化、削除
- ルールの起動順序を変更する

既存のパスワードを変更する：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーでメールをクリックします。フィルタルールをクリックします。
3. ルールの設定を編集するには、ルールの隣にある編集をクリックします。ルールを編集ウィンドウで、設定を変更します。
4. ルールを無効にするには、ルールの隣にある無効をクリックします。
ルールを有効にするには、ルールの隣にある有効をクリックします。
5. ルールの順序を変更するには、ルールの隣にある移動アイコンにマウスポインタを置きます。ルールを上または下にドラッグし、適切な場所にドロップします。
注：この機能は、ルールが少なくとも2つある場合にのみ利用できます。
6. ルールを削除するには、ルールの隣にある削除アイコンをクリックします。

同等アクション

- 新規のルールの作成 (p. 89)
- 移動中に新規のルールを作成 (p. 91)
- ルールを既存のメールに適用する (p. 92)

5.7.6 ルールを既存のメールに適用する

ルールをメールフォルダに適用して、既存メールを後でフィルタにかけることができます。

ルールを既存のメールに適用する：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーでメールをクリックします。フィルタルールをクリックします。
3. ルール横の適用をクリックします。ルールが適用されるメールを含むフォルダを選択します。
注：ルールを既存のメールに適用する場合、操作によっては実行できないことがあります。

オプション：

- 新規ルールを作成する一方で、既存のメールにルールを適用することもできます。
適用するには、新規ルールを作成するときに保存して適用をクリックします。ルールが適用されるメールを含むフォルダを選択します。

同等アクション

- 新規のルールの作成 (p. 89)
- 移動中に新規のルールを作成 (p. 91)

5.8 メール検索

目的のメールを検索するには、次の条件を使用できます。

- 件名、メールの本文、差出人、受取人、添付ファイル名を対象に検索します。
- 時間範囲の条件を検索します。時間範囲内に受信したメールを検索する次の事項で有効な時間範囲を定義します。
 - キーワード 今日、昨日、先週、先月、昨年
 - 間隔のキーワード：過去7日間、過去30日、過去365日
 - 曜日、例 月曜日
 - 特定の月、例 7月
 - 4桁の日付、例 2015
 - 日付、例 1/31/2015
 - 日付の間隔、例 12/1/2014 - 1/31/2015
- 検索されないフォルダ

メールを検索する：

1. 検索入力フィールドをクリックしてください。
2. 入力フィールドに検索条件を入力します。検索メニューが表示されます。
検索メニューの項目をクリックして検索対象のデータソースを指定します。
 - 検索条件をクリックする、または Enter キーを押すことによって、次のデータソースが検索対象になります：差出人、受取人、件名、メールの本文
 - 件名のみを検索するには、**検索対象：件名**をクリックします。
 - メール本文のみを検索するには、**検索対象：メール本文**をクリックします。
 - 添付ファイル名の検索には、**添付ファイル名**をクリックします。
 - 検索条件に一致する差出人または受取人を検索するには、名前をクリックします。差出人、受取人、あるいはその両方を検索するかどうかを指定します。そのために、名前の横の **オプション** ▼ アイコンをクリックします。
 - 特定の時間範囲のメールを指定するには、検索条件として有効時間軸を使用してください。入力に有効な時間軸が認識されるとすぐに時間軸が検索メニューに表示されます。期間をクリックします。検索結果は、表示エリアに一覧で表示されます。各検索結果について、見つかったオブジェクトのあるフォルダを表示されます。
3. 検索フォルダを選択するには、入力フィールドの **オプション** アイコン ▼ をクリックします。現在のフォルダがドロップダウンメニューで表示されます。別のフォルダを選択するには、ドロップダウンメニューを開きます。
 - **すべてのフォルダ**を選択すると、内部メールアカウントのすべてのフォルダとサブフォルダを検索します。
注：メールサーバによっては、この機能が利用できない可能性があります。この場合、現在のフォルダのみが検索され、サブフォルダは検索されません。
 - 特定のフォルダ、あるいは外部メールアカウントのフォルダを選択すると、このフォルダのみを検索し、サブフォルダの検索は行いません。
4. 検索結果を変更するには、さらに検索条件を入力します。検索条件を削除するには、検索条件横の削除アイコン ✕ をクリックします。
5. 検索を終了するには、入力フィールドで終了アイコン ✕ をクリックします。

ユーザ インターフェース

[メール検索バー \(p. 55\)](#)

関連トピック

[メールの表示 \(p. 63\)](#)

5.9 メールアカウントを追加

既定として、グループウェアの主なメールアカウントを使用します。GMail,などの他のメールアカウントを使用している場合、そのメールアカウントをグループウェアに追加できます。これにより、グループウェア内からアカウントのメールにアクセスできます。

メールアカウントを追加する：

1. フォルダビューの**メールアカウントを追加**をクリックします。メールアカウントを追加ウィンドウが開きます。
2. アイコンをクリックします。メールアカウントプロバイダによってこの後の手順が異なります。
 - プロバイダによっては新しいブラウザウィンドウが表示されます。認証情報でログインして、メールアカウントへのアクセスを許可します。
 - プロバイダがデータへのアクセスを許可するかどうか聞いてきますので、許可してください。
 - プロバイダによっては、メールアカウントを追加ウィンドウに認証情報を入力します。その後、**追加**をクリックします。

手動をクリックして、手動で要求されたデータを入力することもできます。

3. このアカウントのメールを統合メールフォルダーにも表示する場合、このアカウントに**統合メール**の使用を有効にします。

注：構成によって、この機能は利用できない可能性があります。

メールアカウントの入力がフォルダビューに表示されます。入力にはこのアカウントのメールフォルダを含みます。いずれかのフォルダを開き、次のことを行います。

- このアカウントのメールを閲覧
- このアカウントからメールを送信

ユーザ インターフェース

[メールフォルダビュー \(p. 57\)](#)

関連トピック

[統合メールの使用 \(p. 87\)](#)

[差出人のメールアドレスを選択する \(p. 68\)](#)

[主なメールアカウントの編集 \(p. 251\)](#)

[アカウントの表示、編集、削除 \(p. 252\)](#)

5.10 メール設定

次のようなオプションの機能があります。

- [メールの受信設定 \(p. 96\)](#)
- [メールの作成設定 \(p. 98\)](#)

5.10.1 メール受信設定

メールの受信設定の使い方：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーでメールをクリックします。

構成によって、次の設定が利用できます。

ボタン

- **休暇通知**
詳細は、を参照してください。[休暇通知の自動送信 \(p. 74\)](#)
- **自動転送**
詳細は、を参照してください。[メールの自動転送 \(p. 73\)](#)
- **IMAP登録を変更**
詳細は、を参照してください。[メールフォルダの登録 \(p. 245\)](#)

表示

- **HTML フォーマットのメールを許可**
このチェックボックスを使用すると、HTML メッセージの表示を許可するかどうかを指定できます。
- **カラーの引用ラインを使用**
元のメッセージを強調表示して垂直のラインで表示するかどうかを指定します。このオプションでは、元のメールの本文はファイルとして添付されない代わりに、対象となるメールの本文の最後に挿入されます。
- **テキストメールに固定幅フォントを使用**
テキスト形式のメールの作成時に固定幅フォントを使用するかどうかを指定できます。
- **開封確認メッセージの要求を表示**
受信したメールに開封確認メッセージの要求があった場合、返送する開封確認メッセージを表示するかどうかを指定できます。
- **未表示の全メッセージ付きでフォルダを表示**
未読メッセージフォルダーをフォルダービューに表示するかどうかを指定します。

通知サウンド

- **メール受信時に音が鳴る**
受信メールの通知音を鳴らすかどうかを指定します。
注：デスクトップ通知をブラウザ設定で有効にしてください。詳細は、[通知を受け取る \(p. 41\)](#)を参照してください。
- **音**
異なる音から選択できます。

動作

- **削除済みのメールを完全に削除**
削除されたメールを完全に削除するか、ゴミ箱フォルダに入れるかを指定します。
警告：完全に削除したメール メッセージを元に戻すことはできません。
関連アクション：[メールの削除 \(p. 85\)](#)
- **メールの送信時に「収集済みアドレス」フォルダに連絡先を自動的に収集**
このチェックボックスを使用すると、新規メールの送信時に収集済みアドレスフォルダに新規のメールアドレスを自動的に収集するかどうかを指定できます。
- **メールの表示時に「収集済みアドレス」フォルダに連絡先を自動的に収集**
このチェックボックスを使用すると、新規メールの表示時に収集済みアドレスフォルダに新規のメールアドレスを自動的に収集するかどうかを指定できます。
- **新規の招待を要求**
グループウェアが新規の招待を要求できるかどうかを指定します。

関連トピック

[メールの作成設定 \(p. 98\)](#)

[ホワイトリストを使う \(p. 259\)](#)

5.10.2 メール作成設定

メールの作成設定の使い方：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーでメールをクリックします。作成をクリックします。

構成によって、次の設定が利用できます。

メールのフォーマット

このラジオボタンを使用すると、送信メールのフォーマットを次の中から指定できます。

- **HTML**
メールがhtmlマークアップで送信されます。書式を設定して送信します。
- **テキスト**
メールテキストは書式を使用せずにテキストとして送信されます。
- **HTML とテキスト**
メールはhtmlマークアップで送信され、追加でテキストとして送信されます。

既定のフォントスタイル

HTML形式の場合のメールテキストの既定フォントスタイルを指定します。

メールの転送方法：

メールを転送する際にメールの本文の処理方法を次の中から指定できます。

- **インライン**
テキストは新規メールのテキストで送信されます。
- **添付ファイル**
テキストは新規メールの添付ファイルとして送信されます。

詳細設定

- **vCard を添付**
このチェックボックスを使用すると、新規メールに連絡先データを vCard 形式で添付一ルに追加するかどうかを指定できます。
- **返信に元のメールの本文を残す**
このチェックボックスを使用すると、返信メールに元のメールの本文を残すかどうかを指定できます。
- **メーリングリストに返信時に受取人を確認**
メーリングリストに返信するときに受取人を確認する必要があるかどうかを指定します。
- **差出人の既定のメールアドレス**
このプルダウンメニューを使用すると、新規メールに設定される差出人の既定のメールアドレスを指定できます。
注：差出人名が差出人アドレスの前に表示されます。アカウント設定の名前入力フィールドで名前を入力すると、既定の差出人名が上書きされます。
- **次の受取人を常にBBCに追加する**
全てのメールを固有のアドレスヘブラインドコピーも送信するには、このフィールドに受取人を入力します。

関連アクション：

[新規メールの送信 \(p. 66\)](#)

関連トピック

[メールの受信設定 \(p. 96\)](#)

[主なメールアカウントの編集 \(p. 251\)](#)

6 アドレス帳

アドレス帳アプリケーションの使用方法を説明します。

- アドレス帳構成 (p. 100)
- 連絡先の表示 (p. 107)
- 連絡先の添付ファイルの表示、保存 (p. 108)
- ハロー ビューで連絡先を表示 (p. 109)
- 連絡先の追加 (p. 110)
- 連絡先グループの追加 (p. 112)
- アドレス帳の追加 (p. 115)
- 連絡先の管理 (p. 118)
- 連絡先の検索 (p. 124)
- 外部アドレス帳の登録 (p. 116)
- アドレス帳の設定 (p. 125)

アドレス帳アプリケーションの使用方法：

メニューバーのアプリケーションランチャーアイコンをクリックします。アプリケーションランチャーでアドレス帳をクリックします。

6.1 アドレス帳構成

アドレス帳アプリケーションには次の構成が含まれます。

- アドレス帳検索バー (p. 101)
- アドレス帳ツールバー (p. 102)
- アドレス帳フォルダービュー (p. 103)
- アドレス帳ナビゲーションバー (p. 103)
- アドレス帳表示エリア (p. 103)
 - アドレス帳一覧 (p. 104)
 - アドレス帳詳細ビュー (p. 104)
- 連絡先編集ウィンドウ (p. 105)
- 連絡先グループ編集ウィンドウ (p. 106)

6.1.1 アドレス帳検索バー

連絡先の検索ができます。

フォルダビューが表示される時検索バーも表示されます。フォルダビューを表示するには、ツールバーで、**ビュー**をクリックします。**フォルダビュー** を有効にします。

説明：

[連絡先の検索 \(p. 124\)](#)

関連トピック

[検索バー \(p. 25\)](#)

6.1.2 アドレス帳ツールバー

連絡先を追加、編集または整理を行うための機能を提供します。注意：

- 注：いくつかの機能は、オブジェクトを作成したり、編集したりする権限のあるアドレス帳を開いた場合にのみ有効になります。
- 選択した連絡先にメールアドレスがある場合のみ、一部のボタンが表示されます。

コンテンツ

- **新規新規連絡先** や **新規配布リスト** を作成します。
- **メールを送信** 連絡先へのメールを送信します。
- **招待予定** への出席を連絡先に依頼
- **編集** 連絡先データを編集します。
- **削除** 選択した連絡先の削除を行います。
- **追加アクションアイコン** 。追加機能のあるメニューが表示されます。
注意：
 - 適切な権限がないと、一部のボタンが表示されない場合があります。
 - アドレス帳または連絡先データによっては、一部のボタンの並び方が異なっているか、使用できない場合があります。
- **表示ビュー** を変更するチェックボックスのついたメニューが表示されます。
 - **フォルダビュー** フォルダビューを表示したり、非表示にします。
 - **チェックボックス一覧** のそれぞれのメールの隣にチェックボックスを表示します。複数の連絡先を選択して、その連絡先を一度に編集できます。

説明：

[連絡先の追加](#) (p. 110)

[連絡先の管理](#) (p. 118)

関連トピック

[ツールバー](#) (p. 26)

6.1.3 アドレス帳フォルダービュー

アドレス帳を表示します。

フォルダビューを表示するには、ツールバーで、**ビュー**をクリックします。**フォルダビュー**を有効にします。

コンテンツ

- アドレス帳個人用アドレス帳を含みます。
- パブリックアドレス帳全てのユーザと共有するアドレス帳が含まれます。
- 共有アドレス帳他のユーザがあなたと共有するアドレス帳が含まれます。

構成によって、内容はこの情報と異なる場合があります。

関数

- アドレス帳をクリックすると、連絡先が表示されます。
- 選択したアドレス帳の隣にある**アクションアイコン** を使用して、データの整理やデータの交換に関する機能を実行します。
コンテキストメニューも使用できます。
- **新規アドレス帳を追加**ボタンで新規のプライベート用アドレス帳またはパブリックアドレス帳が作成できます。
- **マイ連絡先データ**ボタンで、グローバルアドレス帳の連絡先データを変更するためのダイアログが表示されます。
- アドレス帳の下の**アドレス帳を登録**ボタンで他のアカウントから連絡先を追加できます。
- フォルダーの幅を調整するには、フォルダービューと表示エリアの間にある境界線にマウスのポインタを置きます。境界線を左または右にドラッグします

説明：

- 連絡先の表示 (p. 107)
- アドレス帳の追加 (p. 115)
- 個人用の連絡先データの変更 (p. 40)
- 外部アドレス帳の登録 (p. 116)
- フォルダーでデータを管理 (p. 228)
- 共有データ (p. 235)

関連トピック

- フォルダビュー (p. 27)

6.1.4 アドレス帳ナビゲーションバー

アルファベット順で文字が並んでいます。文字をクリックすると、その文字で始まる連絡先に飛びます。

関連トピック

- 連絡先の表示 (p. 107)

6.1.5 アドレス帳表示エリア

表示エリアには、連絡先の一覧と連絡先の詳細ビューが表示されます。

関連トピック

- 表示エリア (p. 28)

6.1.6 アドレス帳一覧

表示したアドレス帳にある連絡先を表示します。

コンテンツ

- 次の詳細が、連絡先ごとに表示されます：名前、会社名、既定のメールアドレス
- 一覧の上のテキストには選択したアドレス帳の名前が表示されます。数字は選択したアドレス帳の連絡先の数を表します。
- メーリングリストに返信時に受取人を確認数字または特殊文字から始まる名前は、一覧の一番上に#の下に表示されます。特殊記号で始まる名前は、一覧の一番下でΩの下に表示されます。

関数

- 複数の連絡先を選択するには、ツールバーのビュードロップダウンメニューのチェックボックスオプションを有効にします。
このとき、ご利用のシステムの複数選択機能を使用することもできます。
アドレス帳のすべての連絡先を選択するには、一覧の上にある**すべてを選択**チェックボックスを有効にします。
- 連絡先をクリックすると、詳細ビューにその連絡先のデータが表示されます。
- 一覧の幅を調整するには、一覧と詳細ビューの間にある境界線にマウスのポインタを置きます。境界線を左または右にドラッグします

説明：

[連絡先の表示 \(p. 107\)](#)

関連トピック

[アドレス帳詳細ビュー \(p. 104\)](#)

6.1.7 アドレス帳詳細ビュー

一覧から選択された連絡先のデータが表示されます。一覧の連絡先をダブルクリックすると、データがウィンドウに表示されます。

コンテンツ

- 写真、名前、役職、職業。
- メール アドレス。メールアドレスをクリックすると、新規メールの送信ページが開きます。
- ビジネス用の電話番号とプライベート用の電話番号。
- ビジネス用の住所とプライベート用の住所。アドレス帳設定では、アドレスをクリックすると地図サービスを使用するかどうかを**指定**できます。

表示される情報の範囲は変わる場合があります。

説明：

[連絡先の添付ファイルの表示、保存 \(p. 108\)](#)

[連絡先の管理 \(p. 118\)](#)

関連トピック

[アドレス帳一覧 \(p. 104\)](#)

[連絡先の表示 \(p. 107\)](#)

6.1.8 連絡先編集ウィンドウ

新規連絡先の作成や既存の連絡先を編集するときこのウィンドウを使用します。

ウィンドウを表示するには、次のいずれかを行います。

- ツールバーで、**新規**をクリックします。**連絡先を追加** をクリックします。
- 連絡先の選択ツールバーで、**編集** をクリックします。

コンテンツ

- 連絡先の写真
連絡先の写真をクリックして編集したり、新規連絡先の写真をアップロードします。
- 連絡先データ入力フィールド
 - 名、姓
 - 勤務先、部署
 - メール 1、携帯電話
- 追加の入力フィールド要素：
 - ⊕ 個人情報を追加
 - ⊕ ビジネス情報を追加
 - ⊕ メール、電話番号、FAX番号を追加フィールドを削除アイコン●をクリックすると、追加フィールドとそのデータが削除されます。
- メモ入力フィールド
- 住所を追加異なる住所の入力フィールドを追加します。
- 添付ファイルを追加ファイルを追加します。

説明：

[新規連絡先の作成 \(p. 110\)](#)
[連絡先の編集 \(p. 119\)](#)

関連トピック

[編集ウィンドウ \(p. 31\)](#)

6.1.9 連絡先グループ編集ウィンドウ

新規連絡先グループの作成や既存の連絡先グループを編集するときはこのウィンドウを使用します。

ウィンドウを表示するには、次のいずれかを行います。

- ツールバーで、**新規**をクリックします。**配布リストを追加** をクリックします。
- 連絡先グループを選択します。ツールバーで、**編集** をクリックします。

コンテンツ

- **名前入力フィールド**
このフィールドに連絡先グループの覚えやすい名前を入力します。
- **参加者下の入力フィールド**
このフィールドに連絡先グループの連絡先のメールアドレスを入力します。受取人を入力しているときに、受取人の候補が表示されます。候補を選択するには、その候補をクリックしてください。
連絡先を選択アイコン  アドレス帳から連絡先を選択するウィンドウを開きます。

説明：

[新規連絡グループの作成 \(p. 113\)](#)

関連トピック

[編集ウィンドウ \(p. 31\)](#)

6.2 連絡先の表示

個人用のアドレス帳は、フォルダビューの **連絡先**の下に表示されます。アドレス帳設定では、既定のアドレス帳を**指定**できます。

連絡先を表示する：

1. フォルダビューで、アドレス帳を **選択**します。
2. **ナビゲーションバー** の文字をクリックして、特定の文字から始まる連絡先のみを表示
3. 一覧で、連絡先をクリックします。詳細ビューに連絡先データが表示されます。

オプション：

- カーソル キーを使用して、リストを参照
- 一覧の連絡先をダブルクリックすると、連絡先をウィンドウで開くことができます。

ユーザ インターフェース

- アドレス帳フォルダビュー (p. 103)
- アドレス帳ナビゲーションバー (p. 103)
- アドレス帳詳細ビュー (p. 104)
- アドレス帳一覧 (p. 104)

同等アクション

- フォルダ間の移動 (p. 231)
- 連絡先の添付ファイルの表示、保存 (p. 108)
- ハロー ビューで連絡先を表示 (p. 109)

関連トピック

- 連絡先の検索 (p. 124)

6.3 連絡先の添付ファイルの表示、保存

連絡先の添付ファイルのファイル名は、表示エリアの連絡先名の下に表示されます。次の機能が利用できます。

- ビューアで添付ファイルを表示します。
- 添付ファイルのダウンロード
- 添付ファイルをドライブに保存します。

注：添付ファイルのフォーマットによっては、一部の機能が使用できない場合があります。

連絡先の添付ファイルの機能を使用する：

1. 添付ファイル付きの連絡先を選択します。
2. 詳細ビューで、添付ファイルの名前をクリックします。目的の機能をクリックします。
複数のファイルがある場合、すべての添付ファイルに特定の機能を一度に実行できます。これには、**すべての添付ファイル**をクリックします。

注：構成によって、ダウンロードする前に添付ファイルのウィルスを確認します。

- ウィルスが見つからない場合は、それ以上の通知はなく、添付ファイルがダウンロードされます。
- ウィルススキャンができない、またはウィルスが見つかった場合、対応する警告のウィンドウが表示されます。
この場合、ダウンロードをキャンセルできます。

ユーザ インターフェース

[アドレス帳詳細ビュー \(p. 104\)](#)

同等アクション

[連絡先の表示 \(p. 107\)](#)

6.4 ハロー ビューで連絡先を表示

ハロー ビューでは、次のような連絡先に関するすべての情報がポップアップで表示されます。

- 住所、メールアドレス、電話番号
- 対象の連絡先との最新の情報のやりとり
- 対象の連絡先との共有予定
- ソーシャルネットワークのこの人からの情報この差出人のプロファイルを開くボタンが表示されます。

ハロー ビューで連絡先を表示する：

1. アプリケーションによって、次のいずれかの方法を使用します。
 - メールアプリケーションで、メールを選択します。詳細ビューで、受取人または差出人をクリックします。
 - カレンダーまたはタスクアプリケーションで、アポイントまたは仕事を選択します。詳細ビューまたはポップアップで、参加者をクリックします。
2. ハロービューを閉じるには、ポップアップで **閉じる** ✕ アイコンをクリックします。

同等アクション

[連絡先の表示 \(p. 107\)](#)

関連トピック

[ポップアップ \(p. 29\)](#)

6.5 連絡先の追加

次のようなオプションの機能があります。

- 新規連絡先の作成 (p. 110)
- 添付ファイルの追加 (p. 111)
- vCard添付ファイルからの連絡先の追加 (p. 111)
- 連絡先グループの追加 (p. 112)

ユーザ インターフェース

アドレス帳ツールバー (p. 102)

関連トピック

連絡先のインポート (p. 121)

6.5.1 新規連絡先の作成

新規連絡先を作成する：

1. フォルダビューで、アドレス帳を開きます。
注：オブジェクトを作成する権限のあるアドレス帳を開いてください。
2. ツールバーで、**新規**をクリックします。**連絡先を追加** をクリックします。
3. データを入力します。
4. **保存**をクリックします。

オプション：

- 連絡先の写真を追加するには、空の連絡先の写真をクリックします。画像を編集ウィンドウが開きます。
 - 既存の写真をアップロードするには、**画像のアップロードアイコン**をクリックします。
 - デバイスカメラで新規の写真を作成するには、**写真撮影アイコン**をクリックします。ズームで画像セクションを調整したり、写真を移動したり、回転したりできます。OKをクリックします。保存をクリックします。写真が挿入されます。クリックして、写真を編集します。
- 追加の入力フィールドを追加するには、次の要素をクリックします：
 - ⊕ **個人情報を追加**
 - ⊕ **ビジネス情報を追加**
 - ⊕ **メール、電話番号、FAX番号を追加**
- 追加の入力フィールドとそのデータを削除するには、入力フィールドの隣にある**フィールドを削除**ををクリックします。

ユーザ インターフェース

連絡先編集ウィンドウ (p. 105)

従属アクション：

添付ファイルの追加 (p. 111)

同等アクション

連絡先グループの追加 (p. 112)

vCard添付ファイルからの連絡先の追加 (p. 111)

アドレスの収集 (p. 80)

6.5.2 添付ファイルの追加

連絡先編集ウィンドウで添付ファイルを追加する：

1. 添付ファイル下の添付ファイルを追加をクリックします。
2. 1つまたは複数のファイルを選択します。
添付ファイルを削除するには、削除 アイコン  をクリックします。

ヒント：ファイル ブラウザやデスクトップからドキュメントをドラッグしてメールウィンドウ上にドロップしてもファイルを添付できます。

従属アクション：

[新規連絡先の作成 \(p. 110\)](#)

6.5.3 vCard添付ファイルからの連絡先の追加

メールに添付された vCard から連絡先を追加できます。既定では、添付された vCard ファイルの拡張子は vcf になります。

メールに添付された vCard ファイルから連絡先を追加する：

1. メールメールアプリケーションで、vCard が添付されたメールを選択します。
2. 詳細ビューで、添付ファイルの名前をクリックします。アドレス帳に追加をクリックします。

同等アクション

[新規連絡先の作成 \(p. 110\)](#)

[連絡先グループの追加 \(p. 112\)](#)

6.6 連絡先グループの追加

配布リストをメールの受取人フィールドに入力すると、複数の受取人に同時にメールを送信できます。次のようなオプションの機能があります。

- 新規連絡グループの作成 (p. 113)
- メール宛先を連絡先グループとして保存 (p. 114)
- 参加者リストから配布リストを作成 (p. 114)

6.6.1 新規連絡グループの作成

新規の連絡先グループを作成するには、名前を入力して連絡先を追加します。

新規の配布リストを作成する：

1. フォルダビューで、アドレス帳を 開きます。
注：オブジェクトを作成する権限のあるアドレス帳を開いてください。
2. ツールバーで、**新規**をクリックします。**配布リストを追加** をクリックします。
3. **名前** フィールドに配布リストの名前を入力します。
4. 参加者のメールアドレスを**参加者** フィールドに入力します。
 - メールアドレスの入力中に受取人の候補が表示されます。候補を選択するには、その候補をクリックしてください。
 - アドレス帳から連絡先を選ぶには、入力フィールドの右側にある**アドレス帳アイコン**  をクリックしてください。さらに連絡先を追加するには、上記の手順を繰り返します。連絡先を削除するには、連絡先の **隣**にある  をクリックします。
5. **リストを作成** をクリックします。

ユーザ インターフェース

[連絡先グループ編集ウィンドウ \(p. 106\)](#)

同等アクション

[アドレス帳から連絡先を選択する \(p. 67\)](#)

[メールの宛先を連絡先グループとして保存 \(p. 114\)](#)

[参加者リストから配布リストを作成 \(p. 114\)](#)

6.6.2 メール宛先を連絡先グループとして保存

メールに複数の受取人がある場合、そのすべての受取人を新規の配布リストとして保存できます。

メールのすべての受取人を配布リストとして保存する：

1. メールアプリケーションで、メールを選択します。
2. 詳細ビューで、追加アクションアイコン  をクリックします。
配布リストを追加をクリックします。
3. の作成 に必要な詳細情報を入力します。

ユーザ インターフェース

[連絡先グループ編集ウィンドウ \(p. 106\)](#)

同等アクション

[新規連絡グループの作成 \(p. 113\)](#)

[参加者リストから配布リストを作成 \(p. 114\)](#)

6.6.3 参加者リストから配布リストを作成

連絡先グループは、予定の参加者リストから作成できます。

連絡先グループは、予定の参加者リストから作成できます。

1. 選択されたビューによって、カレンダーで次のオプションがあります：
 - 予定表ビューでは、複数の参加者のいる予定をクリックします。ポップアップで、追加アクションアイコン  をクリックします。配布リストを追加をクリックします。
 - リストビューでは、複数の参加者のいる予定をクリックします。予定はウィンドウに表示されます。追加アクションアイコン  をクリックします。配布リストを追加をクリックします。
2. 配布リストの作成 に必要な詳細情報を入力します。

ユーザ インターフェース

[連絡先グループ編集ウィンドウ \(p. 106\)](#)

同等アクション

[新規連絡グループの作成 \(p. 113\)](#)

[メールの宛先を連絡先グループとして保存 \(p. 114\)](#)

6.7 アドレス帳の追加

次のようなオプションの機能があります。

- [アドレス帳の追加 \(p. 116\)](#)
- [外部アドレス帳の登録 \(p. 116\)](#)
- [登録アドレス帳の更新および管理 \(p. 117\)](#)

ユーザ インターフェース

[アドレス帳フォルダービュー \(p. 103\)](#)

6.7.1 アドレス帳の追加

マイ予定表の下に追加の個人用アドレス帳を作成できます。

新規個人用アドレス帳を作成する：

1. フォルダビューで、**新規アドレス帳を追加**をクリックします。ウィンドウが表示されます。
2. 名前を入力します。新規アドレス帳がパブリックアドレス帳である場合、**パブリックフォルダとして追加**を有効にします。**追加**をクリックします。

ユーザ インターフェース

[アドレス帳フォルダビュー \(p. 103\)](#)

同等アクション

[外部アドレス帳の登録 \(p. 116\)](#)

関連トピック

[連絡先の管理 \(p. 118\)](#)

[フォルダでデータを管理 \(p. 228\)](#)

6.7.2 外部アドレス帳の登録

Googleの連絡先、またはグループウェア内のソーシャルネットワークの連絡先を使用するには、外部アドレス帳を登録します。

注意：

- 登録アドレス帳を更新して、外部アドレス帳から変更を同期できます。
- 登録アドレス帳の連絡先の作成や編集はできません。

外部アドレス帳に登録する：

1. フォルダビューで、**アドレス帳を登録**をクリックします。アドレス帳を登録ウィンドウが表示されません。
2. いずれかのアイコンをクリックします。データソースによっては、この後の手順が異なります。
 - データソースによっては新しいブラウザウィンドウが表示されます。認証情報でログインして、アドレスデータへのアクセスを許可します。
 - プロバイダがデータへのアクセスを許可するかどうか聞いてきますので、許可してください。
 - データソースによっては、**アドレス帳を登録**ウィンドウでデータソースの認証情報を入力する必要があります。

ヒント：登録した連絡先が保存されているアドレス帳は、**登録アイコン**  付きで表示されます。アイコンをクリックすると、登録設定が表示されます。

ユーザ インターフェース

[アドレス帳フォルダビュー \(p. 103\)](#)

同等アクション

[アドレス帳の追加 \(p. 116\)](#)

関連トピック

[登録アドレス帳の更新および管理 \(p. 117\)](#)

6.7.3 登録アドレス帳の更新および管理

次のようなオプションの機能があります。

- 登録アドレス帳の更新
- すべての登録を表示
- 登録を無効化または有効化
- 登録を削除

登録アドレス帳の管理方法：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーで、登録をクリックします。
3. 次の方法を使用します。
 - 登録アドレス帳を更新するには、表示エリアの登録の隣にある更新をクリックします。
 - 登録されたデータの保存されているフォルダを表示するには、登録名の下にあるナビゲーションパスをクリックします。
特定のフォルダーの情報のみを表示するには、フォルダービューにある登録アイコンをクリックします。
 - 登録を無効、または有効にするには、登録の隣にある表示エリアで、無効化または有効化をクリックします。
 - 登録を削除するには、表示エリアで登録の隣にある削除アイコンをクリックします。

関連トピック

[外部アドレス帳の登録 \(p. 116\)](#)

6.8 連絡先の管理

次のようなオプションの機能があります。

- アドレス帳からのメールの送信 (p. 118)
- 予定への出席を連絡先に依頼 (p. 118)
- 連絡先の編集 (p. 119)
- 連絡先の移動またはコピー (p. 119)
- vCard での連絡先の送信 (p. 120)
- Xing 連絡先としての連絡先の追加 (p. 120)
- Xing への出席を連絡先に依頼 (p. 121)
- 連絡先のインポート (p. 121)
- 連絡先をエクスポートする (p. 122)
- 連絡先の印刷 (p. 122)
- 連絡先の削除 (p. 123)

ユーザ インターフェース

- アドレス帳ツールバー (p. 102)
- アドレス帳詳細ビュー (p. 104)

関連トピック

- アドレス帳の追加 (p. 115)

6.8.1 アドレス帳からのメールの送信

アドレス帳から、個々の連絡先または連絡先グループにメールを送信できます。

アドレス帳からメールを送信する：

1. 一覧から一つの連絡先、複数の連絡先、または連絡先グループを選択します。
2. ツールバーで、**メールを送信** をクリックします。
3. **メールの送信** に必要な詳細情報を入力します。

関連トピック

- [新規メールの送信 \(p. 66\)](#)

6.8.2 予定への出席を連絡先に依頼

アドレス帳から、連絡先または連絡先グループの連絡先に予定への招待を依頼できます。

予定への出席を連絡先に依頼する：

1. 一覧から一つの連絡先または連絡先グループ、複数の連絡先または連絡先グループを選択します。
2. ツールバーで、**出席を依頼** をクリックする
3. **予定の作成** に必要な詳細情報を入力します。

関連トピック

- [新規予定の作成 \(p. 146\)](#)

6.8.3 連絡先の編集

連絡先または連絡先グループデータは、後日編集することができます。

前提条件：連絡先または連絡先グループが入っているアドレス帳にあるオブジェクトを編集する権限が必要です。

連絡先または連絡先グループを編集する：

1. 一覧で、連絡先または配布リストを選択します。
2. ツールバーで、**編集** をクリックします。データが表示されます。
3. データを編集します。
4. **保存** をクリックします。

ユーザ インターフェース

[連絡先編集ウィンドウ \(p. 105\)](#)

[連絡先グループ編集ウィンドウ \(p. 106\)](#)

6.8.4 連絡先の移動またはコピー

連絡先または連絡先グループを別のアドレス帳に移動またはコピーすることができます。

前提条件：目的のアドレス帳フォルダにオブジェクトを作成する権限が必要です。

注意：

- 連絡先または連絡先グループをグローバルアドレス帳に移動またはコピーすることができません。
- 連絡先をグローバルアドレス帳から移動することができません。

連絡先を別のアドレス帳に移動またはコピーする：

1. 一覧から一つの連絡先または連絡先グループ、複数の連絡先または連絡先グループを選択します。
2. ツールバーの**追加アクション**アイコン  をクリックします。**移動**または**コピー**をクリックします。ウィンドウが表示されます。
3. アドレス帳を選択します。**フォルダを作成**をクリックして、新規アドレス帳を作成できます。**移動**または**コピー**をクリックします。

注：フォルダビューからオブジェクトをアドレス帳にドラッグして、選択オブジェクトを移動することもできます。

関連トピック

[アドレス帳の追加 \(p. 116\)](#)

6.8.5 vCard での連絡先の送信

連絡先または連絡先グループをvCard形式の添付ファイルをメールで送信できます。

vCard 形式の添付ファイルとして連絡先を送信する：

1. 一覧から一つの連絡先または連絡先グループ、複数の連絡先または連絡先グループを選択します。
2. ツールバーの追加アクションアイコンをクリックします。vCard を送信 をクリックします。
3. メールを送信 に必要な詳細情報を入力します。

同等アクション

[連絡先をエクスポートする \(p. 122\)](#)

関連トピック

[新規メールの送信 \(p. 66\)](#)

6.8.6 Xing 連絡先としての連絡先の追加

Xing でこの連絡先に接続していない場合、Xing 連絡先として連絡先を追加できます。それには、Xing アカウントを持っている必要があります。

Xing 連絡先として連絡先を追加する：

1. 一覧から連絡先を選択します。
2. ツールバーの追加アクションアイコンをクリックします。Xing に追加 をクリックします。

同等アクション

[Xing への出席を連絡先に依頼 \(p. 121\)](#)

6.8.7 Xing への出席を連絡先に依頼

連絡先が Xing アカウントを持っていない場合でも、その連絡先に Xing への出席を依頼できます。

Xing への出席を連絡先に依頼する：

1. 一覧から連絡先を選択します。
2. ツールバーの追加アクションアイコンをクリックします。Xing に追加 をクリックします。

同等アクション

[Xing 連絡先としての連絡先の追加 \(p. 120\)](#)

6.8.8 連絡先のインポート

以下の形式のファイルから連絡先をインポートできます。

- vCard 次のことに注意してください。
 - インポートするファイルに正しい vCard データが含まれていることを確認してください。
 - 1 つの連絡先には、プライベート用の住所とビジネス用の住所を 1 件ずつしかインポートできません。インポートした vCard ファイルに上記以外のプライベート用の住所やビジネス用の住所が存在する場合、これらの住所はインポート時に無視されます。
 - CSV 次の CSV ファイルがサポートされます：
 - カンマ区切りの標準の CSV ファイル
 - 次のバージョンの Microsoft Outlook からエクスポートされた CSV ファイル
 - Microsoft Outlook 2003、2007
 - ドイツ語、英語、フランス語の各言語のバージョン
- 上記の CSV ファイルのフォーマットは自動的に認識されます。個々のデータ フィールドへのデータの割り当ては、ご利用の構成によって異なります。詳細は、管理者やホスティング事業者にお問い合わせください。

ファイルから連絡先をインポートする：

1. 連絡先をインポートする先のアドレス帳をフォルダビューから 選択 します。
2. アドレス帳の隣のアクションアイコンをクリックします。インポート をクリックします。
3. ファイルからインポートウィンドウで使用したい形式を選択します。ファイルをアップロード をクリックします。適切なファイルを選択します。
4. インポート をクリックします。

結果：目的のアドレス帳に連絡先が追加されます。

同等アクション

[連絡先をエクスポートする \(p. 122\)](#)

関連トピック

[連絡先の追加 \(p. 110\)](#)

6.8.9 連絡先をエクスポートする

連絡先または連絡先グループをこのような形式にエクスポートすることができます。

- vCardこの形式を使用して、連絡先を他のメールアプリケーションと交換することができます。
- CSV 連絡先をこの形式でスプレッドシート形式にエクスポートできます。

アドレス帳から一つの連絡先、連絡先グループ、またはすべてのオブジェクトをエクスポートできます。

一つの連絡先または連絡先グループをエクスポートする：

1. 一覧から一つの連絡先または連絡先グループ、複数の連絡先または連絡先グループを選択します。
2. ツールバーの追加アクションアイコンをクリックします。エクスポート をクリックします。選択をエクスポートウィンドウが表示されます。
3. フォーマットを選択します。
選択した連絡先グループをエクスポートするには、連絡先グループと一緒に有効にします。
4. エクスポート をクリックします。メールを完成させ、

連絡先をアドレス帳からエクスポートする：

1. フォルダビューで、個人のまたはパブリックアドレス帳を 選択します。
2. フォルダ名の隣のアクションアイコンをクリックします。エクスポート をクリックします。フォルダをエクスポートウィンドウが表示されます。
3. フォーマットを選択します。
選択した連絡先グループをエクスポートするには、連絡先グループと一緒に有効にします。
4. エクスポート をクリックします。メールを完成させ、

同等アクション

- [vCard での連絡先の送信 \(p. 120\)](#)
- [連絡先のインポート \(p. 121\)](#)

関連トピック

- [すべてのデータをダウンロード \(p. 253\)](#)

6.8.10 連絡先の印刷

一つの連絡先、または複数の連絡先のデータを印刷できます。異なる印刷のレイアウトが選択できます。

連絡先データを印刷する：

1. フォルダビューで、アドレス帳を 開きます。一覧から一つの連絡先または複数の連絡先を選択します。
2. ツールバーの追加アクションアイコンをクリックします。印刷をクリックします。印刷レイアウトの選択ウィンドウが開きます。
3. 印刷レイアウトの選択します。印刷をクリックします。
手順に従い、印刷処理を開始します。
4. 印刷プレビューのウィンドウを閉じます。

6.8.11 連絡先の削除

連絡先または連絡先グループを削除することができます。連絡先グループを削除しても、連絡先グループの連絡先は保持されます。

警告：連絡先または連絡先グループを削除すると元に戻すことはできません。

連絡先を削除する：

1. 一覧から一つの連絡先または連絡先グループ、複数の連絡先または連絡先グループを選択します。
2. ツールバーで、**削除** をクリックします。
3. アイテムの削除を確定します。

結果：項目が削除されます。

6.9 連絡先の検索

目的の連絡先を検索するには、次の検索条件を使用します。

- 名前、メール アドレス、電話番号、部署、住所を対象に検索します。
構成によって、部署を対象に検索できます。
- 検索されるアドレス帳
- タイプ：すべての連絡先、連絡先グループ

連絡先を検索する：

1. 検索入力フィールドをクリックしてください。
2. 入力フィールドに検索条件を入力します。検索メニューが表示されます。
検索メニューの項目をクリックして検索対象のデータソースを指定します。
 - 検索条件をクリックする、または Enter キーを押すことによって、次のデータ ソースが検索対象になります：名前、住所、電話番号
 - 名前のみを検索するには、検索メニューで、**検索対象：名前** をクリックします。
また、検索対象をメール アドレス、電話番号、部署、住所にすることもできます。
 - 検索条件に一致する連絡先を検索するには、検索メニューで名前をクリックします。検索結果は、表示エリアに一覧で表示されます。
3. 検索のアドレス帳を選択するには、入力フィールドの**オプションアイコン ▼**をクリックします。検索するアドレス帳は、**フォルダ**ドロップダウンメニューに表示されます。別のアドレス帳を選択するには、ドロップダウンメニューを開きます。
すべてのフォルダを選択すると、すべてのプライベート、パブリックおよび共有アドレス帳を検索します。
4. 連絡先または連絡先グループを検索対象にするには、入力フィールドの**オプションアイコン ▼**をクリックします。**タイプ**ドロップダウンメニューを開きます。タイプを選択します。
5. 検索結果を変更するには、さらに検索条件を入力します。検索条件を削除するには、検索条件横の削除アイコン **✕** をクリックします。
6. 検索を終了するには、入力フィールドで終了アイコン **⊕** をクリックします。

ユーザ インターフェース

[アドレス帳検索バー \(p. 101\)](#)

関連トピック

[連絡先の表示 \(p. 107\)](#)

6.10 アドレス帳の設定

アドレス帳の設定を使用する：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーで、アドレス帳 をクリックします。

構成によって、次の設定が利用できます。

マイ連絡先データ

グローバル アドレス帳にある自身の個人データを変更するには、このボタンをクリックしてください。
説明：個人用の連絡先データの変更 (p. 40)

名前の表示

このラジオボタンを使用すると、アドレス帳に表示される連絡先の姓名の順序を指定できます。

最初のフォルダ

ログイン後の既定アドレス帳を設定します。

マップサービスと住所をリンクさせる

アドレス帳の連絡先のアドレスをクリックすると表示されるアドレスを表示する地図サービスを指定します。

7 カレンダー

カレンダーアプリケーションの使用方法を説明します。

- カレンダー構成 (p. 128)
- 予定の表示 (p. 139)
- 予定の添付ファイルの表示、保存 (p. 144)
- 予定の作成 (p. 145)
- 予定への招待の回答 (p. 155)
- 予定表を追加する (p. 156)
- 予定の管理 (p. 160)
- 予定の検索 (p. 168)
- グループの管理 (p. 170)
- リソースの管理 (p. 171)
- 予定表の設定 (p. 172)

カレンダーアプリケーションを起動する

メニューバーのアプリケーションランチャーアイコンをクリックします。アプリケーションランチャーで**カレンダー**をクリックします。

構成によって、メニューバーのクイックスタートアイコンをクリックして、カレンダーアプリケーションを起動することもできます。

7.1 カレンダー構成

カレンダーアプリケーションは下記を含みます。

- カレンダー検索バー (p. 129)
- カレンダーツールバー (p. 130)
- ミニ予定表 (p. 131)
- カレンダーフォルダービュー (p. 132)
- カレンダー表示エリア (p. 132)
 - 日、稼働日、週、月、年 の予定表ビュー (p. 133)
 - 日付ピッカー (p. 134)
 - カレンダーポップアップ (p. 135)
 - カレンダー一覧 (p. 135)
 - カレンダー詳細ビュー (p. 136)
- スケジューリングビュー (p. 137)
- 予定編集ウィンドウ (p. 138)

7.1.1 カレンダー検索バー

予定の検索ができます。

フォルダビューが表示される時検索バーも表示されます。フォルダビューを表示するには、ツールバーで、**ビュー**をクリックします。**フォルダビュー** を有効にします。

説明：

[予定の検索 \(p. 168\)](#)

関連トピック

[検索バー \(p. 25\)](#)

7.1.2 カレンダーツールバー

予定を追加、編集または整理を行うための機能を提供します。注：いくつかの機能は、オブジェクトを作成したり、編集したりする権限のある予定表を開いた場合にのみ有効になります。

コンテンツ

- **新規新規予定** を作成します。
- **スケジューリング**複数の参加者のいる予定 をスケジューリングするためのスケジューリングビューを開きます。
- 予定表ビューが**ビュー**で選択されている場合：**今日ボタン**現在の日付の時間軸を選択します。
- **表示ビュー**を変更するチェックボックスのついたメニューが表示されます。
 - **日、稼働日、週、月**または**年**予定表ビュー を選択します。
 - **リストリストビュー** を有効にします。
 - **フォルダビュー**フォルダビューを表示したり、非表示にします。
 - **ミニ予定表**。ミニ予定表を表示したり、非表示にします。
 - リストビューが選択され、**チェックボックス**が有効な場合、オブジェクトに印を付けるチェックボックスが一覧に表示されます。
 - **印刷**予定表シートの印刷プレビューを開きます。

リストビューで予定を選択すると、追加要素が表示されます。

- **編集**予定データ を編集します。
- **ステータス**予定の **ステータスの変更** を行います。
- **削除**選択した 予定の削除 を行います。
- **追加アクション**アイコン。追加機能のあるメニューが表示されます。

説明：

予定の作成 (p. 145)

予定の管理 (p. 160)

関連トピック

ミニ予定表 (p. 131)

ツールバー (p. 26)

7.1.3 ミニ予定表

一月、一年、数年の概要を表示します。

ミニ予定表を表示するには、ツールバーで、**ビュー**をクリックします。**フォルダビュー**と**ミニ予定表**を有効にします。

コンテンツ

- **ブラウズアイコン** < > アイコンをクリックすると、表示範囲が変わります：一月、一年、12年。
- 月が表示されると：
 - ヘッダには月名と年が表示されます。
 - 予定表週と月の日を表示します。
現在の日付は赤で強調表示されます。
 - 曜日をクリックすると、それぞれの時間範囲が予定表ビューに使用されます。
 - ヘッダの月名をクリックすると、年が表示されます。
- 年が表示されると：
 - ヘッダには年が表示されます。
 - 月名が表示されます。
 - 月名をクリックすると、月が表示されます。
 - ヘッダの年をクリックすると、12ヶ月の時間範囲が表示されます。
- 12ヶ月の時間範囲が表示されると：
 - ヘッダに時間範囲の開始と終了が表示されます。
 - 時間範囲内の年が表示されます。
 - 年をクリックすると、その年の月名が表示されます。

日付ピッカーに同様の機能があります。

関連トピック

[日付ピッカー \(p. 134\)](#)

[カレンダーツールバー \(p. 130\)](#)

7.1.4 カレンダーフォルダビュー

予定表が表示されます。

フォルダビューを表示するには、ツールバーで、**ビュー**をクリックします。**フォルダビュー** を有効にします。

コンテンツ

- 予定表個人の予定表を含みます。
- パブリック予定表全てのユーザと共有する予定表が含まれます。
すべてのパブリック予定表には、参加するパブリック予定が含まれます。
- 共有予定表他のユーザがあなたと共有する予定表が含まれます。

構成によって、内容はこの情報と異なる場合があります。

関数

- 予定表をクリックして、その予定表にある予定を表示します。
- 予定表の隣にあるチェックボックスを有効にすると、この予定表の予定が、現在の予定表の予定に加えて表示されます。
- 予定表をダブルクリックしますして、その予定表にある予定のみを表示します。
この予定表を再度ダブルクリックすると、以前表示された予定表が再度表示されます。
- 選択した予定表の隣にある **アクション アイコン**  を使用して、データの整理やデータの交換に関する機能を実行します。
コンテキストメニューも使用できます。
予定表によっては、予定表のプロパティを表示する機能が利用できます。
- **新規予定表ボタンを追加**で、予定表の作成機能、登録機能、インポート機能のメニューが表示されません。
- フォルダの幅を調整するには、フォルダビューと表示エリアの間にある境界線にマウスのポインタを置きます。境界線を左または右にドラッグします

説明：

- 予定の表示 (p. 139)
- 予定表を追加する (p. 156)
- 予定表の色を使用する (p. 164)
- フォルダでデータを管理 (p. 228)
- 共有データ (p. 235)

関連トピック

- フォルダビュー (p. 27)

7.1.5 カレンダー表示エリア

予定表の予定の予定表ビュー、またはリストビューのいずれかを含めます。ビューを選択するには、ツールバーの **ビュー**をクリックします。

関連トピック

- 表示エリア (p. 28)

7.1.6 日、稼働日、週、月、年 の予定表ビュー

フォルダビューで選択された予定表の予定を選択した時間範囲で表示します。

予定表ビューを表示するには、ツールバーで、**ビュー**をクリックします。日、稼働日、週、月、年 のいずれかの設定を有効にします。

コンテンツ

- **ブラウズアイコン** < > で予定表の中をブラウズできます。
- 予定をクリックすると、データがポップアップで表示されます。

曜日ビューの内容

- 曜日、日付、予定表週をクリックすると、日付ピッカーが表示されます。
- **分割** ボタン。フォルダビューで選択された予定表を選択した時間範囲で表示します。
- 予定表シートの赤ラインは現在の時間を表示します。
- 予定表シートの左側にタイムゾーンが日付の上に表示されます。
別のタイムゾーンに日付ついた行を追加するには、タイムゾーンをクリックします。
- 表示されている予定表シートの上下にその他の予定がある場合は、予定表シートの上と下に矢印が表示されます。

稼働日と週ビューの内容

- 月、年、予定表週をクリックすると、日付ピッカーが表示されます。
- 曜日現在の平日は赤で強調表示されます。
[予定表の設定](#)で稼働日の日数と稼働週の最初の曜日を指定できます。
- 稼働日をクリックすると、新規終日予定作成用のウィンドウが開きます。
- 予定表シートの赤ラインは現在の時間を表示します。
- 予定表シートの左側にタイムゾーンが日付の上に表示されます。
別のタイムゾーンに日付ついた行を追加するには、タイムゾーンをクリックします。
- 表示されている予定表シートの上下にその他の予定がある場合は、その日の予定表シートの上と下に矢印が表示されます。

月ビューの内容

- 曜日、月、年
- 予定表の週が予定表シートの左側に表示されます。

年ビューの内容

- 年年をクリックすると、年を選択するウィンドウが表示されます。
予定表シートは一年の曜日と月の概要が表示されます。予定は表示されません。
- 月名をクリックすると、月ビューで予定表が表示されます。

説明：

- [予定の作成](#) (p. 145)
- [予定の管理](#) (p. 160)

関連トピック

- [日付ピッカー](#) (p. 134)
- [カレンダーポップアップ](#) (p. 135)
- [予定の表示](#) (p. 139)

7.1.7 日付ピッカー

予定表を表示して、日付を選択します。

日付ピッカーを表示するには、次のいずれかを行います。

- ミニ予定表が表示されない場合は、日、稼働週、週予定表ビューの上左側の日付をクリックします。
- スケジューリングビューの左上側の日付をクリックする。
- 予定編集ウィンドウの日付入力フィールドをクリックする。

コンテンツ

- **ブラウザアイコン** ◀ ▶ アイコンをクリックすると、表示範囲が変わります：一月、一年、12年。
- 月が表示されると：
 - ヘッダには月名と年が表示されます。
 - 予定表週と月の日を表示します。
 - 日付をクリックすると、日付ピッカーが非表示になります。選択した日付が使用されます。今日をクリックすると、日付ピッカーが非表示になります。現在の日付が使用されます。
 - ヘッダの月名をクリックすると、年が表示されます。
- 年が表示されると：
 - ヘッダには年が表示されます。
 - 月名が表示されます。
 - 月名をクリックすると、月が表示されます。
 - 今日をクリックすると、日付ピッカーが非表示になります。現在の日付が使用されます。
 - ヘッダの年をクリックすると、12ヶ月の時間範囲が表示されます。
- 12ヶ月の時間範囲が表示されると：
 - ヘッダに時間範囲の開始と終了が表示されます。
 - 時間範囲内の年が表示されます。
 - 年をクリックすると、その年の月名が表示されます。
 - 今日をクリックすると、現在の月が表示されます。現在の日付は赤で強調表示されます。

ミニ予定表にも同様の機能があります。

説明：

[日付ピッカーを使用 \(p. 147\)](#)

関連トピック

[ミニ予定表 \(p. 131\)](#)

[日、稼働日、週、月、年 の予定表ビュー \(p. 133\)](#)

[予定編集ウィンドウ \(p. 138\)](#)

[スケジューリングビュー \(p. 137\)](#)

[仕事編集ウィンドウ \(p. 181\)](#)

7.1.8 カレンダーポップアップ

予定表ビューで選択した予定の日付を表示します。

コンテンツ

- 承諾、辞退、ステータスの変更、編集、フォロー、削除の各ボタン。
注：構成によって、次の制限事項がある可能性があります。
 - 個人用の予定表にある予定を処理するボタンは、その機能を実行する権限があるときのみ表示されます。
 - 予定の参加者である場合、その予定を変更したり、削除することはできません。
 - 予定の開催者である場合、ステータスを変更することはできません。
- 追加アクションアイコン  をクリックすると、追加機能付きのメニューが表示されます。各ボタンの下に 予定表での詳細ビューと同じ情報が表示されます。

説明：

- 予定の管理 (p. 160)
- フォロー予定の作成 (p. 152)

関連トピック

- 日、稼働日、週、月、年 の予定表ビュー (p. 133)
- カレンダー詳細ビュー (p. 136)
- ポップアップ (p. 29)

7.1.9 カレンダー一覧

フォルダビューの選択されている予定表にある予定の一覧を表示します。

リストビューを表示するには、ツールバーで、ビューをクリックします。リストを有効にします。

コンテンツ

- および予定が見出しと日付と共に表示されます。
- 日付、時間、色、プライベート予定アイコン、件名、場所が各予定に表示されます。

関数

- 予定をクリックすると、詳細ビューに予定のデータが表示されます。
- 複数の予定を選択するには、ツールバーのビュードロップダウンメニューのチェックボックスオプションを有効にします。
このとき、ご利用のシステムの複数選択機能を使用することもできます。
予定表のすべての予定を選択するには、一覧の上にある **すべてを選択** チェックボックスを有効にします。
- 一覧の上にある **ソート** アイコン  をクリックしてメニューから予定をソート
- 一覧の幅を調整するには、一覧と詳細ビューの間にある境界線にマウスのポインタを置きます。境界線を左または右にドラッグします

説明：

- リスト ビューでの予定の表示 (p. 143)

関連トピック

- カレンダー詳細ビュー (p. 136)

7.1.10 カレンダー詳細ビュー

一覧から選択された予定のデータが表示されます。一覧の予定をダブルクリックすると、データがウィンドウに表示されます。

詳細ビューを表示するには、ツールバーで、**ビュー**をクリックします。リストを有効にします。

コンテンツ

- 件名
- 日時、タイムゾーン
- 繰り返しの予定には：繰り返しのタイプ
- 予定の場所（入力されている場合）。
- 予定の説明（入力されている場合）。
- 参加者の名前。開催者の名前が最初に表示されます。
名前をクリックすると、ポップアップが表示されます。連絡先に関する情報が表示されます。
 - ユーザの連絡先データ
 - 相手とメールをやり取りしたことがある場合は、そのメールを最近のスレッドの下に表示
 - この人との予定を予定している場合、共有予定の下にその予定を表示
 - ソーシャルネットワークのこの人からの情報この差出人のプロファイルを開くボタンが表示されます。メールや予定をクリックすると、さらにポップアップが表示されます。
- 予定の参加者が複数いる場合、承諾、辞退、未回答の参加者の数が参加者一覧の右上に表示されます。参加者の一覧をフィルタするには、目的のアイコンをクリックします。
- 既存のリソースの名前。リソースをクリックすると、ポップアップが表示されます。
- 予定に外部の参加者が含まれている場合は、外部参加者の下に表示されます。
- **詳細**をクリックすると、追加情報が表示されます。
 - 予定の開催者
 - 空き時間の確認
 - 予定表
 - 予定の作成者と予定の作成日
 - 予定の最終更新者

説明：

[予定の管理](#) (p. 160)

[予定の表示](#) (p. 139)

関連トピック

[カレンダー一覧](#) (p. 135)

[カレンダーポップアップ](#) (p. 135)

7.1.11 スケジュールリングビュー

予定された予定に追加する参加者の予定を表示します。

スケジュールリングビューを表示するには、次のいずれかを行います。

- ツールバーで**スケジュールリング**をクリックします。
- 予定編集ウィンドウの**空き時間を検索**をクリックします。

コンテンツ

- **ブラウザアイコン**◀ ▶で予定表の中をブラウザできます。
- 選択した時間軸および予定表週の開始日時と終了日時。これをクリックすると、日付ピッカーが表示され、異なる時間軸が設定できます。
- 予定表シートビューのズーム比調整アイコン
- **オプションボタン**をクリックすると、複数の機能付きのメニューが表示されます。
 - **コンパクト**参加者とリソースを表示する行の高さを指定します。
 - **ファイングリッド**を表示時間グリッド用のより小さいグリッドのスペースを指定します。
 - **空き時間**空き時間の予定を表示するかどうかを指定します。そのような予定は競合を生じません。
 - **予定あり**予定された予定を表示するかどうかを指定します。
 - **予定あり**予定された予定を表示するかどうかを指定します。
 - **週**または月の日付範囲スケジュールリングビューに表示する日付範囲を指定します。
 - **稼働時間以外を非表示にする**稼働時間以外の時間を非表示にするかどうかを指定します。
- スケジュールリングビューがツールバーから開かれた場合：**閉じるアイコン**✕
- 参加者およびリソース用入力フィールド
- 参加者の一覧各参加者について次の情報が表示されます：名前、**削除アイコン**🗑、予定表シートの予定
- 選択した時間軸の予定表シート
- スクロールバースクロールバーによって、時間軸の一部を表示するように設定できます。
- **配布リスト**として**保存ボタン**新規の配布リストに追加参加者を保存します。

説明：

[スケジュールリングビューの使用 \(p. 151\)](#)

関連トピック

[日付ピッカー \(p. 134\)](#)

[予定編集ウィンドウ \(p. 138\)](#)

7.1.12 予定編集ウィンドウ

このウィンドウは、予定の作成または編集時に使用されます。

ウィンドウを表示するには、次のいずれかを行います。

- ツールバーで、**新規**をクリックします。
- リスト ビューで予定を選択し、ツールバーで、**編集** をクリックします。
- 予定表ビュー上の予定をクリックして、ポップアップで、**編集** をクリックします。

コンテンツ

- 予定データ
 - 件名, 場所, 内容 入力フィールド件名は、予定タイトルとして表示されます。場所と内容はおションとして入力できます。
 - 開始日時および終了日時 予定の開始日時と終了日時を設定します。クリックすると、日付ピッカーが表示されます。
終日を無効にすると、開始時刻と終了時刻を設定できます。
 - 時間の横にあるタイムゾーンボタンをクリックすると、ウィンドウが表示され、予定の開始時刻と終了時刻のタイムゾーンを選択できます。予定表の設定で**お気に入りとしてよく使用するタイムゾーンを設定**できます。
 - 終日予定が終日続くかどうかを指定します。
 - 空き時間を検索 スケジューリングビューを直接表示します。このビューでは、複数の参加者の予定のスケジューリングのときに空き時間を検索できます。
 - 繰り返し 予定を繰り返すかどうかを設定します。
 - 予定の出席者。
 - 連絡先/リソースを追加 入力フィールド参加者またはリソースの名前を入力します。
- 予定表ビュー
 - 予定表 予定が作成される予定表を表示します。クリックすると、予定表選択メニューが表示されます。
 - アラーム 予定の終了日時をいつにするか、どのように知らせるかを指定します。
 - 予定の色 予定が表示される色を指定できます。
 - 表示共有 予定表の予定を表示するかどうかを指定します。
 - 標準 予定がすべてのユーザに表示されます。
 - プライベート 参加者でないユーザには予定の日付のみが表示されます。
 - 秘密 参加者でないユーザには予定が表示されません。
 - 空き時間として表示 予定を空き時間として表示するかどうかを指定します。予定が重ならないようにするために、このチェックボックスを有効にします。
 - 参加者は予定を編集できます。参加者が予定を編集できるかどうかを指定します。
- 添付ファイルを追加 ファイルを追加します。

説明：

[新規予定の作成 \(p. 146\)](#)

[予定の編集 \(p. 161\)](#)

関連トピック

[日付ピッカー \(p. 134\)](#)

[スケジューリングビュー \(p. 137\)](#)

[編集ウィンドウ \(p. 31\)](#)

7.2 予定の表示

次のようなオプションの機能があります。

- 予定表ビューでの予定の表示 (p. 140)
- 複数のタイムゾーンを表示 (p. 141)
- 予定は予定表ビューにどのように表示されますか? (p. 142)
- リスト ビューでの予定の表示 (p. 143)

ユーザ インターフェース

カレンダーフォルダービュー (p. 132)

日、稼働日、週、月、年 の予定表ビュー (p. 133)

カレンダー詳細ビュー (p. 136)

カレンダー一覧 (p. 135)

7.2.1 予定表ビューでの予定の表示

予定表ビューで予定を表示する：

1. ツールバーで、**ビュー**をクリックします。日、稼働日、週、月 のいずれか 1 つを選択します。
2. フォルダビューで、予定表を開きます。
3. 予定表上を移動するには、予定表シートの上にあるナビゲーション バーをクリックします。
現在の日付の時間軸を表示するには、ツールバーの**今日**をクリックします。
4. 予定表シート上の予定をクリックすると、予定表のデータが **ポップアップ** で表示されます。

オプション：

- 他の予定表の予定を表示するには、それぞれの予定表の隣にあるチェックボックスを有効にします。
注：登録した予定表に感嘆符で印をつけると、この予定表の予定を関するときに問題が生じます。さらに情報が必要な場合は、感嘆符をクリックしてください。
- 日ビューを選択した場合、**分割**をクリックすることで各日の隣に選択された予定表を表示することができます。
- 1つの予定表の予定だけを表示するには、次のオプションがあります。
 - フォルダビューの予定表をダブルクリックします。
以前に表示された予定表を再表示するには、この予定表を再度ダブルクリックします。
 - 予定表の隣の**アクションアイコン**  をクリックする。この**予定表のみ**を表示をクリックする。
 - 他の予定表の隣にあるチェックボックスを無効にする。

ユーザ インターフェース

日、稼働日、週、月、年 の予定表ビュー (p. 133)

日付ピッカー (p. 134)

カレンダーポップアップ (p. 135)

同等アクション

リスト ビューでの予定の表示 (p. 143)

複数のタイムゾーンを表示 (p. 141)

予定は予定表ビューにどのように表示されますか？ (p. 142)

予定の添付ファイルの表示、保存 (p. 144)

関連トピック

フォルダ間の移動 (p. 231)

予定の検索 (p. 168)

予定は予定表ビューにどのように表示されますか？ (p. 142)

7.2.2 複数のタイムゾーンを表示

既定のタイムゾーンに加えて、お気に入りのタイムゾーンを表示することもできます。既定のタイムゾーンは基本設定で変更できます。

予定表ビューで複数のタイムゾーンを表示する：

1. ツールバーで、**ビュー**をクリックします。日、稼働日、週 のうちいずれか 1 つを選択します。
2. 予定表シートの左側上にある**タイムゾーン**ボタンをクリックします。



メニューを表示します。お気に入りの下のメニューのタイムゾーンを有効にします。

お気に入りを管理をクリックすると、お気に入りへのタイムゾーンの追加・削除ができます。

ユーザ インターフェース

[日、稼働日、週、月、年 の予定表ビュー \(p. 133\)](#)

同等アクション

[予定表ビューでの予定の表示 \(p. 140\)](#)

関連トピック

[お気に入りのタイムゾーンの管理 \(p. 163\)](#)

[基本設定のカスタマイズ \(p. 38\)](#)

7.2.3 予定は予定表ビューにどのように表示されますか？

予定表ビューでは、予定表示は次のように指定されます。

- 予定期間の間の空き時間表示：予定あり、空き時間
 - 予定の確認ステータス：承諾、仮の予定、辞退
 - 参加者ではないユーザのための共有予定表の予定の表示／非表示：標準、プライベート、秘密
 - スペースが十分ある場合、次の予定用アイコンが日、稼働週、週予定表ビューに表示されます：連続予定、参加者のいる予定、プライベート予定、秘密予定、仮の予定
- 表示は、色、アイコン、濃淡の違いで区別されます。

すべての人に表示される予定の表示

空き時間によっては、パブリック予定が次の色とパターンで表示されます。

- 空き時間：幅広の斜線ストライプの入った選択した色
- 予定あり：選択した色

色を選択しない場合は予定表の色が使用されます。予定の確認ステータスによって、パブリック予定は次のように表示されます。

- 承諾した予定は時間ありの色とパターンで表示されます。
 - 仮承諾の予定は、クエスチョンマーク付きで表示されます。
 - 辞退した予定は、件名に線を引いて、薄いグレーで表示されます。
- ヒント：予定表の設定では、辞退した予定を表示するかどうかを指定できます。

注：パブリック予定表または共有予定表では、自分で作成した予定の色だけが見えます。

プライベートまたは秘密の予定の表示

プライベートまたは秘密の予定は次のように表示されます：

- プライベート予定は、グレーで表示され、**プライベート** アイコンで表示されます。
参加者でないユーザには共有予定表の予定の日付のみが表示されます。
- 秘密の予定は、グレーで表示され、**プライベート** アイコンで表示されます。
参加者でないユーザには共有予定表の予定のみが表示されます。秘密の予定は競合の原因になっているとみなされません。秘密の予定はスケジュールリングビューで表示されません。

関連トピック

[予定表ビューでの予定の表示 \(p. 140\)](#)

7.2.4 リスト ビューでの予定の表示

リスト ビューで予定を表示する：

1. ツールバーで、**ビュー**をクリックします。**リスト** を選択します。
2. フォルダビューで、予定表を開きます。
3. 一覧で、予定をクリックします。予定のデータが **詳細ビュー** に表示されます。

オプション：

- 他の予定表の予定を表示するには、それぞれの予定表の隣にあるチェックボックスを有効にします。
注：登録した予定表に感嘆符で印をつけると、この予定表の予定を関するときに問題が生じます。さらに情報が必要な場合は、感嘆符をクリックしてください。
- 1つの予定表の予定だけを表示するには、次のオプションがあります。
 - フォルダビューの予定表をダブルクリックします。
以前に表示された予定表を再表示するには、この予定表を再度ダブルクリックします。
 - 予定表の隣の**アクションアイコン**  をクリックする。**この予定表のみを表示**をクリックする。
 - 他の予定表の隣にあるチェックボックスを無効にする。
- カーソル キーを使用して、リストを参照
- 一覧の予定をダブルクリックすると、予定を別のウィンドウで開くことができます。

ユーザ インターフェース

カレンダー一覧 (p. 135)

同等アクション

フォルダ間の移動 (p. 231)

予定の検索 (p. 168)

予定表ビューでの予定の表示 (p. 140)

複数のタイムゾーンを表示 (p. 141)

予定の添付ファイルの表示、保存 (p. 144)

7.3 予定の添付ファイルの表示、保存

選択したビューに応じて、予定の添付ファイルのファイル名がポップアップか、表示エリアの件名の下に表示されます。次の機能が利用できます。

- ビューアで添付ファイルを表示します。
- 添付ファイルのダウンロード
- 添付ファイルをドライブに保存します。

注：添付ファイルのフォーマットによっては、一部の機能が使用できない場合があります。

予定の添付ファイルの機能を使用する：

1. ビューに応じて、次のいずれかの方法を使用します。
 - 予定表ビュー上にある、添付ファイルがある予定をクリックして、ポップアップで、添付ファイルの名前をクリックします。
 - リスト ビュー上にある、添付ファイルがある予定をクリックして、詳細ビューで、添付ファイルの名前をクリックします。
2. 目的の機能をクリックします。

複数のファイルがある場合、すべての添付ファイルに特定の機能を一度に実行できます。これには、すべての添付ファイルをクリックします。

注：構成によって、ダウンロードする前に添付ファイルのウィルスを確認します。

- ウィルスが見つからない場合は、それ以上の通知はなく、添付ファイルがダウンロードされます。
- ウィルススキャンができない、またはウィルスが見つかった場合、対応する警告のウィンドウが表示されます。

この場合、ダウンロードをキャンセルできます。

同等アクション

[予定の表示 \(p. 139\)](#)

関連トピック

[カレンダー一覧 \(p. 135\)](#)

[カレンダー詳細ビュー \(p. 136\)](#)

[日、稼働日、週、月、年の予定表ビュー \(p. 133\)](#)

[カレンダーポップアップ \(p. 135\)](#)

7.4 予定の作成

次のようなオプションの機能があります。

- 新規予定の作成 (p. 146)
- 日付ピッカーを使用 (p. 147)
- 予定のアラームを使用する (p. 149)
- 定期的な予定の設定 (p. 148)
- 参加者またはリソースを追加する (p. 150)
- 予定の表示の設定 (p. 149)
- 添付ファイルの追加 (p. 150)
- スケジューリングビューの使用 (p. 151)
- フォロー予定の作成 (p. 152)
- 参加者に対する新規予定への出席の依頼 (p. 152)
- メールのすべての受取人に予定への招待 (p. 153)
- iCal ファイルからの予定の作成 (p. 153)
- 予定の競合の解決 (p. 154)

注意：

- カレンダーの予定を作成するには、カレンダーにオブジェクトを作成する権限が必要です。
- 登録カレンダーに予定を作成できません。

ヒント：予定を使用するのがよいのか、タスクを使用するのがよいのかは、次の基準をもとに判断します。

- 予定は、特定の時間に行われるものです。特定の時間に任意のアクションを実行する必要がある場合は、予定を選択します。
- 仕事では終了日時や優先順位を設定できるため、任意のアクションを実行する時間を柔軟に変更できる必要があります。かつ終了日時のみを守ればよい場合は、仕事を選択します。

ユーザ インターフェース

- カレンダーツールバー (p. 130)
- 日、稼働日、週、月、年 の予定表ビュー (p. 133)
- カレンダーポップアップ (p. 135)

関連トピック

- 予定をインポート (p. 165)
- 仕事の作成 (p. 184)

7.4.1 新規予定の作成

新規予定を作成する：

1. フォルダビューで、予定表を開きます。
注：予定を作成する権限のある予定表を開いてください。
2. ツールバーで、**新規**をクリックします。
共有予定表を選択した場合、予定をどこに作成するかをたずねます。
 - 所有者の代理で予定を作成した場合、予定は、所有者の共有予定表に作成されます。
 - しかし、所有者を予定に招待した場合は予定表に保存されます。パブリックカレンダーを選択すると、パブリックカレンダーに予定を作成するかどうかを念のためにたずねます。
3. 件名を入力します。必要に応じて、場所を入力します。
注：件名または場所にウェブアドレスを入力できます。予定を表示する場合、ウェブアドレスはクリックできます。
4. 予定の開始日時と終了日時を設定するには、**開始日時**と**終了日時**の下の次のオプションを使用します。
 - 日付をクリックします。日付ピッカーが表示されます。日付を入力するか、日付ピッカーで日付を選択します。
予定が終日の場合は、**終日**を有効にします。
 - 時間をクリックします。時間を入力するか、一覧の時間を選択します。
 - 時間の隣のタイムゾーンボタンをクリックして、開始時刻または終了時刻のタイムゾーンを設定できます。開始時刻および終了時刻は異なるタイムゾーンを設定することができます。
5. 説明を入れることができます。
別の予定表に予定を作成したい場合は、**予定表**下の予定表名をクリックします。予定表を選択します。
6. **作成**をクリックします。

オプション：

- 予定を作成するには、フリーエリアの予定表シートをダブルクリックするか、新規予定の開始から終了までのエリアをドラッグして表示します。
- 終日の予定を作成するには、**稼働週**または**週予定表**ビューを選択します。予定表シートの上の日をクリック

例：代理として、他のユーザーの予定を整理する方法を教えてください。

- 書き込み権限で予定表フォルダを共有するよう、相手先に依頼します。
- このひとの予定をこのフォルダに入力します。相手先がその予定の開催者として画面に表示されません。

ユーザ インターフェース

予定編集ウィンドウ (p. 138)

従属アクション：

日付ピッカーを使用 (p. 147)
定期的な予定の設定 (p. 148)
予定の表示の設定 (p. 149)
予定のアラームを使用する (p. 149)
参加者またはリソースを追加する (p. 150)
添付ファイルの追加 (p. 150)

同等アクション

スケジューリングビューの使用 (p. 151)
フォロー予定の作成 (p. 152)
参加者に対する新規予定への出席の依頼 (p. 152)

メールのすべての受取人に予定への招待 (p. 153)
iCal ファイルからの予定の作成 (p. 153)
予定の競合の解決 (p. 154)
予定への出席を連絡先に依頼 (p. 118)

7.4.2 日付ピッカーを使用

日付ピッカーで日付フィールドに入力する日付を選択できます。

編集ウィンドウで日付ピッカーを使用する：

1. 開始日時または終了日時下の日付フィールドをクリックします。日付ピッカーが表示されます。
2. 次のいずれかの方法を使用します。
 - 現在の月で日付を選択するには、選択した日をクリックします。
今日の日付を選択するには、今日をクリックすることもできます。
 - 次のオプションで別の月の日付を選択できます。
 - **ブラウズアイコン** < > を使用して、必要な月を検索します。
ヘッダの月名をクリックすることもできます。年が表示されます。目的の月をクリックします。
 - 目的の日をクリックします。
 - 次のオプションで別の年の日付を選択できます。
 - ヘッダの月名をクリックします。現在の年が表示されます。
 - **ブラウズアイコン** < > を使用して、必要な年を検索します。
ヘッダの年をクリックすることもできます。12ヶ月の時間範囲が表示されます。目的の年をクリックします。
 - 目的の月をクリックします。目的の日をクリックします。

日付ピッカーが非表示になります。日付は日付フィールドに入力します。

ユーザ インターフェース

日付ピッカー (p. 134)

従属アクション：

新規予定の作成 (p. 146)
連絡先グループの追加 (p. 112)
参加者またはリソースを追加する (p. 150)
スケジューリングビューの使用 (p. 151)
参加者を仕事に追加する (p. 185)
パブリックリンクを使った共有 (p. 236)
共有アイテムへの招待 (p. 238)

7.4.3 定期的な予定の設定

予定編集ウィンドウで定期的な予定を作成する：

1. 繰り返しを有効にします。あらかじめ設定された繰り返しのパラメータが表示されます。
2. 繰り返しのパラメータを設定するには、目的の値をクリックします。
3. 繰り返しのパラメータを設定：
 - 繰り返しで、予定間のインターバルを設定できます。
 - 間隔の下で間隔パラメータを設定できます。
 - 終了で、連続予定をいつ終了するかを設定できます。

例：

- 予定またはタスクは1日お気に行われ、5回繰り返します。
 - 毎日繰り返し
 - 間隔2日
 - 何回も発生した後終了
 - 発生回数5回
- 予定またはタスクは、毎週火曜日と金曜日に行われます。
 - 毎週繰り返し
 - 稼働日火、金
 - 間隔1週間
 - 無期限で終了
- 予定またはタスクは、第 2 水曜日ごとに行われます。最後の予定は、2023年3月08日に設定します。
 - 毎週繰り返し
 - 稼働日 水
 - 間隔2週間
 - 特定の日に終了
 - 2023年3月8日に終了
- 予定またはタスクは、毎月の第 1 月曜日に行われます。イベントは12回繰り返します。
 - 毎月繰り返し
 - 日毎に繰り返し
 - 間隔1ヶ月
 - 何回も発生した後終了
 - 発生回数12回
- 予定またはタスクは、毎年 11 月の最後の金曜日に行われます。
 - 毎年繰り返し
 - 曜日毎に繰り返し
 - 無期限で終了

従属アクション：

[新規予定の作成 \(p. 146\)](#)

同等アクション

[定期的な予定の作成 \(p. 185\)](#)

7.4.4 予定の表示の設定

次のようなオプションの機能があります。

- 予定を空き時間として表示する
- 予定の色を選択する
- 共有予定表の表示を指定する

予定編集ウィンドウで予定の表示を設定する：

1. 予定の競合を回避するには、**空き時間として表示** を有効にします。
2. 予定個別の色を設定するには、色フィールドをクリックします。**カレンダーの色を使用**をクリックすると、カレンダーの場合予定に色がつきます。
3. 共有予定表では、**表示**ドロップダウンメニューを使用して、参加者でない他のユーザに予定表を表示するかどうかを指定できます。
 - 既定の設定の**標準**では、予定表を見る権限のあるすべてのユーザに予定が表示されます。
 - 予定日のみが他のユーザに表示され、件名やほかの予定日は表示されないようにするには、ドロップダウンメニューから**プライベート**を選択します。プライベートの予定は、**プライベート アイコン**  で表示されます。
 - 予定を他のユーザに見えないようにするには、ドロップダウンメニューから**秘密**を選択します。秘密の予定は、**プライベートアイコン**  で表示されます。秘密の予定は、他の予定と競合しません。スケジューリングビューには表示されません。

従属アクション：

[新規予定の作成 \(p. 146\)](#)

7.4.5 予定のアラームを使用する

予定の作成または編集時に、予定の終了日時を知らせるように設定することができます。設定するには、次の通知のうち一つまたは複数を使用できます：

- 通知エリアの予定アラーム
- メールてによる予定アラーム

予定編集ウィンドウで予定のアラームを設定する：

1. **アラーム**の現在の設定をクリックします。アラームを**編集**ウィンドウが開きます。現在のアラームが表示されます。
2. 現在のアラームを変更するには、**アラームタイプ**を選択します。アラームの時間を**選択**します。時間の**ベンチマーク**を指定します。
3. 別のアラームを追加するには、**新規アラームの追加**をクリックします。アラームを削除するには、**削除アイコン**をクリックします。
4. **OK**をクリックします。

従属アクション：

[新規予定の作成 \(p. 146\)](#)

7.4.6 参加者またはリソースを追加する

予定編集ウィンドウで参加者またはリソースを追加する：

1. 参加者の下の入力フィールドに参加者のメールアドレス、グループ名、配布リスト、またはリソースを入力します。ヒント：
 - メールアドレスの入力中に受取人の候補が表示されます。候補を選択するには、次のいずれかの方法を使用します。
 - スクロールバーを使用してリストを参照し、候補をクリック
 - カーソルキーを使用して候補を選択し、Enter キーをクリック
 - アドレス帳から連絡先を選ぶには、入力フィールドの右側にあるアドレス帳アイコン  をクリックしてください。
2. 参加者またリソースを削除するには、名前の隣にある削除アイコン  をクリックします。
既定として、予定の作成時に開催者として入力されます。パブリックカレンダーで予定を作成すると、予定から開催者を削除できます。削除するには、開催者の隣にある削除アイコン  をクリックします。
すべての参加者にはメールで新規予定が通知されます。

ヒント：すべての参加者とリソースの空き状況を検索するには、[スケジューリングビューの使用](#) をお勧めします。

構成によって、参加者が後で予定を変更できるように指定できます。指定するには、[参加者が予定を編集可能](#) チェックボックスを有効にします。次の事項にご注意ください。

- このオプションはパブリックフォルダー、または外部の参加者のいる予定には利用できません。
- チェックボックスは予定の主催者のみが利用できます。
- 参加者は他の参加者を追加できますが、削除することはできません。
- 参加者は予定から自分を削除することができません。
- 各変更は主催者の代理で行われます。

従属アクション：

[新規予定の作成 \(p. 146\)](#)

従属機能：

[アドレス帳から連絡先を選択する \(p. 67\)](#)

7.4.7 添付ファイルの追加

予定編集ウィンドウで添付ファイルを追加する：

1. 添付ファイル下の添付ファイルを追加をクリックします。
2. 1つまたは複数のファイルを選択します。
添付ファイルを削除するには、削除 アイコン  をクリックします。

ヒント：ファイル ブラウザやデスクトップからドキュメントをドラッグして予定ウィンドウ上にドロップしてもファイルを添付できます。

従属アクション：

[新規予定の作成 \(p. 146\)](#)

7.4.8 スケジューリングビューの使用

複数の参加者やリソースが登録された予定をスケジューリングすると、そのユーザやリソースの空き状況がスケジューリングビューに表示されます。

予定の作成のためにスケジューリングビューを使用する：

1. 次のオプションでスケジューリングビューを表示することができます。
 - 新規予定を作成する前にスケジューリングビューを使用するには、ツールバーの**スケジューリング**をクリックします。スケジューリングページが表示されます。
 - 新規予定を作成している間や既存の予定を編集している間にスケジューリングビューを使用するには、予定編集ウィンドウの**空き時間を検索**をクリックします。スケジューリングウィンドウが表示されます。
2. 参加者に参加者またはリソースの名前を入力します。ヒント：
 - メールアドレスの入力中に受取人の候補が表示されます。候補を選択するには、次のいずれかの方法を使用します。
 - スクロールバーを使用してリストを参照し、候補をクリック
 - カーソルキーを使用して候補を選択し、Enter キーをクリック
 - アドレス帳から連絡先を選ぶには、入力フィールドの右側にある**アドレス帳アイコン**  をクリックしてください。

参加者またはリソースの予定が予定表シートに表示されます。

参加者は配布リストとして保存できます。保存するには、一覧の下にある**配布リストとして保存**を選択します。

3. 予定表の空き時間を検索します。次の方法を使用します。
 - 時間軸を設定するには、左上側の日付をクリックします。ブラウザアイコンを使用することもできます。
 - 予定表シートの表示サイズを設定するには、画面右上にあるコントロール要素を使用します。
 - 週または月の日付範囲を設定するには、**オプション**のドロップダウンメニューのそれぞれの項目を有効にします。
 - **オプション**メニューを使用して、予定表シートでビューを調整します。
 - 時間軸の可視範囲を調整するには、予定表シート下のスクロールバーを使用します。
4. 次のいずれかのオプションを使用して、予定の開始日時と終了日時を指定します。
 - 予定表シートで、新規予定の開始時刻から終了時刻までの範囲をドラッグして開きます。マウスボタンを放す前に [Alt] キーを押すと、予定の開始日時と終了日時が予定編集ページに入力されます。
 - 予定の期間を1時間に設定するには、目的の時間をクリックします。

スケジューリングビューの表示の仕方によって、**予定を作成**または**変更を承諾**のいずれかもクリックして処理を終えることができます。予定編集ウィンドウが表示されます。

5. 予定の作成または編集の詳細を終了します。

ユーザ インターフェース

スケジューリングビュー (p. 137)

日付ピッカー (p. 134)

従属アクション：

アドレス帳から連絡先を選択する (p. 67)

従属アクション：

予定の作成 (p. 145)

関連トピック

新規予定の作成 (p. 146)

予定の競合の解決 (p. 154)

7.4.9 フォロー予定の作成

既存の予定のためのフォロー予定が作成できます。フォロー予定の基本情報に既存の予定の基本情報が入力されます。

フォロー予定を作成する：

1. ビューに応じて、次のいずれかの方法を使用します。
 - 予定表ビュー上の予定をクリックして、ポップアップで、**フォロー** をクリックします。
 - 一覧ビューで予定をダブルクリックします。予定はウィンドウに表示されます。**フォロー** をクリックします。
2. 新規予定のデータを調整してください。**作成** をクリックします。

ユーザ インターフェース

カレンダーポップアップ (p. 135)
カレンダー一覧 (p. 135)

同等アクション

新規予定の作成 (p. 146)

関連トピック

スケジューリングビューの使用 (p. 151)
予定の競合の解決 (p. 154)

7.4.10 参加者に対する新規予定への出席の依頼

予定の参加者が複数いる場合、すべての参加者に新規予定への出席を依頼できます。

参加者に新規予定への出席を依頼する：

1. ビューに応じて、次のいずれかの方法を使用します。
 - 予定表ビューでは、複数の参加者のいる予定をクリックします。ポップアップで、**追加アクション** アイコン  をクリックします。
 - リストビューでは、複数の参加者のいる予定をクリックします。予定はウィンドウに表示されます。**追加アクション** アイコン  をクリックします。
新規予定への招待をクリックします。
2. 予定の作成に必要な詳細情報を入力します。

同等アクション

新規予定の作成 (p. 146)
メールのすべての受取人に予定への招待 (p. 153)

関連トピック

スケジューリングビューの使用 (p. 151)
予定の競合の解決 (p. 154)

7.4.11 メールのすべての受取人に予定への招待

メールに複数の受取人がある場合、そのすべての受取人に新規予定への出席を依頼できます。

メールのすべての受取人に予定への出席を依頼する：

1. メールアプリケーションで、メールを選択します。
2. 詳細ビューで、**追加アクションアイコン**  をクリックします。
新規予定への招待 をクリックします。
3. **予定の作成** に必要な詳細情報を入力します。

同等アクション

[新規予定の作成 \(p. 146\)](#)

[参加者に対する新規予定への出席の依頼 \(p. 152\)](#)

関連トピック

[スケジューリングビューの使用 \(p. 151\)](#)

[予定の競合の解決 \(p. 154\)](#)

7.4.12 iCal ファイルからの予定の作成

メールに添付された iCal ファイルから予定を作成できます。iCal ファイルは .ics のファイル拡張子で判別できます。

メールに添付された iCal ファイルから予定を作成する：

1. メールアプリケーションで、iCal が添付されたメールを選択します。
2. 詳細ビューで、添付ファイルの名前をクリックします。**予定表に追加** をクリックします。

同等アクション

[新規予定の作成 \(p. 146\)](#)

関連トピック

[予定の競合の解決 \(p. 154\)](#)

7.4.13 予定の競合の解決

次のような状況では、予定の競合が発生します。

- 既に別の予定の参加者として登録され、予定の表示は次のように設定します：
 - 表示は標準またはプライベートに設定します。
 - 空き時間として表示チェックボックスは無効です。
- 新規予定を作成し、次の予定表示を選択します。
 - 表示は標準またはプライベートに設定します。
 - 空き時間として表示チェックボックスは無効です。

作成ページをクリックすると、競合が検出されましたページが表示されます。競合の原因になっている予定が表示されます。

予定の競合の解決：

1. 詳細を表示または非表示にするには、競合が検出されましたページの予定をクリックします。
2. 次のいずれかの方法を使用します。
 - 競合を無視して予定を作成するには、競合を無視 をクリックします。
 - 競合を解決するには、キャンセル をクリックします。予定の時間を変更するか、空き時間を表示を有効にします。

関連トピック

- [新規予定の作成 \(p. 146\)](#)
- [スケジューリングビューの使用 \(p. 151\)](#)
- [フォロー予定の作成 \(p. 152\)](#)

7.5 予定への招待の回答

他のユーザや外部のパートナーから予定の参加者としてユーザ自身が登録されると、少なくとも次のいずれかの方法で通知があります。

- この予定に関する情報が通知エリアに表示されます。
- 予定への招待メールを受信します。

予定への出席については、承諾、仮承諾、辞退が選択できます。予定の確認ステータスは後でいつでも変更できます。

通知エリアで予定への招待に回答する：

1. メニューバーで、**通知** アイコン  をクリックします。通知エリア が表示されます。
2. 予定表に予定を表示するには、**予定用に表示** をクリックします。
予定の招待に返信するには、招待の下にある**承諾/辞退** をクリックします。
3. **確認ステータスを変更** ウィンドウで、コメントを入力します。**承諾**、**仮の予定**、**辞退** のいずれかのボタンをクリックします。

ヒント：**招待を承諾** ボタンをクリックし、通知エリアで直接予定を承諾することもできます。

招待メールで予定への招待に回答する：

1. メールアプリケーションで、アポイントへの出席依頼メールを開きます。
2. 詳細ビューのこのメールには**予定があります**の下にコメントを入力します。**承諾**、**仮の予定**、**辞退** のいずれかのボタンをクリックします。

注：予定表の設定では、予定を承諾または辞退した時に自動的に招待メールを削除するかどうかを指定できます。

ユーザ インターフェース

[通知エリア \(p. 30\)](#)

関連トピック

[予定確認またはステータスの変更 \(p. 162\)](#)

7.6 予定表を追加する

次のようなオプションの機能があります。

- 個人の子定表を追加する (p. 157)
- 予定表の登録 (p. 158)
- ファイルから予定表をインポートする (p. 159)
- 共有カレンダーの表示および同期 (p. 159)

ユーザ インターフェース

 カレンダーフォルダービュー (p. 132)

7.6.1 個人の子定表を追加する

マイ子定表の下に追加の個人の子定表を作成できます。

新規個人の子定表を作成する：

1. フォルダビューで、**新規子定表を追加**をクリックします。メニューを表示します。
個人のカレンダーをクリックします。
ウィンドウが表示されます。
2. 名前を入力します。新規子定表がパブリック子定表である場合、**パブリック子定表として追加**を有効にします。**追加**をクリックします。

ユーザ インターフェース

[カレンダーフォルダビュー \(p. 132\)](#)

同等アクション

[子定表の登録 \(p. 158\)](#)

[ファイルから子定表をインポートする \(p. 159\)](#)

関連トピック

[子定の管理 \(p. 160\)](#)

[フォルダでデータを管理 \(p. 228\)](#)

7.6.2 予定表の登録

外部のカレンダーを登録することで、外部カレンダーから予定をグループウェアのカレンダーにインポートできます。次のカレンダーに登録できます。

- インターネットで一般に利用できるカレンダー 各国の祝日やスポーツイベント、メディアイベント、株価などがついた予定表などがあります。
- Googleカレンダー
- インターネットで一般に利用できるiCal カレンダー これを行うには、予定表のURLを知る必要があります。

注意：

- 外部カレンダーの予定の変更は、すぐに登録カレンダーに自動的に同期されます。
- 登録カレンダーに予定を作成または編集できません。

外部カレンダーに登録する：

1. フォルダビューで、**新規予定表を追加**をクリックします。メニューを表示します。
2. 次のようなオプションの機能があります。
 - パブリックカレンダーに登録するには、**対象のカレンダーを検索**をクリックします。予定表の追加ウィンドウが開きます。
注：構成によって、この機能は利用できない可能性があります。
登録したい予定表の言語および国を選択します。
1つまたは複数の予定表を選択します。保存をクリックします。
 - Google カレンダーに登録するには、**Google カレンダー**をクリックします。新規ブラウザウィンドウが開きます。Googleカレンダーへのアクセスを許可します。
予定が新しい予定表にインポートされます。インポートが完了するとすぐに、予定表を登録ウィンドウが閉じます。
 - iCalカレンダーに登録するには、URL (iCal)で**登録**をクリックします。iCalフィードを登録ウィンドウが表示されます。
iCalのURLを入力します。登録 をクリックします。

オプション：

- カレンダー設定の既定アラームはパブリックカレンダーまたはiCalカレンダーのすべての予定に適用されます。
このカレンダーの各予定のこのアラームを変更するには、カレンダーの隣の**アクションアイコン**  をクリックします。**アラームを調整**をクリックします。
予定のアラームを変更するには、予定の詳細ビューまたはポップアップを使用します。
注：この機能は登録したGoogle カレンダーでは使用できません。
- 登録データを更新するには、予定表の隣にある**アクションアイコン**  をクリックします。この**予定表を更新** をクリックします。

同等アクション

- 個人予定表を追加する (p. 157)
- ファイルから予定表をインポートする (p. 159)

7.6.3 ファイルから予定表をインポートする

他のアプリケーションで作成した予定表をインポートできます。インポートしたい予定表は、iCalファイルとして利用できなければなりません。

ファイルから予定表をインポートする：

1. フォルダビューで、**新規予定表を追加**をクリックします。メニューを表示します。
ファイルをアップロード をクリックします。ファイルからインポートウィンドウが表示されます。
2. **ファイルをアップロード** をクリックします。目的のファイルを選択します。
3. 新規カレンダーの名前を入力します。**インポート** をクリックします。

同等アクション

[個人の予定表を追加する \(p. 157\)](#)

[予定表の登録 \(p. 158\)](#)

7.6.4 共有カレンダーの表示および同期

パブリックカレンダーおよび共有カレンダーをフォルダビューに表示するかどうかを指定します。カレンダーを表示する場合は、このカレンダーを他のクライアント、例えばスマートフォンなどと同期するかどうかを設定できます。

どのカレンダーを表示および同期するかを指定する：

1. フォルダビューで、**新規予定表を追加**をクリックします。メニューを表示します。
共有カレンダーの登録をクリックします。
メール設定の**共有カレンダーの登録**ボタンを使用することもできます。
ウィンドウが表示されます。パブリックカレンダーと共有カレンダーが表示されます。
2. カレンダーを表示するように指定するには、カレンダーの左側のスイッチを有効にします。
表示されたカレンダーを同期するように指定するには、カレンダーの右側のチェックボックスを有効にします。

関連トピック

[他のユーザの共有にアクセスする \(p. 245\)](#)

7.7 予定の管理

次のようなオプションの機能があります。

- 予定の編集 (p. 161)
- 予定確認またはステータスの変更 (p. 162)
- 開催者を変更 (p. 163)
- お気に入りのタイムゾーンの管理 (p. 163)
- 予定表の色を使用する (p. 164)
- 別の予定表への予定の移動 (p. 164)
- 予定をインポート (p. 165)
- 予定をエクスポートする (p. 165)
- 予定の印刷 (p. 166)
- 予定の削除 (p. 167)

ユーザ インターフェース

- カレンダーツールバー (p. 130)
- 日、稼働日、週、月、年 の予定表ビュー (p. 133)
- カレンダーポップアップ (p. 135)
- カレンダー詳細ビュー (p. 136)

関連トピック

- 予定表を追加する (p. 156)

7.7.1 予定の編集

次のようなオプションの機能があります。

- 予定編集ウィンドウのすべての予定データを編集できます。
- 予定表ビューの予定の時間または期間を変更することもできます：
 - 予定を別の日に移動
 - 予定の時間または期間を変更

前提条件: 予定が保存されている予定表のオブジェクトを編集する権限が必要です。

注意:

- 構成によって、予定の開催者のみがある開催者の個人用カレンダーにある予定を編集できます。
- 登録カレンダーの予定は編集できません。

予定編集ウィンドウの予定を編集する:

1. ビューに応じて、次のいずれかの方法を使用します。
 - 予定表ビュー上の予定をクリックして、ポップアップで、**編集** をクリックします。
 - リスト ビューで予定を選択し、ツールバーで、**編集** をクリックします。繰り返しの予定を選択している場合、どの繰り返しの予定に変更を適用するかを尋ねられます。
 - 繰り返しの予定の最初の予定を選択している場合、最初の予定のみ、または繰り返しすべての変更が可能です。
 - 繰り返しの予定の他のすべての予定については、その選択している予定、またはその選択している予定とそれから先の繰り返しの予定すべての変更のいずれかのみを変更できます。

予定のデータが表示されます。

2. データを編集します。
3. 保存をクリックします。

予定を別の日に移動する:

1. 日、稼働日、週 のビューのうちいずれか 1 つを選択します。
2. 予定を別の日にドラッグします。

予定の時間または期間を変更する:

1. 日、稼働日、週 のビューのうちいずれか 1 つを選択します。
2. 次のいずれかの方法を使用します。
 - 予定を別の時間にドラッグします。
 - 予定の開始時刻または終了時刻を別の時刻にドラッグします。

ユーザ インターフェース

予定編集ウィンドウ (p. 138)

日付ピッカー (p. 134)

7.7.2 予定確認またはステータスの変更

予定のステータスは後で変更できます。次のようなオプションがあります。

- コメントなしで予定を承諾または辞退できます。
- 確認ステータスを変更することができます。他の参加者に表示されるコメントを追加することができます。

注意：

- 構成によって、予定の参加者である場合、個人用の予定表にある予定しか編集できません。
- 定期的な予定では、そのうちの 1 つの予定に対する確認ステータスを変更できます。

予定を承諾または辞退する：

1. ビューに応じて、次のいずれかの方法を使用します。
 - 予定表ビュー上の予定をクリックして、ポップアップが開きます。
 - 一覧ビューで予定をダブルクリックします。予定はウィンドウに表示されます。
承諾または辞退をクリックします。
2. 定期的な予定を選択している場合には、1 つの予定にのみ変更を適用するのか、予定全体に適用するの
かを設定します。

確認ステータスを変更する：

1. ビューに応じて、次のいずれかの方法を使用します。
 - 予定表ビュー上の予定をクリックして、ポップアップで **ステータスを変更** をクリックします。
 - リスト ビューで予定を選択し、ツールバーの **ステータス** をクリックします。
2. 定期的な予定を選択している場合には、1 つの予定にのみ変更を適用するのか、予定全体に適用するの
かを設定します。
3. **確認ステータスを変更** ウィンドウで、コメントを入力します。**承諾**、**仮の予定**、**辞退** のいずれかのボ
タンをクリックします。

7.7.3 開催者を変更

予定に少なくとも参加者が2人いる場合、予定または繰り返しの予定の開催者を変更できます。次の予定の開催者を変更できません。

- 外部参加者のいる予定
- 繰り返しの予定の中で個別に変更された予定

注：構成によって、この機能は利用できない可能性があります。

予定の開催者を変更する：

1. ビューに応じて、次のいずれかの方法を使用します。
 - 予定表ビュー上の予定をクリックして、ポップアップで、**追加アクション** アイコン  をクリックします。
 - リストビューで1つの予定、または複数の予定を選択します。ツールバーの**追加アクション**アイコンをクリックします。**開催者を変更**をクリックします。
2. 定期的な予定を選択している場合には、1つの予定にのみ変更を適用するのか、予定全体に適用するのかを設定します。
3. **開催者を変更**ウィンドウの新規開催者のメールアドレスを入力します。
注：外部参加者は、開催者に設定できません。

7.7.4 お気に入りのタイムゾーンの管理

お気に入りに登録されたタイムゾーンは既定のタイムゾーンと同時に予定表シートに表示できます。

タイムゾーンをお気に入り印をつける：

1. メニューバーの右側の**設定**アイコンをクリックします。
2. サイドバーで、**予定表** をクリックします。**お気に入りのタイムゾーン**をクリックします。
3. 表示エリアで **タイムゾーンを追加**をクリックします。お気に入りのタイムゾーンを選択する ウィンドウが開きます。
4. 一覧からタイムゾーンを選択します。**追加** をクリックします。

お気に入りリストからタイムゾーンを削除するには、タイムゾーンの隣にある**削除**アイコンをクリックします。

関連トピック

- [予定編集ウィンドウ \(p. 138\)](#)
- [複数のタイムゾーンを表示 \(p. 141\)](#)

7.7.5 予定表の色を使用する

予定表に色を割り当てることができます。予定表のすべての予定は予定表の色で表示されます。個別の色を予定の作成または編集時に割り当てる場合、予定は予定表の色ではなく、割り当てられた色で表示されます。

予定表の色を選択する：

1. フォルダビューの予定表名の隣のアクションアイコンをクリックします。
2. 色選択ドロップダウンメニューから色を選択します。

関連トピック

[予定は予定表ビューにどのように表示されますか？ \(p. 142\)](#)

7.7.6 別の予定表への予定の移動

別の予定表に予定を移動することができます。

前提条件：目的の予定表にオブジェクトを作成する権限が必要です。

予定を別の予定表に移動する：

1. ビューに応じて、次のいずれかの方法を使用します。
 - 予定表ビュー上の予定をクリックして、ポップアップで、追加アクション アイコン  をクリックします。
 - リストビューで1つの予定、または複数の予定を選択します。ツールバーの追加アクションアイコンをクリックします。

移動をクリックします。

2. 移動ウィンドウで、予定表を選択します。フォルダを作成をクリックして、新規予定表を作成できます。
3. 移動をクリックします。

関連トピック

[予定表を追加する \(p. 156\)](#)

7.7.7 予定をインポート

iCal形式のファイルから予定をインポートできます。

iCalファイルから予定をインポートする：

1. 予定表を選択して、フォルダビューに予定をインポートします。
2. カレンダーの隣のアクションアイコンをクリックする。**インポート** をクリックします。
3. ファイルからインポートウィンドウで**ファイルをアップロード**をクリックします。iCal フォーマットのファイルを選択します。
既存の予定と同じidの予定をインポートするには、**既存の予定を無視**を有効にします。
4. **インポート** をクリックします。

結果：連絡先が予定表に追加されます。

同等アクション

[予定をエクスポートする \(p. 165\)](#)

7.7.8 予定をエクスポートする

予定を iCalendar 形式でエクスポートできます。この形式を使用して、予定を他の予定表アプリケーションと交換することができます。予定表から一つの予定またはすべての予定をエクスポートできます。

一つの予定をエクスポートする：

1. ビューに応じて、次のいずれかの方法を使用します。
 - 予定表ビュー上の予定をクリックして、ポップアップで、**追加アクション** アイコン  をクリックします。
 - リストビューで1つの予定、または複数の予定を選択します。ツールバーの**追加アクション**アイコンをクリックします。**エクスポート** をクリックします。**選択**をエクスポートウィンドウが表示されます。
2. **エクスポート** をクリックします。メールを完成させ、

予定をアドレス帳からエクスポートする：

1. フォルダビューで、個人のまたはパブリックアドレス帳を **選択**します。
2. フォルダ名の隣のアクションアイコンをクリックします。**エクスポート** をクリックします。フォルダをエクスポートウィンドウが表示されます。
3. **エクスポート** をクリックします。メールを完成させ、

同等アクション

[予定をインポート \(p. 165\)](#)

関連トピック

[すべてのデータをダウンロード \(p. 253\)](#)

7.7.9 予定の印刷

予定表や予定を印刷できます。ここでは、次の機能が利用できます。

- 予定のある予定表シートの印刷
- 予定のデータの印刷
- 予定の詳細な一覧、またはコンパクトな一覧を印刷する

予定のある予定表シートを印刷する：

1. ツールバーで、**ビュー**をクリックします。日、稼働日、週、月 のいずれか 1 つを選択します。
2. フォルダビューで、予定表を開きます。
3. ツールバーで、**ビュー**をクリックします。印刷をクリックします。印刷プレビューのウィンドウが表示されます。
4. 必要に応じて、プリンタの設定を変更します。印刷ボタンをクリックします。
5. 印刷プレビューのウィンドウを閉じます。

予定のデータを印刷する：

1. ビューに応じて、次のいずれかの方法を使用します。
 - 予定表ビュー上の予定をクリックして、ポップアップで、**追加アクション** アイコン  をクリックします。
 - リストビューで1つの予定、または複数の予定を選択します。ツールバーの**追加アクション**アイコン  をクリックします。印刷をクリックします。印刷プレビューのウィンドウが表示されます。
2. 必要に応じて、プリンタの設定を変更します。印刷ボタンをクリックします。
3. 印刷プレビューのウィンドウを閉じます。

予定の一覧を印刷する：

1. ツールバーで、**ビュー**をクリックします。リスト を選択します。
2. 印刷する予定を選択します。
3. ツールバーの**追加アクション**アイコン  をクリックします。印刷をクリックします。ウィンドウが表示されます。予定をどのように印刷するかをたずねます。
 - 詳細な予定情報の一覧を印刷するには**詳細**をクリックします。
 - 予定のコンパクトな一覧を印刷するために**コンパクト**をクリックします。
4. 必要に応じて、プリンタの設定を変更します。印刷ボタンをクリックします。
5. 印刷プレビューのウィンドウを閉じます。

7.7.10 予定の削除

警告: 予定を削除すると元に戻すことはできません。構成によって、予定の開催者のみとその開催者の個人用の予定表にある予定を削除できます。

予定を削除する：

1. ビューに応じて、次のいずれかの方法を使用します。
 - 予定表ビュー上の予定をクリックして、ポップアップで、**削除** をクリックします。
 - リストビューで1つの予定、または複数の予定を選択します。ツールバーで、**削除** をクリックします。
2. 予定の削除を確定します。

結果：予定が削除されます。

オプション：

- 繰り返しの予定を選択している場合、どの繰り返しの予定に変更を削除するかを尋ねられます。
 - 繰り返しの予定の最初の予定を選択している場合、最初の予定のみ、または繰り返しすべての削除ができます。
 - 繰り返しの予定の1つの予定を選択している場合、その選択している予定のみの削除、またはその選択している予定とそれから先の繰り返しの予定すべての削除のいずれかのみが行えます。
 - 繰り返しの最後の予定を選択している場合は、最後の予定のみ削除可能です。後の場合、予定を削除するかどうかは聞かれません。
- 予定の開催者である場合、メッセージを入力して他の参加者に削除の理由を知らせることができます。次の条件を満たす場合に入力フィールドが表示されます：
 - 予定に少なくとも参加者が2人いる。
 - **予定変更の通知を受信**が予定表の設定で有効になっている。メッセージはメールで送信されます。

7.8 予定の検索

目的の予定を検索するには、次の検索条件を使用します。

- 件名、説明、場所、添付ファイルの名前、参加者を対象に検索します。
- 検索されない予定表
- 予定の確認ステータス
- 予定作成の期間、現在の日付に関連している：先週、先月、昨年
- タイプ：すべて、定期的、単一予定

予定を検索する：

1. **検索**入力フィールドをクリックしてください。
2. 入力フィールドに検索条件を入力します。検索メニューが表示されます。
検索メニューの項目をクリックして検索対象のデータソースを指定します。
 - 検索条件をクリックする、または Enter キーを押すと、次のデータ ソースが検索対象になります：
件名、説明
 - 件名のみを検索するには、検索メニューで、**検索対象：件名** をクリックします。
また、**検索対象**を説明、場所、添付ファイルの名前にすることもできます。
 - 特定の参加者との予定を検索するには、検索メニューで名前をクリックします。検索結果は、表示エリアに一覧で表示されます。
3. 検索の予定表を選択するには、入力フィールドの**オプション**アイコン ▼ をクリックします。検索した予定表は**フォルダ**ドロップダウンメニューに表示されます。別の予定表を選択するには、ドロップダウンメニューを開きます。
すべてのフォルダを選択すると、すべてのプライベート、パブリックおよび共有予定表を検索します。
4. 検索対象を特定の予定にするために次のオプションがあります。
 - 特定の確認ステータス付きの予定を検索対象にするには、入力フィールドの**オプション**アイコン ▼ をクリックします。**マイステータス**ドロップダウンメニューを開きます。ステータスを選択します。
 - 特定の時間範囲を検索対象にするには、入力フィールドの**オプション**アイコン ▼ をクリックします。**範囲**ドロップダウンメニューを開きます。時間範囲を選択します。
 - 単一または定期的な予定を検索対象にするには、入力フィールドの**オプション**アイコン ▼ をクリックします。**タイプ**ドロップダウンメニューを開きます。タイプを選択します。
5. 検索結果を変更するには、さらに検索条件を入力します。検索条件を削除するには、**検索条件横の削除**アイコン ✕ をクリックします。
6. 検索を終了するには、入力フィールドで**終了**アイコン ⏹ をクリックします。

ユーザ インターフェース

[カレンダー検索バー \(p. 129\)](#)

関連トピック

[予定の表示 \(p. 139\)](#)

7.9 グループの管理

同じ複数の人を頻繁に予定や仕事に追加したい場合はその人たちで構成する**グループ**を作成することができます。参加者を一人ずつ追加する代わりにそのグループを参加者として追加することができます。次のようなオプションの機能があります。

- 新規のグループの作成
- 既存のグループの編集
- 既存のグループの削除

注：構成によって、その機能の利用のできないユーザがいます。

新規のグループを作成する：

1. メニューバーの右側の**設定アイコン**  をクリックします。
サイドバーで、**グループ** をクリックします。
2. 表示エリアで、**新規のグループを作成** をクリックします。
3. **新規のルールを作成** ウィンドウで、グループ名を入力します。メンバーを追加します。メンバーがメンバー下に表示されています。
メンバーを削除するには、名前の横の**メンバーを削除** アイコン  をクリックします。
作成 をクリックします。

グループを編集する：

1. メニューバーの右側の**設定アイコン**  をクリックします。
サイドバーで、**グループ** をクリックします。
2. 表示エリアで、グループを選択します。**編集** をクリックします。
3. **グループを編集** ウィンドウで、グループデータを編集します。
保存 をクリックします。

グループを削除する：

1. メニューバーの右側の**設定アイコン**  をクリックします。
サイドバーで、**グループ** をクリックします。
2. 表示エリアで、グループを選択します。
3. **削除** ボタンをクリックします。

関連トピック

[リソースの管理 \(p. 171\)](#)

7.10 リソースの管理

参加者との競合以外、予定の作成時にリソースとの競合を無視してもかまいません。予定を作成すると、他の予定にすでに予定があるリソースは追加できません。次のようなオプションの機能があります。

- 新規のリソースを作成
- 既存のリソースの編集
- 既存のリソースの削除

注：構成によって、その機能の利用のできないユーザーがいます。

新規のリソースを作成する：

1. メニューバーの右側の**設定アイコン**  をクリックします。
サイドバーで、**リソース** をクリックします。
2. 表示エリアで、**新規のリソースを作成** をクリックします。
3. **新規のリソースを作成** ウィンドウで、リソース名を入力します。説明を入れることができます。
リソースのメールアドレスを指定します。
作成 をクリックします。

リソースを編集する：

1. メニューバーの右側の**設定アイコン**  をクリックします。
サイドバーで、**リソース** をクリックします。
2. 表示エリアで、リソースを選択します。**編集** をクリックします。
3. **リソースを編集** ウィンドウで、リソースデータを編集します。
保存 をクリックします。

リソースを削除する：

1. メニューバーの右側の**設定アイコン**  をクリックします。
サイドバーで、**リソース** をクリックします。
2. 表示エリアで、リソースを選択します。
3. **削除** ボタンをクリックします。

関連トピック

[グループの管理 \(p. 170\)](#)

7.11 予定表の設定

予定表の設定を使用する：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーで、予定表 をクリックします。

構成によって、次の設定が利用できます。

ボタン

- iCalカレンダーに登録する
詳細は、 を参照してください。共有カレンダーの表示および同期 (p. 159)

表示

- 稼働時間の開始時刻
このプルダウン メニューを使用すると、稼働時間の開始時刻を指定できます。
- 稼働時間の終了時刻
このプルダウン メニューを使用すると、稼働時間の終了時刻を指定できます。
- 時間の間隔
このプルダウン メニューを使用すると、日、稼働日、週 の予定表ビューで、時間グリッドの間隔を指定できます。
- 辞退した予定を表示
このラジオボタンを使用すると、辞退した予定を表示するかどうかを指定できます。

誕生日予定表

- 誕生日予定表を表示
誕生日予定表をフォルダビューに表示するかどうかを指定します。

稼働週ビュー

- 週開始
稼働週の開始週を指定します。
- 稼働週の長さ
稼働週に日数を指定します。

新規予定

新規予定の既定設定を指定します。

- 次の予定の作成時の既定アラーム時間
 - 予定または繰り返しの予定
 - 終日の予定
 - 誕生日の予定設定を変更するには、現在の設定をクリックします。アラームを編集ウィンドウで現在のアラームを変更します。アラームを追加することができます。
- 終日の予定を空き時間として表示
このラジオボタンを使用すると、既定で終日の予定を空き時間として表示するかどうかを指定できます。
- 参加者は予定を編集できます。
既定の参加者に予定の編集の権限があるかどうか指定します。

メール通知

次に当てはまる場合は、メール通知を受け取るかどうかを指定します。

- 参加する予定が作成、変更、または削除された場合に通知を受け取る
参加する予定を再度作成、変更、または削除します。
- 参加者が承諾または辞退した場合に予定作成者として通知を受信
作成した予定を承諾または辞退する参加者

- **他の参加者が承諾または辞退した場合に予定参加者として通知を受信**
参加する予定を承諾または辞退する参加者
- **予定が承諾または辞退された後、招待メールを自動的に削除**
このラジオボタンを使用すると、予定を承諾または辞退した後にその予定の招待に関する通知メールを自動的に削除するかどうかを指定できます。

関連トピック

[日、稼働日、週、月、年の予定表ビュー \(p. 133\)](#)

8 タスク

タスクアプリケーションの使用方法を説明します。

- タスク構成 (p. 176)
- 仕事の表示 (p. 182)
- 仕事の添付ファイルの表示、保存 (p. 183)
- 仕事の作成 (p. 184)
- 仕事への招待の回答 (p. 186)
- 仕事フォルダを追加する (p. 187)
- 仕事の管理 (p. 188)
- 仕事の検索 (p. 194)
- 仕事の設定 (p. 196)

タスクアプリケーションを起動する

メニューバーのアプリケーションランチャーアイコンをクリックします。アプリケーションランチャーでタスクをクリックします。

8.1 タスク構成

タスクアプリケーションは下記を含みます。

- タスク検索バー (p. 177)
- タスクツールバー (p. 177)
- タスクフォルダービュー (p. 178)
- タスク表示エリア (p. 178)
 - タスク一覧 (p. 179)
 - タスク詳細ビュー (p. 180)
- 仕事編集ウィンドウ (p. 181)

8.1.1 タスク検索バー

仕事の検索ができます。

フォルダビューが表示される時検索バーも表示されます。フォルダビューを表示するには、ツールバーで、**ビュー**をクリックします。**フォルダビュー** を有効にします。

説明：

[仕事の検索 \(p. 194\)](#)

関連トピック

[検索バー \(p. 25\)](#)

8.1.2 タスクツールバー

仕事を追加、編集または整理を行うための機能を提供します。注：いくつかの機能は、オブジェクトを作成したり、編集したりする権限のあるフォルダを開いた場合にのみ有効になります。

コンテンツ

- **新規新規の仕事** を作成します。
- **編集仕事のデータ** を編集します。
- **期限仕事の終了日時** を変更します。
- **完了完了した仕事** として印を付けます。
- **削除選択した 仕事** の削除 を行います。
- **追加アクションアイコン** 。追加機能のあるメニューが表示されます。
- **表示ビューを変更するチェックボックス** のついたメニューが表示されます。
 - **フォルダビュー**フォルダビューを表示したり、非表示にします。
 - **チェックボックスオブジェクト**作成のためにリストにチェックボックスを表示します。

説明：

[仕事の作成 \(p. 184\)](#)

[仕事の管理 \(p. 188\)](#)

関連トピック

[ツールバー \(p. 26\)](#)

8.1.3 タスクフォルダービュー

フォルダ ツリーには、仕事フォルダが表示されます。

フォルダビューを表示するには、ツールバーで、**ビュー**をクリックします。**フォルダビュー** を有効にします。

コンテンツ

- **マイ仕事**個人の仕事を含みます。
- **パブリック仕事**全てのユーザと共有する仕事を含みます。
- **共有の仕事**他のユーザと共有する仕事を含みます。

構成によって、内容はこの情報と異なる場合があります。

関数

- フォルダをクリックして、そのフォルダにある仕事を表示
- 選択したフォルダの隣にある**アクションアイコン** を使用して、データの整理やデータの交換に関する機能を実行
コンテキストメニューも使用できます。
- **新規フォルダを追加**ボタンで新規のプライベートフォルダまたはパブリックフォルダが作成できます。
- フォルダーの幅を調整するには、フォルダービューと表示エリアの間にある境界線にマウスのポインタを置きます。境界線を左または右にドラッグします

説明：

- 仕事を表示 (p. 182)
- 仕事フォルダを追加する (p. 187)
- フォルダーでデータを管理 (p. 228)
- 共有データ (p. 235)

関連トピック

- フォルダビュー (p. 27)

8.1.4 タスク表示エリア

表示エリアには、連絡先の一覧と連絡先の詳細ビューが表示されます。

関連トピック

- 表示エリア (p. 28)

8.1.5 タスク一覧

選択したフォルダにある仕事の一覧を表示します。

コンテンツ

- 仕事の件名、ステータス、終了日時、達成率が表示されます。
- 一覧の上に、選択されたフォルダの名前を表示(数字は、選択したフォルダにあるオブジェクトの数を表します)

関数

- タスクをクリックすると、詳細ビューにそのタスクの内容を表示します。
- 複数の仕事を選択するには、ツールバーのビュードロップダウンメニューの**チェックボックス**オプションを有効にします。
このとき、ご利用のシステムの複数選択機能を使用することもできます。
フォルダ内に表示されているすべての連絡先を選択するには、一覧の上にある **すべてを選択** チェックボックスを有効にします。
- リストの上にある**ソート** アイコン↓↑をクリックしてメニューから仕事をソートします。完了した仕事の表示の有無の指定
- 一覧の幅を調整するには、一覧と詳細ビューの間にある境界線にマウスのポインタを置きます。境界線を左または右にドラッグします

関連トピック

[タスク詳細ビュー \(p. 180\)](#)

8.1.6 タスク詳細ビュー

一覧で選択した仕事のデータを表示します。一覧の仕事をクリックすると、データがウィンドウに表示されます。

コンテンツ

- 設定する場合は仕事の優先度のアイコン
件名
プライベートの仕事は、**プライベート** アイコン  で表示されます。
- 仕事の開始日時（利用可能な場合）。
- 進捗状況。
- 仕事に添付ファイルがある場合、添付ファイルの名前が表示されます。
- 仕事の説明（利用可能な場合）。
- 仕事が定期的に行われる場合は、**繰り返しのパラメータ**。
- 仕事の開始日時（利用可能な場合）。
- 支払い条件などの仕事の詳細（利用可能な場合）。
- 予定に他の参加者がいる場合、未確認、承諾済み、辞退した参加者の数が参加者の一覧の右上に表示されます。参加者の一覧をフィルタするには、目的のアイコンをクリックします。
- 参加者の名前（存在する場合）。名前をクリックすると、ポップアップが表示されます。連絡先に関する情報が表示されます。
 - ユーザの連絡先データ
 - 相手とメールをやり取りしたことがある場合は、そのメールを**最近のスレッド**の下に表示
 - この人との予定を予定している場合、**共有予定** の下にその予定を表示
 - ソーシャルネットワークのこの人からの情報この差出人のプロファイルを開くボタンが表示され
ます。
メールや予定をクリックすると、さらにポップアップが表示されます。
- 予定に外部の参加者が含まれている場合は、**外部参加者** の下に表示されます。

関連トピック

[タスク一覧 \(p. 179\)](#)

8.1.7 仕事編集ウィンドウ

新規仕事の作成や既存の仕事を編集するときはこのウィンドウを使用します。

ウィンドウを表示するには、次のいずれかを行います。

- ツールバーで、**新規**をクリックします。
- 仕事を選択します。ツールバーで、**編集** をクリックします。

このウィンドウは新規の仕事を作成したり、仕事を編集するときを使用します。

コンテンツ

- 仕事データ
 - **件名**、**内容**入力フィールド件名が仕事のタイトルとして表示されています。内容はオプションとして入力できます。
 - **フォーム**を展開追加の入力フィールドを表示します。
 - **開始日時**および**終了日時**。仕事の開始日時と終了日時を指定します。クリックすると、日付ピッカーが表示されます。
終日は無効になると、開始時刻と終了時刻を設定できます。
 - **終日**仕事が一日中続くかどうかを設定します。
 - **繰り返し**仕事^が繰り返す場合を設定します。
- **アラーム**仕事の終了日時をいつにするか、どのように知らせるかを指定します。**通知日**のアラーム日時も設定できます。この場合、**手動入力**が**アラーム**フィールドであらかじめ設定されます。
- 仕事の表示
 - **ステータス**仕事のステータスを指定します。**進行状況**の仕事の完了具合のパーセント値を入力することもできます。
 - **優先度**仕事の優先度を設定します。
 - **プライベート**他のユーザが仕事の件名および詳細を見られないようにする場合、このチェックボックスを有効にします。
- **連絡先を追加**入力フィールドこのフィールドの仕事に参加する予定の参加者名を入力します。**連絡先の選択**アイコン。一覧から連絡先を選択するウィンドウを開きます。
- **添付ファイルを追加**ファイルを追加します。
- **表示の詳細** 予測作業や実作業、支払い条件などの支払いに関する詳細が入力できる追加データフィールドが表示されます。

説明：

- [仕事の作成 \(p. 184\)](#)
- [仕事の編集 \(p. 189\)](#)

関連トピック

- [日付ピッカー \(p. 134\)](#)
- [編集ウィンドウ \(p. 31\)](#)

8.2 仕事の表示

仕事を表示する：

1. フォルダビューで、仕事フォルダを 開きます。
2. 詳細ビューで、仕事をクリックすると、詳細ビューに仕事のデータが表示されます。

オプション：

- 仕事の一覧をソートする、または締め切り前の仕事のみを表示するには、ソートアイコン↓↑をクリックします。
- 一覧の連絡先をダブルクリックすると、仕事をウィンドウで開くことができます。

ユーザ インターフェース

- タスクフォルダビュー (p. 178)
- タスク詳細ビュー (p. 180)
- タスク一覧 (p. 179)

同等アクション

- 仕事の添付ファイルの表示、保存 (p. 183)

関連トピック

- フォルダ間の移動 (p. 231)
- 仕事の検索 (p. 194)

8.3 仕事の添付ファイルの表示、保存

仕事の添付ファイルのファイル名は、表示エリアの連絡先名の下に表示されます。次の機能が利用できません。

- ビューアで添付ファイルを表示します。
- 添付ファイルのダウンロード
- 添付ファイルをドライブに保存します。

注：添付ファイルのフォーマットによっては、一部の機能が使用できない場合があります。

仕事の添付ファイルの機能を使用する：

1. 添付ファイル付きの仕事を選択します。
2. 詳細ビューで、添付ファイルの名前をクリックします。目的の機能をクリックします。
複数のファイルがある場合、すべての添付ファイルに特定の機能を一度に実行できます。これには、**すべての添付ファイル**をクリックします。

注：構成によって、ダウンロードする前に添付ファイルのウィルスを確認します。

- ウィルスが見つからない場合は、それ以上の通知はなく、添付ファイルがダウンロードされます。
- ウィルススキャンができない、またはウィルスが見つかった場合、対応する警告のウィンドウが表示されます。
この場合、ダウンロードをキャンセルできます。

同等アクション

[仕事の表示 \(p. 182\)](#)

関連トピック

[タスク詳細ビュー \(p. 180\)](#)

[タスク一覧 \(p. 179\)](#)

8.4 仕事の作成

次のようなオプションの機能があります。

- 仕事の作成 (p. 184)
- 定期的な予定の作成 (p. 185)
- 参加者を仕事に追加する (p. 185)
- 添付ファイルの追加 (p. 185)

ユーザ インターフェース

タスクツールバー (p. 177)

関連トピック

仕事をインポート (p. 191)

予定の作成 (p. 145)

8.4.1 仕事の作成

新規の仕事を作成する：

1. フォルダビューで、仕事フォルダを 開きます。
注：仕事を作成する権限のあるフォルダを選択してください。
2. ツールバーで、**新規**をクリックします。
3. 件名を入力します。必要に応じて、説明を入力します。
4. **作成** をクリックします。

オプション：

- フォーム全体を表示するには、**フォームを展開** をクリックします。次のオプション機能が利用できません：
 - 仕事の開始日時と終了日時を設定します。
 - 予定にアラームを設定するには、**アラーム** で、目的の値を選択します。**通知日**にそれぞれの日時を入力します。
カスタム値を使用するには、**通知日**に値を設定します。この場合、**手動入力**が**アラーム**フィールドであらかじめ設定されます。
 - 他のユーザに件名と説明を知られないようにするには、**プライベート** を有効にします。プライベートの仕事は、**プライベートアイコン**  で表示されます。
 - 支払い条件などの詳細情報を追加するには、**詳細を表示** をクリックします。必要なデータを入力します。

ユーザ インターフェース

仕事編集ウィンドウ (p. 181)

従属アクション：

日付ピッカーを使用 (p. 147)
定期的な予定の作成 (p. 185)
参加者を仕事に追加する (p. 185)
添付ファイルの追加 (p. 185)

同等アクション

メールアラームを作成する (p. 82)

8.4.2 定期的な予定の作成

仕事の編集ウィンドウで定期的な予定を作成する：

1. フォーム全体を表示するには、**フォームを展開** をクリックします。
2. 繰り返しを有効にします。あらかじめ設定された繰り返しのパラメータが表示されます。
3. 繰り返しのパラメータを設定するには、目的の値をクリックします。
4. 繰り返しのパラメータを設定：
 - 繰り返しで、予定間のインターバルを設定できます。
 - 間隔の下で間隔パラメータを設定できます。
 - 終了で、連続仕事をいつ終了するかを設定できます。

ヒント：アプリケーションの例は次を参照してください。[定期的な予定の設定 \(p. 148\)](#)

従属アクション：

[仕事の作成 \(p. 184\)](#)

8.4.3 参加者を仕事に追加する

仕事の編集ウィンドウで参加者を追加する：

1. **参加者** の下にある入力フィールドに参加者のメールアドレス、グループ名、配布リスト名を入力します。ヒント：
 - メールアドレスの入力中に受取人の候補が表示されます。候補を選択するには、次のいずれかの方法を使用します。
 - スクロールバーを使用してリストを参照し、候補をクリック
 - カーソルキーを使用して候補を選択し、Enter キーをクリック
 - アドレス帳から連絡先を選ぶには、入力フィールドの右側にある**アドレス帳アイコン**  をクリックしてください。
2. 参加者を削除するには、ユーザ名の隣にある**削除アイコン**  をクリックします。

従属アクション：

[仕事の作成 \(p. 184\)](#)

関連トピック

[アドレス帳から連絡先を選択する \(p. 67\)](#)

8.4.4 添付ファイルの追加

仕事の編集ウィンドウで添付ファイルを追加する：

1. **添付ファイル** 下の**添付ファイルを追加** をクリックします。
2. 1つまたは複数のファイルを選択します。
添付ファイルを削除するには、**削除 アイコン**  をクリックします。

ヒント：ファイル ブラウザやデスクトップからドキュメントをドラッグして仕事ウィンドウ上にドロップしてもファイルを添付できます。

従属アクション：

[仕事の作成 \(p. 184\)](#)

8.5 仕事への招待の回答

他のユーザや外部のパートナーから仕事の参加者としてユーザ自身が登録されると、少なくとも次のいずれかの方法で通知があります。

- このタスクに関する情報が通知エリアに表示されます。
- 仕事への招待メールを受信します。

仕事への出席については、承諾、仮承諾、辞退が選択できます。

通知エリアで仕事への招待に回答する：

1. メニューバーで、通知 アイコン  をクリックします。通知エリア が表示されます。
2. 招待の下にある承諾/辞退をクリックします。
3. 確認ステータスを変更 ウィンドウで、コメントを入力します。承諾、仮の予定、辞退 のいずれかのボタンをクリックします。

ヒント：招待を承諾ボタンをクリックし、通知エリアで直接仕事を承諾することもできます。

招待メールで仕事への招待に回答する：

1. メールアプリケーションで、仕事への出席依頼メールを表示します。
2. このメールには仕事が含まれています。 の下にある詳細ビューで、確認、仮の予定、辞退 のいずれかのボタンをクリックします。

ユーザ インターフェース

[通知エリア \(p. 30\)](#)

8.6 仕事フォルダを追加する

マイ仕事の下に追加の個人用仕事フォルダを作成できます。

個人用仕事フォルダを新規作成する：

1. フォルダビューで、**新規フォルダを追加**をクリックします。ウィンドウが表示されます。
2. 名前を入力します。新規フォルダがパブリックフォルダである場合、**パブリックフォルダとして追加**を有効にします。**追加**をクリックします。

ユーザ インターフェース

[タスクフォルダビュー \(p. 178\)](#)

関連トピック

[仕事の管理 \(p. 188\)](#)

[フォルダーでデータを管理 \(p. 228\)](#)

8.7 仕事の管理

次のようなオプションの機能があります。

- 仕事の編集 (p. 189)
- 仕事に完了の印を付ける (p. 189)
- 仕事の終了日時の変更 (p. 190)
- 別のフォルダへの仕事の移動 (p. 190)
- 仕事のステータスの変更 (p. 191)
- 仕事をインポート (p. 191)
- 仕事のエクスポート (p. 191)
- 仕事の印刷 (p. 193)
- 仕事の削除 (p. 193)

ユーザ インターフェース

タスクツールバー (p. 177)

関連トピック

仕事フォルダを追加する (p. 187)

8.7.1 仕事の編集

仕事の作成時に入力したデータはすべて、後で編集できます

前提条件: 仕事が保存されているフォルダにオブジェクトを作成する権限が必要です。

仕事を編集する:

1. 一覧から仕事を選択します。
2. ツールバーで、**編集** をクリックします。仕事のデータが表示されます。
3. データを編集します。
入力フィールドに関する詳細は [仕事編集ウィンドウ \(page 181\)](#)を参照してください。
4. **保存** をクリックします。

ユーザ インターフェース

[仕事編集ウィンドウ \(p. 181\)](#)

同等アクション

[仕事に完了の印を付ける \(p. 189\)](#)
[仕事の終了日時の変更 \(p. 190\)](#)
[仕事のステータスの変更 \(p. 191\)](#)

8.7.2 仕事に完了の印を付ける

個々の仕事に完了の印を付けることができます。

前提条件: 仕事が保存されているフォルダにオブジェクトを作成する権限が必要です。

仕事に完了の印を付ける:

1. 一覧から仕事を一つ以上選択します。
2. ツールバーで、**完了** をクリックします。
選択された仕事に未完了の印を付けるために、**未完了** をクリックします。

同等アクション

[仕事の編集 \(p. 189\)](#)
[仕事の終了日時の変更 \(p. 190\)](#)
[仕事のステータスの変更 \(p. 191\)](#)

8.7.3 仕事の終了日時の変更

仕事の終了日時は変更することができます。

前提条件：仕事が保存されているフォルダにオブジェクトを作成する権限が必要です。

仕事の終了日時を変更する：

1. 一覧から仕事を選択します。
2. ツールバーで、**期限** をクリックします。目的の値を選択します。

同等アクション

- [仕事の編集 \(p. 189\)](#)
- [仕事に完了の印を付ける \(p. 189\)](#)
- [仕事のステータスの変更 \(p. 191\)](#)

8.7.4 別のフォルダへの仕事の移動

仕事を別のフォルダへ移動できます。

前提条件：目的のフォルダにオブジェクトを作成する権限が必要です。

仕事を他のフォルダに移動する：

1. 一覧から仕事を一つ以上選択します。
2. ツールバーの**追加アクションアイコン**  をクリックします。**移動** をクリックします。
3. **移動** ウィンドウで、フォルダを選択します。**フォルダを作成** をクリックして、新規フォルダを作成できます。
4. **移動** をクリックします。

ヒント：フォルダービューからオブジェクトをフォルダーにドラッグして、選択オブジェクトを移動することもできます。

関連トピック

- [仕事フォルダを追加する \(p. 187\)](#)

8.7.5 仕事のステータスの変更

仕事のステータスは後で変更できます。

仕事のステータスを変更する：

1. 一覧から仕事を選択します。
2. ツールバーの追加アクションアイコンをクリックします。確認ステータスを変更 をクリックします。
3. ウィンドウが表示されます。確認ステータスを選択します。必要に応じて、メッセージを入力します。
4. ステータスを変更 をクリックします。

同等アクション

- [仕事の編集 \(p. 189\)](#)
- [仕事に完了の印を付ける \(p. 189\)](#)
- [仕事の終了日時の変更 \(p. 190\)](#)

8.7.6 仕事をインポート

iCal形式のファイルから仕事をインポートできます。

iCalファイルから仕事をインポートする：

1. 仕事フォルダを選択して、フォルダビューに仕事をインポートします。
2. 予定表の隣のアクションアイコンをクリックする。インポート をクリックします。
3. ファイルからインポートウィンドウでファイルをアップロードをクリックします。iCal フォーマットのファイルを選択します。
既存の仕事と同じidの仕事をインポートするには、既存のイベントを無視を有効にします。
4. インポート をクリックします。

結果：フォルダに仕事が追加されます。

関連トピック

- [仕事のエクスポート \(p. 191\)](#)

8.7.7 仕事のエクスポート

仕事を iCalendar 形式でエクスポートできます。この形式を使用して、仕事を他の予定表アプリケーションと交換することができます。一つの仕事またはすべての仕事をフォルダからエクスポートできます。

一つの仕事をエクスポートする：

1. 一覧から仕事を一つ以上選択します。
2. ツールバーの追加アクションアイコンをクリックします。エクスポート をクリックします。選択をエクスポートウィンドウが表示されます。
3. エクスポート をクリックします。メールを完成させ、

フォルダからすべての仕事をエクスポートする：

1. フォルダビューで、個人のまたはパブリック仕事フォルダを選択します。
2. フォルダ名の隣のアクションアイコンをクリックします。エクスポート をクリックします。フォルダをエクスポートウィンドウが表示されます。
3. エクスポート をクリックします。メールを完成させ、

同等アクション

[仕事をインポート \(p. 191\)](#)

関連トピック

[すべてのデータをダウンロード \(p. 253\)](#)

8.7.8 仕事の印刷

一つの仕事、または複数の仕事のデータを印刷できます。

仕事データを印刷する：

1. 一覧から仕事を一つ以上選択します。
2. ツールバーの**追加アクションアイコン**  をクリックします。印刷をクリックします。印刷プレビューのウィンドウが表示されます。
3. 必要に応じて、プリンタの設定を変更します。印刷ボタンをクリックします。
4. 印刷プレビューのウィンドウを閉じます。

8.7.9 仕事の削除

仕事を削除することができます。

警告： 仕事を削除すると元に戻すことはできません。

仕事を削除する：

1. 一覧から仕事を一つ以上選択します。
2. ツールバーで、**削除** をクリックします。
3. 仕事の削除を確定します。

結果：仕事が削除されます。

8.8 仕事の検索

目的の仕事を検索するには、次の検索条件を使用します。

- 件名、説明、添付ファイルの名前、参加者を対象に検索します。
- 検索されないフォルダ
- 仕事のステータス
- 仕事のタイプ：単一または定期的な仕事
- フォルダタイプ：すべて、プライベート、パブリック、共有

仕事を検索する：

1. **検索入力フィールド**をクリックしてください。
2. 入力フィールドに検索条件を入力します。検索メニューが表示されます。
検索メニューの項目をクリックして検索対象のデータソースを指定します。
 - 検索条件をクリックする、または Enter キーを押すと、次のデータ ソースが検索対象になります：
件名、説明
 - 件名のみを検索するには、検索メニューで、**検索対象：件名** をクリックします。
また、**検索対象**を説明、添付ファイルの名前にすることもできます。
 - 特定の参加者との予定を検索するには、検索メニューで名前をクリックします。検索結果は、表示エリアに一覧で表示されます。
3. 検索フォルダを選択するには、入力フィールドの**オプションアイコン ▼**をクリックします。検索したフォルダは**フォルダ**ドロップダウンメニューに表示されます。別のフォルダを選択するには、ドロップダウンメニューを開きます。
すべてのフォルダを選択すると、すべてのプライベート、パブリックおよび共有フォルダを検索します。
4. 検索対象を特定の仕事にするために次のオプションがあります。
 - 特定の編集ステータスつきの仕事を検索対象にするには、入力フィールドの**オプションアイコン ▼**をクリックします。**仕事のステータス**ドロップダウンメニューを開きます。ステータスを選択します。
 - 単一または定期的な仕事を検索対象にするには、入力フィールドの**オプションアイコン ▼**をクリックします。**仕事のタイプ**ドロップダウンメニューを開きます。タイプを選択します。
 - プライベート、パブリック、または共有の仕事を検索対象にするには、入力フィールドの**オプションアイコン ▼**をクリックします。**フォルダのタイプ**ドロップダウンメニューを開きます。タイプを選択します。
5. 検索結果を変更するには、さらに検索条件を入力します。検索条件を削除するには、**検索条件横の削除アイコン ✕**をクリックします。
6. 検索を終了するには、入力フィールドで**終了アイコン ⏹**をクリックします。

ユーザ インターフェース

[タスク検索バー \(p. 177\)](#)

関連トピック

[仕事の表示 \(p. 182\)](#)

8.9 仕事の設定

仕事の設定を使用する：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーで、仕事 をクリックします。

構成によって、次の設定が利用できます。

メール通知

次に当てはまる場合は、メール通知を受け取るかどうかを指定します。

- 出席する仕事を作成、変更、削除された場合に通知を受け取ります。
参加するタスクを再作成、変更、または削除されます。
- 参加者があなたが作成した仕事を承諾または辞退した場合に通知を受け取ります。
作例されたタスクを承諾または辞退した参加者
- 参加者があなたが出席した仕事を承諾または辞退した場合に通知を受け取ります。
参加するタスクを承諾または辞退する参加者

9 ドライブ

ドライブアプリケーションの使用方法を説明します。

- ドライブ構成 (p. 198)
- ファイルの表示 (p. 206)
- ファイルまたはフォルダの内容をダウンロード (p. 211)
- ファイルまたはドライブフォルダーを作成 (p. 212)
- テキストファイルの作成または編集 (p. 213)
- ファイルおよびドライブフォルダーの整理 (p. 214)
- ファイルの検索 (p. 222)
- 共有データ (p. 235)
- WebDAV によるファイルへのアクセス (p. 224)
- ストレージアカウントを追加する (p. 225)
- ドライブ設定 (p. 226)

デスクトップまたはモバイルデバイスでのローカルアプリケーションの使用方法の詳細は、Driveアプリケーションのユーザガイドを参照してください。

ドライブアプリケーションを起動する

メニューバーのアプリケーションランチャーアイコンをクリックします。アプリケーションランチャーでドライブをクリックします。

構成によって、クイックスタートアイコンをクリックして、メニューバーのアプリケーションを起動することもできます。ドライブ

9.1 ドライブ構成

ドライブアプリケーションは下記を含みます。

- ドライブ検索バー (p. 199)
- ドライブフォルダービュー (p. 201)
- ドライブツールバー (p. 200)
- ドライブナビゲーションバー (p. 202)
- ドライブ表示エリア (p. 203)
- ファイルの詳細 (p. 204)
- ビューア (p. 205)

9.1.1 ドライブ検索バー

ファイルの検索ができます。

フォルダビューが表示される時検索バーも表示されます。フォルダビューを表示するには、ツールバーで、**ビュー**をクリックします。**フォルダビュー** を有効にします。

説明：

[ファイルの検索 \(p. 222\)](#)

関連トピック

[検索バー \(p. 25\)](#)

9.1.2 ドライブツールバー

ファイルおよびフォルダを追加、編集または整理を行うための機能を提供します。注意：

- いくつかの機能は、オブジェクトを作成したり、編集したりする権限のあるフォルダを開いた場合にのみ有効になります。
- オブジェクトが選択されていないと一部のボタンが表示されない場合があります。

コンテンツ

- **新規ツールバー**には、次の機能が利用できます。
 - **ローカルファイルを追加** 1つ以上のファイルを追加します。
 - 構成によって、暗号化形式でファイルを追加する機能があります。
 - **メモを追加** 単純なテキストファイルを作成します。
 - **新規テキストドキュメント** 新規テキストドキュメントを作成します。
 - **新規スプレッドシート** 新規スプレッドシートを作成します。
 - **新規フォルダを追加** 新規フォルダを作成します。
- **編集** テキストファイルまたはOffice ドキュメントを編集します。この機能は、テキストファイルまたはOffice ドキュメントが選択されている場合にのみ使用できます。
- **共有アイコン**  この機能によってファイルやフォルダが共有できます。
- **ビュー アイコン**  ビューアの選択されたファイルの内容を表示します。
- **ダウンロードアイコン**  選択したファイルをダウンロードします。複数のファイルがzipアーカイブでダウンロードされます。
- **プレゼントアイコン**  プレゼンテーションを開始します。この機能は PoserPoint や PDF 形式のドキュメントが選択される場合にのみ利用できます。
- **削除アイコン**  選択したファイルまたはフォルダを削除します。
- **追加アクションアイコン**  追加機能のあるメニューが表示されます。注意：
 - 複数のファイルを選択している場合、一部の機能は利用できません。
 - ドキュメントまたはテキストファイルを表示するには、**PDFとして保存**の機能が利用できます。
- **表示表示エリア**でビューを選択できます。

説明：

- ファイルまたはドライブフォルダを作成 (p. 212)
- ファイルの表示 (p. 206)
- ファイルおよびドライブフォルダの整理 (p. 214)
- ファイルの暗号化または復号化 (p. 274)

関連トピック

- ツールバー (p. 26)

9.1.3 ドライブフォルダービュー

フォルダツリーには、フォルダが表示されます。

フォルダビューを表示するには、ツールバーで、**ビュー**をクリックします。**フォルダビュー**を有効にします。

コンテンツ

- **マイファイル**個人用ファイルまたはフォルダが含まれます。既定では、ドキュメントフォルダ、音楽フォルダ、画像フォルダおよび動画フォルダが含まれます。
- **自分の共有ファイル**他のユーザまたは外部パートナーに共有するファイルおよびフォルダを表示します。
- **添付ファイル**送受信したメールの添付ファイルが表示されます。
- **ゴミ箱**あなたが削除したファイルやフォルダが含まれます。
- **共有ファイル**他のユーザがあなたと共有するファイルが含まれます。
- **パブリックファイル**全てのユーザと共有するファイルが含まれます。

構成によって、内容はこの情報と異なる場合があります。

関数

- フォルダをクリックして、そのフォルダにあるファイルを表示します。
- 選択したフォルダの隣にある**アクションアイコン**を使用して、データの整理やデータの交換に関する機能を実行
コンテキストメニューも使用できます。
- フォルダの下の**ストレージアカウントを追加**ボタンで、Dropboxなどの第三者製品に設定したクラウドストレージアカウントが追加できます。
- フォルダーの幅を調整するには、フォルダービューと表示エリアの間にある境界線にマウスのポインタを置きます。境界線を左または右にドラッグします

説明：

[フォルダーでデータを管理 \(p. 228\)](#)

[ストレージアカウントを追加する \(p. 225\)](#)

関連トピック

[フォルダビュー \(p. 27\)](#)

9.1.4 ドライブナビゲーションバー

ナビゲーションパスはツールバーの下にあります。次の機能が利用できます。

- フォルダ間の移動
- オブジェクトをソートそして選択

関数

- ナビゲーションパス。バーフォルダを開くパスを表示します。親フォルダを開くには、パス項目をクリックします。
- ソート条件ボタン様々な条件で表示エリアのファイルをソートします。
- 選択ボタン表示エリアでオブジェクトの選択またはフィルタを行う機能を含みます：
 - 全てのファイルおよびフォルダを選択、全てのファイルを選択、選択を解除
 - 特定のファイルタイプのみ表示、全てのファイルタイプを表示

関連トピック

[ファイルの表示 \(p. 206\)](#)

9.1.5 ドライブ表示エリア

ファイルおよびフォルダを一覧、アイコン、またはタイルとして表示します。ビューを選択するには、ツールバーのビューをクリックします。

- ファイルごと、およびフォルダごとに、次の内容が行で一覧ビューで表示されます。
 - アイコン単一のオブジェクトタイプには異なるアイコンがあります。
 - ファイルまたはフォルダの名前
 - 最終更新日時
 - ファイルの場合、サイズが表示されます。
- ファイルごと、およびフォルダごとに、次の情報がアイコンビューで表示されます。
 - アイコンファイルプレビューが表示されます（利用可能な場合）。
 - ファイル名またはフォルダ名
- ファイルおよびフォルダは、**タイルビュー**でタイルで表示されます。
- 暗号化されたファイルは**暗号化アイコン**🔒で表示されます。

関数

- 選択したオブジェクトの詳細を表示するには、ツールバーの**ビュー**をクリックします。**ファイルの詳細**を有効にします。詳細な情報がサイドバーで表示されます。
- 特定のオブジェクトタイプだけを表示するには、ナビゲーションバーの**選択**をクリックします。フィルター下の項目を有効にします。
全てのオブジェクトを表示するには、ナビゲーションバーの**選択**をクリックします。**フィルター**下のすべての項目を有効にします。
- オブジェクトをソートするには、ナビゲーションバーの**ソート条件**をクリックします。項目を有効にします。
- ファイルまたはフォルダを選択するには、これをクリックします。このとき、ご利用のシステムの複数選択機能を使用することもできます。
ファイルおよびフォルダを選択するには、チェックボックスも使用できます。チェックボックスを表示するには、ツールバーの**ビュー**をクリックします。**チェックボックス**を有効にします。
全てのオブジェクトまたはファイルを選択する、あるいは選択を解除するには、ナビゲーションバーの**選択**をクリックします。**選択**の下の項目をクリックします。
- フォルダをダブルクリックすると、フォルダが開きます。
- よく使用する機能について、フォルダ用、ファイル用、または複数のファイル用の**コンテキストメニュー**を使用できます。

説明：

ファイルの表示 (p. 206)

ファイルまたはフォルダの内容をダウンロード (p. 211)

ファイルおよびドライブフォルダーの整理 (p. 214)

関連トピック

ファイルの詳細 (p. 204)

表示エリア (p. 28)

フォルダーでデータを管理 (p. 228)

共有データ (p. 235)

9.1.6 ファイルの詳細

選択したオブジェクトについての情報をサイドバーで表示します。

サイドバーを表示するには、ツールバーの**ビュー**をクリックします。**ファイルの詳細**を有効にします。

コンテンツ

- 次に示す**詳細情報**。ポップアップには、表示エリアで選択されているオブジェクトの一般情報が表示されます。
 - ファイル名またはフォルダ名
 - ファイルサイズまたはフォルダ内のオブジェクト数
 - 最終更新日付
 - 編集者の名前
 - 親フォルダ名
 - Exif データを含める写真について次のデータも表示されることがあります：make、model、shot、ISO、capture dateオブジェクトを共有する場合、共有の隣にあるボタンを使用して共有ファイル編集用のウィンドウが開きます。
添付ファイルフォルダのオブジェクトを選択したら、**メッセージを表示**ボタンが表示されます。ボタンをクリックすると、メールとメール添付ファイルが表示されます。
- **説明ファイルのコメント**を表示します（利用可能な場合）。
内容の作成または編集ボタンを表示するには、**パネル オン/オフアイコン**  をクリックします。
- 複数のファイルバージョンがある場合、バージョンエリアが表示されます。バージョンのリストを表示するには、**パネル オン/オフアイコン**  をクリックします。
また、バージョンごとに次の情報が表示されます。
 - バージョンのファイル名。クリックすると、複数の機能付きのメニューが表示されます。
 - バージョンのファイルサイズ
 - 対象のバージョンをアップロードしたユーザー名
 - 対象のバージョンをアップロードした日時
- **新規バージョンをアップロード**ボタンこのボタンをクリックすると、新規バージョンとしてアップロードするファイルを選択できます。

説明：

[バージョンの操作 \(p. 221\)](#)

関連トピック

[ドライブ表示エリア \(p. 203\)](#)

[ビューア \(p. 205\)](#)

[ファイルの表示 \(p. 206\)](#)

9.1.7 ビューア

ファイルの内容を表示します。

ビューアを起動するには、次のいずれかを行います。

- 目的のファイルを選択します。ツールバーで、**ビューアイコン**  をクリックします。
- 表示エリアで、ファイルをダブルクリックします。
注：Office ドキュメントをダブルクリックすると、それぞれのDocumentsアプリケーションが設定されていれば起動します。
- 1つまたは複数のファイルを選択します。コンテキストメニューで、**表示** をクリックします。

コンテンツ

- 選択したファイルの名前。名前をクリックすると、**名前を変更**ウィンドウが開きます。
- 選択したファイルタイプによって、個々の機能が表示されます。
 - 選択ファイルが編集可能な場合は**編集**ボタンが表示されます。
 - ドキュメントのテンプレートが表示される場合、**テンプレートから新規作成**ボタンが表示されます。
 - 選択したファイルの内容によって、**ズームアウトアイコン**  と**ズームインアイコン**  が表示されます。
 - 画像が表示され、選択されたフォルダーに他に画像がある場合は、**スライドショー**ボタンが表示されます。
 - プレゼンテーションまたはPDF文書が表示されると、**プレゼントアイコン**  が表示されます。
- **ダウンロードアイコン** 。ファイルのダウンロード
- **共有アイコン** 。この機能によってデータが共有できます。
- **追加アクションアイコン** 。追加機能のあるメニューが表示されます。ドキュメントまたはテキストファイルを表示するには、**PDF**として印刷の機能が利用できます。複数の画像がある場合、**オートプレイモード**を実行機能が利用できます。
- **詳細を表示アイコン** 。ファイルの情報があるサイドバーが表示または非表示になります。
- **ポップアウトアイコン** 。選択したファイルの内容が新規ページに表示されます。Office形式のドキュメントの場合はページナビゲーション機能が利用できます。
- **閉じるアイコン** 。ビューアを閉じる
- さらにファイルがある場合、ブラウスアイコンがビューの左右に表示されます。

説明：

ビューアでファイルを表示します。(p. 207)

プレゼンテーションを行う (p. 209)

ファイルおよびドライブフォルダーの整理 (p. 214)

ファイルまたはフォルダの内容をダウンロード (p. 211)

共有データ (p. 235)

関連トピック

ファイルの詳細 (p. 204)

9.2 ファイルの表示

次のようなオプションの機能があります。

- ビューアでファイルを表示します。(p. 207)
- ドライブで添付ファイルを表示 (p. 209)
- プレゼンテーションを行う (p. 209)

ユーザ インターフェース

- ドライブツールバー (p. 200)
- ドライブナビゲーションバー (p. 202)
- ドライブ表示エリア (p. 203)
- ファイルの詳細 (p. 204)

9.2.1 ビューアでファイルを表示します。

次のようなオプションの機能があります。

- ビューアにテキストファイル、ドキュメント、画像を表示
- スライドショーによる画像の表示
- 適切な形式である場合は、オーディオファイル、動画ファイルを再生

ビューアにファイルを表示する：

1. ファイルが保存されているフォルダを開きます。
2. オブジェクト用のビューを選択するには、ツールバーの**ビューボタン**をクリックします。**リスト**、**アイコン**、**タイル**のいずれか1つを選択します。
選択したファイルの詳細を表示するには、ツールバーの**ビュー**をクリックします。**ファイルの詳細**を有効にします。
3. ソートを変更するには、ナビゲーションバーの**ソート条件**をクリックします。
特定のオブジェクトタイプだけを表示するには、ナビゲーションバーの**選択**をクリックします。
4. 次のいずれかの方法を使用します。
 - 表示エリアで、ファイルをダブルクリックします。
 - 表示エリアで、1つまたは複数のファイルを選択します。ツールバーで、**ビューアイコン**  をクリックします。
 - コンテキストメニューから**表示**を選択します。選択されたファイルの詳細を表示するには、**詳細を表示アイコン**  を有効にします。
前のファイルまたは次のファイルを表示するには、ビューの隣にある**戻るアイコン**  または**進むアイコン**  をクリックします。

ファイルタイプによって、さまざまな機能を利用できます。

- ファイルの内容が表示できない場合、ファイルのダウンロードボタンが表示されます。
- Office形式のテキストファイルおよびドキュメントの場合、編集機能が使用できます。ドキュメントの編集に関する情報は、Documentsユーザ向けドキュメントを参照してください。
- 画像には、スライドショーを行うボタンが利用できます。
- プレゼンテーションの場合、プレゼンテーション表示アイコンが表示されます。
- 適切な形式のオーディオファイル、動画ファイルの場合は、再生機能が使用できます。
注：再生オプションはご利用のブラウザによって異なります。
- 新規ページにファイルを表示するには、**ポップアウトアイコン**  をクリックします。Office形式のドキュメントの場合はページナビゲーション機能が利用できます。
 - ページごとにブラウズする、または特定のページを表示するには、ドキュメントの上の要素を使用します。
 - サムネイル画像のヘルプで移動するには、サイドバーの**サムネイルタブ**を起動します。サムネイル画像をクリックします。

ユーザ インターフェース

[ドライブ表示エリア \(p. 203\)](#)

[ファイルの詳細 \(p. 204\)](#)

[ビューア \(p. 205\)](#)

同等アクション

[ドライブで添付ファイルを表示 \(p. 209\)](#)

[プレゼンテーションを行う \(p. 209\)](#)

[ファイルまたはフォルダの内容をダウンロード \(p. 211\)](#)

関連トピック

[フォルダ間の移動 \(p. 231\)](#)

ファイルの検索 (p. 222)

9.2.2 ドライブで添付ファイルを表示

送信または受信したメール添付ファイルは別のフォルダで表示されます。

メールの添付ファイルを表示する：

1. ドライブアプリケーションで、自分の共有ファイルフォルダを開きます。
2. ファイルの表示方法を使って添付ファイルの内容を表示します。
ツールバーの表示をクリックして、選択した添付ファイルのメールを表示します。ファイルの詳細を有効にします。メッセージを表示をクリックします。

ユーザ インターフェース

ドライブ表示エリア (p. 203)
ファイルの詳細 (p. 204)
メールフォルダビュー (p. 57)

同等アクション

ビューアでファイルを表示します。(p. 207)
プレゼンテーションを行う (p. 209)
ファイルまたはフォルダの内容をダウンロード (p. 211)
添付ファイルの表示、保存 (p. 64)

9.2.3 プレゼンテーションを行う

共通のOffice形式またはPDF形式でプレゼンテーションを行えます。目的に応じて、次のいずれかの方法を使用します。

- ローカルでマシン上でプレゼンテーションを行います。
- リモートプレゼンテーションを行います。オンサイトでないユーザがプレゼンテーションを見ることができます。

ローカルでプレゼンテーションを行う：

1. プレゼンテーションが保存されているフォルダを開きます。
2. 表示エリアで、プレゼンテーションを選択します。ツールバーで、**プレゼントアイコン**  をクリックします。
ビューアでも**プレゼントアイコン**を使用できます。
プレゼンテーションが新規ページで開きます。開始前にページを閲覧するには、シートの隣にあるナビゲーション要素、またはシートの下にあるプレビューを使用します。カーソルキーを使用することもできます。
ツールバーの右側のアイコンを使用して、シートサイズを調節できます。
3. プレゼンテーションをローカルで開始するには、ツールバーで**プレゼンテーションを開始**をクリックします。**ローカルプレゼンテーションを開始**を選択します。
プレゼンテーションの間、次の機能が利用できます。
 - 機能バーを表示するには、画面下にマウスポインタを置きます。次の機能が利用できます。
ブラウズ、特定シートの表示、参加者リストの表示、プレゼンテーションの一時停止、全画面表示モードの起動
 - **プレゼンテーションの一時停止**をクリックすると、プレゼンテーションは現在のシートで停止します。
 - **全画面表示アイコン**をクリックすると、 **全画面表示**が起動されます。[esc]キーまたは画面下の機能バーを使用して、全画面表示モードを退出します。
4. プレゼンテーションを終了するには、ツールバーの**プレゼンテーションの終了**をクリックします。

リモートプレゼンテーションを行う：

1. プレゼンテーションが保存されているフォルダを開きます。
2. 表示エリアで、プレゼンテーションを選択します。ツールバーで、**プレゼントアイコン**  をクリックします。
ビューアでも**プレゼントアイコン**を使用できます。
プレゼンテーションが新規ページで開きます。開始前にページを閲覧するには、シートの隣にあるナビゲーション要素、またはシートの下にあるプレビューを使用します。カーソルキーを使用することもできます。
ツールバーの右側のアイコンを使用して、シートサイズを調節できます。
3. 選択したプレゼンテーションのURLをプレゼンテーションに参加するユーザに送ります。ユーザはブラウザでURLを開く必要があります。
参加者を表示アイコン  をクリックすると、プレゼンテーションにリモートで出席するユーザがサイドバーに表示されます。
4. ツールバーの**プレゼンテーションを開始**をクリックします。**リモートプレゼンテーションを開始**を選択します。
プレゼンテーションの間、次の機能が利用できます。
 - 機能バーを表示するには、画面下にマウスポインタを置きます。次の機能が利用できます。
ブラウザ、特定シートの表示、参加者リストの表示、プレゼンテーションの一時停止、全画面表示モードの起動
 - **プレゼンテーションの一時停止**をクリックすると、プレゼンテーションは現在のシートで停止します。
 - **全画面表示アイコン**をクリックすると、**全画面表示**が起動されます。[esc]キーまたは画面下の機能バーを使用して、全画面表示モードを退出します。
5. プレゼンテーションを終了するには、ツールバーの**プレゼンテーションの終了**をクリックします。

ユーザ インターフェース

[ドライブ表示エリア \(p. 203\)](#)
[ファイルの詳細 \(p. 204\)](#)
[ビューア \(p. 205\)](#)

同等アクション

[ビューアでファイルを表示します。 \(p. 207\)](#)
[ドライブで添付ファイルを表示 \(p. 209\)](#)
[ファイルまたはフォルダの内容をダウンロード \(p. 211\)](#)

9.3 ファイルまたはフォルダの内容をダウンロード

次のようなオプションの機能があります。

- 1つまたは複数のファイルをダウンロードする
- ZIPアーカイブとしてフォルダの内容をすべてダウンロードする

ファイルをダウンロードする：

1. ファイルが保存されているフォルダを開きます。
表示エリアで、1つまたは複数のファイルを選択します。
2. 次のいずれかの方法を使用します。
 - ツールバーで、**ダウンロードアイコン**  をクリックします。
 - コンテキストメニューから**ダウンロード**を選択します。
 - ビューアの**ダウンロードボタン**を使用します。
3. 手順に従い、ファイルをダウンロードします。

ヒント：特定のファイルバージョンをダウンロードする方法は、[Section 9.6.11](#)，“バージョンの操作”を参照してください。

フォルダの内容すべてをダウンロードする：

1. フォルダビューで、ダウンロードする内容が保存されているフォルダを **選択** します。
2. フォルダ名の隣の**アクションアイコン**  をクリックします。**フォルダ全体をダウンロード**をクリックします。
3. 手順に従い、ファイルをダウンロードします。フォルダの内容をすべてZIPアーカイブとして保存できます。

表示エリアのコンテキストメニューを使用して、フォルダをダウンロードすることもできます。

注：構成によって、ダウンロードする前に添付ファイルのウイルスを確認します。

- ウィルスが見つからない場合は、それ以上の通知はなく、添付ファイルがダウンロードされます。
- ウィルススキャンができない、またはウイルスが見つかった場合、対応する警告のウィンドウが表示されます。
この場合、ダウンロードをキャンセルできます。

ユーザ インターフェース

ドライブ表示エリア (p. 203)
ビューア (p. 205)

同等アクション

ビューアでファイルを表示します。 (p. 207)
ドライブで添付ファイルを表示 (p. 209)
プレゼンテーションを行う (p. 209)

9.4 ファイルまたはドライブフォルダーを作成

次のようなオプションの機能があります。

- 現在のフォルダに新規ファイルを追加
- 新規のサブフォルダを作成

ファイルを追加する：

1. 特定のフォルダを開きます。
注：オブジェクトを作成する権限のあるフォルダを開いてください。
2. ツールバーで、**新規**をクリックします。**ローカルファイルを追加**をクリックします。
構成によって、暗号化形式でファイルを追加する機能があります。ファイルの暗号化に関する情報は次にあります。[Guardを使ってデータの暗号化 \(p. 269\)](#)
3. **更新**ファイルウィンドウの1つまたは複数のファイルを選択します。
開くをクリックします。表示エリアには現在の進行ステータスが表示されます。
処理をキャンセルするには、表示エリアの右側下にある**キャンセル**をクリックします。
単一ファイルの処理をキャンセルするには、表示エリアの右側下にある**ファイル詳細**をクリックします。**読み込み進行**ウィンドウで、ファイル名横の**キャンセル**をクリックします。
[設定](#)で、新規ファイル、または同じ名前でも既存であろうファイルの新規バージョンを作成するかどうかを指定できます。

ヒント：

- アップロード処理中にグループウェアで作業し続けることができます。
- 新規ファイルは、ファイルブラウザまたはデスクトップからドライブアプリケーションウィンドウ上にファイルをドラッグし、表示エリアにドロップしても作成できます。

新規フォルダを作成する：

1. 特定のフォルダを開きます。
注：オブジェクトを作成する権限のあるフォルダを開いてください。
2. ツールバーで、**新規**をクリックします。**新規フォルダを追加**をクリックします。
フォルダ名の隣の**アクションアイコン**  をクリックします。**新規フォルダを追加**をクリックします。
3. **新規フォルダを追加**ウィンドウで、フォルダ名を入力します。**追加**をクリックします。

ユーザ インターフェース

[ドライブツールバー \(p. 200\)](#)

[ドライブ表示エリア \(p. 203\)](#)

[ファイルの詳細 \(p. 204\)](#)

関連トピック

[ファイルの表示 \(p. 206\)](#)

[テキストファイルの作成または編集 \(p. 213\)](#)

[ファイルおよびドライブフォルダーの整理 \(p. 214\)](#)

[ファイルの検索 \(p. 222\)](#)

[フォルダーでデータを管理 \(p. 228\)](#)

[共有データ \(p. 235\)](#)

9.5 テキストファイルの作成または編集

次のようなオプションの機能があります。

- ブレーン テキストのファイルを作成する
- 既存のテキストファイルの編集

新規のテキスト ファイルを作成する：

1. フォルダビューで、フォルダを 開きます。
注：オブジェクトを作成する権限のあるフォルダを開いてください。
2. ツールバーで、**新規**をクリックします。**メモを追加** をクリックします。
3. 件名を入力します。
テキストを入力するか、クリップボードから貼り付けます。
テキストを編集する際の操作は、一般的なアプリケーション操作と同じです。

テキスト ファイルを編集する：

1. フォルダビューで、テキストファイルが保存されているフォルダを開きます。
注：オブジェクトを作成する権限のあるフォルダを開いてください。
2. 次のいずれかの方法を使用します。
 - テキストファイルを選択します。ツールバーで、**編集** をクリックします。
 - テキストファイルをダブルクリックします。
 - ビューアでテキストファイルを表示します。**編集** をクリックします。
編集するテキストが表示されます。
3. テキストを編集する際の操作は、一般的なアプリケーション操作と同じです。

ユーザ インターフェース

[編集ウィンドウ \(p. 31\)](#)

関連トピック

[ファイルの表示 \(p. 206\)](#)
[ファイルまたはドライブフォルダーを作成 \(p. 212\)](#)
[ファイルおよびドライブフォルダーの整理 \(p. 214\)](#)
[ファイルの検索 \(p. 222\)](#)
[フォルダーでデータを管理 \(p. 228\)](#)
[共有データ \(p. 235\)](#)

9.6 ファイルおよびドライブフォルダーの整理

次のようなオプションの機能があります。

- メールの添付ファイルとしてファイルを送信 (p. 215)
- ファイル名の編集 (p. 215)
- 説明を作成または編集 (p. 216)
- ファイルまたはドライブフォルダーの移動 (p. 216)
- ファイルのコピー (p. 217)
- PDFとしてファイルを保存 (p. 217)
- ポータルへのファイルの追加 (p. 218)
- ファイルまたはドライブフォルダーをお気に入りに追加 (p. 218)
- ドライブフォルダーを削除 (p. 219)
- ファイルのロックおよびロックの解除 (p. 220)
- バージョンの操作 (p. 221)

ユーザ インターフェース

ドライブツールバー (p. 200)

ドライブ表示エリア (p. 203)

ビューア (p. 205)

関連トピック

ファイルまたはドライブフォルダーを作成 (p. 212)

9.6.1 メールへの添付ファイルとしてファイルを送信

現在のファイルバージョンをメールの添付ファイルとして送信できます。

メールへの添付ファイルとしてファイルを送信する：

1. 表示エリアで、1つまたは複数のファイルを選択します。
2. 次のいずれかの方法を使用します。
 - ツールバーの追加アクションアイコンをクリックします。メールで送信をクリックします。
 - コンテキストメニューで、メールで送信をクリックします。
 - ビューアの追加アクション アイコンを使用します。
3. メール編集ウィンドウで、詳細を入力して新規メールを送信します。

ユーザ インターフェース

[ドライブ表示エリア \(p. 203\)](#)

[ビューア \(p. 205\)](#)

9.6.2 ファイル名の編集

前提条件：ファイルが保存されているフォルダのオブジェクトを編集する権限が必要です。

ファイル名を編集する：

1. 表示エリアで、ファイルを選択します。
2. 次のいずれかの方法を使用します。
 - ツールバーの追加アクションアイコンをクリックします。名前を変更をクリックします。
 - コンテキストメニューから名前の変更を選択します。
 - ビューアの追加アクション アイコンを使用します。
 - ビューアの左上側にあるファイル名をクリックします。
3. 名前を変更ウィンドウでファイル名を編集します。

ユーザ インターフェース

[ドライブ表示エリア \(p. 203\)](#)

[ファイルの詳細 \(p. 204\)](#)

[ビューア \(p. 205\)](#)

同等アクション

[説明を作成または編集 \(p. 216\)](#)

9.6.3 説明を作成または編集

ファイルの説明を新規に作成したり、編集したりできます。

前提条件：ファイルが保存されているフォルダのオブジェクトを編集する権限が必要です。

ファイルの説明を新規に作成したり、編集したりする：

1. 表示エリアで、ファイルを選択します。
詳細が表示されない場合は、ツールバーの**ビュー**をクリックします。ファイルの詳細を有効にします。
2. ボタンを表示するには、メニューバーの右側にある**パネル オン/オフアイコン**  をクリックします。
説明を追加するには、**説明を追加**をクリックします。
説明を編集するには、**説明を編集**をクリックします。

ビューアのサイドバーでも機能を使用できます。

ユーザ インターフェース

- ドライブ表示エリア (p. 203)
- ファイルの詳細 (p. 204)
- ビューア (p. 205)

同等アクション

- ファイル名の編集 (p. 215)

9.6.4 ファイルまたはドライブフォルダーの移動

次のオブジェクトを別のフォルダへ移動できます。

- 1つまたは複数のファイル
- 1つまたは複数のフォルダ
- ファイルとフォルダの組み合わせ

前提条件：目的のフォルダにオブジェクトを作成する権限が必要です。

オブジェクトを他のフォルダに移動する：

1. 表示エリアでオブジェクトを選択できます。
2. 次のいずれかの方法を使用します。
 - ツールバーの**追加アクション**アイコン  をクリックします。**移動**をクリックします。
 - コンテキストメニューから**移動**を選択します。
 - ドラッグアンドドロップを使用して、アイテムをフォルダビューのフォルダに移動します。
3. **移動**ウィンドウで、フォルダを選択します。**フォルダを作成**をクリックして、新規フォルダを作成できます。
移動をクリックします。

ユーザ インターフェース

- ドライブ表示エリア (p. 203)

同等アクション

- ファイルのコピー (p. 217)

9.6.5 ファイルのコピー

別のフォルダにファイルをコピーすることができます：共有ファイルをコピーするときに権限がコピーされません。つまり、ファイルのコピーが共有されていません。

前提条件：目的のフォルダにオブジェクトを作成する権限が必要です。

ファイルを別のフォルダにコピーする：

1. 表示エリアで、1つまたは複数のファイルを選択します。
2. 次のいずれかの方法を使用します。
 - ツールバーの**追加アクションアイコン**  をクリックします。 **コピー** をクリックします。
 - コンテキストメニューから **コピー** を選択します。
3. コピーウィンドウで、フォルダを選択します。 **フォルダを作成** をクリックして、新規フォルダを作成できます。
コピー をクリックします。

ユーザ インターフェース

[ドライブ表示エリア \(p. 203\)](#)

同等アクション

- [ファイルまたはドライブフォルダーの移動 \(p. 216\)](#)

9.6.6 PDFとしてファイルを保存

ドキュメントとテキストファイルをPDF形式で保存できます。PDFファイルは、ドキュメントまたはテキストファイルが保存されているフォルダに保存されます。

ファイルをPDF形式で保存する：

1. 表示エリアで、ファイルを選択します。
2. 次のいずれかの方法を使用します。
 - ツールバーの**追加アクションアイコン**  をクリックします。 **PDFとして保存** をクリックします。
 - コンテキストメニューから **PDFとして保存** を選択します。
 - ビューアの**追加アクション** アイコン  を使用します。
3. **PDFとして保存** ウィンドウでPDFファイルの名前を入力できます。 **保存** をクリックします。

ユーザ インターフェース

[ドライブ表示エリア \(p. 203\)](#)

[ビューア \(p. 205\)](#)

9.6.7 ポータルへのファイルの追加

ウィジェットとしてファイルをポータルに追加できます。

ファイルをポータルに追加する：

表示エリアで、ファイルを選択します。ツールバーの**追加アクションアイコン**  をクリックします。
ポータルに追加 をクリックします。

ユーザ インターフェース

[ドライブ表示エリア \(p. 203\)](#)

関連トピック

- [ポータルウィジェットの追加 \(p. 50\)](#)

9.6.8 ファイルまたはドライブフォルダーをお気に入りに追加

頻繁に使用するファイルまたはフォルダのようなオブジェクトをシンボリックフォルダお気に入りに追加できます。次の機能が利用できます。

- オブジェクトをお気に入りに追加
- お気に入りからオブジェクトを削除

フォルダビューのオブジェクトの元の位置は、これらのアクションの影響を受けません。

お気に入りにオブジェクトを追加する：

1. 表示エリアでオブジェクトを選択できます。
2. 次のいずれかの方法を使用します。
 - ツールバーの**追加アクションアイコン**  をクリックします。**お気に入りに追加** をクリックします。
 - コンテキストメニューから**お気に入りに追加** を選択します。

結果：オブジェクトは、お気に入りの下にあるフォルダビューの上部に表示されます。

お気に入りからオブジェクトを削除する：

1. フォルダビューで、**お気に入り** をクリックします。表示エリアでオブジェクトを選択できます。
2. ツールバーの**お気に入りから削除** をクリックします。

結果：オブジェクトがお気に入りから削除されます。お気に入りの場合、フォルダは削除されます。

ユーザ インターフェース

[ドライブ表示エリア \(p. 203\)](#)

同等アクション

- [ファイルまたはドライブフォルダーの移動 \(p. 216\)](#)

9.6.9 ドライブフォルダーを削除

ファイルやフォルダと同じようにオブジェクトを削除できます。次のようなオプションの機能があります。

- オブジェクトの**削除** オブジェクトはゴミ箱フォルダに移動されます。
- 削除したオブジェクトをゴミ箱フォルダから**復元**します。オブジェクトは元の位置に復元されます。
- ゴミ箱フォルダのオブジェクトを**完全に削除**します。**ゴミ箱を空にする**ことでフォルダ内のすべてのアイテムを完全に削除することもできます。

警告： ゴミ箱からオブジェクトを削除すると削除され、元に戻すことはできません。

オブジェクトを削除する：

1. 表示エリアでオブジェクトを選択できます。
2. 次のいずれかの方法を使用します。
 - ビューアの削除アイコンをクリックします。
 - コンテキストメニューから削除を選択します。
3. アイテムの削除を確定します。

結果：選択したオブジェクトを削除します。

削除したオブジェクトを復元する：

1. ゴミ箱フォルダを開きます。
2. 復元するオブジェクトを選択します。
3. 次のいずれかの方法を使用します。
 - ツールバーの追加アクションアイコンをクリックします。復元をクリックします。
 - コンテキストメニューから復元を選択します。

結果：オブジェクトは元の位置に復元されます。

オブジェクトを完全に削除する：

警告：完全に削除したファイルを復元することはできません。

1. ゴミ箱フォルダを開きます。
2. オブジェクトを選択します。
3. ツールバーで、完全に削除アイコンをクリックします。
4. アイテムの削除を確定します。

結果：アイテムが完全に削除されます。

ゴミ箱フォルダのファイルを完全に削除する：

警告：完全に削除したファイルを復元することはできません。

1. フォルダビューで、ゴミ箱フォルダを選択します。
2. フォルダ名の隣のアクションアイコンをクリックします。フォルダを空にするをクリックします。
3. フォルダを空にすることを確定します。

結果：ごみ箱内のオブジェクトが完全に削除されます。

9.6.10 ファイルのロックおよびロックの解除

ファイルを編集する際に、そのファイルをロックすることができます。ロックには次のような動きがあります。

- ファイルが現在編集中で、既に最新版でない可能性があることを他のユーザに通知します。
- 編集権限を付与したユーザと共有しているフォルダにファイルがある場合でも、これらのユーザはロックされたファイルを編集できません。
- ご自分が共有ファイルの所有者で、別のユーザがそのファイルをロックした場合、ファイルをアンロックすることができます。

ファイルをロックする：

1. 表示エリアで、1つまたは複数のファイルを選択します。
2. ツールバーの追加アクションアイコンをクリックします。ロックをクリックします。

ファイルのロックを解除する：

1. 表示エリアで、1つまたは複数のファイルを選択します。
2. ツールバーの追加アクションアイコンをクリックします。ロックを解除をクリックします。

9.6.11 バージョンの操作

次のようなオプションの機能があります。

- 最新のバージョンの表示と保存
- 新規バージョンのアップロード
- 特定のバージョンに機能を適用：
 - ダウンロード
 - 最新バージョンに設定
 - バージョンを削除
 - すべての前のバージョンを削除

最新のバージョンを表示、保存する：

1. 表示エリアで、ファイルを選択します。ツールバーで、**ダウンロードアイコン**  をクリックします。
2. 手順に従い、ファイルを表示またはダウンロードします。

新規バージョンをアップロードする：

1. 表示エリアで、ファイルを選択します。サイドバーが表示されない場合は、ツールバーの**ビュー**をクリックします。**ファイルの詳細**を有効にします。
2. サイドバーで、**新規バージョンをアップロード**をクリックします。目的のファイルを選択します。
3. バージョンに関するコメントを入力します。
4. **アップロード**をクリックします。

ビューアのサイドバーでも機能を使用できます。

ヒント：ファイルブラウザやデスクトップからファイルをビューアのサイドバーにドラッグし、ドロップしてもファイルをアップロードできます。

特定のバージョンのダウンロードまたは削除する、または最新バージョンにする

1. 表示エリアで、ファイルを選択します。サイドバーが表示されない場合は、ツールバーの**ビュー**をクリックします。**ファイルの詳細**を有効にします。
2. ボタンを表示するには、サイドバーのバージョンの横にあるパネル **オン/オフアイコン**  をクリックします。

バージョンをクリックします。メニューで、目的の機能を選択します：

- **ダウンロード**。バージョンをダウンロードします。
- **これを最新のバージョンにする**。このバージョンを最新バージョンに設定します。
- **バージョンを削除**。このバージョンのみを削除します。
- **すべての前のバージョンを削除**。このバージョンより古いすべてのバージョンを削除します。

ビューアのサイドバーでも機能を使用できます。

ユーザ インターフェース

[ドライブ表示エリア \(p. 203\)](#)

[ファイルの詳細 \(p. 204\)](#)

[ビューア \(p. 205\)](#)

9.7 ファイルの検索

目的のファイルを検索するには、次の条件を使用できます。

- ファイル名、ファイルの説明を対象に検索します。
- 検索されないフォルダ
- ファイルタイプ：すべて、オーディオ、ドキュメント、画像、その他、動画
- ファイルサイズ
- 最新の変更の期間、現在の日付に関連している：先週、先月、昨年
- フォルダタイプ：すべて、プライベート、パブリック、共有

ファイルを検索する：

1. メニューバーの**検索**入力フィールドをクリックしてください。
2. 入力フィールドに検索条件を入力します。検索メニューが表示されます。
検索メニューの項目をクリックして検索対象のデータソースを指定します。
 - 検索条件をクリックする、または Enter キーを押すことによって、次のデータソースが検索対象になります：ファイル名、説明
 - ファイル名のみを検索するには、検索メニューで、**検索対象：ファイル名**をクリックします。また、検索対象をファイルの説明にすることもできます。検索結果は、表示エリアに一覧で表示されます。
3. 検索フォルダを選択するには、入力フィールドの**オプションアイコン ▼**をクリックします。検索したフォルダは**フォルダ**ドロップダウンメニューに表示されます。別のフォルダを選択するには、ドロップダウンメニューを開きます。
 - **すべてのフォルダ**を選択すると、全てのプライベート、パブリックおよび共有フォルダとサブフォルダを検索します。
検索する対象をプライベートフォルダ、パブリックフォルダ、または共有フォルダに限定するには、**オプション**をクリックします。タイプを選択します。
 - 特定のフォルダ、あるいはフォルダを選択すると、このフォルダのみを検索し、サブフォルダの検索は行いません。
4. 検索対象を特定のファイルにするために次のオプションがあります。
 - 特定のファイルを検索するには、入力フィールドで**オプションアイコン ▼**をクリックします。**ファイルタイプ**ドロップダウンメニューを開きます。タイプを選択します。
 - 特定のサイズのファイルを検索対象にするには、入力フィールドの**オプションアイコン ▼**をクリックします。**ファイルサイズ**ドロップダウンメニューを開きます。サイズを選択します。
 - 特定の期間に変更されたファイルを検索するには、入力フィールドで**オプションアイコン ▼**をクリックします。**日付**ドロップダウンメニューを開きます。値を選択します。
5. 検索結果を変更するには、さらに検索条件を入力します。検索条件を削除するには、検索条件横の**削除アイコン ✕**をクリックします。
6. 検索を終了するには、入力フィールドで**終了アイコン ⓧ**をクリックします。

ユーザ インターフェース

[ドライブ検索バー \(p. 199\)](#)

関連トピック

[ファイルの表示 \(p. 206\)](#)

9.8 WebDAV によるファイルへのアクセス

WebDAV を使用すると、ローカル ディスクにあるファイルと同じように ドライブ アプリケーションのファイルにアクセスできます。グループウェアのGUIからのアクセスと比較した場合、WebDAVには次のような利点と欠点があります。

- WebDAV では、Windows エクスプローラなどのファイルブラウザを使用してファイルに素早く、かつ直接アクセスできる利点があります。また、グループウェアの GUI にログインする必要もありません。
- 欠点としては、ドキュメントの最新バージョンを閲覧できない点があります。また、バージョン履歴や、コメントなどの追加情報も表示されません。
- **警告:**WebDAV でファイルを削除すると、最新のファイルだけでなく、すべてのバージョンのファイルが削除されます。

注: WebDAV でパブリック フォルダや共有フォルダにオブジェクトを作成するには、対象フォルダに少なくとも次の権限が必要です。

オブジェクトを作成、自分のオブジェクトのみを編集

自分のオブジェクトも表示するには、次の権限も必要です。

自分のオブジェクトのみを表示

Windows エクスプローラなどのファイル ブラウザで ドライブアプリケーションのファイルにアクセスする前に、WebDAV アクセスをセットアップする必要があります。手順は、次のようにオペレーティングシステムによって異なります。

- [Linux 環境での WebDAV のセットアップ \(p. 224\)](#)
- [Windows環境での WebDAV のセットアップ \(p. 224\)](#)

9.8.1 Linux 環境での WebDAV のセットアップ

Linux 環境で WebDAV アクセスをセットアップする:

1. KDE Konqueror または同等のブラウザを起動します。
2. アドレス バーに次のアドレスを入力します。
webdav://<address>/servlet/webdav.infostore
<address>をグループウェアサーバのIPアドレスかURLに置き換えます。
3. グループウェア サーバにアクセスするためのユーザ名とパスワードを入力します。

結果: ドライブアプリケーションファイルがブラウザに表示されます。

9.8.2 Windows環境での WebDAV のセットアップ

Windows環境で WebDAV アクセスをセットアップする:

1. Windows エクスプローラーのナビゲーションペインで、**本PC**を選択します。
上の**コンピューター**タブをクリックします。ネットワークの場所の追加をクリックします。ネットワークの場所の追加ウィンドウが開きます。次へ をクリックします。
2. **カスタムのネットワークの場所を選択**を選択します。次へをクリックします。
3. インターネットまたはネットワークの場所入力フィールドに次のアドレスを入力します。
webdav://<address>/servlet/webdav.infostore
<address>をグループウェアサーバのIPアドレスかURLに置き換えます。次へをクリックします。
4. グループウェア サーバにアクセスするためのユーザ名とパスワードを入力します。OKをクリックします。
5. 次のページで、ネットワークの場所に名前を割り当てます。次へをクリックします。
6. 完了をクリックします。

結果: T本PC下で、ドライブアプリケーションファイルにアクセスできます。

9.9 ストレージアカウントを追加する

Google Drive、Dropbox、Box、OneDriveなどの第三者クラウドストレージを使用する場合、グループウェアにクラウドストレージのアカウントを追加できます。これにより、グループウェア内からアカウントのデータにアクセスできます。

ストレージアカウントを追加する：

1. フォルダビューで、**ストレージアカウントを追加**をクリックします。ストレージアカウントを追加ウィンドウが表示されます。
2. アイコンをクリックします。その後の手順はクラウドストレージアカウントプロバイダによって異なります。
 - プロバイダが認証情報を聞いた場合は、クラウドストレージアカウントの認証情報を入力します。
 - プロバイダがデータへのアクセスを許可するかどうか聞いてきますので、許可してください。

ストレージアカウントのフォルダがフォルダビューに表示されます。

オプション：

- フォルダ名を変更するには、フォルダ名の横にある**アクションアイコン**をクリックするか、コンテキストメニューを使用します。
- フォルダの内容によって、ツールバー機能を使用して、写真を見たり、ファイルをコピーできます。
注：ストレージアカウントの機能によっては、バージョンの操作がサポートされていない場合があります。

ユーザ インターフェース

[ドライブフォルダビュー \(p. 201\)](#)

[アカウントの表示、編集、削除 \(p. 252\)](#)

関連トピック

[フォルダ名の変更 \(p. 233\)](#)

[アカウントの表示、編集、削除 \(p. 252\)](#)

9.10 ドライブ設定

ドライブ設定の使用方法：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーで、Driveをクリックします。

構成によって、次の設定が利用できます。

同じ名前ファイルを追加する

新規ファイル、または同じ名前で作成されようファイルの新規バージョンを作成するかどうかを指定できます。

- **新規バージョンを追加**
ファイルの新しいバージョンが作成されます。
- **新規バージョンを追加し、通知を表示**
ファイルの新しいバージョンが作成されます。処理が終了するとすぐに通知を受信します。
- **別のファイルを追加**
新しいファイルが追加されます。ファイル名は続き番号で拡張されます。

画像のスライドショー / 自動再生モード

ビューアに表示された写真をどう表示するを指定します。

詳細設定

- **非表示のフォルダと非表示のファイルを表示**
非表示のフォルダと非表示のファイルを表示するかどうかを指定できます。非表示のファイルと非表示のフォルダの名前の前にドットがつきます。ローカルドライブアプリケーションには内部目的用にそのようなファイルやフォルダが必要です。ローカルドライブアプリケーションの機能にリスクが生じないように、そのような非表示のファイルや非表示のフォルダを変更または削除してはいけません。

バージョン履歴

構成によって、設定した特定のタイムフレームで保存するファイルバージョン数を指定できます。最大タイムフレームまたは最大バージョン数に達すると、古いバージョンが削除され、新しいバージョンが作成されます。

- **タイムフレーム**
新規バージョンを作成するときにどれくらいの期間で古いバージョンを削除するかを指定します。
- **ファイルバージョン制限**
ファイルの最大バージョン数を指定します。最大数に達すると、新規バージョンが作成されたときに、古いバージョンが削除されます。

10 データの整理と共有

データの整理と共有方法を次のトピックごとに説明します。

- [フォルダーでデータを管理 \(p. 228\)](#)
- [共有データ \(p. 235\)](#)
- [アカウントの管理 \(p. 250\)](#)
- [すべてのデータをダウンロード \(p. 253\)](#)

メールやファイルの暗号化の詳細は次を参照してください。 [Guardを使ってデータの暗号化 \(p. 269\)](#)

10.1 フォルダーでデータを管理

フォルダーを使用すると、次のようなことが容易にできます：

- オブジェクトの概要の把握
- 他のユーザや外部のパートナーとの情報共有
- 特定の情報の検索やその情報の再検索

必要なこと：

- フォルダータイプ (p. 229)
- 権限の用途 (p. 230)

次のようなオプションの機能があります。

- フォルダ間の移動 (p. 231)
- フォルダを非表示にする (p. 232)
- お気に入りへのフォルダの追加 (p. 233)
- フォルダ名の変更 (p. 233)
- フォルダの移動 (p. 234)
- フォルダの削除 (p. 234)

ドライブアプリケーションのファイルやフォルダーに関する詳細は、[ファイルおよびドライブフォルダーの整理](#) (p. 214)を参照してください。

ユーザ インターフェース

- メールフォルダービュー (p. 57)
- アドレス帳フォルダービュー (p. 103)
- カレンダーフォルダービュー (p. 132)
- タスクフォルダービュー (p. 178)
- ドライブフォルダービュー (p. 201)
- ドライブ表示エリア (p. 203)

関連トピック

- メールフォルダを追加 (p. 75)
- アドレス帳の追加 (p. 115)
- 予定表を追加する (p. 156)
- 仕事フォルダを追加する (p. 187)
- ファイルまたはドライブフォルダーを作成 (p. 212)

10.1.1 フォルダタイプ

フォルダタイプは、ユーザーのフォルダアクセスを指定します。フォルダビュー内のフォルダには、次のようなタイプがあります。

- 個人用フォルダ
 - 個人用フォルダには、そのユーザーのメール、連絡先、予定、仕事、ファイルが保存されます。ユーザーが自身の個人用フォルダを他のユーザーと共有しない限り、他のユーザーはこのフォルダの内容を見ることができません。
 - 連絡先、予定、仕事、ファイルを保存するための個人用フォルダは、それぞれのアプリケーションのマイアドレス帳、マイ予定表、マイ仕事、マイファイルの下にあります。
- パブリックフォルダ
 - パブリックフォルダには、すべてのユーザーに関連する、連絡先、予定、ドキュメントが保存されます。すべてのユーザーは、パブリックフォルダを作成したり、そのフォルダを他のユーザーと共有できます。
 - 連絡先、予定、仕事、ファイルを保存するためのパブリックフォルダは、それぞれのアプリケーションのパブリックアドレス帳、パブリック予定表、パブリック仕事、パブリックファイルの下にあります。
- 共有フォルダ
 - 共有フォルダは、読み取り権限や書き込み権限を設定して他のユーザーと共有できます。
 - 連絡先、予定、仕事、ファイルを保存するための共有フォルダは、それぞれのアプリケーションの共有アドレス帳、共有予定表、共有仕事、共有ファイルの下にあります。

注:パブリックフォルダーや共有フォルダーがない場合、それらのフォルダタイプのヘッダは表示されません。

関連トピック

[権限の用途 \(p. 230\)](#)

10.1.2 権限の用途

権限は、特定のフォルダやそのフォルダの内容に対して、内部ユーザまたは外部パートナーができる操作を指定します。

- 内部ユーザとして、既存のフォルダについて既定の権限があります。
新しいフォルダを作成するときには、既定の権限を付与されます。
- 他の人から共有アイテムへの招待を受けたときには、特定の権限が付与されます。

ユーザには、既存のフォルダに関する次の権限が付与されます。

- ユーザは、個人用フォルダの所有者になります。
所有者と管理者が同じ権限を持っています。所有者には、対象のフォルダに関するすべての権限が付与されます。所有者は他のユーザに対象のフォルダに関する権限を付与できます。
- パブリックフォルダへのフォルダやオブジェクトの作成が許可されます。
- グローバルアドレス帳のフォルダやオブジェクトの表示が許可されます。

新規フォルダを作成する場所に応じて、ユーザに特定の権限が割り当てられます。次の場所にフォルダを作成した場合に割り当てられる権限については、次のリンクをクリックします。

- ユーザが新規フォルダを個人用フォルダに作成した場合、ユーザに次の権限が割り当てられます。
 - ユーザは、そのフォルダの所有者になります。
 - メールアプリケーションとドライブアプリケーションで、他のユーザーは親フォルダの権限を継承します。その他のアプリケーションでは、他のユーザは権限を継承しません。
 - ユーザが新規フォルダをパブリックファイルフォルダに作成した場合、ユーザに次の権限が割り当てられます。
 - ユーザは、そのフォルダの所有者になります。
 - 他のユーザには権限が自動的に割り当てられないため、新規フォルダに関する権限を手動で割り当てる必要があります。権限の割り当て後、このフォルダに新規のサブフォルダを作成すると、このフォルダの権限が新規のサブフォルダにも継承されます。
 - 新規フォルダを別のユーザの共有フォルダに作成した場合、次の権限が割り当てられます。
 - フォルダを共有するユーザが、新規フォルダの管理者です。
 - 新規フォルダの作成者になります。
作成者は、既存オブジェクトの変更または削除、新規オブジェクトの作成および変更、そして、サブフォルダの作成ができます。
 - その他のユーザには、親フォルダと同様の権限が付与されます。
- 注：共有フォルダのオブジェクトの作成権限が必要です。

関連トピック

- フォルダタイプ (p. 229)
- 共有データ (p. 235)
- 利用できる権限について (p. 246)
- 権限に大文字を使用 (p. 248)

10.1.3 フォルダ間の移動

次の機能が利用できます。

- フォルダビューを表示したり、非表示にします。
- フォルダビューの幅の変更
- フォルダビューまたはナビゲーションパスを使用して、フォルダを開く、または選択

フォルダビューを開くまたは閉じる：

次のいずれかの方法を使用します。

- ツールバーで、**ビュー**をクリックします。フォルダビューを有効にするか無効にします。
- フォルダービュー下にある**フォルダービューを開くアイコン**»または**フォルダビューを閉じるアイコン**«をクリックします。

フォルダビューの幅を変更する：

1. フォルダビューの右にある境界線にカーソルを移動します。双方向矢印が表示されます。
2. 境界線を左または右にドラッグします

フォルダを開く、または選択する：

1. フォルダービューが表示されていない場合には、開いてください。
2. フォルダ内にあるサブフォルダを表示するには、フォルダ名の隣にある矢印をクリックします。
3. フォルダをクリックします。フォルダ項目が詳細ビューに表示されます。
ドライブアプリケーションでは、次のようなオプションもあります：
 - ナビゲーションバーで入力をクリックして、親フォルダを開きます。
 - フォルダを開くには、詳細ビューでフォルダをダブルクリックします。

従属アクション：

- メールの表示 (p. 63)
- タブの使い方 (p. 77)
- 連絡先の表示 (p. 107)
- 予定表ビューでの予定の表示 (p. 140)
- リスト ビューでの予定の表示 (p. 143)
- 仕事の表示 (p. 182)
- ファイルの表示 (p. 206)
- ビューアでファイルを表示します。 (p. 207)

関連トピック

- フォルダを非表示にする (p. 232)
- お気に入りへのフォルダの追加 (p. 233)

10.1.4 フォルダを非表示にする

アドレス帳、カレンダー、またはタスクアプリケーションでは、任意の個人用フォルダ、共有フォルダ、パブリック フォルダを隠すことができます。次の機能が利用できます。

- 個々のフォルダを非表示にする
- 非表示のフォルダの再表示

各非表示のフォルダは、フォルダビューの下にある一括フォルダに表示されます。

フォルダを非表示にする：

1. アドレス帳、カレンダー、またはタスクアプリケーションでは、フォルダービューで隠すフォルダを選択します。
2. フォルダ名の隣のアクションアイコンをクリックします。非表示にするをクリックします。
注：非表示にすることのできないフォルダを選択した場合、この機能は表示されません。

非表示のフォルダを表示する：

1. アドレス帳、カレンダー、またはタスクアプリケーションでは、非表示のアドレス帳、非表示のカレンダー、または非表示のタスクの一つをそれぞれ選択します。非表示のフォルダーが表示されます。
2. フォルダ名の隣のアクションアイコンをクリックします。表示をクリックします。

関連トピック

[フォルダ間の移動 \(p. 231\)](#)

[お気に入りへのフォルダの追加 \(p. 233\)](#)

10.1.5 お気に入りへのフォルダの追加

頻繁に使用するフォルダをシンボリックフォルダお気に入りに追加できます。次の機能が利用できます。

- お気に入りへのフォルダの追加
- お気に入りからのフォルダの削除

フォルダビューのオブジェクトの元の位置は、これらのアクションの影響を受けません。

お気に入りにフォルダを追加する：

1. フォルダビューで、フォルダを選択します。
2. フォルダ名の隣のアクションアイコンをクリックします。お気に入りに追加をクリックします。

結果：フォルダは、お気に入りの下にあるフォルダビューの上部に表示されます。お気に入りの存在しない場合、自動的に作成されます。

お気に入りからフォルダを削除する：

1. お気に入りの下にあるフォルダビューで、フォルダを選択します。
2. フォルダ名の隣のアクションアイコンをクリックします。お気に入りから削除をクリックします。フォルダビューの元の位置にあるフォルダを右クリックしてもこの機能を有効にできます。

結果：フォルダがお気に入りから削除されます。お気に入りの空の場合、フォルダは削除されます。

関連トピック

- [フォルダ間の移動 \(p. 231\)](#)
- [フォルダを非表示にする \(p. 232\)](#)

10.1.6 フォルダ名の変更

この機能では、個人用フォルダにあるサブフォルダの名前を変更できます。それ以外のフォルダは、管理者権限が必要です。

フォルダ名を変更する：

1. フォルダビューで、名前を変更するフォルダを選択します。
2. フォルダ名の隣のアクションアイコンをクリックします。名前を変更をクリックします。
3. 既存の名前を編集するか、新規の名前を入力します。名前を変更をクリックします。

関連トピック

- [フォルダ間の移動 \(p. 231\)](#)
- [フォルダの移動 \(p. 234\)](#)
- [フォルダの削除 \(p. 234\)](#)
- [ストレージアカウントを追加する \(p. 225\)](#)

10.1.7 フォルダの移動

この機能では、個人用フォルダからサブフォルダを移動できます。それ以外のフォルダの名前を変更する場合は、そのための権限が必要です。対象のフォルダには、サブフォルダを作成する権限が必要です。

フォルダを移動する：

1. フォルダビューで、移動するフォルダを選択 します。
2. フォルダ名の隣のアクションアイコンをクリックします。移動をクリックします。
3. フォルダを移動ウィンドウで、フォルダを選択します。フォルダを作成をクリックして、新規フォルダを作成できます。
4. 移動をクリックします。

関連トピック

- [フォルダ間の移動 \(p. 231\)](#)
- [フォルダ名の変更 \(p. 233\)](#)
- [フォルダの削除 \(p. 234\)](#)

10.1.8 フォルダの削除

個人用フォルダにあるサブフォルダを削除することができます。それ以外のフォルダの名前を変更する場合は、そのための権限が必要です。

警告:フォルダを削除すると、そのフォルダ内にあるサブフォルダやオブジェクトもすべて削除されます。削除したサブフォルダやオブジェクトを元に戻すことはできません。

フォルダを削除する：

1. フォルダビューで、移動するフォルダを選択 します。
2. フォルダ名の隣のアクションアイコンをクリックします。削除ボタンをクリックします。
3. フォルダの削除を確定します。

結果：フォルダとそのフォルダ内のオブジェクトが完全に削除されます。

関連トピック

- [フォルダ間の移動 \(p. 231\)](#)
- [フォルダ名の変更 \(p. 233\)](#)
- [フォルダの移動 \(p. 234\)](#)

10.2 共有データ

読み取り権限および編集権限のある次のデータを共有することで、内部ユーザーまたは外部パートナーと共同作業できます。

- メールフォルダー、アドレス帳、カレンダー、タスクフォルダー
- ドライブフォルダー、ファイル

アイテムを共有するときに、特定の権限がアイテムを共有する人に付与されます。

必要なこと：

- データを共有するために、そのフォルダの管理者権限を持たなければなりません。
- グローバルアドレス帳は共有できません。
- メールは外部パートナーではなく、内部ユーザとのみ共有が可能です。
- アドレス帳、予定表と仕事の外部パートナーとの共有は編集アクセスではなく、読み取りアクセスのみになります。
- ドライブアプリケーションのフォルダーを共有する場合、サブフォルダーも同じように共有するかどうかを指定できます。

次のようなオプションの機能があります。

- [パブリックリンクを使った共有 \(p. 236\)](#)
そのリンクをパートナーに送ることができます。データは読み取り権限で共有されます。他の権限は付与できません。
- [共有アイテムへの招待 \(p. 238\)](#)
データは読み取り権限または編集権限で内部ユーザまたは外部パートナーと共有されます。一人の人に對して権限を指定します。
- [共有ファイルを編集する \(p. 240\)](#)
権限を変更したり、人を追加することができます。
- [招待を再送する \(p. 241\)](#)
- [共有の削除 \(p. 242\)](#)
- [ドライブアプリケーションで共有ファイルを表示したり、編集したりする \(p. 243\)](#)
- [メールフォルダの登録 \(p. 245\)](#)
- [他のユーザの共有にアクセスする \(p. 245\)](#)

共有時に使用できる権限についての情報は以下を参照してください。

- [利用できる権限について \(p. 246\)](#)
- [権限に大文字を使用 \(p. 248\)](#)

ユーザ インターフェース

- [メールフォルダービュー \(p. 57\)](#)
- [アドレス帳フォルダービュー \(p. 103\)](#)
- [カレンダーフォルダービュー \(p. 132\)](#)
- [タスクフォルダービュー \(p. 178\)](#)
- [ドライブフォルダービュー \(p. 201\)](#)
- [ドライブ表示エリア \(p. 203\)](#)
- [ビューア \(p. 205\)](#)

関連トピック

- [権限の用途 \(p. 230\)](#)

10.2.1 パブリックリンクを使った共有

パブリックリンクを作成すると、読み取りアクセスでデータを共有できます。そのリンクをパートナーに送ることができます。このリンクを得たユーザは、データを見ることができます。

次のようなオプションの機能があります。

- パブリックリンクを使うと、次のデータを読み取りアクセスでデータを共有できます：アドレス帳、予定表、仕事、フォルダ、ファイル。
パブリックリンクを使ったメールの共有はできません。
- アクセス用のパスワードを設定できます。固有の期間切れたら（例えば1ヶ月）リンクが無効にすることができます。
- パブリックリンクを無効にすることができます。

パブリックリンクを作成すると、読み取りアクセスでデータを共有できます：

- データの共有に使うアプリケーションを選択します。
フォルダビューで、フォルダを選択します。
注：共有の権限のあるフォルダを選択してください。アプリケーションに応じて、共有のできないフォルダがあります。
ドライブで、表示エリアのフォルダまたはファイルの選択もできます。
- フォルダ名の隣の**アクションアイコン**  をクリックします。共有リンクを作成をクリックします。
ドライブアプリケーションでは、次のいずれかの方法を使用できます。
 - ツールバーで、共有アイコン  をクリックします。招待をクリックします。
 - コンテキストメニューから招待を選択します。ウィンドウが表示されます。共有ファイルの読み取りアクセス用のパブリックリンクを含みます。
- リンクを共有するには、次のオプションがあります：
 - 他のアプリケーションにリンクを挿入するには、リンクの隣の**クリックボードにコピーアイコン**  をクリックします。
 - リンクをメールで直接送信するには、個々のメールアドレスを入力します。ヒント：
 - メールアドレスの入力中に受取人の候補が表示されます。候補を選択するには、その候補をクリックしてください。
 - リストから連絡先を選ぶには、入力フィールドの右側にある**アドレス帳アイコン**  をクリックしてください。
受取人へのメッセージを入力できます。
 - 規定では、データは無制限で読み取りアクセスがある状態で共有されます。共有データへのアクセスに時間制限を設ける場合は、有効期限を有効にします。時間範囲を選択します。
 - パスワードでアクセスを保護する場合はパスワードが必要を有効にします。パスワードを入力します。メールごとにパブリックリンクを送信する場合、メールにはパスワードが含まれます。
- ドライブアプリケーション内でフォルダを共有する場合、フォルダの権限をこのフォルダの全ての既存または新規に作成されたサブフォルダに移動することができます。これを行うには、**すべてのサブフォルダに適用**を有効にします。
- 閉じるをクリックします。

従属アクション：

[アドレス帳から連絡先を選択する \(p. 67\)](#)

同等アクション

[共有アイテムへの招待 \(p. 238\)](#)

[共有ファイルを編集する \(p. 240\)](#)

[招待を再送する \(p. 241\)](#)

[共有の削除 \(p. 242\)](#)

[ドライブアプリケーションで共有ファイルを表示したり、編集したりする \(p. 243\)](#)

[メールフォルダの登録 \(p. 245\)](#)

[他のユーザの共有にアクセスする \(p. 245\)](#)

10.2.2 共有アイテムへの招待

固有の人と読み取りまたは編集アクセスでデータを共有するには、内部ユーザと外部パートナーを共有アイテムへ招待ができます。ユーザは招待メールを受信します。外部パートナーが共有ファイルにアクセスする場合、パートナーは自動でゲストユーザとしてログインします。

次のようなオプションの機能があります。

- メールは内部ユーザと読み取りアクセスで共有できます。
- アドレス帳、予定表、仕事は読み取りアクセスまたは編集アクセスで内部ユーザと共有できます。外部パートナーとは読み取りアクセスのみの共有になります。
- フォルダとファイルは読み取りアクセスと編集アクセスで内部ユーザと外部パートナーと共に共有ができます。

アイテムの共有時、内部ユーザまたは外部パートナーに共有データに関する特定の権限を付与されます。

次のことに注意してください。

- 個人用の受信トレイフォルダを共有することはできません。個人用のメールメッセージに他のユーザからアクセスできるようにするには、受信トレイフォルダの配下のメールフォルダを共有します。他のユーザがこのメールフォルダに登録する必要があります。
- 個人の予定表フォルダ、個人の連絡先フォルダ、個人の仕事フォルダについては、あらかじめ排他的な管理者権限が付与されています。これらのフォルダに関する管理者権限は、他のユーザに付与できません。

メールで内部ユーザまたは外部パートナーを共有ファイルに招待する：

- データの共有に使うアプリケーションを選択します。
フォルダビューで、フォルダを選択します。
注：共有の権限のあるフォルダを選択してください。アプリケーションに応じて、共有のできないフォルダがあります。
ドライブで、表示エリアのフォルダーまたはファイルの選択もできます。
- フォルダ名の隣の**アクションアイコン**  をクリックします。**権限・招待** をクリックします。
ドライブアプリケーションでは、次のいずれかの方法を使用できます。
 - ツールバーで、**共有アイコン**  をクリックします。**共有リンクを作成** をクリックします。
 - コンテキストメニューから **共有リンクを作成** を選択します。権限の調整ウィンドウが表示されます。
- 人を**追加**に名前、またはメールアドレスを入力します。ヒント：
 - 受取人を入力しているときに、受取人の候補が表示されます。候補を選択するには、その候補をクリックしてください。
 - リストから連絡先を選ぶには、入力フィールドの右側にある**アドレス帳アイコン**  をクリックしてください。選択は、内部ユーザ、グループ、またはゲストとして一覧に追加されます。既定の許可が付与されません。
必要に応じて、メッセージを入力します。
- 権限を編集には、次のオプションがあります：
 - ユーザロールの調整には、**現在のロール**の入力をクリックします。メニューで、目的の項目を選択します。
 - 権限の詳細を調整するには、**詳細アクセス権限**の入力をクリックします。メニューから権限を選択します。
 - 権限を削除するには、ユーザー名の隣にある**アクションアイコン**  をクリックします。**アクセスを無効** をクリックします。
- 共有アイテムについてのメール通知がない場合は、**通知を送信** を無効にします。
注：外部パートナーを共有アイテムに招待する場合はチェックボックスを有効にすることができません。
- ドライブアプリケーション内でフォルダを共有する場合、フォルダの権限をこのフォルダの全ての既存または新規に作成されたサブフォルダに移動することができます。これを行うには、**すべてのサブフォルダーに適用** を有効にします。
- 保存** をクリックします。

従属アクション：

[アドレス帳から連絡先を選択する \(p. 67\)](#)

同等アクション

[パブリックリンクを使った共有 \(p. 236\)](#)

[共有ファイルを編集する \(p. 240\)](#)

[招待を再送する \(p. 241\)](#)

[共有の削除 \(p. 242\)](#)

[ドライブアプリケーションで共有ファイルを表示したり、編集したりする \(p. 243\)](#)

[メールフォルダの登録 \(p. 245\)](#)

[他のユーザの共有にアクセスする \(p. 245\)](#)

関連トピック

[利用できる権限について \(p. 246\)](#)

[権限に大文字を使用 \(p. 248\)](#)

10.2.3 共有ファイルを編集する

次のようなオプションの機能があります。

- ユーザロールと権限の調整
- 新しいユーザの共有ファイルへの追加

既存の共有ファイルを編集する：

1. フォルダビューで、共有したフォルダを選択します。
2. フォルダ名の隣のアクションアイコンをクリックします。権限・招待をクリックします。
ドライブアプリケーションでは、ツールバーで、フォルダを共有アイコンをクリックすることもできます。招待をクリックします。
権限の調整ウィンドウが表示されます。
3. ユーザロールまたは権限を編集するには、次のオプションがあります：
 - ユーザロールの調整には、現在のロールの入力をクリックします。メニューで、目的の項目を選択します。
 - 権限の詳細を調整するには、詳細アクセス権限の入力をクリックします。メニューから権限を選択します。
注意：
 - 個人用フォルダの管理者権限は変更できません。
 - 権限は、パブリックリンク用に変更できません。
 - ゲストは読み取り権限のみ得られます。この権限を変更することはできません。
4. 新しいユーザを追加するには、人を追加にメールアドレスを入力します。メールアドレスは、内部ユーザ、グループ、またはゲストとして一覧に追加されます。
ヒント：
 - メールアドレスの入力中に受取人の候補が表示されます。候補を選択するには、その候補をクリックしてください。
 - リストから連絡先を選ぶには、入力フィールドの右側にあるアドレス帳アイコンをクリックしてください。
5. 保存をクリックします。

従属アクション：

[アドレス帳から連絡先を選択する \(p. 67\)](#)

同等アクション

[パブリックリンクを使った共有 \(p. 236\)](#)

[共有アイテムへの招待 \(p. 238\)](#)

[招待を再送する \(p. 241\)](#)

[共有の削除 \(p. 242\)](#)

[ドライブアプリケーションで共有ファイルを表示したり、編集したりする \(p. 243\)](#)

[メールフォルダの登録 \(p. 245\)](#)

[他のユーザの共有にアクセスする \(p. 245\)](#)

関連トピック

[利用できる権限について \(p. 246\)](#)

[権限に大文字を使用 \(p. 248\)](#)

10.2.4 招待を再送する

すでに付与された共有に招待を再送できます。

特定のユーザに対する招待を再送する：

1. フォルダビューで、共有したフォルダを選択します。
2. フォルダ名の隣の**アクション**アイコンをクリックします。**権限・招待**をクリックします。
ドライブアプリケーションでは、ツールバーで、**フォルダを共有**アイコンをクリックすることもできます。**招待**をクリックします。
権限の調整ウィンドウが表示されます。
3. ユーザ名の隣の**アクション** アイコンをクリックします。**招待を再送信**をクリックします。
4. **保存**をクリックします。

同等アクション

- パブリックリンクを使った共有 (p. 236)
- 共有アイテムへの招待 (p. 238)
- 共有ファイルを編集する (p. 240)
- 共有の削除 (p. 242)
- ドライブアプリケーションで共有ファイルを表示したり、編集したりする (p. 243)
- メールフォルダの登録 (p. 245)
- 他のユーザの共有にアクセスする (p. 245)

10.2.5 共有の削除

次のようなオプションの機能があります。

- 一人の人の共有を削除、またはパブリックリンクを削除する
- ドライブアプリケーションのファイルやフォルダに対する既存の権限をすべて削除

一人の人の共有を削除、またはパブリックリンクを削除する：

1. フォルダビューで、共有したフォルダを選択します。
2. フォルダ名の隣のアクションアイコンをクリックします。権限・招待をクリックします。
ドライブアプリケーションでは、ツールバーで、フォルダを共有アイコンをクリックすることもできます。招待をクリックします。
権限の調整ウィンドウが表示されます。
3. メニューバーの右側のアクションアイコンをクリックします。アクセスを無効をクリックします。
4. 保存をクリックします。

ドライブアプリケーションのファイルやフォルダに対する既存の権限をすべて削除する：

1. ドライブアプリケーションで、自分の共有ファイルフォルダーをフォルダービューで開きます。
2. 詳細ビューで共有ファイルを選択します。ツールバーで、アクセスを無効をクリックします。

同等アクション

- パブリックリンクを使った共有 (p. 236)
- 共有アイテムへの招待 (p. 238)
- 共有ファイルを編集する (p. 240)
- 招待を再送する (p. 241)
- ドライブアプリケーションで共有ファイルを表示したり、編集したりする (p. 243)
- メールフォルダの登録 (p. 245)
- 他のユーザの共有にアクセスする (p. 245)

10.2.6 ドライブアプリケーションで共有ファイルを表示したり、編集したりする

基本的機能に加えて、ドライブアプリケーションには次のオプションがあります：

- 共有オブジェクトを一覧で表示できます。一覧を異なる条件で一覧をソートできます。
- 共有ファイルを編集または無効にできます。

ドライブアプリケーションで共有ファイルを表示したり、編集したりする：

1. ドライブアプリケーションで、**自分の共有ファイルフォルダー**をフォルダービューで開きます。共有されたフォルダおよびファイルは詳細ビューで表示されます。共有ファイルごとに次の詳細が詳細ビューで行形式で表示されます。
 - アイコンは共有ファイルのオブジェクトタイプがファイルかフォルダを示しています。
 - 共有ファイルの名前およびフォルダパスフォルダを開くには、パス項目をクリックします。
 - 色の異なる3つのアイコンは、オブジェクトが特定のユーザに共有されているかどうかを示します。
 -  アイコンは、オブジェクトが内部ユーザに共有されているかどうかを示します。
 -  アイコンは、オブジェクトがゲストユーザに共有されているかどうかを示します。
 -  アイコンは、オブジェクトがパブリックリンクを使用して共有されているかどうかを示します。
 - 共有ファイルの作成日付
2. ここでは、次の機能が利用できます。
 - 共有ファイルリストをソートするには、リストの上の**ソート条件**をクリックします。
 - 共有オブジェクトのフォルダを表示するには、オブジェクトのコンテキストメニューを表示します。**ドライブに表示** を選択します。
 - 共有ファイルの親フォルダの内容を表示するには、一覧のパス項目をクリックします。

ドライブアプリケーションで共有ファイルを表示したり、編集したりする

1. ドライブアプリケーションで、**自分の共有ファイルフォルダー**をフォルダービューで開きます。共有されたフォルダおよびファイルは詳細ビューで表示されます。
2. 詳細ビューでフォルダまたはファイルを選択します。次のようなオプションの機能があります。
 - 共有ファイルを編集するには、ツールバーまたはコンテキストメニューの**共有ファイルを編集**をクリックします。
共有ファイルのタイプによっては、パブリックリンクの編集ウィンドウまたは権限変更ウィンドウが表示されます。設定を変更します。
 - 共有ファイルを無効にするには、ツールバーまたはコンテキストメニューの**アクセスを無効にする**をクリックします。

従属アクション：

[アドレス帳から連絡先を選択する \(p. 67\)](#)

同等アクション

[パブリックリンクを使った共有 \(p. 236\)](#)
[共有アイテムへの招待 \(p. 238\)](#)
[共有ファイルを編集する \(p. 240\)](#)
[招待を再送する \(p. 241\)](#)
[共有の削除 \(p. 242\)](#)
[メールフォルダの登録 \(p. 245\)](#)
[他のユーザの共有にアクセスする \(p. 245\)](#)

関連トピック

[利用できる権限について \(p. 246\)](#)

権限に大文字を使用 (p. 248)
権限の用途 (p. 230)

10.2.7 メールフォルダの登録

他のユーザとの共有メールフォルダを表示するには、そのメールフォルダを登録する必要があります。

共有メールフォルダを登録する：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーでメールをクリックします。
3. 表示エリアのIMAP登録を変更をクリックします。
4. IMAP フォルダを登録ウィンドウで、登録したいフォルダのチェックボックスをオンにします保存をクリックします。

同等アクション

[パブリックリンクを使った共有 \(p. 236\)](#)
[共有アイテムへの招待 \(p. 238\)](#)
[共有ファイルを編集する \(p. 240\)](#)
[招待を再送する \(p. 241\)](#)
[共有の削除 \(p. 242\)](#)
[他のユーザの共有にアクセスする \(p. 245\)](#)
[ドライブアプリケーションで共有ファイルを表示したり、編集したりする \(p. 243\)](#)

関連トピック

[利用できる権限について \(p. 246\)](#)
[権限に大文字を使用 \(p. 248\)](#)

10.2.8 他のユーザの共有にアクセスする

フォルダビューで、他のユーザと共有するデータへアクセスできます。

他のユーザと共有するデータにアクセスする：

1. フォルダビューで、共有フォルダを開きます。アプリケーションによって、共有アドレス帳、共有予定表、共有仕事、共有ファイルの下にこのフォルダがあります。
ユーザがデータを共有した場合、ユーザの名前の付いたフォルダが表示されます。
ヒント：共有フォルダに付与された権限を表示するには、アクションアイコンをクリックします。権限・招待をクリックします。
2. フォルダを開いて、内容を表示します。
3. 1つまたは複数のオブジェクトを選択します。機能バー入力を使用します。
注：共有オブジェクトに読み取り権限または編集権限があるかないかで、利用可能な機能が異なります。

同等アクション

[パブリックリンクを使った共有 \(p. 236\)](#)
[共有アイテムへの招待 \(p. 238\)](#)
[共有ファイルを編集する \(p. 240\)](#)
[招待を再送する \(p. 241\)](#)
[共有の削除 \(p. 242\)](#)
[メールフォルダの登録 \(p. 245\)](#)
[ドライブアプリケーションで共有ファイルを表示したり、編集したりする \(p. 243\)](#)

関連トピック

[利用できる権限について \(p. 246\)](#)
[権限に大文字を使用 \(p. 248\)](#)
[共有カレンダーの表示および同期 \(p. 159\)](#)

10.2.9 利用できる権限について

一定の組み合わせの権限を簡単に付与できるよう、次のような既定の特定ユーザロールが用意されています。ユーザロールは一定の組み合わせの権限で構成されます。詳細な権限を付与することも可能です。そのような権限は、オブジェクトの共有で付与できます。

管理者

フォルダの管理者には、対象のフォルダに関するすべての権限が付与されます。所有者は他のユーザに対象のフォルダに関する権限を付与できます。

- フォルダ権限：オブジェクトとサブフォルダを作成、フォルダ名を変更
- オブジェクト権限：すべてのオブジェクトを表示、すべてのオブジェクトを編集、すべてのオブジェクトを削除

ビューア

ビューアは全ての既存のオブジェクトを閲覧できます。他の権限はありません。

- フォルダ権限：フォルダを表示
- オブジェクト権限：全てのオブジェクトを閲覧

レビューア

レビューアは既存のオブジェクトを読んだり、編集したりできます。しかし、レビューアは新規オブジェクトの作成はできません。レビューアはオブジェクトの削除はできません。

- フォルダ権限：フォルダを表示
- オブジェクト権限：全てのオブジェクトの閲覧、全てのオブジェクトの編集

作成者

作成者は、既存オブジェクトの変更または削除、新規オブジェクトの作成および変更、そして、サブフォルダの作成ができます。

- フォルダ権限：オブジェクトとサブフォルダを作成
- オブジェクト権限：すべてのオブジェクトを表示、すべてのオブジェクトを編集、すべてのオブジェクトを削除

詳細な権限

各ユーザロールの既定の権限は変更することができます。次の権限を付与できます：

- フォルダ
 - フォルダを表示
 - オブジェクトを作成
 - オブジェクトとサブフォルダを作成
- 読み取り権限
 - なし
 - 自分のオブジェクトのみを表示
 - すべてのオブジェクトを表示
- 書き込み権限
 - なし
 - 自分のオブジェクトのみを編集
 - すべてのオブジェクトを編集
- 削除権限
 - なし
 - 自分のオブジェクトのみを削除
 - すべてのオブジェクトを削除

同等アクション

- パブリックリンクを使った共有 (p. 236)
- 共有アイテムへの招待 (p. 238)
- 他のユーザの共有にアクセスする (p. 245)
- 共有ファイルを編集する (p. 240)
- 招待を再送する (p. 241)
- 共有の削除 (p. 242)
- ドライブアプリケーションで共有ファイルを表示したり、編集したりする (p. 243)

関連トピック

- 権限に大文字を使用 (p. 248)
- 権限の用途 (p. 230)

10.2.10 権限に大文字を使用

次の例は、他のユーザまたは外部のパートナーが共有フォルダの特定のアクションを実行できるようにするために、他のユーザまたは外部パートナーにどの権限をどの権限を付与する必要があるかを示しています。そのような権限は、オブジェクトの共有で付与できます。

- **例1:** オブジェクトを表示するオブジェクトを変更したり削除しない新規オブジェクトの作成しない詳細の設定：
 - フォルダ: フォルダを表示
 - 読み取り権限: 全てのオブジェクトを読み取る
 - 書き込み権限: なし
 - 削除権限: なし
 - 管理者ロール: ユーザビューアロールも割り当てることができます。
- **例2:** オブジェクトを表示するオブジェクトを変更したり削除しない新規オブジェクトを作成および編集詳細の設定：
 - フォルダ: フォルダを表示
 - 読み取り権限: 全てのオブジェクトを読み取る
 - 書き込み権限: 自分のオブジェクトを編集
 - 削除権限: 自分のオブジェクトを削除
 - 管理者ロール: ユーザ
- **例3:** 既存のオブジェクトを表示しない新規オブジェクトを作成および編集詳細の設定：
 - フォルダ: オブジェクトを作成
 - 読み取り権限: 自分のオブジェクトを読み取る
 - 書き込み権限: 自分のオブジェクトを編集
 - 削除権限: 自分のオブジェクトを削除
 - 管理者ロール: ユーザ
- **例4:** 全てのオブジェクトを表示、編集するサブフォルダとオブジェクトを作成、編集します。詳細の設定：
 - フォルダ: オブジェクトとサブフォルダを作成
 - 読み取り権限: 全てのオブジェクトを読み取る
 - 書き込み権限: 全てのオブジェクトを編集
 - 削除権限: 全てのオブジェクトを削除
 - 管理者ロール: ユーザ作成者ロールも割り当てることができます。
- **例5:** 全ての権限他のユーザに権限を付与します。詳細の設定：
 - フォルダ: オブジェクトとサブフォルダを作成
 - 読み取り権限: 全てのオブジェクトを読み取る
 - 書き込み権限: 全てのオブジェクトを編集
 - 削除権限: 全てのオブジェクトを削除
 - 管理者ロール: 管理者管理者ロールも割り当てることができます。

同等アクション

- 共有アイテムへの招待 (p. 238)
- 他のユーザの共有にアクセスする (p. 245)
- 共有ファイルを編集する (p. 240)
- 招待を再送する (p. 241)
- 共有の削除 (p. 242)
- ドライブアプリケーションで共有ファイルを表示したり、編集したりする (p. 243)

関連トピック

- 利用できる権限について (p. 246)
- 権限の用途 (p. 230)

10.3 アカウントの管理

既定設定、または自分で設定した[アカウント](#)の管理方法を学ぶ

- 主なメールアカウント
- Twitterなどのソーシャルネットワークのアカウント
- 予定表、連絡先、ドライブなどためのGoogle アカウント
- Dropboxなどのストレージのアカウント

次のようなオプションの機能があります。

- [主なメールアカウントの編集](#) (p. 251)
- [アカウントの表示、編集、削除](#) (p. 252)

10.3.1 主なメールアカウントの編集

次のようなオプションの機能があります。

- 主なメールアカウントの名前を変更します。この名前はメール設定に表示されます。
- 既定の差出人名を変更します。
- 主なメールアカウントのフォルダーを変更します。

主なメールアカウントを編集する：

1. メニューバーの右側の**設定アイコン**  をクリックします。
2. サイドバーで**アカウント**をクリックします。
3. 表示エリアで、主なメールアカウントの隣にある**編集**をクリックします。メールアカウントの**編集**ウィンドウには現在の設定が表示されます。
4. アカウント名を変更するには、**アカウント名横**の入力フィールドをクリックしてください。
注：受信サーバおよび送信サーバへの入力の変更できません。
5. 既定の差出人名を変更するには、**名前**の隣にある入力フィールドをクリックします。
この既定の名前はメールの作成時に上書きすることができます。
6. 他のフォルダを選択するには、**標準フォルダ**にブラウズします。
フォルダ横の**選択**をクリックします。受信トレイフォルダー下のサブフォルダーを選択します。
注：受信ボックスフォルダーを選択しないでください。受信ボックスフォルダー下のサブフォルダーを選択してください。
7. ウィンドウの下に**保存**をクリックします。

同等アクション

[アカウントの表示、編集、削除 \(p. 252\)](#)

関連トピック

[メールアカウントを追加 \(p. 94\)](#)

[メールの作成設定 \(p. 98\)](#)

10.3.2 アカウントの表示、編集、削除

アカウントタイプによっては、別のアカウント設定を編集できます：

- メールアカウントの場合：アカウント名、差出人名、統合メールの使用、サーバパラメータ、フォルダ名
- ソーシャルネットワークの場合：アカウント名

アカウントを表示、編集、削除する：

1. メニューバーの右側の**設定アイコン**  をクリックします。
2. サイドバーで**アカウント**をクリックします。
3. 表示エリアで、アカウントの隣にある**編集**をクリックします。設定は編集ウィンドウに表示されます。Googleなどの選択したプロバイダの複数のサービスを使用する場合、編集ウィンドウにサービスの概要が表示されます。
4. 設定を変更します。
外部メールアカウントを編集する場合の注意：
 - 既定の差出人名を変更するには、**名前**の隣にある入力フィールドをクリックします。
 - この既定の名前はメールの作成時に上書きすることができます。

編集ウィンドウの追加オプション：

- アカウントタイプによって、サービス名をクリックすることで、対応するアプリケーションのそれぞれのフォルダーを開くことができます。
- グループウェア内からアカウントにアクセスしない場合、このアカウントを削除できます。削除するには、アカウントの横の**削除アイコン**  をクリックします。

同等アクション

[主なメールアカウントの編集 \(p. 251\)](#)

関連トピック

[ソーシャルネットワークのポータルウィジェットの追加 \(p. 51\)](#)

[メールアカウントを追加 \(p. 94\)](#)

[統合メールの使用 \(p. 87\)](#)

[差出人のメールアドレスを選択する \(p. 68\)](#)

[ストレージアカウントを追加する \(p. 225\)](#)

10.4 すべてのデータをダウンロード

グループウェアに保存された個人データをダウンロードできます：

- 送受信されたメール
- 連絡先、予定、仕事
- ドライブのデータ

次のことに注意してください。

- データ量によって、ダウンロードに多少時間がかかることがあります。
- データは一般的なデータ形式で送信されます。
- データはzipアーカイブでダウンロードされます。

個人データをダウンロードする：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーで、**個人データのダウンロード** をクリックします。
3. データをダウンロードするアプリケーションを選択します。**ダウンロードの要求**をクリックします。
データをアーカイブに圧縮する間、作業を続けることができます。
プロセスをキャンセルするには、**ダウンロードの要求を中断**をクリックします。
4. アーカイブがダウンロードできるとすぐにメールを取得できます。メールの**ダウンロード**をクリックします。

個人データをダウンロードページが再度表示されます。**ダウンロードアイコン**をクリックします。

注：ページの上にZIPアーカイブが利用できる期間が表示されます。この期間後にアーカイブは自動で削除されます。

オプション：

- 各アプリケーションでは、ZIPアーカイブに含まれるフォルダーを設定できます。設定するには、アプリケーション下の**オプション**をクリックします。
加えて、次のオプションがあります：
 - アドレス帳アプリケーションでは、連絡先グループをZIPアーカイブに含めるかどうかを指定できます。
 - ドライブアプリケーションでは、現在のファイルバージョンのみ、またはすべてのファイルバージョンをZIPアーカイブに含めるかどうかを指定できます。
- ZIPアーカイブが任意のファイルサイズを超えると、複数のZIPファイルに分かれます。**最大ファイルサイズ**では、単一のZIPファイルの最大サイズを設定できます。

注：ZIPアーカイブは特定の期間サーバーにダウンロード可能です。この期間2回目にデータを要求した場合、現在のZIPアーカイブはサーバー上で削除されます。

関連トピック

- メールの保存 (p. 82)
- 連絡先をエクスポートする (p. 122)
- 予定をエクスポートする (p. 165)
- 仕事のエクスポート (p. 191)

11 データセキュリティ

グループウェアでの作業時のデータセキュリティを強化方法を学ぶ

- データを許可されていないアクセスから保護する
- マルウェアの恐怖を最小化する
- 迷惑メッセージを受信しないようにする

次のようなオプションの機能があります。

- **自動サインアウト (p. 256)**
自動でサインアウトするかどうかを指定できます。
- **メールに外部リンク先の画像 (p. 257)**
メールに外部リンク先の画像を自動で読み込み、表示するかどうかを指定できます。
- **メールの認証を表示する (p. 258)**
認証を表示するメールを指定できます。
注：構成によって、この機能は利用できない可能性があります。
- **ホワイトリストを使う (p. 259)**
信頼できるメールソースをホワイトリストに入力できます。
注：構成によって、この機能は利用できない可能性があります。
- **セッションを表示または終了する (p. 260)**
必要があれば、有効なセッションを表示し、終了することができます。
- **多要素認証 (p. 261)**
ログインの2段階検証を設定できます。

さらに、メールおよびファイルを暗号化することもできます。暗号化の詳細は、[を参照してください。](#)
[Guardを使ってデータの暗号化 \(p. 269\)](#)

11.1 自動サインアウト

グループウェアを一定時間使用しない場合に、自動でサインアウトするかどうかを指定できます。

自動でサインアウトするかどうかを指定する：

1. メニューバーの右側の**設定アイコン**  をクリックします。
2. サイドバーの**セキュリティ**をクリックします。
3. 表示エリアで**自動でサインアウト**ドロップダウンメニューから項目を選択します。

同等アクション

- メールに外部リンク先の画像 (p. 257)
- メールの認証を表示する (p. 258)
- ホワイトリストを使う (p. 259)
- セッションを表示または終了する (p. 260)

11.2 メールに外部リンク先の画像

外部リンク先の画像はメールの一部ではありません。メールを読むときに、外部ソースから読み込まれます。こういった画像を読み込んで表示するかどうかを指定することができます。外部リンク先の画像の読み込みを許可すると、お使いのプライバシーとコンピューターは次のセキュリティの問題にさらされます。

- 差出人は、メールアドレスが有効かどうか、またはメールをいつ取得したかなどの情報を集めることができます。そのような情報は、例えば、スパムメールを故意に送るために使用されます。
- 外部リンク先の画像は、コンピューターをマルウェアに感染させることに使用できます。

外部リンク先の画像の読み込みを指定する：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーのセキュリティをクリックします。
3. 表示エリアの外部リンク先の画像の事前読み込みの許可オプションを有効または無効にできます。
 - 外部リンク先の画像を無効にするには、設定を無効にします。
 - 外部リンク先の画像を読み込み、表示するには、設定を有効にします。

同等アクション

- 自動サインアウト (p. 256)
- メールの認証を表示する (p. 258)
- ホワイトリストを使う (p. 259)
- セッションを表示または終了する (p. 260)

関連トピック

- メールの表示 (p. 63)

11.3 メール認証を表示する

受信メールの場合、サーバがメールが実際に指定された差出人アドレスから送られているかどうかを確認します。確認はメールが違法かどうかを識別するために行われます。メール認証チェックによって次のいずれかの結果が得られます：

- メールに危険の可能性があると分類されます。詳細ビューでは、差出人が赤のフォントカラーで表示されます。
- 認証が完全に確認できません。詳細ビューでは、差出人が黄色のフォントカラーで表示されます。
- 確認に成功しました。詳細ビューでは、差出人が緑色のフォントカラーで表示されます。
- 確認に成功しました。メールは信頼できるアドレスから送信されました。

構成によって、認証を表示するメールを指定できます。

認証を表示するメールを指定する：

1. メニューバーの右側の**設定アイコン**  をクリックします。
2. サイドバーの**セキュリティ**をクリックします。
3. 表示エリアで**メール認証を表示**ドロップダウンメニューから項目を選択します。
 - **無効**認証が表示されません。ホスティング事業者のアドレスから送られたメールをホスティング事業者が信頼できると印をつけると、この認証が表示されます。
 - **不審なメールや未分類のメールのみ**次のメールの認証を表示します：
 - 危険の可能性があると分類されたメール
 - 認証が完全に確認できないメール
 - **すべてのメール**すべてのメールの認証を表示します。

同等アクション

- 自動サインアウト (p. 256)
- メールに外部リンク先の画像 (p. 257)
- ホワイトリストを使う (p. 259)
- セッションを表示または終了する (p. 260)

関連トピック

- メールの表示 (p. 63)

11.4 ホワイトリストを使う

構成によって、**ホワイトリスト**を作成できます。ホワイトリストに記録された差出人からのすべてのメールは次のように扱われます：

- メールは迷惑メールとして取り扱われない
- メールソースは信頼できるものとされる
- 外部リンク先の画像はすぐに読み込まれ、表示される

警告：ホワイトリストに入力するときに複数の安全対策が回避されます。完全に信頼している場合にのみホワイトリストにメールまたは**ドメイン名**を入力します。

ホワイトリストを作成する：

1. メニューバーの右側の**設定アイコン**  をクリックします。
2. サイドバーの**セキュリティ**をクリックします。
3. 各メールアドレスまたはドメイン名をコンマ区切りリストとして、表示エリアの次の差出人からのメールを常に信頼下の入力フィールドに入力します。次の点にも注意してください：
 - 複数のメールアドレスまたはドメイン名を入力するときには、入力内容をコンマで区切ってください。
 - 正確なメールアドレスまたはドメイン名を入力してください。

同等アクション

- 自動サインアウト (p. 256)
- メールに外部リンク先の画像 (p. 257)
- メールの認証を表示する (p. 258)
- セッションを表示または終了する (p. 260)

関連トピック

- メールの表示 (p. 63)

11.5 セッションを表示または終了する

お使いのグループウェアアカウントに様々なクライアントの異なるデバイス（デスクトップブラウザ、メールクライアント、タブレット、スマートフォンなど）で同時にログインすることができます。ログインのたびに有効なセッションがグループウェアサーバに作成されます。次のような場合に、必要があれば有効なセッションを一覧にしたり、終了することができます：

- 特定のデバイスまたはクライアントにログインしているかどうかを確認したい場合
- 特定のデバイスからログアウトしたい場合
- 他のデバイスにログインできなくならないように、セッションの最大許容数に達しないようにしたい場合

次のようなオプションの機能があります。

- すべての有効なセッションを表示する
- 個々のセッションを終了する
- 現在のセッション以外のすべてのセッションを終了する

有効なセッションを編集する：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーのセキュリティをクリックします。クライアントを追加 をクリックします。
すべてのアクティブなセッションが表示エリアに一覧表示されます。
3. セッションを終了する場合は、以下のいずれかを行なってください。
 - 1つのセッションを終了するには、クライアントの隣にあるサインアウトをクリックします。
 - アクティブなセッション以外のすべてのセッションを終了するには、すべてのクライアントからサインアウトをクリックします。

同等アクション

- 自動サインアウト (p. 256)
- メールに外部リンク先の画像 (p. 257)
- メールの認証を表示する (p. 258)
- ホワイトリストを使う (p. 259)

11.6 多要素認証

既定ではユーザー名とパスワードでのみグループウェアにログインできます。構成によって、通常のログイン後に実行した追加の認証を使用してログインするときにセキュリティを上げることができます。この手順を通常多要素認証と呼びます。

追加認証は、所有しているデバイスで本人確認を行います。本人確認には次のオプションがあります：

- Google認証
自動生成コードの取得にはお使いのモバイルデバイスにアプリをインストールする必要があります。このコードを入力して本人確認を行います。
- Yubikey、Google セキュリティキーまたはFIDO対応デバイス
USBまたはワイヤレスでパソコンに接続するセキュリティキーがあれば、ログイン中に本人確認ができます。
- SMSでコード送信
コードの入ったSMSがモバイルデバイスに送信されます。このコードを入力して本人確認を行います。

次のようなオプションの機能があります。

- 検証方法を設定 (p. 262)
- 認証アプリを使用してログインを検証する (p. 264)
- セキュリティキーでログインを検証する (p. 264)
- SMSコードでログインを検証する (p. 265)
- 検証を復元する (p. 266)
- 検証方法を管理する (p. 267)

11.6.1 検証方法を設定

次のログインで2段階検証が使用できるようにする前に、使用したい追加の検証方法を設定しなければなりません。次のようなオプションの機能があります。

- 検証方法を設定
- 最初の検証方法の設定後すぐに復元方法を設定してください。検証に使用するデバイスを失くした時などに復元が必要です。
この場合、復元方法を使用してグループウェアにログインできます。

検証方法の設定方法：

1. メニューバーの右側の**設定アイコン**  をクリックします。
2. サイドバーの**セキュリティ**をクリックします。 **2段階検証**をクリックします。
3. 表示エリアの**検証オプションを追加**をクリックします。
*検証オプションを追加*ウィンドウが開きます。構成によって、さまざまな検証方法が利用できます。
4. 認証アプリを使用して検証を設定する：
 - a. Google認証システムまたはそれ相当のアプリを検証に使用したいモバイルデバイスにインストールします。
アプリケーションを起動します。
 - b. **検証オプションを追加**ウィンドウの**Google認証システムまたは互換システム** をクリックします。
 - c. **認証登録**ウィンドウにQRコードが表示されます。モバイルデバイスの認証アプリでQRコードをスキャンします。
 - d. モバイルデバイスのアプリケーションにコードが表示されます。このコードを**認証システム登録**ウィンドウに入力します。 **OK** をクリックします。最初の検証方法を設定すると、**復元オプションの追加**ウィンドウが表示されます。次に**復元オプションの追加**の方法を説明します。
5. セキュリティキーで検証を設定します：
注：ブラウザによってはこの検証方法がサポートされていない場合があります。
 - a. セキュリティキーをワークステーションに接続します。セキュリティキーによっては、USBまたはワイヤレス接続を使用します。
 - b. **検証オプションを追加**ウィンドウの**Yubikey、GoogleセキュリティキーまたはFIDO対応デバイス**をクリックします。
 - c. セキュリティキーのボタンを押すなどして、セキュリティキーを有効にします。最初の検証方法を設定すると、**復元オプションの追加**ウィンドウが表示されます。次に**復元オプションの追加**の方法を説明します。
6. テキストメッセージで検証を設定する：
 - a. **検証オプションを追加**ウィンドウの**テキストメッセージでコード**をクリックします。
 - b. **多要素デバイスを追加**ウィンドウが表示されます。携帯電話番号を入力します。
 - c. すぐにコード付きのテキストメッセージを受信します。このコードを**コードを確認**ウィンドウに入力します。 **OK** をクリックします。最初の検証方法の設定後、**復元オプションの追加**ウィンドウが表示されます。次に**復元オプションの追加**の方法を説明します。

復元方法を復元オプションの追加ウィンドウに追加する：**1. テキストメッセージで復元を設定する：**

注：テキストメッセージでの検証を最初の検証方法として設定すると、テキストメッセージでの復元用に別のモバイルデバイスを入力しなければなりません。

- a. **テキストメッセージでコード**をクリックします。
- b. **多要素デバイスを追加**ウィンドウが表示されます。復元に使用するモバイルデバイスの電話番号を入力します。
- c. すぐにコード付きのテキストメッセージを受信します。このコードを**コードを確認**ウィンドウに入力します。**OK** をクリックします。

2. 復元コードで復元を設定する：

- a. **アカウントアクセス用バックアップコード**をクリックします。
- b. **復元コード**ウィンドウが開きます。復元に使用できるコードが表示されます。
- c. 復元コードを印刷するには、**印刷**をクリックします。
復元コードをテキストファイルとして保存するには、**ダウンロード**をクリックします。復元の場合、復元コードをこのテキストファイルからインポートできます。

関連トピック

認証アプリを使用してログインを検証する (p. 264)

セキュリティキーでログインを検証する (p. 264)

SMSコードでログインを検証する (p. 265)

検証方法を管理する (p. 267)

11.6.2 認証アプリを使用してログインを検証する

この検証方法は次のように行います：

- モバイルデバイスのアプリケーションで作成されたコードを使用します。
- コードの有効時間は30秒です。30秒が過ぎると、新しいコードが自動で表示されます。この新しいコードの有効時間も30秒です。
- ログインするときは、検証方法の設定に使用したものと同一認証システムアプリケーションを使用する必要があります。

認証システムアプリケーションで本人確認を行う：

1. モバイルデバイスの認証システムアプリケーションを起動します。
アプリケーションに複数のサービスが表示される場合は、グループウェアログインの検証に使用するサービスを選択します。
2. ユーザー名とパスワードでグループウェアにログインします。
3. 複数の検証方法が設定されている場合は、**2段階検証方法を選択**ウィンドウが開きます。**Google認証システム**を選択してください。
2段階検証ウィンドウが開きます。認証システムコードにモバイルデバイスのアプリケーションに現在表示されているコードを入力します。

同等アクション

- [セキュリティキーでログインを検証する \(p. 264\)](#)
- [SMSコードでログインを検証する \(p. 265\)](#)

関連トピック

- [検証方法を設定 \(p. 262\)](#)

11.6.3 セキュリティキーでログインを検証する

この検証方法は次のように行います：

- USBまたはワイヤレスでワークステーションに接続するセキュリティキーを使用します。
- ログイン中、セキュリティキーのボタンを押すなどして、セキュリティキーを有効にしてください。

注：ブラウザによってはこの検証方法がサポートされていない場合があります。

セキュリティキーで本人確認を行う：

1. ワークステーションをセキュリティキーに接続します。
2. ユーザー名とパスワードでグループウェアにログインします。
3. 複数の検証方法が設定されている場合は、**2段階検証方法を選択**ウィンドウが開きます。**Yubikey**、**Google セキュリティキー**または**FIDO対応デバイス**を選択します。
コードを**確認**ウィンドウが開きます。
セキュリティキーを有効にします。

同等アクション

- [認証アプリを使用してログインを検証する \(p. 264\)](#)
- [SMSコードでログインを検証する \(p. 265\)](#)

関連トピック

- [検証方法を設定 \(p. 262\)](#)

11.6.4 SMSコードでログインを検証する

この検証方法は次のように行います：

- モバイルデバイスのSMSに受信したコードを使用します。
- SMSが送信されたデバイスの携帯電話番号の最後の桁が表示されます。

SMSコードで本人確認を行う：

1. ユーザー名とパスワードでグループウェアにログインします。
2. 複数の検証方法が設定されている場合は、**2段階検証方法を選択**ウィンドウが開きます。**SMS**を選択します。
コードの入ったSMSがモバイルデバイスに送信されます。
3. **2段階検証**ウィンドウが開きます。このコードを入力します。

同等アクション

- 認証アプリを使用してログインを検証する (p. 264)
- セキュリティキーでログインを検証する (p. 264)

関連トピック

- 検証方法を設定 (p. 262)

11.6.5 検証を復元する

検証に使用するデバイスを失くした時などに復元が必要です。この場合、復元方法を使用してグループウェアにログインできます。

復元方法を使用してログインする：

1. 復元コードで復元する：

- a. 2段階検証のデバイスを紛失、または2段階検証方法を選択をクリックします。
ウィンドウで復元コードを入力するように表示されます。
- b. 復元コードを入力します。
復元方法の設定時に復元コードをテキストファイルとしてダウンロードした場合は、復元ファイルをアップロードをクリックすることもできます。復元コードでテキストファイルを選択します。
- c. すぐに4桁の認証コードのはいったSMSを受信します。このコードを入力します。OKをクリックします。

2. SMSコードで受信する

- a. 2段階検証のデバイスを紛失、または2段階検証方法を選択をクリックします。
ウィンドウで復元コードを入力するように表示されます。
- b. すぐに4桁の認証コードのはいったSMSを受信します。このコードを入力します。OKをクリックします。

同等アクション

- [認証アプリを使用してログインを検証する \(p. 264\)](#)
- [セキュリティキーでログインを検証する \(p. 264\)](#)

関連トピック

- [検証方法を設定 \(p. 262\)](#)

11.6.6 検証方法を管理する

次のようなオプションの機能があります。

- 検証方法を追加
- 検証デバイス名を変更
- 検証方法を削除

複数の検証方法を設定、管理できますが、復元方法は一つだけです。

検証方法または検証デバイスを管理する：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。メニューバーの右側の
2. サイドバーのセキュリティをクリックします。2段階検証をクリックします。
3. 次のようなオプションの機能があります。
 - 編集多要素デバイスを編集ウィンドウを開いて、デバイス名を変更します。
 - 削除アイコン 検証デバイスを削除します。
 - 検証オプションを追加します。新しい検証方法を追加します。

関連トピック

[検証方法を設定 \(p. 262\)](#)

12 Guardを使ってデータの暗号化

Guardは、メールおよびファイルを暗号化するグループウェア セキュリティ コンポーネントの一つです。

- ユーザや外部パートナーとやりとりするメールを暗号化します。
- ファイルを暗号化暗号化されたデータを他のユーザと共有します。
- セキュリティ オプションを使用して、暗号化レベルを指定します。
- 暗号化されたデータをパスワードで保護します。構成によって、パスワードを忘れた場合にリセットできます。

Guardの使い方を学ぶ

- [Guardのセットアップ \(p. 270\)](#)
- [メールのやり取りを暗号化する \(p. 271\)](#)
- [ファイルの暗号化または復号化 \(p. 274\)](#)
- [Office ドキュメントを暗号化 \(p. 277\)](#)
- [Guardからのサイン アウト \(p. 280\)](#)
- [Guard設定 \(p. 281\)](#)

追加のセキュリティ関連のトピックに関する情報は[データセキュリティ \(p. 255\)](#)を参照してください。

12.1 Guardのセットアップ

Guardを使う前にいくつかの基本設定を適用しなければなりません：

- データの暗号化と暗号化されたデータにアクセスするためのGuardセキュリティパスワードを入力してください。
- 二番目のメール アドレスを入力します。このメール アドレスは、お使いのGuardセキュリティ パスワードを忘れたときに使用します。これには、Guard セキュリティ パスワードのリセット機能を使用します。新しいパスワードが送信されます。セキュリティ上の理由により、二番目のメール アドレスを設定しておくことを強くお勧めします。設定しなければ、新しいパスワードがグループウェアのメールアカウントに送信されます。

基本設定にはオプション2つあります。

- 初めて暗号化機能を使用するときに基本設定をセットアップします。
- 暗号化機能を使用する前にグループウェア設定上で基本設定をセットアップ

初めて暗号化機能を使用するときに基本設定をセットアップする

1. 暗号化アイコンをクリックし、メールの作成時、ファイルの暗号化時、または、新規ファイルのアップロード時で、暗号化機能を有効にします。
2. 続いて、Guard セキュリティ パスワードと二番目のメール アドレスを入力するよう、促されます。データを入力します。

初めて暗号化機能を使用する前に基本設定をセットアップする

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーのセキュリティをクリックします。Guard セキュリティをクリックします。
最初にGuard セキュリティ設定を表示すると、Guard セキュリティキーを作成ウィンドウが開きます。
3. パスワード フィールドで、データを暗号化するためのパスワードを入力します。
確認 フィールドで、同じパスワードを再度入力します。
4. 新しい二番目のメール アドレスを入力フィールドで、Guard セキュリティ パスワードをリセットするための一時パスワードを受信するメール アドレスを入力します。
5. OKをクリックします。

12.2 メールのやり取りを暗号化する

次のようなオプションの機能があります。

- [暗号化されたメールの閲覧 \(p. 271\)](#)
- [暗号化されたメールの送信 \(p. 272\)](#)
- [外部の受取人はどのように暗号化されたメールを閲覧するのか? \(p. 273\)](#)

12.2.1 暗号化されたメールの閲覧

暗号化されたメールを閲覧するには、Guard セキュリティパスワードが必要です。

暗号化されたメールを閲覧する

1. **暗号化** アイコン  が付いたメールを選択します。詳細ビューで、**セキュアなメール**です。Guard セキュリティ パスワードを入力してください。 の通知が表示されます。
注：最後にガードを使用した時にGuard セキュリティパスワードを覚えるように設定した場合、メールがすぐに表示されます。
2. Guardセキュリティパスワードを入力します。
Guard. でセキュリティパスワードを記憶する期間を指定できます。指定するには、Guard ログインを保持を有効にします。一覧から時間範囲を選択します。
Guardセキュリティ設定で、時間範囲の既定値を指定できます。
3. OKをクリックします。内容がテキストで表示されます。
メールにファイルが添付されている場合、添付されたファイルの暗号化バージョンや復号されたバージョンを使う機能が表示されます。

同等アクション

[暗号化されたメールの送信 \(p. 272\)](#)

関連トピック

[外部の受取人はどのように暗号化されたメールを閲覧するのか? \(p. 273\)](#)

12.2.2 暗号化されたメールの送信

次のようなオプションの機能があります。

- 暗号化されたメールの送信。差出人と受取人しかメールの内容を読めません。
- 署名付きのメールを送信。署名を付けることによって受取人は通信中のメール内容が変わったかどうかを判断することができます。
- 署名付きの暗号化されたメールの送信。

暗号化されたメールを送信する

1. いつものようにメールアプリケーションで、メールを作成します。

作成ページで、右上の**暗号化アイコン**  をクリックします。

件名下の **セキュリティ** をクリックすることもできます。Guardセキュリティ設定の構成によって、メニューの項目は異なります：

- **詳細設定を表示が無効な場合はセキュア** をクリックします。
- **詳細設定を表示が無効な場合はセキュア** をクリックします。

受取人の横のアイコンは、メッセージがこの受取人用に暗号化可能かどうかを示しています。アイコン上にマウス ポインタを置くと、内容が表示されます。

2. メール の署名を可能にするために**セキュリティ** をクリックしてください。署名を有効にします。
3. **詳細設定を表示**がGuard セキュリティ設定で有効な場合、追加オプションを使用できます。使用するには、**セキュリティ** をクリックします。次のオプションを起動できます：
 - 既定では、暗号化されたメールは **PGP Mime**形式で送信されます。古いクライアントによってはインライン PGP しかサポートしていません。受取人がそのようなクライアントの場合、**インライン PGP** を有効にします。
インライン PGP を使用する場合、HTML形式のメールを送信することはできません。
 - メール の受取人が暗号化された返信を送るようになるには、**公開鍵**を添付ファイルで送ります。自分の**公開鍵**を添付ファイルとして送信できます。これを行うには、**鍵**を添付を有効にします。
4. **暗号化送信** をクリックします。
新規の受取人に送信するとき、暗号化されたメールを開くときの**注意事項** を外部の受取人に送信するためのウィンドウが表示されます。

ユーザ インターフェース

[メール編集ウィンドウ \(p. 62\)](#)

同等アクション

[暗号化されたメールの閲覧 \(p. 271\)](#)

関連トピック

[Guard設定 \(p. 281\)](#)

[外部の受取人はどのように暗号化されたメールを閲覧するのか? \(p. 273\)](#)

12.2.3 外部の受取人はどのように暗号化されたメールを閲覧するのか？

グループウェアのユーザでない外部の受取人に、暗号化されたメールを送信することもできます。外部の受取人を追加するとき、Guardが公開鍵がこのメールアドレスに利用可能かどうかを確認します。その結果により、Guardは暗号化されたメールの送信手順を変更します：

- 受取人用に公開鍵がある場合：
 - メッセージはこの鍵で暗号化されて送られます。受取人は、自分の秘密鍵のついたメッセージを閲覧できます。
- 受取人用に公開鍵がない場合：
 - 外部のユーザがすでにゲストアカウントを持っている場合、ユーザはゲストアカウントのログインページにリンク付きのメールを受け取ります。ログインすると、ゲストページで暗号化されたメールを読むことができます。ユーザはこのページから暗号化された返信を送信できます。
 - ゲストアカウントがない場合は、ゲストアカウントを作成されます。ゲストページへのリンクが添付されたメールと自動作成されたパスワードを外部の受取人に送信します。ユーザがゲストページにログインします。その後、自分のパスワードを作成できます。
構成によって、自動作成されたパスワードとゲストページへのリンクは別のメールで送信されます。
構成によって、外部の受取人への最初のメールは4桁のピンで保護される可能性があります。
 - 構成によって、ゲストアカウントメールは設定日数を過ぎるとサーバから削除されます。外部の受取人は、暗号化したメールに暗号化した返信をすることができます。ただし、追加の受取人を追加することはできません。

関連トピック

[暗号化されたメールの閲覧 \(p. 271\)](#)

[暗号化されたメールの送信 \(p. 272\)](#)

12.3 ファイルの暗号化または復号化

次のようなオプションの機能があります。

- ファイルの暗号化 (p. 274)
- 新しい暗号化ファイルの作成 (p. 275)
- 暗号化ファイルを開く (p. 275)
- 暗号化ファイルのダウンロード (p. 276)
- ファイルの復号 (p. 276)

12.3.1 ファイルの暗号化

ファイルの暗号化時には、そのファイルの最新バージョンのみが暗号化されます。その他のすべてのバージョンは削除されます。

ファイルを暗号化する

警告: ファイルの暗号化時には、そのファイルの最新バージョン以外のすべてのバージョンが削除されます。過去のバージョンを維持するには、ファイルの暗号化前に保存してください。

1. ドライブアプリケーションの表示エリアで、1つまたは複数のファイルを選択します。
2. 次のいずれかの方法を使用します。
 - ツールバーの**アクション**アイコンをクリックします。メニューで **暗号化** をクリックします。
 - コンテキストメニューから**暗号化**を選択します。
 - ビューアの**追加アクション** アイコンを使用します。メニューで **暗号化** をクリックします。

ユーザ インターフェース

ドライブツールバー (p. 200)

同等アクション

新しい暗号化ファイルの作成 (p. 275)
暗号化ファイルを開く (p. 275)
暗号化ファイルのダウンロード (p. 276)
ファイルの復号 (p. 276)

12.3.2 新しい暗号化ファイルの作成

ローカル ファイルを暗号化した上でアップロードすることによって、新しい暗号化ファイルを作成できます。

新しい暗号化ファイルを作成する

1. ドライブアプリケーションで、フォルダーをフォルダービューで開きます。
注：オブジェクトを作成する権限のあるフォルダを開いてください。
2. ツールバーで、新規をクリックします。ローカルファイルを追加および暗号化をクリックします。
3. 更新ファイルウィンドウの1つまたは複数のファイルを選択します。
開くをクリックします。表示エリアには現在の進行ステータスが表示されます。
処理をキャンセルするには、表示エリアの右側下にあるファイル詳細 をクリックします。読み込み進行ウィンドウで、ファイル名横のキャンセルをクリックします。

ヒント：お使いのオペレーティング システムのデスクトップからファイルをドラッグし、ドライブ アプリケーション ウィンドウの下部にドロップすることでも、新しい暗号化ファイルを作成できます。

同等アクション

- ファイルの暗号化 (p. 274)
- 暗号化ファイルを開く (p. 275)
- 暗号化ファイルのダウンロード (p. 276)
- ファイルの復号 (p. 276)

12.3.3 暗号化ファイルを開く

暗号化されたファイルを開き、閲覧できます。ファイルは、サーバ上で暗号化されたままになります。

暗号化されたファイルを開く

1. ドライブドライブアプリケーションで、表示エリアの暗号化ファイルを選択します。ツールバーで、ビューアイコン  をクリックします。
2. Guard セキュリティパスワードを入力ウィンドウが開くと、Guardセキュリティパスワードを入力します。
Guardでセキュリティパスワードを記憶する期間を指定できます。指定するには、パスワードを記憶を有効にします。一覧から目的の値を選択します。
Guardセキュリティ設定で、時間範囲の既定値を指定できます。
OKをクリックします。

同等アクション

- ファイルの暗号化 (p. 274)
- 新しい暗号化ファイルの作成 (p. 275)
- 暗号化ファイルのダウンロード (p. 276)
- ファイルの復号 (p. 276)

12.3.4 暗号化ファイルのダウンロード

暗号化ファイルをローカルにダウンロードし、閲覧または編集できます。ファイルは、サーバ上で暗号化されたままになります。

暗号化されたファイルをダウンロードする

1. ドライブドライブアプリケーションで、表示エリアの暗号化ファイルを選択します。ツールバーで、**ビューアイコン**  をクリックします。
注：ツールバーまたはコンテキストメニューで**ダウンロード** をクリックすると、ダウンロードされたファイルが暗号化されたままになります。
2. **Guard** セキュリティパスワードを入力 ウィンドウが開いたら、Guardセキュリティパスワードを入力します。
Guardでセキュリティパスワードを記憶する期間を指定できます。指定するには、**パスワードを記憶** を有効にします。一覧から目的の値を選択します。
Guardセキュリティ設定で、時間範囲の**既定値を指定**できます。
OKをクリックします。
3. ビューアの**追加アクション** アイコン  をクリックします。**復号されたファイルをダウンロード** をクリックします。

同等アクション

- [ファイルの暗号化 \(p. 274\)](#)
- [新しい暗号化ファイルの作成 \(p. 275\)](#)
- [暗号化ファイルを開く \(p. 275\)](#)
- [ファイルの復号 \(p. 276\)](#)

12.3.5 ファイルの復号

ファイルを復号すると、ファイルの暗号を解除できます。

ファイルを復号する

1. ドライブドライブアプリケーションで、表示エリアの暗号化ファイルを選択します。
2. 次のいずれかの方法を使用します。
 - ツールバーの**アクションアイコン**  をクリックします。メニューで、**暗号化を削除** をクリックします。
 - コンテキストメニューから**暗号化を削除**を選択します。
3. **Guard** セキュリティパスワードを入力 ウィンドウが開いたら、Guardセキュリティパスワードを入力します。
Guard セキュリティ パスワードを記憶する期間を指定できます。指定するには、**パスワードを記憶** を有効にします。一覧から目的の値を選択します。
Guardセキュリティ設定で、時間範囲の**既定値を指定**できます。
OKをクリックします。

同等アクション

- [ファイルの暗号化 \(p. 274\)](#)
- [新しい暗号化ファイルの作成 \(p. 275\)](#)
- [暗号化ファイルを開く \(p. 275\)](#)
- [暗号化ファイルのダウンロード \(p. 276\)](#)

12.4 Office ドキュメントを暗号化

次のようなオプションの機能があります。

- 新しい暗号化ドキュメントの作成 (p. 278)
- 選択したドキュメントを暗号化形式に保存します。(p. 278)
- 暗号化されたドキュメントを表示 (p. 279)

追加機能がドライブ アプリケーションで利用できます:

- 暗号化 既存のドキュメント
- 復号 ドキュメント

12.4.1 新しい暗号化ドキュメントの作成

新規ドキュメントの作成時に、暗号化されて保存されるドキュメントの作成オプションがあります。

新しい暗号化ドキュメントを作成する：

1. 暗号化テキストドキュメント、スプレッドシート、またはプレゼンテーションを作成したいかどうかによって、テキスト、スプレッドシート、スプレッドシート、プレゼンテーション アプリケーションを起動します。
2. Office メニューバーで、**新規テキストドキュメント（暗号化）**、**新規スプレッドシート（暗号化）**、**新規プレゼンテーション（暗号化）**の各ボタンの一つをクリックします。
3. *Guard* セキュリティパスワードを入力 ウィンドウが開いたら、*Guard*セキュリティパスワードを入力します。
Guardでセキュリティパスワードを記憶する期間を指定できます。指定するには、パスワードを記憶を有効にします。一覧から目的の値を選択します。
Guardセキュリティ設定で、時間範囲の既定値を指定できます。
OKをクリックします。

同等アクション

[選択したドキュメントを暗号化形式に保存します。\(p. 278\)](#)
[暗号化されたドキュメントを表示 \(p. 279\)](#)

関連トピック

[ファイルの暗号化または復号化 \(p. 274\)](#)

12.4.2 選択したドキュメントを暗号化形式に保存します。

テキストドキュメント、スプレッドシートまたはプレゼンテーションを表示されている時、このドキュメントを暗号化形式で保存できます。

選択したドキュメントを暗号化形式に保存する：

1. テキスト、スプレッドシートまたはプレゼンテーション アプリケーションでドキュメントを開きます。
2. ファイルツールバーで、**Drive**に**保存**をクリックします。（暗号化）として保存を選択します。
（暗号化）として保存ウィンドウが開きます。フォルダとファイル名を選択します。OK をクリックします。
3. *Guard* セキュリティパスワードを入力 ウィンドウが開いたら、*Guard*セキュリティパスワードを入力します。
Guardでセキュリティパスワードを記憶する期間を指定できます。指定するには、パスワードを記憶を有効にします。一覧から目的の値を選択します。
Guardセキュリティ設定で、時間範囲の既定値を指定できます。
OKをクリックします。

同等アクション

[新しい暗号化ドキュメントの作成 \(p. 278\)](#)
[暗号化されたドキュメントを表示 \(p. 279\)](#)

関連トピック

[ファイルの暗号化または復号化 \(p. 274\)](#)

12.4.3 暗号化されたドキュメントを表示

暗号化されたドキュメントを表示して、以下のことができます。

- ドキュメントの閲覧や編集
- 復号形式でドキュメントをダウンロード
- 復号形式でPDFとしてドキュメントを印刷

ドキュメントは、サーバ上で暗号化されたままになります。

暗号化されたドキュメントを表示：

1. テキスト、スプレッドシートまたはプレゼンテーション アプリケーションでドキュメントを開きます。
2. *Guard* セキュリティパスワードを入力 ウィンドウが開いたら、*Guard*セキュリティパスワードを入力します。
Guardでセキュリティパスワードを記憶する期間を指定できます。指定するには、パスワードを記憶を有効にします。一覧から目的の値を選択します。
Guardセキュリティ設定で、時間範囲の既定値を指定できます。
OKをクリックします。
3. ここでは、次の機能が利用できます。
 - ドキュメントを編集情報は、Documentsのユーザ向けドキュメントを参照してください。
 - 復号形式でドキュメントをダウンロードするには、ファイルツールバーのダウンロードアイコン  をクリックします。
 - 復号化された形式でPDFとしてドキュメントを保存するには、PDFとして印刷アイコン  をクリックします。

同等アクション

新しい暗号化ドキュメントの作成 (p. 278)

選択したドキュメントを暗号化形式に保存します。 (p. 278)

関連トピック

ファイルの暗号化または復号化 (p. 274)

12.5 Guardからのサイン アウト

グループウェアを閉じずに Guardからサイン アウトできます。サインアウト後に暗号化されたメール、またはファイルを開くには、Guardセキュリティパスワードを再度入力します。

注：この機能は、暗号化されたメールやファイルを開いたときにパスワードを記憶を有効にしたときのみ、適用されます。

Guardからのサイン アウト：

1. メニュー バーの右側にある **システム メニュー アイコン**  をクリックします。
2. **Guard をサインアウト** をクリックします。

12.6 Guard設定

Guard設定の使用方法：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。
2. サイドバーのセキュリティをクリックします。Guardをクリックします。

次の設定が利用できます：

既定

- **メールの作成時に暗号化を既定にする**
新規メールを既定で暗号化するかどうかを指定する。
- **送信メールへの署名の追加を既定にする**
新規メールを既定で暗号化するかどうかを指定する
- **新規メールにインライン PGP 使用を既定にする**
PGP 暗号化が規定でインラインで行えるかどうかを指定します。受取人のメールクライアントが PGP サポートされていない場合はこの設定だけを使用してください。インライン PGPで受取人はメッセージを復号化できます。この場合はHTML形式のメールを送信することはできません。
- **既定のパスワードを記憶**
Guardの既定の時間範囲を指定して、パスワードを記憶します。お使いのGuard パスワードを聞かれた時にこの既定のパスワードを変更できます。

パスワード管理

パスワードの変更またはリセット機能があります。

関連トピック

[パスワード管理 \(p. 283\)](#)

詳細

- **詳細設定**
鍵を表示するかどうかを指定します。この機能により、自分の鍵や公開鍵を管理できます。詳細設定を表示が有効な場合、暗号化されたメールの送信時に追加オプションを使用できます。

関連トピック

[暗号化されたメールの送信 \(p. 272\)](#)

鍵

通常、鍵管理機能は暗号化されたメッセージの送受信には必要ありません。しかし、次のような場合には役に立ちます。

- ローカルメールクライアントなどの他のメールクライアントで GuardPGP 鍵を使用したい。
- PGP アプリケーションからの PGP 鍵がある。その鍵を Guardで使いたい。
- 外部パートナーの公開鍵を持っている。この外部パートナーに暗号化されたメッセージを送信する、または署名付き受信メッセージを鍵サーバにアクセスせずに確認するために、パートナーの公開鍵を Guard にインポートしたい。
- 受信者が鍵サーバにアクセスせずに暗号化されたメッセージを送信するために、外部パートナーに自分の公開鍵を提供したい。

次のようなオプションの機能があります。

- **公開鍵をダウンロードボタン**
ローカルであなたの公開鍵保存します。
- **あなたの鍵ボタン**
あなたの鍵ウィンドウを表示して**自分の鍵**を管理します。
- **受取人の公開鍵ボタン**
あなたの鍵ウィンドウを表示して**公開鍵**を管理します。

12.6.1 パスワード管理

次のようなオプションの機能があります。

- Guardセキュリティパスワードを変更します。
- Guardセキュリティパスワードを失った場合、Guard セキュリティパスワードをリセットして、仮のGuardセキュリティパスワードを要求できます。
- メールアドレスを指定してパスワードをリセットする
- 必要に応じてパスワードをリセットできるようにするには、パスワードを暗号化バージョンでサーバに保存してください。パスワードをサーバに保存したくない場合は、パスワードのリセット機能を完全に削除できます。

注：構成によって、これらの機能が使用できない場合があります。

Guardパスワードの変更方法：

1. **Guard** ページの**パスワードをリセット** をクリックします。パスワードの変更ウィンドウが表示されます。
2. 現在の**Guardセキュリティパスワード**の入力フィールドで、それまでデータに暗号化に使用していたパスワードを入力します。
新しい**Guardセキュリティパスワード**の入力フィールドにこれからデータの暗号化に使用したいパスワードを入力します。
新しい**Guardセキュリティパスワード**を確認フィールドに再度入力してパスワードを確認します。
3. **変更**をクリックします。

Guardパスワードのリセット方法：

1. **Guard** ページの**パスワードをリセット** をクリックします。パスワードのリセットウィンドウが表示されます。
リセットをクリックします。
2. 二番目のメール アドレスに新しいパスワードが送信されます。
二番目のメール アドレスが入力されていない場合、新しいパスワードが既定のメール アドレスに送信されます。
この新しいパスワードが今後使用できる**Guard セキュリティ パスワード**になります。すぐにこのパスワードを**変更**してください。

パスワードをリセットするための二番目のメールアドレスの変更方法：

1. **Guard** ページの**リセット用メールアドレスの設定**をクリックします。二番目のメールアドレスウィンドウが開きます。
2. 現在の**Guardセキュリティパスワード**の入力フィールドで、それまでデータに暗号化に使用していたパスワードを入力します。
新しい**二番目のメール アドレス**を入力フィールドで、**Guard セキュリティ パスワード**をリセットするための一時パスワードを受信するメール アドレスを入力します。
メールアドレスの確認でメールアドレスを再入力します。
メールアドレスの変更をクリックします。

パスワードをリセットするための機能の削除方法：

警告：パスワードのリセット機能を削除すると、パスワードをリセットすることができません。その後パスワードを忘れた場合は、暗号化されたメールやファイルを復号化することができません。

1. **Guardセキュリティ設定Guardセキュリティ設定**ページの**詳細設定を表示**を有効にします。
パスワード復元を削除をクリックします。**復元の削除**ウィンドウが開きます。
2. **削除** ボタンをクリックします。

同等アクション

[自分の鍵を管理する \(p. 285\)](#)

[公開鍵を管理する \(p. 287\)](#)

12.6.2 自分の鍵を管理する

次のようなオプションの機能があります。

- 自分の鍵を表示する、詳細を表示する
鍵を現在の鍵にする他の人はこの鍵を使用してデータを暗号化できます。
- 新規鍵の追加
- ユーザIDの追加
追加のユーザIDを鍵に追加すると、鍵を複数のメール アカウントに使用できます。
- 鍵をダウンロード
- 鍵を削除する

自分の鍵を表示、または鍵を現在の鍵にする方法：

1. 詳細下の**詳細設定を表示**チェックボックスを有効にします。
鍵下の**あなたの鍵**をクリックします。あなたの鍵ウィンドウが開きます。
 - 既存の鍵が表示されます。各鍵にはマスター鍵とサブ鍵があります。
 - 特に、マスター鍵はメールの署名に使用されます。
 - サブ鍵は、メールおよびファイルの暗号化および復号化に使用されます。
 - 目的によって、Guardは自動でマスター鍵かサブ鍵を使用します。
2. あなたの鍵リストに複数の鍵がある場合、現在の鍵を指定することができます。それには、鍵の横の現在の**チェックボックス**を有効にします。この後、現在の鍵が暗号化に使用されます。
3. 鍵の詳細を表示するには、鍵の隣にある**詳細アイコン**  をクリックします。鍵の**詳細**ウィンドウが開きます。鍵の署名を見るには、**署名**をクリックします。

あなたの鍵ウィンドウで新しい鍵を追加する方法：

1. **追加アイコン**  をクリックします。鍵の**追加** ウィンドウが開きます。
2. 次のようなオプションの機能があります。
 - 秘密鍵の追加には、**秘密鍵をアップロードする**をクリックします。秘密鍵を含むファイルを選択してください。秘密鍵のアップロードウィンドウが開きます。
新しい鍵のアップロードには、Guardセキュリティパスワードを入力してください。新しい鍵用の新しいパスワードを入力します。
 - 公開鍵の追加の場合、**公開鍵のみを追加する**をクリックします。公開鍵を含むファイルを選択してください。
 - 新しい鍵ペアを作成する場合は、**新しい鍵を作成する**をクリックします。Guardセキュリティ鍵作成Guardセキュリティ鍵作成ウィンドウが開きます。
新しい鍵用のパスワードを入力します。パスワードを確認してください。
新しい鍵にはマスター鍵と該当するサブ鍵があります。新しい鍵はあなたの鍵リストの一番上に入力されます。新しい鍵が現在の鍵になります。

あなたの鍵ウィンドウで追加のユーザIDを追加する方法：

1. 鍵の隣にある編集アイコン  をクリックします。ユーザID追加ウィンドウが開きます。
2. ユーザID名を入力します。この鍵に使用したいメールアドレスを入力します。
鍵のパスワードを入力してください。
OKをクリックします。

あなたの鍵ウィンドウで鍵をダウンロードする方法：

1. 鍵の隣にあるダウンロードアイコン  をクリックします。
2. 秘密鍵のみをダウンロードするか、公開鍵のみをダウンロードするか、どちらもダウンロードするかを指定します。
注意：あなたの秘密鍵は暗号化された形式でダウンロードされます。しかし、秘密鍵は公開でアクセスできるシステムにダウンロードすべきではありません。

あなたの鍵ウィンドウで鍵を削除する方法：

警告：秘密鍵を削除すると、この鍵で暗号化されたオブジェクトを復号化することはできません。迷っている場合は、鍵を削除せず、無効にしてください。無効になった鍵は暗号化に使用できません。しかし、この鍵で暗号化されたオブジェクトは復号化できます。

1. 鍵の隣にある削除アイコン  をクリックします。秘密鍵の削除ウィンドウが開きます。
2. 次のようなオプションの機能があります。
 - 秘密鍵を無効にするには、無効をクリックします。
鍵を無効にすると、使用できません。しかし、この鍵で暗号化されたオブジェクトは復号化できます。そのため、鍵を削除するよりは無効化することをお勧めします。
秘密鍵用のパスワードを入力します。必要であれば、鍵を無効にする理由を選択します。
無効をクリックします。
 - 秘密鍵を削除するには、削除をクリックします。
警告：秘密鍵を削除すると、この鍵で暗号化されたオブジェクトを復号化することはできません。
秘密鍵用のパスワードを入力します。
削除 ボタンをクリックします。
マスター鍵を削除すると、対応するサブ鍵も削除されます。

同等アクション

[公開鍵を管理する \(p. 287\)](#)
[パスワード管理 \(p. 283\)](#)

12.6.3 公開鍵を管理する

次のようなオプションの機能があります。

- 公開鍵を表示
- 公開鍵をアップロード
- 自分の公開鍵を削除

公開鍵を表示する方法：

1. 詳細下の**詳細設定を表示**チェックボックスを有効にします。
鍵下の**受取人の公開鍵**をクリックします。公開鍵ウィンドウが開きます。
あなたまたは他のユーザと共有している公開鍵が表示されます。ユーザの公開鍵がこのリストに表示されている場合、このユーザに暗号化したメールを送信することができ、また、このユーザから送られた署名つきメールを確認することができます。
2. 鍵の詳細を表示するには、鍵の隣にある**詳細アイコン**  をクリックします。公開鍵の詳細ウィンドウが開きます。
鍵を共有を有効にすると、公開鍵を共有できます。他のユーザはお使いの共有鍵を参照したり、ダウンロードできません。公開鍵はグループウェアのユーザのみが使用できます。

公開鍵ウィンドウの受取人の公開鍵をアップロードする方法：

追加アイコン  をクリックします。公開鍵を含むファイルを選択してください。

公開鍵ウィンドウで公開鍵を削除する方法：

公開鍵の隣にある **削除 アイコン**  をクリックします。
公開鍵の削除を確認します。

同等アクション

- [自分の鍵を管理する \(p. 285\)](#)
- [パスワード管理 \(p. 283\)](#)

索引

シンボル

- お気に入り
 - お気に入りのタイムゾーン, 163
 - ファイルまたはドライブフォルダー, 218
 - フォルダ お気に入り, 233
- すべてのデータをダウンロード, 253
- はじめに, 17
- アカウント
 - ストレージアカウントを追加, 225
 - ソーシャルネットワークのセットアップ, 51
 - メールアカウントの追加, 94
 - 主なメールアカウントの編集, 251
 - 削除, 252
 - 定義, 13
 - 編集, 252
 - 表示, 252
- アカウントの管理, 250
- アドレス
 - アドレス帳から選択, 67
 - 収集, 80
- アドレス帳, 99
 - メールの送信, 118
 - 予定への出席を連絡先に依頼, 118
 - 個人用アドレス帳を追加, 116
 - 構成, 100
 - 設定, 125
- アドレス帳-ユーザーインターフェース
 - ツールバー, 102
 - ナビゲーションバー, 103
 - フォルダービュー, 103
 - 一覧, 104
 - 表示エリア, 103
 - 詳細ビュー, 104
 - 連絡先編集バー, 106
- アドレス帳の設定
 - マイ連絡先データ, 125
 - 住所と地図サービスをリンクさせる, 125
 - 名前の表示, 125
 - 最初のフォルダ, 125
- アドレス帳ユーザーインターフェース
 - 検索バー, 101
 - 編集バー, 105
- アプリケーション
 - アドレス帳, 99
 - カレンダー, 127
 - タスク, 175
 - ドライブ, 197
 - メール, 53
 - ローカルアプリケーションをインストール, 43
 - 定義, 13
- インポート
 - CSV フォーマットの連絡先, 121
 - vCard フォーマットの連絡先, 121
 - メール, 83
 - 予定, 165
 - 予定表, 159
 - 仕事, 191
- エクスポート
 - 予定, 165
 - 仕事, 191
 - 連絡先, 122
- オブジェクト、定義, 13
- カレンダー, 127
 - 共有カレンダーの表示および同期, 159
 - 構成, 128
 - 登録, 158
- カレンダー-ユーザーインターフェース
 - スケジューリングビュー, 137
 - ツールバー, 130
 - フォルダービュー, 132
 - ポップアップ, 135
 - ミニカレンダー, 131
 - 一覧, 135
 - 予定表ユーザーインターフェースビュー, 133
 - 日付ビュー, 134
 - 検索バー, 129
 - 編集ウィンドウ, 138
 - 表示エリア, 132
 - 詳細ビュー, 136
- カレンダー設定
 - iCalカレンダーに登録, 172
 - 参加する予定が作成、変更、または削除された場合に通知を受け取る, 172
 - 参加者は予定を編集できる, 172
 - 時間の間隔, 172
- キーボード入力, 32
 - キー及びキーの組み合わせ, 33
 - ユーザーインターフェースを操作, 34
 - 大文字を使用, 35
- クラウドストレージ
 - ストレージアカウントを追加を参照, 225
- グループ
 - 定義, 13
 - 管理, 170
- グローバル アドレス帳、定義, 13
- ゲスト、定義, 13
- ゲストグループ
 - ゲスト参照, 13
- コピー
 - ファイル, 217
 - メール, 78
 - 連絡先, 119
- コンテキストメニュー
 - ドライブ-表示エリア, 203
 - フォルダービュー, 27
 - メール-一覧, 59
- サイン イン、サイン アウト, 20
- スケジューリングビューの使用, 151
- ストレージアカウントを追加, 225
- セキュリティ
 - Guard設定, 281
 - Office ドキュメントを暗号化, 277
 - セッションを表示する、または終了する, 260
 - ファイルの暗号化または復号化, 274
 - ホワイトリストを使用, 259

- メールに外部リンク先のからリンクされた画像, 257
- メールの暗号化する, 271
- メールの認証を表示する, 258
- 多要素認証, 261
- 自動サインアウト, 256
- セッション
 - 定義, 13
 - 表示または終了, 260
- タイムゾーン
 - お気に入りのタイムゾーンの管理, 163
 - 複数のタイムゾーンを表示, 141
- タスク, 175
 - 構成, 176
- タスク-ユーザーインターフェース
 - ツールバー, 177
 - フォルダービュー, 178
 - 一覧, 179
 - 検索バー, 177
 - 編集ウィンドウ, 181
 - 表示エリア, 178
 - 詳細ビュー, 180
- タブ
 - タブの操作, 77
 - 定義, 13
- テキストファイル
 - 作成, 213
 - 編集, 213
- デスクトップ通知, 41
- ドキュメント, 11
 - 内容, 12
 - 対象読者, 12
- ドメイン、定義, 14
- ドライブ, 197
 - テキストファイルの作成または編集, 213
 - バージョンの操作, 221
 - ファイルおよびフォルダーの整理, 214
 - ファイルのコピー, 217
 - ファイルの内容の表示, 207
 - ファイルの内容またはフォルダーの内容をダウンロード, 211
 - ファイルの検索, 222
 - ファイルの表示, 206
 - ファイルまたはフォルダーの移動, 216
 - ファイルまたはフォルダーをお気に入りに追加, 218
 - ファイルまたはフォルダーを追加, 219
 - ファイルをPDFとして保存, 217
 - ファイルをポータルに追加, 218
 - ファイルをロックまたはロック解除, 220
 - ファイルを添付ファイルとして送信, 215
 - ファイルを追加, 212
 - フォルダーを作成, 212
 - メールの添付ファイルを表示, 209
 - 構成, 198
 - 説明の作成または編集, 216
- ドライブ-ユーザーインターフェース
 - ツールバー, 200
 - ナビゲーションバー, 202
 - ビューア, 205
 - ファイルの詳細, 204
 - フォルダービュー, 201
 - 検索バー, 199
 - 表示エリア, 203
- ドライブ設定
 - バージョン履歴, 226
 - 同じ名前でファイルを追加する, 226
 - 既定のビュー, 226
 - 画像のスライドショー / 自動再生モード, 226
- ハロー ビュー, 109
- パスワード
 - Guard パスワードの変更, 283
 - Guard パスワードをリセット, 283
 - 変更, 21
- パブリックリンク, 236
- ビュー
 - 予定, 139, 140, 143
 - ビューア, 205
- ファイル
 - Linux 環境の WebDAV, 224
 - PDFとして保存, 217
 - WebDAV によるアクセス, 224
 - Windows環境での WebDAV, 224
 - お気に入りに追加, 218
 - コピー, 217
 - ダウンロード, 211
 - ドライブフォルダーを追加, 212
 - バージョンの編集, 221
 - ビューアで表示, 207
 - ファイル名の変更, 215
 - ポータルへの追加, 218
 - メールの添付ファイルとして送信, 215
 - メールの添付ファイルを表示, 209
 - ロック, 220
 - ロックの解除, 220
 - 作成, 212
 - 共有、共有を参照, 235
 - 削除, 219
 - 復号化, 276
 - 暗号化, 274
 - 暗号化ファイルのダウンロード, 276
 - 暗号化ファイルの作成, 275
 - 暗号化ファイルを開く, 275
 - 検索, 222
 - 移動, 216
 - 管理, 214
 - 表示, 206
 - 説明の作成, 216
 - 説明の編集, 216
- ファイルをロック, 220
- ファイルロックの解除, 220
- フォルダ, 228
 - お気に入りに追加, 218
 - お気に入りへのフォルダの追加, 233
 - クリーンアップ, 86
 - タイプ, 229
 - パブリックフォルダ, 229
 - フォルダ間の移動, 231
 - メールフォルダに登録, 245
 - 個人用フォルダ, 229

- 共有、共有を参照, 235
- 共有フォルダ, 229
- 内容をダウンロード, 211
- 削除, 234
- 名前の変更, 233
- 権限, 230
- 移動, 234
- 開く, 231
- 非表示にする, 232
- フォルダビュー
 - お気に入り, 233
 - フォルダを非表示にする, 232
 - 幅の変更, 231
 - 開く, 231
- フォルダー、定義, 14
- フォルダ構造
 - お気に入り, 233
- フォルダ間
 - フォルダを非表示にする, 232
 - 移動, 231
- フォロー予定の作成, 152
- プレゼンテーション
 - 実施, 209
- ホワイトリスト
 - 使用, 259
 - 定義, 14
- ポータル, 45
 - カスタマイズ, 49
 - ファイルの追加, 218
 - メールの追加, 82
 - 構成, 46
- ポータルウィジェット
 - ソーシャルネットワークのセットアップ, 51
 - 削除, 50
 - 追加, 50
 - 順序の変更, 50
- ポータル設定
 - ウィジェットの概要へ縮小, 53
 - ウィジェットの追加, 52
 - ウィジェットを編集, 52
 - 削除, 52
 - 有効, 52
 - 無効, 52
 - 移動アイコン, 52
 - 編集 ボタン, 52
 - 色, 52
- ミニ予定表, 131
- メール, 53
 - EML ファイルのインポート, 83
 - EML フォーマットでの保存, 82
 - アドレスの収集, 80
 - アドレス帳からの送信, 118
 - アドレス帳から連絡先を選択, 67
 - アラームの作成, 82
 - アーカイブ, 84
 - カラー を割り当てる, 80
 - コピー, 78
 - タブ, 77
 - フィルタ, 88
 - フォルダに既読の印を付ける, 79
 - フォルダのクリーンアップ, 86
 - フォルダの追加, 75
 - ホワイトリストを使用, 259
 - ポータルへの追加, 82
 - メールアカウントの追加, 94
 - メールソースの表示, 81
 - リンクとして添付ファイルを送信, 70
 - 下書きを使用, 81
 - 予定の参加者への送信, 73
 - 休暇通知の送信, 74
 - 共有、共有を参照, 235
 - 分類, 80
 - 削除, 85
 - 印刷, 83
 - 既読にする, 79
 - 暗号化されたメールの送信, 272
 - 暗号化されたメールの閲覧, 271
 - 未読にする, 79
 - 検索, 93
 - 構成, 54
 - 添付ファイルの保存, 64
 - 添付ファイルの表示, 64
 - 添付ファイルを表示, 209
 - 添付ファイルを追加, 69
 - 移動, 78
 - 管理, 76
 - 統合メール, 87
 - 署名を使用, 71
 - 自動転送, 73
 - 表示, 63
 - 認証の表示, 258
 - 転送, 72
 - 返信, 72
 - 送信, 66
 - 通知音, 96
- メール スレッド、定義, 14
- メール タブ
 - 定義, 13
- メール-ユーザーインターフェース
 - カテゴリバー, 58
 - ツールバー, 56
 - フォルダービュー, 57
 - ポップアップ, 61
 - 一覧, 59
 - 検索バー, 55
 - 編集ウィンドウ, 62
 - 表示エリア, 58
 - 詳細ビュー, 60
- メール、メールを参照, 53
- メールに外部リンク先の画像, 257
- メールの転送, 72
- メールをアーカイブする, 84
- メールを作成, 66
- メールアラームを作成する, 82
- メールタブ
 - 操作, 77
- メールフィルタ, 88
 - アクションを追加, 91

- ルールを作成, 89
- ルールを変更, 91
- ルールを既存のメールに適用する, 92
- 条件を追加, 90
- 条件例, 90
- 移動中に新規ルールを作成, 91
- メール設定
 - HTML フォーマットのメールの許可, 96
 - IMAP フォルダの登録, 96
 - vCard の添付, 98
 - カラーの引用ラインを使用, 96
 - メーリングリストに返信時に受取人を確認, 98
 - メールのフォーマット, 98
 - メールの転送方法, 98
 - メールを常にBCCで送信, 98
 - メールメッセージの完全な削除, 96
 - メール表示時の連絡先の自動収集, 96
 - メール送信時の連絡先の自動収集, 96
 - 休暇通知, 96
 - 固定幅フォント, 96
 - 差出人のメールアドレスの選択, 68
 - 差出人の既定のメールアドレス, 98
 - 新規の招待を要求, 96
 - 既定フォントスタイル, 98
 - 未表示の全メッセージ付きでフォルダを表示, 96
 - 自動転送, 96
 - 詳細設定, 98
 - 返信への元のメールの本文の挿入, 98
 - 通知音, 96
 - 開封確認メッセージの要求の表示, 96
- ユーザ インターフェース
 - キーボード入力, 32, 33, 34
 - ツールバー, 26
 - ハロー ビュー, 29
 - ポップアップ, 29
 - メニュー バー, 23
 - 定義, 14
 - 検索バー, 25
 - 編集ウィンドウ, 31
 - 表示エリア, 28
 - 通知エリア, 30
- ユーザ、定義, 14
- ユーザインターフェース
 - アプリケーションランチャー, 24
 - フォルダビュー, 27
 - 概要, 22
- リソース
 - 定義, 14
 - 管理, 171
- ログイン
 - SMSコードで検証, 265
 - セキュリティキーで検証, 264
 - 検証を復元, 266
 - 認証アプリで検証, 264
- 予定
 - iCal からの作成, 153
 - お気に入りのタイムゾーンの管理, 163
 - アドレス帳からの招待, 118
 - インポート, 165
 - エクスポート, 165
 - カレンダーの色を使用する, 164
 - スケジューリングビューの使用, 151
 - ステータスの変更, 162
 - タイムゾーンを表示、複数, 141
 - ビュー, 139
 - フォロー予定の作成, 152
 - メールの受取人に新規予定への招待, 153
 - リスト ビューでの表示, 143
 - 予定のアラームを使用, 149
 - 予定の表示の設定, 149
 - 予定表ビューでの表示, 140, 142
 - 作成, 146
 - 別の予定表への移動, 164
 - 別の日に日付変更, 161
 - 削除, 167
 - 印刷, 166
 - 参加者に対する新規予定への出席の依頼, 152
 - 参加者またはリソースを追加, 150
 - 定期的な予定の設定, 148
 - 招待への回答, 155
 - 日付ピッカーを使用, 147
 - 時間または期間の変更, 161
 - 検索, 168
 - 添付ファイルの保存, 144
 - 添付ファイルの表示, 144
 - 添付ファイルの追加, 150
 - 空き時間の検索, 151
 - 競合の解決, 154
 - 管理, 160
 - 編集, 161
 - 色, 142
 - 開催者を変更, 163
 - 予定の色, 142
 - 予定の開催者を変更します。 , 163
- 予定表
 - Googleカレンダーに登録, 158
 - iCalカレンダーに登録, 158
 - インポート, 159
 - スケジューリングビューの使用, 151
 - ミニ予定表, 131
 - 予定表の色を使用する, 164
 - 予定表の追加, 156
 - 個人の子定表の追加, 157
 - 共有、共有を参照, 235
 - 日付ピッカー, 134
- 予定表の設定
 - 予定が承諾または辞退された後招待メールを自動的に削除, 173
 - 予定表稼働週ビュー, 172
 - 参加者が承諾または辞退した場合に予定作成者として通知を受信, 172, 173
 - 稼働時間の終了時刻, 172
 - 稼働時間の開始時刻, 172
 - 誕生日の予定表, 172
 - 辞退した予定の表示, 172
- 仕事
 - インポート, 191
 - エクスポート, 191

- ステータスの変更, 191
- 仕事フォルダの追加, 187
- 作成, 184
- 共有、共有を参照, 235
- 削除, 193
- 印刷, 193
 - 参加者を追加, 185
 - 完了の印を付ける, 189
 - 定期的な仕事を作成, 185
 - 招待への回答, 186
 - 検索, 194
 - 添付ファイルの保存, 183
 - 添付ファイルの表示, 183
 - 添付ファイルの追加, 185
 - 移動, 190
 - 管理, 188
 - 終了日時の変更, 190
 - 編集, 189
 - 表示, 182
- 仕事の設定
 - 出席する仕事を作成、変更、削除された場合に通知を受け取ります。 , 196
 - 参加者があなたが作成した仕事を承諾または辞退した場合に通知を受け取ります。 , 196
 - 参加者があなたが出席した仕事を承諾または辞退した場合に通知を受け取ります。 , 196
- 休暇通知, 74
- 作成
 - 仕事フォルダ, 187
- 保存
 - メール, 82
 - 下書き, 81
- 個人用の連絡先データ, 40
- 個人用の連絡先写真, 40
- 共有, 235
 - ドライブアプリケーションで編集, 243
 - ドライブアプリケーションで表示, 243
 - パブリックリンク, 236
 - メールフォルダーに登録, 245
 - 人を追加, 240
 - 他のユーザの共有にアクセスする, 245
 - 共有アイテムへの招待, 238
 - 共有カレンダーの表示および同期, 159
 - 削除, 242
 - 招待を再送する, 241
 - 編集, 240
 - 読み取りまたは編集アクセスで共有, 238
 - 読み取りアクセスで共有, 236
- 内容の表示
 - ファイル, 207
 - プレゼンテーション, 209
- 内部メール アカウント、定義, 14
- 写真
 - 個人用の連絡先の写真を作成, 40
 - 連絡先の写真を作成, 110
- 削除
 - アカウント, 252
 - ファイル, 219
 - フォルダ, 234
 - メール, 85
 - 予定, 167
 - 仕事, 193
 - 連絡先, 123
- 印刷
 - メール, 83
 - 予定, 166
 - 予定の一覧, 166
 - 予定表シート, 166
 - 仕事, 193
 - 連絡先, 122
- 参加者、定義, 14
- 名を変更
 - フォルダ, 233
- 名前の変更
 - ファイル, 215
- 地域設定, 39
- 基本設定, 37, 38
 - クイック起動, 38
 - サイン イン後に表示する既定のアプリケーション, 38
 - タイムゾーン, 38
 - デザイン, 38
 - デスクトップ通知表示, 38
 - パスワードの変更, 38
 - マイ連絡先データ, 38
 - 地域, 38
 - 更新間隔, 38
 - 自動サインアウト, 38
 - 言語, 38
 - 通知エリアを自動的に表示, 38
- 外部メールアドレス
 - フォルダを割り当て, 251
 - 名前の変更, 251
 - 差出人名の変更, 251
- 外部参加者、定義, 14
- 多要素認証, 261
 - 検証方法を管理, 267
 - 検証方法を設定, 262
- 定義, 13
- 新規
 - アドレス帳, 115
 - テキストファイル, 213
 - ファイルまたはドライブフォルダー, 212
 - メール, 66
 - メールフォルダ, 75
 - 予定, 146
 - 予定表, 156
 - 仕事, 184
 - 個人の手定表, 157
 - 個人用アドレス帳, 116
 - 暗号化されたメールの送信, 272
 - 暗号化ドキュメントの作成, 278
 - 暗号化ファイルの作成, 275
 - 連絡先, 110
 - 連絡先グループ, 112
- 既定グループ
 - グループ参照, 13
 - ユーザ参照, 14

- 日付ピッカー, 134
- 日付変更
 - ファイルまたはドライブフォルダー, 216
 - フォルダ, 234
 - メール, 78
 - 仕事, 190
 - 別の予定表への予定, 164
 - 別の日に予定変更, 161
 - 連絡先, 119
- 暗号化
 - Office ドキュメントを暗号化, 277
 - ファイル, 274
 - 新しい暗号化ドキュメントの作成, 278
 - 新しい暗号化ファイルの作成, 275
 - 選択したドキュメントを暗号化形式に保存, 278
- 暗号化されたメール
 - 読む, 271
 - 送信する, 272
- 暗号化する
 - メール, 271
- 暗号化ドキュメント
 - 開く, 279
- 暗号化ファイル
 - ダウンロード, 276
 - 鍵を削除, 276
 - 鍵を削除、ファイルの復号化を参照, 276
 - 開く, 275
- 検索
 - ファイル, 222
 - メール, 93
 - 予定, 168
 - 仕事, 194
 - 連絡先, 124
- 検証方法を管理, 267
- 検証方法を設定, 262
- 権限
 - アプリケーション, 246
 - ビューア, 246
 - レビューア, 246
 - 作成者, 246
 - 例, 248
 - 定義, 230
 - 管理者, 246
- 権限例, 248
- 用語, 13
- 登録
 - Googleカレンダー, 158
 - iCal カレンダー, 158
 - RSSフィードの登録, 50
 - アドレス帳に登録, 116
 - アドレス帳の更新, 117
 - カレンダー, 158
 - ソーシャルネットワークのメッセージ, 50
 - メールフォルダ, 245
- 管理
 - タスク, 188
 - メール, 76
 - 予定, 160
 - 連絡先, 118
- 統合メール, 87
- 編集
 - アカウント, 252
 - テキスト ファイル, 213
 - バージョン, 221
 - ファイルの説明, 216
 - 予定, 161
 - 仕事, 189
 - 連絡先, 119
 - 連絡先グループ, 119
- 自動サインアウト, 256
- 表示
 - アカウント, 252
 - タスク, 182
 - タスクの添付ファイル, 183
 - ビューアのファイル, 207
 - ファイル, 206
 - メール, 63
 - メール添付ファイル, 64
 - 予定添付ファイル, 144
 - 連絡先, 107
 - 連絡先の添付ファイル, 108
- 要素、定義, 14
- 設定
 - Guard, 281
 - すべてのデータをダウンロード, 253
 - アカウント, 250
 - アドレス帳, 125
 - ウィザードでローカルアプリケーションを設定, 44
 - ドライブ, 226
 - パスワードの変更, 21
 - ポータル, 52
 - メール, 95
 - メール, 受信, 96, 98
 - ローカルアプリケーションをインストール, 43
 - 予定表, 172
 - 仕事, 196
 - 個人用の連絡先データ, 40
 - 地域設定, 39
 - 基本設定, 38
- 誕生日予定表を表示, 172
- 送信
 - vCard の連絡先, 120
 - メール, 66
- 通知
 - デスクトップ通知を受け取る, 41
 - 通知エリアに通知を受け取る, 41
- 通知エリア, 41
- 連絡先
 - CSV フォーマットのインポート, 121
 - vCard からの追加, 111
 - vCard を送信, 120
 - vCard フォーマットのインポート, 121
 - Xing への出席を依頼, 121
 - Xing 連絡先としての追加, 120
 - アドレス帳から選択, 67
 - アドレス帳を追加, 115
 - エクスポート, 122
 - コピー, 119

ハロー ビューの表示, 109
 メールの宛先を連絡先グループとして保存, 114
 メールの送信, 118
 予定への出席を依頼, 118
 作成, 110
 共有、共有を参照, 235
 削除, 123
 印刷, 122
 参加者リストから連絡先グループを作成, 114
 外部アドレス帳に登録, 116
 新規連絡グループの作成, 113
 検索, 124
 添付ファイルの保存, 108
 添付ファイルの表示, 108
 添付ファイルの追加, 111
 登録アドレス帳の更新および管理, 117
 移動, 119
 管理, 118
 編集, 119
 表示, 107
 連絡先の写真を作成, 110
 連絡先グループ作成, 112
 連絡先グループ
 参加者リストから作成, 114
 編集, 119
 追加, 112
 配布リスト
 メールの送信, 118
 予定への出席を依頼, 118
 定義, 14

C

CSV

インポート, 121
 エクスポート, 122

G

Groupware, 定義, 13

Guard, 269

Officeドキュメントの暗号化, 277
 セットアップ, 270, 280
 パスワードのリセット, 283
 パスワードの変更, 283
 パスワード管理, 283
 ファイルの暗号化, 274
 メールの暗号化, 271
 公開鍵を管理, 287
 新しい暗号化ドキュメントの作成, 278
 新しい暗号化ファイルの作成, 275
 暗号化されたメールの送信, 272
 暗号化されたメールの閲覧, 271
 暗号化ドキュメントを開く, 279
 暗号化ファイルをダウンロード, 276
 暗号化ファイルを復号化, 276
 暗号化ファイルを開く, 275
 自分の鍵を管理, 285
 設定, 281
 選択したドキュメントを暗号化形式に保存, 278

Guardセキュリティ設定

あなたの鍵, 282
 メール作成時に暗号化を規定にする, 281
 公開鍵, 282
 公開鍵をダウンロード, 282
 新規メールにインライン PGP 使用を既定にする, 281
 既定のパスワードを記憶, 281
 詳細設定, 281
 送信メールへの署名の追加を既定にする, 281

I

iCal

インポート、予定, 165
 インポート、仕事, 191
 エクスポート、予定, 165
 エクスポート、仕事, 191

O

Office ドキュメントを暗号化します。 , 277

P

PDF、として保存, 217

R

RSS フィードの登録, 50

V

vCard

インポート, 121
 エクスポート, 122
 送信, 120

W

Web アドレス

ドメインを参照, 14

WebDAV

Linux 環境でのセットアップ, 224
 Windows環境でのセットアップ, 224
 ファイルへのアクセス, 224
 定義, 224

X

Xing

Xing への出席を依頼, 121
 Xing 連絡先としての追加, 120
 Xingアカウントの作成, 51
 ウィジェットを追加, 51
 Xing 連絡先として追加, 120
